



# **Avaya Communication Manager**

## **概説**

03-300468JA  
第1版  
リリース 3.0  
2005年6月

Copyright 2005, Avaya Inc.

本書の内容は著作権法上の保護を受けております。著者、発行者の承諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられております。

注意

本書に記載される情報は、印刷時点において完全かつ正確であることを期していますが、情報は予告なく変更される場合があります。

保証

米国アバシア社の本製品についての保証は、限定的なものとします。限定的保証の意味については、販売契約を参照してください。また、アバシア社の標準保証条項、および本保証における製品のサポートについては、下記のアバシアのウェブサイトアクセスしてください。  
<http://www.avaya.com/support>

料金不正使用防止

「料金不正使用」とは、無許可の者（貴社社員、エージェント、下請業者、貴社の業務を代行する人員以外の者）による貴社電気通信システムの無断使用のことです。ご使用のシステムには料金不正使用のリスクが伴い、万一料金不正使用が発生した場合には電気通信サービス関連の相当額の追加料金が生じうることにご注意ください。

アバシアの料金不正使用防止

料金不正使用の被害にあった疑いがあり、何らかの技術援助またはサポートが必要な場合、米国またはカナダからはテクニカルサービスセンター料金不正防止ホットライン（+1-800-643-2353）にご連絡ください。

免責

米国アバシア社によって行われたものでない限り、本書の原本に対するどのような改訂、追加、削除に対しても、アバシア社は責任を持ちません。顧客またはエンドユーザーによって行われた本書に対する改訂、追加または削除によって、またはそれらに伴って生じたすべての要求、訴訟、賠償、判決に対して、アバシア社、アバシア社代理店、アバシア社従業員は一切責任を持たず、それらに関するどんな補償もしません。

アバシアのヘルプライン

その他のサポート電話番号については、下記のアバシアのウェブサイトアクセスしてください。<http://www.avaya.com/support>

次のリンクにアクセスしてください。

- 米国内の方は、[Support Tools] の下にある [Escalation Contacts] をクリックします。次に、ご希望のサポートタイプをクリックします。
- 米国外の方は、[Support Tools] の下にある [Escalation Contacts] と [International Services] を続けてクリックします。国際 COE（テクニカルセンター）の電話番号が表示されます。

電気通信セキュリティの提供

電気通信（音声、データ、ビデオ通信の）セキュリティとは、何らかの者によるあらゆる種類の侵入（すなわち貴社の電気通信装置の無断または不正のアクセスや使用）の防止のことです。

貴社の「電気通信装置」には、本アバシア製品ならびに、本アバシア製品経由でアクセスできるその他のあらゆる音声／データ／ビデオ装置（すなわち「ネットワーク接続装置」）の双方が含まれます。

「外部の者」とは、社員、エージェント、下請業者、貴社の業務を代行する人員以外の者のことです。対して「悪意を持つ者」とは、貴社の電気通信装置に悪意またはいたずらの意図を持ってアクセスする者（悪意などが無い場合には使用を許可されている者を含む）のことです。

このような侵入は次のような理由から、同期（時間多重化や回線に基づく）あるいは非同期（文字、メッセージ、パケットに基づく）のいずれかの装置やインタフェースに対してまたは経由で行われると考えられます。

- 利用（アクセスした装置に特有の機能の）
- 盗難（知的財産、金融資産、料金機能へのアクセスなどの）
- 盗聴（プライバシーの侵害）
- いたずら（迷惑だが無害と思われる干渉）
- 危害（動機や意図にかかわらず有害な干渉、データの損失または改変など）

ご使用のシステムやそのネットワーク接続装置には、無断侵入のリスクが伴うことにご留意ください。またこのような侵入が発生した場合、貴社に対して各種の損失（人的／データのプライバシー、知的財産、資産、金融資源、人件費、訴訟費用を含むがこれに限定されないもの）が生ずる可能性があることも十分にご理解ください。

貴社の電気通信セキュリティに関する責任

本システムおよびそのネットワーク接続装置両方のセキュリティを確保する最終的な責任は、アバシアの顧客（貴社）のシステム管理者、同様の電気通信業務を行う社員とその上司にあります。以下の（しかしこれに限定されない）各種の資料や情報源から得た知識や情報を基にしてこの責任を果たしてください。

- 設置関連説明書
- システム管理関連説明書
- セキュリティ関連説明書
- ハードウェア／ソフトウェアによるセキュリティ・ツール
- システム管理者および同様の業務を行う社員で共有する情報
- 電気通信セキュリティ専門家

貴社の電気通信装置への侵入を防止するため、システム管理者および同様の業務を行う社員は以下の各項目を慎重にプログラムし、設定してください。

- アバシア社製の電気通信システムおよびそのインタフェース
- アバシア提供のソフトウェア・アプリケーション、その基礎となるハードウェア／ソフトウェア・プラットフォームおよびインタフェース
- ご使用のアバシア製品にネットワーク接続されているその他の装置

TCP/IP ファシリティ

製品が保証されている動作性能を実現しているときであっても、製品の品質、信頼性およびセキュリティはお客様側のネットワーク環境（構成／設計およびトポロジー）に左右されます。

規格準拠

アバシア社は、この装置を不正に改造したことに起因する、あるいはアバシア社指定以外の接続ケーブルおよび装置で代用または取り付けたことに起因する、ラジオまたはテレビに対するいかなる干渉に対しても責任を負わないものとし、こうした無許可の改造・代用・取り付けによる干渉の是正措置は使用者の責任に行われるものとします。米国連邦通信委員会（FCC）規則のパート 15 に準拠し、使用者は、アバシア社が明示的に承認していない変更または改造を行った場合、この装置を運用する権限が無効になることについて十分認識しているものとします。

製品安全性規格

本製品は下記の該当する国際製品安全性規格に準拠しています。

電子装置の IEC 準拠（IECEE）CB-96A に記載されているすべての該当する全国の変更条項を含む、IT 装置の安全性、IEC 60950 第 3 版、または IEC 60950-1 第 1 版

IT 装置の安全性、CAN/CSA-C22.2 No. 60950-00/UL 60950、第 3 版、または CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-03/UL 60950-1

IT 装置の安全要件、AS/NZS 60950:2000

次の該当するメキシコ全国規格 1 つ以上：NOM 001 SCFI 1993、NOM SCFI 016 1993、NOM 019 SCFI 1998

このマニュアルで説明される装置には、クラス 1 レーザー装置が組み込まれている場合があります。これらのレーザー装置は、次の国際安全性規格に準拠しています。

- EN 60825-1、第 1.1 版、1998-01
- 21 CFR 1040.10 および CFR 1040.11

アバシア社の製品で使用されるレーザー装置は、通常次の条件で動作します。

| 標準的な中央波長          | 最大出力     |
|-------------------|----------|
| 830 nm ～ 860 nm   | -1.5 dBm |
| 1270 nm ～ 1360 nm | -3.0 dBm |
| 1540 nm ～ 1570 nm | 5.0 dBm  |

Luokan 1 Laserlaite

Klass 1 Laser Apparat

本書で指定していない手順を実行したり、指定以外の手順で調節、調整したりすると、有害な放射線を浴びる恐れがありますので、ご注意ください。レーザー製品について詳しくはお近くのアバシア販売代理店にお問い合わせください。

電磁適合性（EMC）規格

本製品は、次の国際 EMC 規格およびすべての該当する全国の変更条項に準拠しています。

IT 装置の無線障害の制限および測定方法、CISPR 22:1997、EN55022:1998、および AS/NZS 3548

IT 装置 — 耐性特性 — 以下を含む制限および測定方法、CISPR 24:1997 および EN55024:1998

- ・ 静電気放電（ESD: Electrostatic Discharge）IEC 61000-4-2
- ・ 放射線性耐性（Radiated Immunity）IEC 61000-4-3
- ・ 電気高速過渡（Electrical Fast Transient）IEC 61000-4-4
- ・ 雷電効果（Lightning Effects）IEC 61000-4-5
- ・ 伝導耐性（Conducted Immunity）IEC 61000-4-6
- ・ 本線周波数磁界（Mains Frequency Magnetic Field）IEC 61000-4-8
- ・ 電圧降下および変動（Voltage Dips and Variations）IEC 61000-4-11

電力ラインの放射、IEC 61000-3-2: 電磁適合性（EMC） — パート 3-2: 制限 — 調波電流からの放射を制限

電力ラインの放射、IEC 61000-3-3: 電磁適合性（EMC） — パート 3-3: 制限 — 公共の低電圧電源供給システムの電圧変化、電圧変動およびちらつきを制限

米国連邦通信委員会（FCC）声明書

パート 15 :

注記：この装置は、FCC 規則パート 15 で定義されるクラス A デジタル装置の規格に準拠することがテストの結果により確認されています。この規定により、装置を商業環境で使用する場合は電波障害に対する適度の保護が提供されます。この装置は無線周波数のエネルギーを発生、使用し、また放射する可能性があるため、設置および使用にあたり取扱説明書の指示に従わない場合、無線通信に支障をきたす恐れがあります。この装置を居住環境で使用する場合は電波障害を引き起こす可能性が高く、障害に対する是正措置は顧客負担となります。

パート 68：応答監視信号

適切な応答監視信号を提供しないような方法でこの装置を操作すると、パート 68 の規則違反になります。この装置は以下の場合に、公衆交換網に応答監視信号を送り返します。

- ・ 被呼ステーションが応答した時
- ・ オペレータが応答した時
- ・ 加入者宅装置（CPE）ユーザが管理できる録音アナウンスメントに迂回された時

公衆電話網にダイレクトインダイヤル（DID）呼が送り返されるたびに、この装置は応答監視信号を返します。例外として許可されるのは次の場合です。

- ・ 呼が応答されない時
- ・ 話中音が聞こえる時
- ・ リオーダートーンが聞こえる時

アバイアは、この登録された装置は特番の使用により、ユーザーに州間オペレータサービスプロバイダへのアクセスを提供することが可能であると宣言します。テレマーケティング会社が、ダイヤルアクセスコードを阻止するためにこの装置を改造すると、1990 年制定の電話オペレータ消費者法違反になります。

リング電流値（REN）

MCC1、SCC1、CMC1、G600、G650 Media Gateway の場合：

この装置は FCC 規則のパート 68 に準拠します。この装置の背面、またはフロントカバーの内側にあるラベルには、FCC 登録番号、リング電流値（REN）、その他の情報を記載してあります。必要な場合には、電話会社にこの情報を提供してください。

G350 および G700 Media Gateway の場合：

この装置は FCC 規則のパート 68 および、端末接続管理協議会（ACTA）が採択した要件に準拠します。装置の背面にあるラベルには、他の情報とともに製品識別番号が次の形式で記載されています。例えば「US: AAAEQ##TXXXX」という識別番号では、## は小数点を省いたリング電流値（REN）を表します（例えば、03 は REN 0.3 を意味します）。必要な場合には、電話会社にこの番号を提供してください。

すべてのメディアゲートウェイの場合：

REN は電話回線に接続できる装置の数量を決定するために使用します。電話回線に対する REN が過多であると、装置が着信呼に反応する呼び出し音を鳴らさなくなることがあります。ほとんどの地域では、REN の合計は 5.0 を超えないようにしてください。REN 合計により算出される、回線に接続できる装置数を確認するには、地域の電話会社に問い合わせてください。アナログまたはデジタルファシリティの中には REN を必要としないものもあります。

接続方法

この装置の電話網への接続を以下の表に示します。

MCC1、SCC1、CMC1、G600、G650 Media Gateway の場合：

| メーカーのポート<br>識別番号      | FIC コード   | SOC/REN/<br>A.S. コード | コネクタ<br>形状                |
|-----------------------|-----------|----------------------|---------------------------|
| 構外／構内電話機              | OL13C     | 9.0F                 | RJ2GX、<br>RJ21X、<br>RJ11C |
| DID トランク              | 02RV2-T   | 0.0B                 | RJ2GX、<br>RJ21X           |
| CO トランク               | 02GS2     | 0.3A                 | RJ21X                     |
|                       | 02LS2     | 0.3A                 | RJ21X                     |
| 専用線トランク               | TL31M     | 9.0F                 | RJ2GX                     |
| 基本インタフェース             | 02IS5     | 6.0F、6.0Y            | RJ49C                     |
| 1.544 デジタル<br>インタフェース | 04DU9-BN  | 6.0F                 | RJ48C、<br>RJ48M           |
|                       | 04DU9-IKN | 6.0F                 | RJ48C、<br>RJ48M           |
|                       | 04DU9-ISN | 6.0F                 | RJ48C、<br>RJ48M           |
| 120A4 CSU             | 04DU9-DN  | 6.0Y                 | RJ48C                     |

G350 および G700 Media Gateway の場合：

| メーカーのポート<br>識別番号      | FIC コード   | SOC/REN/<br>A.S. コード | コネクタ<br>形状 |
|-----------------------|-----------|----------------------|------------|
| グラندスタート CO<br>トランク   | 02GS2     | 1.0A                 | RJ11C      |
| DID トランク              | 02RV2-T   | AS.0                 | RJ11C      |
| ループスタート CO<br>トランク    | 02LS2     | 0.5A                 | RJ11C      |
| 1.544 デジタル<br>インタフェース | 04DU9-BN  | 6.0Y                 | RJ48C      |
|                       | 04DU9-DN  | 6.0Y                 | RJ48C      |
|                       | 04DU9-IKN | 6.0Y                 | RJ48C      |
|                       | 04DU9-ISN | 6.0Y                 | RJ48C      |
| 基本インタフェース             | 02IS5     | 6.0F                 | RJ49C      |

すべてのメディアゲートウェイの場合：

端末装置（例えば、メディアサーバーまたはメディアゲートウェイ）が電話網に損傷を与える場合、事前に電話会社からサービスを一時中止する必要があるかもしれないという通知があります。事前通知が実行可能でなければ、電話会社はできるだけ早く顧客に知らせます。また、FCC に苦情を申請する必要があると思われる場合には、苦情申請する権利に関する助言を受けます。

電話会社はファシリティ、装置、操作または手順を変更することがあり、このために装置の操作が影響を受ける可能性があります。このような場合には、電話会社は事前に通知し、顧客が必要な変更を行ってサービスの中断を防ぐことができるようにします。

万一、この装置でトラブルが発生した場合、修理または保証に関する情報については、テクニカル・サービスセンター（電話番号 1-800-242-2121）またはお近くのアバイア販売代理店までお問い合わせください。当製品が電話網に損傷を与えている場合、電話会社は、問題が解決されるまで装置の接続を外すように要請することがあります。

この装置を構内配線、電話網に接続するためのプラグおよびジャックは、FCC 規則のパート 68 ならびに、端末接続管理協議会（ACTA）が採択した要件に準拠する必要があります。該当規準に準拠した電話コードおよびモジュラープラグが本製品に付属しており、これは同じ規準に準拠した、互換モジュラージャックにも接続できます。修理はアバイアの認定を受けた技術者が行うことをお勧めします。

当製品は電話会社が提供するコイン式公衆電話で使用することはできません。共同加入線への接続には州税がかかります。詳しくは、州の公共事業委員会、公益事業委員会または企業委員会に問い合わせてください。

電話の受話器を使用する場合、当製品は、補聴器の取り付けが可能です。

#### 設置と修理

装置を設置する前に、ユーザーはこの装置が地元の電話会社の設備に接続可能かどうか確認してください。また、装置は適正な接続方法で接続する必要があります。上記の条件に準拠していても、状況によってはサービスの劣化が防止できない場合があることをご承知おください。

認可された装置の修理は製造元が指定する担当者の指示に従って行ってください。この装置に対してユーザーが行った修理や変更、装置の誤動作は、電話会社から装置を取り外すよう要求される原因となります。

#### 規格準拠に関する宣言

米国 FCC パート 68 製造元の規格準拠に関する宣言 (SDoC)

米国アバイア社は、本書で説明されている、TIA TSB-168 ラベル識別番号が付いた装置が、FCC の規則および規制 47 CFR パート 68 および端末接続管理協議会 (ACTA) が採択した技術規準に準拠していることをここに証明します。

さらに、本書で説明されているアバイア社製のハンドセット付き端末装置が、補聴器適合性を定義した FCC の規則および規制パラグラフ 68.316 に準拠し、補聴器と適合性があると見なされることを断言します。

米国内責任担当者が署名した SDoC のコピーは、最寄りの販売代理店にお問い合わせいただくか、次のウェブサイトから入手可能です。  
<http://www.avaya.com/support>

Avaya Media Server および Media Gateway 製品はすべて FCC パート 68 に準拠していますが、その多くは SDoC プロセスが規定される以前に FCC に登録されました。全アバイア登録製品のリストは、  
<http://www.part68.org> で、「Avaya」を製造元として検索すると表示されます。

#### 欧州適合規格準拠に関する宣言



アバイア社は、本書で説明されている「CE」(Conformité européenne) マークの付いた装置が、電磁適合性規格 (89/336/EEC)、低電圧規格 (73/23/EEC) を含む欧州連合の無線・電気通信端末装置規格 (1999/5/EC) に準拠することを宣言します。

「規格準拠に関する宣言書」(DoCs) のコピーは、最寄りの販売代理店にお問い合わせいただくか、次のウェブサイトから入手可能です。  
<http://www.avaya.com/support>

#### 日本 VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

#### マニュアルのご注文方法

連絡先: Avaya Publications Center  
電話: +1.800.457.1235 または +1.207.866.6701  
FAX: +1.800.457.1764 または +1.207.626.7269

郵送先: Globalware Solutions  
200 Ward Hill Avenue  
Haverhill, MA 01835 USA  
宛先: Avaya Account Management

E-mail: [totalware@gwsmail.com](mailto:totalware@gwsmail.com)

最新バージョンのマニュアルは、次のアバイアサポートウェブサイトから入手できます。  
<http://www.avaya.com/support>

## 目次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 本書について                                | 25 |
| 本書の目的                                 | 25 |
| 対象読者                                  | 25 |
| 本書の内容                                 | 25 |
| 表記法                                   | 25 |
| 警告表示                                  | 27 |
| システム、基板、メディアモジュール                     | 28 |
| 商標                                    | 28 |
| セキュリティについて                            | 28 |
| 関連説明書                                 | 29 |
| フィードバックについて                           | 29 |
| インターネットによる本書の入手方法                     | 30 |
| 印刷版マニュアルのご注文方法                        | 30 |
| アバイアのヘルプライン                           | 31 |
| 第 1 章：Avaya Communication Manager の概要 | 33 |
| オプションソフトウェア                           | 34 |
| 容量                                    | 34 |
| Avaya Installation Wizard             | 34 |
| Gateway Installation Wizard           | 36 |
| Avaya メディアサーバーとメディアゲートウェイ             | 36 |
| Multi-Tech ゲートウェイのサポート                | 36 |
| 第 2 章：アプリケーション・プログラミング・インタフェース        | 37 |
| Application Enablement Services       | 37 |
| ソフトウェアのみのオプション                        | 37 |
| バンドルしたサーバーのオプション                      | 38 |
| CVLAN                                 | 38 |
| ウェブサービス                               | 38 |
| Telephony Service                     | 38 |
| System Management Service             | 39 |
| User Service                          | 39 |
| デバイスおよびメディア制御 API                     | 39 |
| DEFINITY LAN ゲートウェイ                   | 40 |
| アジャнкт／スイッチアプリケーションインタフェース            | 40 |
| JTAPI                                 | 40 |
| TSAPI                                 | 41 |

|                                                       |           |
|-------------------------------------------------------|-----------|
| <b>第 3 章：中継台機能</b>                                    | <b>43</b> |
| 中継台のアクセス                                              | 43        |
| 中継台へのダイヤルアクセス                                         | 43        |
| 個別中継台へのアクセス                                           | 43        |
| リコール                                                  | 43        |
| 中継台バックアップ                                             | 44        |
| アテンダントルームステータス                                        | 44        |
| Distributed Communications System（分散通信システム）プロトコルを使用する |           |
| 中継台の機能                                                | 44        |
| トランクグループ制御                                            | 44        |
| 直接トランクグループ捕捉                                          | 45        |
| 中継台間コール                                               | 45        |
| 呼処理                                                   | 45        |
| 中継台の割り込み                                              | 45        |
| 中継台ロックアウト — プライバシー                                    | 45        |
| アテンダントスプリットスワップ                                       | 45        |
| 中継台ベクタリング                                             | 46        |
| 自動オペレーターサービス                                          | 46        |
| バックアップアラート                                            | 46        |
| コールウェイティング                                            | 46        |
| 着信制限内線への中継台コール                                        | 47        |
| 会議                                                    | 47        |
| リスト・ディレクトリ・ナンバー                                       | 47        |
| 中継台オーバーライド                                            | 47        |
| 優先キューイング                                              | 47        |
| リリースループ操作                                             | 48        |
| 会議のミュート操作の選択                                          | 48        |
| シリアルコール                                               | 48        |
| 時間超過通知と中継台タイマー                                        | 48        |
| 中央中継台                                                 | 49        |
| ディスプレイ                                                | 49        |
| 発呼                                                    | 49        |
| オートスタートと非スプリット                                        | 49        |
| 自動マニュアルスプリット                                          | 49        |
| 呼のモニタリング                                              | 50        |
| 中継台トランクグループ制御                                         | 50        |
| 中継台直接内線選択                                             | 50        |
| 中継台直接トランクグループ捕捉                                       | 50        |
| 中継台への緊急事態通報                                           | 51        |

|                                                   |           |
|---------------------------------------------------|-----------|
| トランクグループ話中／警告表示                                   | 51        |
| 中継台によるトランク識別                                      | 51        |
| ビジュアリー・インペアード・アテンダント・サービス                         | 52        |
| <b>第 4 章：コールセンター</b>                              | <b>53</b> |
| コンピュータテレフォニー統合                                    | 53        |
| Network Call Redirection をサポートする外部装置ルーティング        | 53        |
| 同時常駐 DEFINITY LAN ゲートウェイ                          | 54        |
| ダイレクト・エージェント・アナウンスメント                             | 54        |
| フレキシブルな課金                                         | 54        |
| 保留ワークモード変更                                        | 55        |
| トランクグループ識別                                        | 55        |
| マニュアルでの転送・会議操作中のユーザー間情報伝達                         | 55        |
| ASAI メッセージに対する VDN オーバーライド                        | 55        |
| 自動着信分配                                            | 56        |
| 放棄呼サーチ                                            | 57        |
| 外部装置ルーティング                                        | 58        |
| 連続オートイン・スプリット                                     | 58        |
| 自動番号識別                                            | 58        |
| 着信自動番号識別                                          | 58        |
| 発信自動番号識別                                          | 59        |
| キュー待ち ACD 呼へのローカルフィードバック                          | 59        |
| キュー状態表示                                           | 60        |
| Avaya ベーシックコールマネージメントシステム                         | 60        |
| Avaya Business Advocate                           | 61        |
| 自動リザーブエージェント                                      | 61        |
| スキルによるコール選択オーバーライド                                | 61        |
| ダイナミックな稼働率調整                                      | 61        |
| ダイナミックなキューポジション                                   | 61        |
| ダイナミックなしきい値調整                                     | 61        |
| ログイン Advocate エージェントカウント                          | 62        |
| 稼働率割当                                             | 62        |
| 待ち時間オーバーによるリザーブエージェント起動                           | 62        |
| Avaya G700 Media Gateway でサポートされる Avaya コールセンター機能 | 62        |
| Avaya コールマネージメントシステム                              | 63        |
| Avaya Virtual Routing                             | 63        |
| 拡張情報転送                                            | 64        |
| コールセンター・リリースコントロール                                | 64        |

## 目次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| コールプロンプティング                           | 64 |
| データコレクション                             | 64 |
| データ・イン／音声応答                           | 64 |
| コールベクタリング                             | 65 |
| 拡張ベクタールーティング                          | 65 |
| 平均応答時間ルーティング                          | 65 |
| ベストサービス・ルーティング                        | 65 |
| ベアラチャネル不要の IP ベースのベストサービス・ルーティングポーリング | 65 |
| 予想待ち時間ルーティング                          | 66 |
| コールセンター・メッセージ                         | 66 |
| ホリデーベクタリング                            | 66 |
| ベクターディレクトリ番号                          | 66 |
| VDN の接続制限クラス                          | 67 |
| Route-to DAC 呼における VDN の表示            | 67 |
| カバレッジパスの VDN                          | 67 |
| オリジナル VDN アナウンス                       | 67 |
| VDN 返送先                               | 67 |
| コールワークコード                             | 68 |
| 呼情報転送                                 | 68 |
| サイクリックステーションハントグループ                   | 68 |
| ATM の CMS 測定                          | 68 |
| 被呼先電話番号通知サービス                         | 69 |
| ダイレクト・エージェントコール                       | 69 |
| CMS への二重リンク                           | 69 |
| エージェントログイン ID の複製                     | 69 |
| エージェントログイン ID スキルペアの増加                | 70 |
| エキスパート・エージェント・セレクション                  | 70 |
| スキルの追加と削除                             | 70 |
| スキルベース・ルーティング                         | 70 |
| キューツーベスト ISDN サポート                    | 71 |
| 最少実稼働エージェント                           | 71 |
| 複数呼処理機能（強制）                           | 71 |
| 複数保留音源                                | 71 |
| アナウンスメント／音楽のローカル音源                    | 72 |
| マルチスプリットキューイング                        | 72 |
| Network Call Redirection              | 72 |
| ETSI Explicit Call Transfer シグナリング    | 72 |
| Network Call Redirection 2B チャネル転送    | 73 |

|                                            |        |
|--------------------------------------------|--------|
| PASTE . . . . .                            | 73     |
| 優先キューイング . . . . .                         | 73     |
| 理由コード . . . . .                            | 74     |
| 不応答転送 . . . . .                            | 74     |
| エージェントのリモートログアウト . . . . .                 | 74     |
| モニタ機能 . . . . .                            | 74     |
| COR によるモニタ機能 . . . . .                     | 75     |
| VDN のモニタ機能 . . . . .                       | 75     |
| リモートモニタ機能 . . . . .                        | 75     |
| ベクター起動型モニタリング . . . . .                    | 75     |
| リモートポートネットワークのための設置場所統計 . . . . .          | 76     |
| 公衆網上のユーザー間情報 . . . . .                     | 76     |
| 音声応答インテグレーション . . . . .                    | 76     |
| VuStats . . . . .                          | 76     |
| <br>第 5 章：コラボレーション . . . . .               | <br>77 |
| 会議 . . . . .                               | 77     |
| ハングアップによる会議中止 . . . . .                    | 77     |
| 会議 — 3 者 . . . . .                         | 77     |
| 会議 — 6 者 . . . . .                         | 77     |
| 会議／転送表示プロンプト . . . . .                     | 78     |
| 会議／転送 — 切り替え／スワップ . . . . .                | 78     |
| グループ受話 . . . . .                           | 78     |
| 会議保留／保留解除 . . . . .                        | 78     |
| ミートミーカンファレンス機能 . . . . .                   | 79     |
| 拡張ミートミーカンファレンス機能 . . . . .                 | 79     |
| ダイヤルトーンなしの会議操作 . . . . .                   | 79     |
| 保留なしのカンファレンス . . . . .                     | 80     |
| ラインアピアランス選択による会議 . . . . .                 | 80     |
| 会議参加者の選択表示、切断、ミュート操作 . . . . .             | 80     |
| 会議のミュート操作の選択 . . . . .                     | 81     |
| マルチメディア・コーリング . . . . .                    | 82     |
| マルチメディア・アプリケーションサーバー・インタフェース . . . . .     | 82     |
| ベクターと電話機でのマルチメディア呼事前応答 . . . . .           | 82     |
| マルチメディア呼処理 . . . . .                       | 83     |
| マルチメディア・エンドポイント（端末）へのマルチメディア呼の転送 . . . . . | 83     |
| ESM によるマルチメディアデータ会議（T.120） . . . . .       | 83     |
| マルチメディア保留、会議、転送、切断（ドロップ） . . . . .         | 83     |
| 音声アナウンスメント付きマルチメディア・キューイング . . . . .       | 83     |

## 目次

|                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| ページングとインターカム                          | 84        |
| コードコーリングアクセス                          | 84        |
| グループページング                             | 84        |
| インターカム — 自動                           | 84        |
| インターカム — 自動応答                         | 84        |
| インターカム — ダイヤル                         | 85        |
| スピーカ・ページング・アクセス                       | 85        |
| マニュアル・シグナリング                          | 85        |
| ウィスパーページ                              | 86        |
| <b>第 6 章：対応通信デバイス</b>                 | <b>87</b> |
| Avaya IP Agent                        | 87        |
| Avaya IP Softphone                    | 87        |
| IP Softphone と IP Agent — ロードウォリアーモード | 88        |
| IP Softphone と IP Agent — 共有コントロールモード | 88        |
| IP Softphone と IP Agent — テレコミュタモード   | 88        |
| ポケットコンピュータ用 Avaya IP Softphone        | 88        |
| Avaya Communication Manager PC コンソール  | 89        |
| Avaya SoftConsole                     | 89        |
| ユニコードのサポート                            | 89        |
| ユニコードの QSIG サポート                      | 90        |
| <b>第 7 章：ホテル機能</b>                    | <b>91</b> |
| 英数字ダイヤリング                             | 91        |
| アテンダントルームステータス                        | 91        |
| ダイレクトインダイヤル番号の自動選択                    | 91        |
| 自動モーニングコール                            | 91        |
| チェックイン／チェックアウト                        | 92        |
| ユーザーが選択可能な VIP DID 番号                 | 92        |
| デイリーモーニングコール                          | 92        |
| 名前によるダイヤリング                           | 93        |
| 着信拒否（ホテル）                             | 93        |
| モーニングコール 2 回呼び                        | 93        |
| ハウスキーピングステータス                         | 93        |
| 氏名登録                                  | 94        |
| プロパティ・マネジメント・システム付加番号の挿入／削除           | 94        |
| プロパティ・マネジメント・システム・インタフェース             | 94        |
| 一桁ダイヤリングと混合桁ダイヤリング                    | 95        |

|                                                            |            |
|------------------------------------------------------------|------------|
| Suite Check-In . . . . .                                   | 95         |
| VIP モーニングコール . . . . .                                     | 95         |
| 確認トーンによるモーニングコール起動 . . . . .                               | 95         |
| Xiox Call Accounting . . . . .                             | 96         |
| <b>第 8 章：ローカライゼーション . . . . .</b>                          | <b>97</b>  |
| 表示言語の設定変更 . . . . .                                        | 97         |
| 可変ロスプラン . . . . .                                          | 97         |
| Bellcore 方式発信者 ID . . . . .                                | 97         |
| コレクトコール阻止 . . . . .                                        | 98         |
| 話中音切断 . . . . .                                            | 98         |
| 各国仕様のローカライゼーション . . . . .                                  | 98         |
| イタリア . . . . .                                             | 98         |
| Distributed Communications System（分散通信システム）プロトコル . . . . . | 98         |
| 日本 . . . . .                                               | 99         |
| TTC Q931a 専用線プロトコルのサポート . . . . .                          | 99         |
| カタカナ文字セット . . . . .                                        | 99         |
| ロシア . . . . .                                              | 99         |
| G700 Media Gateway での局用交換機サポート . . . . .                   | 99         |
| ISDN/DATS ネットワークサポート . . . . .                             | 99         |
| マルチ周波数パケットシグナリング . . . . .                                 | 99         |
| E&M シグナリング — 連続およびパルス式 . . . . .                           | 100        |
| マルチナショナルロケーション . . . . .                                   | 100        |
| ロケーションごとのアナログライン基板パラメータ . . . . .                          | 101        |
| ロケーションごとの DCP 電話機／基板の圧縮 . . . . .                          | 101        |
| 課金データ記録のロケーション ID . . . . .                                | 101        |
| ロケーションごとのロスプラン . . . . .                                   | 101        |
| トランクグループごとのマルチ周波数シグナリング . . . . .                          | 102        |
| ロケーションごとのトーン生成 . . . . .                                   | 102        |
| 公衆網コールの優先 . . . . .                                        | 102        |
| ワールドクラストーン検出 . . . . .                                     | 103        |
| <b>第 9 章：メッセージ統合 . . . . .</b>                             | <b>105</b> |
| 可聴音メッセージウェイティング . . . . .                                  | 105        |
| Avaya Interactive Response . . . . .                       | 105        |
| モードコード接続による集中化ボイスメール . . . . .                             | 105        |
| 二重化された DCP I チャネル . . . . .                                | 106        |
| EMBEDDED AUDIX . . . . .                                   | 106        |

## 目次

|                                                  |         |
|--------------------------------------------------|---------|
| INTUITY AUDIX                                    | 108     |
| Avaya IA770 INTUITY AUDIX メッセージングアプリケーション        | 109     |
| INTUITY AUDIX 内蔵 S8100 Media Server              | 109     |
| AUDIX のワンステップ録音                                  | 110     |
| INTUITY コール・アカウンティング・システム                        | 111     |
| INTUITY ロジック                                     | 111     |
| INTUITY ロジック・アカウンティング・システム                       | 112     |
| メッセージ機能                                          | 112     |
| メッセージ機能 — QSIG/DCS                               | 112     |
| マニュアル・メッセージ・ウェイティング                              | 113     |
| メッセージ・デマンドプリント                                   | 113     |
| メッセージの確認                                         | 113     |
| ディスプレイ上でのメッセージ確認                                 | 113     |
| スピークツーマー                                         | 114     |
| Message Sequence Tracer の拡張機能                    | 114     |
| モードコード・インタフェース                                   | 114     |
| Octel の統合                                        | 115     |
| QSIG/DCS ボイスメール接続                                | 115     |
| 複数の QSIG ボイスメール・ハントグループ                          | 115     |
| ボイスメール再生ボタン                                      | 115     |
| ボイスメッセージ再生                                       | 116     |
| ボイスメッセージングおよびコールカバレッジ                            | 116     |
| <br>第 10 章：モバイル対応                                | <br>119 |
| 架空内線                                             | 119     |
| 電話機の自動移設                                         | 119     |
| Avaya Wireless Telephone Solutions               | 120     |
| Avaya セルラー内線                                     | 120     |
| PBX 外部の電話機                                       | 121     |
| IP 配線接続された内線番号用の E911 ELIN                       | 121     |
| IP 電話機の E911 デバイス位置                              | 122     |
| デバイス位置の E911 SCCAN サポート                          | 122     |
| パーソナル・ステーションアクセス                                 | 123     |
| 不応答理由コード                                         | 123     |
| 名前／番号固定表示                                        | 123     |
| Seamless Converged Communication Across Networks | 124     |
| ターミナルトランスレーションの初期化                               | 124     |

|                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| TransTalk 9000 デジタルワイヤレスシステム     | 124        |
| X-station mobility               | 125        |
| <b>第 11 章：ポートネットワークとゲートウェイ接続</b> | <b>127</b> |
| 非同期転送モード                         | 127        |
| ATM WAN スペアプロセッサマネージャー           | 127        |
| ポートネットワーク接続                      | 127        |
| WAN によるポートネットワーク接続               | 128        |
| WAN スペアプロセッサ                     | 128        |
| 回線交換                             | 129        |
| センターステージ・スイッチ                    | 129        |
| センターステージ・スイッチ分離                  | 129        |
| インターネットプロトコル (IP)                | 129        |
| H.248 メディアゲートウェイ制御               | 129        |
| ゲートウェイ間迂回機能                      | 129        |
| Network Region Wizard            | 130        |
| IP ポートネットワーク接続                   | 130        |
| リンク復旧                            | 130        |
| ベアラとシグナリングの分離                    | 132        |
| <b>第 12 章：トランク接続</b>             | <b>133</b> |
| 非同期転送モード                         | 133        |
| 回線エミュレーションサービス                   | 133        |
| ATM の CMS 測定                     | 133        |
| 回線交換                             | 133        |
| DS1 トランクサービス                     | 133        |
| エコーキャンセル機能付き UDS1 基板             | 134        |
| E1                               | 134        |
| T1                               | 134        |
| TDM ステーションと TDM トランクの個別ライセンス     | 134        |
| インターネットプロトコル (IP)                | 135        |
| H.323 トランク                       | 135        |
| IP ロスグループ                        | 135        |
| IP トランク                          | 135        |
| セッション開始プロトコル                     | 136        |
| SIP トランク                         | 136        |
| AUX トランク                         | 137        |
| アドバンスド・プライベートライン・ターミネーション        | 137        |

## 目次

|                                      |         |
|--------------------------------------|---------|
| 局用交換機                                | 137     |
| G700 Media Gateway での局用交換機サポート — ロシア | 137     |
| デジタル多重インタフェース                        | 138     |
| ビットオリエンテッド・シグナリング                    | 138     |
| メッセージ対応シグナリング                        | 138     |
| ダイレクトインダイヤル                          | 138     |
| PBX ダイヤルイン                           | 139     |
| E&M シグナリング — 連続およびパルス式               | 139     |
| E911 CAMA トランクグループ                   | 139     |
| 米国フォーリンエクスチェンジ                       | 139     |
| ISDN トランク                            | 139     |
| 自動端末終端点識別子                           | 140     |
| コールバイコール・サービス選択                      | 140     |
| ETSI 機能                              | 140     |
| ファシリティおよびノン・ファシリティ・アソシエイテッド・シグナリング   | 141     |
| Feature Plus                         | 141     |
| ISDN 基本インタフェース                       | 141     |
| 複数加入者番号 — 制限                         | 142     |
| TN556C の NT インタフェース                  | 143     |
| 表示規制                                 | 143     |
| ワイドバンドスイッチング                         | 143     |
| マルチ周波数パケットシグナリング — ロシア               | 143     |
| TTC Q931a 専用線プロトコルのサポート — 日本         | 143     |
| 個人用局線                                | 144     |
| リリースリンクトランク                          | 144     |
| 専用線トランク                              | 144     |
| 発信トランクコールの時間超過自動切断                   | 144     |
| 米国広域電信サービス                           | 145     |
| <br>第 13 章：公衆網ネットワークと接続              | <br>147 |
| アナログトランクからの発信者 ID                    | 147     |
| デジタルトランクからの発信者 ID                    | 147     |
| DS1 トランクサービス                         | 147     |
| エコーキャンセル機能付き UDS1 基板                 | 147     |
| E1                                   | 147     |
| T1                                   | 148     |
| フレキシブルな課金                            | 148     |

|                                                    |            |
|----------------------------------------------------|------------|
| ローカル局用交換機トランク                                      | 148        |
| 800 番サービストランク                                      | 148        |
| 局用交換機トランク                                          | 148        |
| デジタルサービス 1 トランク                                    | 148        |
| ダイレクトインダイヤルトランク                                    | 148        |
| PBX ダイアルイントランク                                     | 149        |
| 米国フォーリンエクスチェンジトランク                                 | 149        |
| 米国広域電信サービス                                         | 149        |
| <b>第 14 章：インテリジェントネットワーク</b>                       | <b>151</b> |
| Avaya VoIP Monitoring Manager                      | 151        |
| Distributed Communications System (分散通信システム) プロトコル | 151        |
| DCS 付き中継台                                          | 151        |
| 直接トランクグループ捕捉                                       | 151        |
| ディスプレイ                                             | 151        |
| DCS 自動回路保証                                         | 151        |
| ISDN-PRI D チャネル上の DCS                              | 152        |
| DCS プロトコル — イタリア                                   | 152        |
| 再迂回機能付き DCS                                        | 152        |
| QSIG/DCS ボイスメール接続                                  | 152        |
| 電子タンデムネットワーク                                       | 152        |
| 条件付自動迂回機能                                          | 153        |
| トランクシグナリングとエラー回復                                   | 153        |
| 内線番号ポータビリティ                                        | 153        |
| インターネットプロトコル (IP)                                  | 153        |
| 代替ゲートキーパー (Alternate Gatekeeper) と登録アドレス           | 154        |
| クラスレスドメイン間ルーティング                                   | 155        |
| CLAN ごとの複数ネットワークリージョン                              | 155        |
| ネットワークリージョンごとのマルチロケーション対応                          | 156        |
| ネットワークリージョン                                        | 156        |
| QoS                                                | 156        |
| 802.1p/Q                                           | 157        |
| Camp-on/Busy-out                                   | 157        |
| 呼受け付け制御バンド幅管理                                      | 157        |
| CLAN 負荷バランス調整                                      | 157        |
| CODEC (変調復調プロトコル)                                  | 158        |
| DiffServ                                           | 158        |
| ダイナミックジッターバッファ                                     | 158        |
| Cajun Rules によるインテグレーション                           | 158        |
| IP 過負荷制御                                           | 158        |

|                                        |     |
|----------------------------------------|-----|
| 呼制御の QoS                               | 159 |
| VoIP の QoS                             | 159 |
| エンドポイントへの QoS                          | 159 |
| Resource Reservation Protocol          | 159 |
| IP 上の FAX 送受信                          | 160 |
| モデムオーバー IP                             | 160 |
| 中継モード                                  | 160 |
| パススルーモード                               | 161 |
| 暗号化                                    | 161 |
| インターネット上の T.38 FAX                     | 161 |
| パススルーモード                               | 162 |
| シャフリングとヘアピン接続                          | 162 |
| NAT のシャフリング                            | 163 |
| TTY                                    | 163 |
| アナログおよびデジタルトランク上の TTY                  | 165 |
| Avaya IP トランク上の TTY                    | 165 |
| TTY 中継モード                              | 165 |
| TTY パススルーモード                           | 165 |
| 可変長 ping                               | 166 |
| 可変長サブネットマスク                            | 166 |
| QSIG                                   | 166 |
| 基本                                     | 166 |
| 完了呼                                    | 167 |
| 可変不在転送（迂回転送）                           | 167 |
| 呼独立シグナリング接続                            | 167 |
| コールオファー                                | 167 |
| 転送                                     | 168 |
| 被呼者名 ID                                | 168 |
| 中央中継台                                  | 168 |
| 接続制限クラスの中継台ディスプレイ                      | 168 |
| 中継台リターンコール                             | 168 |
| 優先キューイング                               | 168 |
| PRI による RLT エミュレーション                   | 169 |
| Communication Manager と Octel QSIG の統合 | 169 |
| メッセージ機能                                | 169 |
| メーカー特有情報                               | 169 |
| メッセージ・ウェイティング・ランプ                      | 169 |
| 名前／電話番号識別                              | 170 |
| パス接続保持付きパス再接続機能                        | 170 |
| QSIG/DCS ボイスメール接続                      | 170 |

|                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| ボイスメールに接続後のパス最適化                 | 170        |
| 個別動作パス再接続機能                      | 171        |
| サブリメンタリーサービスと再迂回機能               | 171        |
| VALU                             | 171        |
| コールカバレッジ                         | 171        |
| コールカバレッジと CAS                    | 171        |
| 識別呼出し                            | 172        |
| ユニフォーム・ダイヤルプラン                   | 172        |
| ダイヤルプラン拡張                        | 172        |
| マルチロケーション・ダイヤルプラン                | 172        |
| 電話機ディスプレイの桁区切り                   | 173        |
| 拡張トランクアクセス                       | 174        |
| 内線番号ポータビリティ                      | 174        |
| <b>第 15 章：データインタフェース</b>         | <b>175</b> |
| 固定接続                             | 175        |
| データコールセットアップ                     | 175        |
| データホットライン                        | 175        |
| データモジュール                         | 175        |
| データプライバシー                        | 176        |
| データ制限                            | 176        |
| デフォルト・ダイヤリング                     | 176        |
| IP 非同期リンク                        | 177        |
| モデムプーリング                         | 177        |
| マルチメディア・アプリケーションサーバー・インタフェース     | 178        |
| マルチメディア・コーリング                    | 179        |
| ベクターと電話機でのマルチメディア呼事前応答           | 179        |
| マルチメディア呼処理                       | 180        |
| マルチメディア・エンドポイント（端末）へのマルチメディア呼の転送 | 181        |
| ESM によるマルチメディアデータ会議（T.120）       | 181        |
| マルチメディア保留、会議、転送、切断（ドロップ）         | 181        |
| マルチメディア複数ポートネットワーク               | 181        |
| ワールドクラス BRI エンドポイントへの課金情報通知      | 181        |
| <b>第 16 章：コール・ルーティング</b>         | <b>183</b> |
| オールタネイト・ファシリティ制限レベル（AFRL）        | 183        |
| 自動迂回機能（AAR/ARS）                  | 183        |
| 自動迂回機能（AAR）                      | 183        |

|                                                   |            |
|---------------------------------------------------|------------|
| 自動迂回機能 (ARS) . . . . .                            | 184        |
| FAC のない ARS/AAR ダイヤリング . . . . .                  | 184        |
| AAR/ARS オーバーラップ送信 . . . . .                       | 184        |
| AAR/ARS パーティショニング . . . . .                       | 184        |
| 一般迂回機能 . . . . .                                  | 185        |
| ルックアヘッド迂回機能 . . . . .                             | 185        |
| ノード番号迂回 . . . . .                                 | 185        |
| 時刻迂回機能 . . . . .                                  | 185        |
| マルチロケーション対応 . . . . .                             | 186        |
| ネットワークリージョンごとのマルチロケーション対応 . . . . .               | 186        |
| トラベリングクラスマーク . . . . .                            | 186        |
| 応答検出 . . . . .                                    | 186        |
| タイムアウトによる疑似応答 . . . . .                           | 186        |
| コールクラシファイア基板 . . . . .                            | 187        |
| ネットワークからの応答監視 . . . . .                           | 187        |
| <b>第 17 章：信頼性と存続性 . . . . .</b>                   | <b>189</b> |
| 代替ゲートキーパー (Alternate Gatekeeper) . . . . .        | 189        |
| H.248 ゲートウェイの主サーバー自動フォールバック . . . . .             | 189        |
| H.248 メディアゲートウェイの接続保持フェイルオーバー／フェイルバック . . . . .   | 190        |
| 二重化サーバーの接続保持アップグレード . . . . .                     | 190        |
| エンタープライズサバイバルサーバー . . . . .                       | 191        |
| ローカルサバイバルプロセッサ . . . . .                          | 191        |
| サーバー／LSP ソフトウェアとライセンスの自動アップグレードツール . . . . .      | 192        |
| CLAN ごとの複数ネットワークリージョン . . . . .                   | 192        |
| 非常切替 . . . . .                                    | 192        |
| サバイバルリモート EPN . . . . .                           | 193        |
| WAN スペアプロセッサ . . . . .                            | 193        |
| <b>第 18 章：セキュリティ、プライバシー、安全機能 . . . . .</b>        | <b>195</b> |
| システム管理者 . . . . .                                 | 195        |
| アクセス・セキュリティ・ゲートウェイ . . . . .                      | 195        |
| 暗号化アルゴリズム、ベアラチャネル用 . . . . .                      | 195        |
| オールタナイト・ファシリティ制限レベル . . . . .                     | 195        |
| オールタナイト・オペレーション・サポート・システム (AOS) のアラーム番号 . . . . . | 196        |
| プライバシー — 中継台ロックアウト . . . . .                      | 196        |
| 認証 (オーソリゼーション) コード — 13 桁 . . . . .               | 196        |
| 発着信制限 . . . . .                                   | 197        |

|                                             |     |
|---------------------------------------------|-----|
| Class of Restriction (接続制限クラス) . . . . .    | 197 |
| コレクトコール阻止 . . . . .                         | 197 |
| 顧客設置のアラーム装置 . . . . .                       | 197 |
| データプライバシー . . . . .                         | 197 |
| データ制限 . . . . .                             | 198 |
| ファシリティ制限レベルおよびトラベリングクラスマーク . . . . .        | 198 |
| H.248 リンク暗号化 . . . . .                      | 198 |
| マリシャス・コール・トレース (悪意呼トレース) . . . . .          | 198 |
| マリシャス・コール・トレース (悪意呼トレース) ロギング . . . . .     | 199 |
| メディア暗号化 . . . . .                           | 199 |
| ライセンスファイルの要件 . . . . .                      | 200 |
| 制限 — 制御 . . . . .                           | 200 |
| セキュアシェルとセキュア FTP . . . . .                  | 201 |
| IP 電話機構成ファイルのセキュリティ . . . . .               | 201 |
| IP 電話機登録 /H.323 シグナリングチャネルのセキュリティ . . . . . | 201 |
| セキュリティ違反通知 . . . . .                        | 202 |
| SIP トランクのシグナリング暗号化 . . . . .                | 202 |
| 内線セキュリティコード . . . . .                       | 202 |
| Tripwire セキュリティ . . . . .                   | 203 |
| エンドユーザー . . . . .                           | 203 |
| バックアップアラート . . . . .                        | 203 |
| バリアコード . . . . .                            | 203 |
| 発呼者／被呼者番号制限 . . . . .                       | 204 |
| 呼ごとの CPN 制限 . . . . .                       | 204 |
| 回線ごとの CPN 制限 . . . . .                      | 204 |
| デジタルポケットベルへの緊急事態通報 . . . . .                | 204 |
| デジタル電話機への緊急事態通報 . . . . .                   | 205 |
| 中継台への緊急事態通報 . . . . .                       | 205 |
| 緊急時中継台アクセス . . . . .                        | 206 |
| E911 CAMA トランクグループ . . . . .                | 206 |
| プライバシー — 自動通話割り込み禁止 . . . . .               | 206 |
| プライバシー — 通話割り込み禁止 . . . . .                 | 206 |
| 制限 — 制御 . . . . .                           | 206 |
| 電話機ロック . . . . .                            | 206 |
| 第 19 章：システム管理 . . . . .                     | 207 |
| 架空内線 . . . . .                              | 207 |
| オールタネイト・ファシリティ制限レベル (AFRL) . . . . .        | 207 |
| アナウンスメント . . . . .                          | 208 |
| 認証 (オーソリゼーション) コード — 13 桁 . . . . .         | 208 |

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 自動回路保証                          | 208 |
| 自動伝送測定システム                      | 208 |
| バリアコード                          | 208 |
| 揭示板機能                           | 209 |
| 話中確認 — 電話機／トランク                 | 209 |
| 通話料金情報                          | 209 |
| 課金データ                           | 210 |
| 物理的な内線番号の課金データ表示                | 210 |
| 発着信制限                           | 210 |
| 発呼者番号／課金番号                      | 210 |
| Class of Restriction（接続制限クラス）   | 211 |
| サービスクラス                         | 211 |
| クラスレスドメイン間ルーティング                | 211 |
| 複数ユーザーの同時使用                     | 212 |
| 顧客設置のアラーム装置                     | 212 |
| ユーザーによる電話機起動                    | 212 |
| DCS 自動回路保証                      | 212 |
| 外部装置アラーム                        | 213 |
| 話中表示                            | 213 |
| ファシリティ制限レベルおよびトラベリングクラスマーク      | 213 |
| ファシリティテストコール                    | 213 |
| ファームウェアのダウンロード                  | 214 |
| MCC1 Media Gateway で最大 5 つの EPN | 214 |
| インフォメーションおよびレポート                | 215 |
| 履歴レポートの解析機能                     | 217 |
| IP 非同期リンク                       | 218 |
| マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）         | 218 |
| マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）ロギング     | 218 |
| 保留音                             | 218 |
| ローカル保留音                         | 218 |
| 複数保留音源                          | 219 |
| 制限 — 制御                         | 219 |
| スケジューリング                        | 219 |
| セキュリティ違反通知                      | 219 |
| 内線セキュリティコード                     | 220 |
| テナントパーティショニング                   | 220 |

|                                                       |            |
|-------------------------------------------------------|------------|
| ターミナルトランスレーションの初期化                                    | 220        |
| LAN 経由時刻同期                                            | 220        |
| Linux プラットホーム                                         | 221        |
| UNIX プラットホーム                                          | 221        |
| トランクグループ回路                                            | 221        |
| 可変長 ping                                              | 221        |
| 可変長サブネットマスク                                           | 221        |
| Avaya Integrated Management                           | 222        |
| ATM WAN スペアプロセッサマネージャー                                | 222        |
| Avaya Communication Manager Configuration Manager     | 222        |
| Avaya Communication Manager Fault/Performance Manager | 222        |
| Avaya Site Administration                             | 223        |
| Voice Announcement over LAN Manager                   | 223        |
| Avaya VoIP Monitoring Manager                         | 223        |
| ディレクトリ                                                | 223        |
| 設定変更通知                                                | 224        |
| Avaya Directory Enabled Management                    | 224        |
| Lightweight Directory Access Protocol                 | 224        |
| <b>第 20 章：テレコミュティングとリモートオフィス</b>                      | <b>225</b> |
| オフネット転送呼のカバレッジ                                        | 225        |
| 再転送呼の拡張ユーザー管理（テレコミュティングアクセス）                          | 225        |
| IP Softphone と IP Agent — ロードウォリアーモード                 | 225        |
| IP Softphone と IP Agent — 共有コントロールモード                 | 226        |
| IP Softphone と IP Agent — テレコミュータモード                  | 226        |
| IP Softphone                                          | 226        |
| 内線延長（構外）                                              | 226        |
| リモートアクセス                                              | 226        |
| <b>第 21 章：テレフォニー</b>                                  | <b>227</b> |
| 短縮ダイヤル                                                | 227        |
| 短縮ダイヤルラベリング                                           | 227        |
| 短縮ダイヤル・オンフック・プログラミング                                  | 227        |
| アクティブダイヤリング                                           | 228        |
| タイムアウト設定可能コールタイマー                                     | 228        |
| 英数字ダイヤリング                                             | 228        |
| 内線キャンブオン                                              | 228        |
| アナログ電話機の内線キャンブオン                                      | 228        |

## 目次

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 自動保留機能                     | 229 |
| Belcore 方式発信者 ID           | 229 |
| ブリッジコールアピランス — デジタル電話機     | 229 |
| ブリッジコールアピランス — アナログ電話機     | 230 |
| コールカバレッジ                   | 230 |
| 英数字のフィールド表示                | 230 |
| 可変カバレッジパス                  | 230 |
| 時刻                         | 231 |
| 呼の転送                       | 231 |
| 可変不在転送話中／不応答               | 231 |
| 可変不在転送                     | 231 |
| 可変不在転送オーバーライド              | 231 |
| 呼転送の間隔                     | 231 |
| コールパーク                     | 232 |
| コールピックアップ                  | 232 |
| グループコールピックアップ              | 232 |
| アナログトランクからの発信者 ID          | 232 |
| デジタルトランクからの発信者 ID          | 232 |
| サイクリックステーションハントグループ        | 233 |
| 会議                         | 233 |
| コンサルト                      | 233 |
| カバレッジコールバック                | 233 |
| カバレッジ着信呼識別                 | 233 |
| 不応答呼の切断                    | 234 |
| 個別呼び出し音の設定                 | 234 |
| 非特定 IP エンドポイントからの緊急電話      | 234 |
| 拡張短縮ダイヤル                   | 235 |
| 拡張電話機ディスプレイ                | 235 |
| Enterprise Wide Licensing  | 235 |
| ゴーツーカバー機能                  | 235 |
| 保留                         | 236 |
| インターカム — 自動応答              | 236 |
| インターナル・オートマチック・アンサー        | 236 |
| リダイヤル                      | 236 |
| ローカル呼タイマー・オートマチックスタート／ストップ | 237 |
| 長時間保留警告                    | 237 |
| マニュアル・オリジネイティング・ラインサービス    | 237 |

|                                          |     |
|------------------------------------------|-----|
| ミスオペレーション処理機能                            | 237 |
| コールアピランスボタン優先指定                          | 238 |
| Multiple level precedence and preemption | 238 |
| 優先コーリングのアナウンスメント                         | 239 |
| 二重ホーミング                                  | 239 |
| エンドオフィス・アクセスラインハンティング                    | 239 |
| ライン負荷制御                                  | 240 |
| 優先コールウェイティング                             | 240 |
| 優先コーリング                                  | 240 |
| 優先迂回                                     | 241 |
| プリエンプション                                 | 241 |
| 国際ナンバリングおよびダイヤリングプラン                     | 241 |
| ナイトサービス                                  | 241 |
| 拡張ナイトサービス                                | 242 |
| ライセンスモード                                 | 242 |
| 正常ライセンスモード                               | 243 |
| エラーライセンスモード                              | 243 |
| 非ライセンスモード                                | 243 |
| パーソナルリングング                               | 244 |
| メッセージ掲示                                  | 244 |
| 優先電話                                     | 245 |
| プルトランスファー                                | 245 |
| リコールシグナリング                               | 245 |
| ディクテーションアクセス                             | 245 |
| リセットシフトコール                               | 246 |
| リングバック・キューイング                            | 246 |
| リングカットオフ                                 | 246 |
| リングング — 呼び出し音の設定                         | 246 |
| 呼び出し音オプション                               | 247 |
| 離席機能 (Send All Calls)                    | 247 |
| スペシャルダイヤルトーン                             | 247 |
| 話中転送 (ステーションハンティング)                      | 247 |
| カバレッジ前のステーションハンティング                      | 248 |
| ステーションセルフディスプレイ                          | 248 |
| アナログ内線共有                                 | 248 |
| Hewlett Packard DL380G2 サーバーのサポート        | 248 |
| 電話機ディスプレイ                                | 249 |

## 目次

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| 電話機個別機能設定 . . . . .            | 249 |
| 一時的ブリッジド・アピアランス . . . . .      | 249 |
| 同時着信音グループ . . . . .            | 249 |
| 時刻迂回機能 . . . . .               | 250 |
| 発信トランクコールの時間超過自動切断 . . . . .   | 250 |
| 転送 . . . . .                   | 250 |
| 転送の中止 . . . . .                | 251 |
| 転送 — 発信トランクから発信トランクへ . . . . . | 251 |
| 転送呼返し . . . . .                | 251 |
| ハングアップによる転送 . . . . .          | 251 |
| トランク間転送 . . . . .              | 251 |
| トランク・フラッシュ . . . . .           | 252 |
| 索引 . . . . .                   | 253 |

# 本書について

---

## 本書の目的

本書では、Avaya Communication Manager の機能について、一般的な説明をします。本書では、Communication Manager を実行するプラットフォームの実践的でクリエイティブなアプリケーションについても説明します。

現在のソフトウェアリリースでの変更について詳しくは、*Highlights of Avaya Communication Manager* を参照してください。

---

## 対象読者

本書は、Communication Manager の購入を考慮している方や、本システムおよびその使用法について詳しい情報を必要とする、アバイアの販売代理店を対象としています。

---

## 本書の内容

本書の内容は、世界で販売されている Communication Manager の全機能および全性能の概要です。

### 注記：

国によっては、使用できない製品があります。どの機能が利用できるかについては、最寄りの販売代理店にご相談ください。

---

## 表記法

本書では、下記の用語や表記法が使用されています。これらを覚えておくと、本書がさらに使いやすくなり、Communication Manager の操作に役立ちます。

- 「画面」とは、ターミナルのモニタ画面に表示されるフィールドとプロンプトのディスプレイのことです。本書における画面の記載例は、200 ページの [図 7：「Optional Features 画面」](#) を参照してください。

- 本書では、「電話機」(telephone) という用語を使います。アバイアの他のマニュアルでは、「ボイスターミナル」(voice terminal)、「ステーション」(station)、「エンドポイント」(endpoint) などと呼ぶこともあります。
- キーとボタンは太字で示します。例：**Key** (キー)
- 画面のタイトルは太字で示します。例：**Screen Name** (画面名)
- フィールド名は太字で示します。例：**Field Name** (フィールド名)
- フィールドに入力するコマンド以外のテキストは、太字で示します。  
例：**text** (テキスト)
- コマンドは太字の等幅フォントで示します。例：**command** (コマンド)
- 変数は太字等幅フォントのイタリック体で示します。例：***variable*** (変数)
- 本書ではコマンドを完全な形で表記してありますが、短縮コマンドも使用することができます。例えば、**list configuration station** と入力する代わりに、**list config sta** と入力できます。
- コマンドの入力方法やフィールドへの入力方法がわからない場合は、**Help** を押してください。
  - コマンド行にカーソルを置いて **Help** を押すと、利用できるコマンドの一覧表が表示されます。
  - 画面上のフィールドにカーソルを置いた状態で **Help** を押すと、そのフィールドに使用できる有効な入力項目の一覧表が表示されます。
- システムから表示されるメッセージは太字で示します。例：**system message** (システムメッセージ)
- 画面上でのフィールド間の移動には、キーボードの **Tab** キー、矢印キー、**Enter** キーを使用します。
- ターミナルエミュレータ・ソフトウェアをご使用の場合は、**Enter**、**Return**、**Cancel**、**Help**、**Next Page** などに対応するキーを設定する必要があります。
- コマンドや画面の内容は、最新の **Communication Manager** を参考に記載してありますが、ご使用のシステムとは異なる場合があります。その場合は、ご使用のシステムに適するコマンドを使用し、使用法についてはお手持ちのマニュアルを参照してください。
- ディスプレイの一番下の部分に、状態行やメッセージ行があります。ここにはシステムからのメッセージが表示されます。入力後、メッセージ行に表示されるシステムからの応答を確認してください。ヘルプラインへの問い合わせが必要な場合は、このメッセージを書き取ってください。
- **Enter** キーを押して変更を保存する必要がある場合は、押すと作業中の画面が消去され、カーソルはコマンドプロンプトに戻ります。メッセージ行には、「**command successfully completed**」(コマンド完了) と表示され、システムが変更を受け付けたことを知らせます。

---

## 警告表示

本書で使用される警告表示には、次の意味があります。

### 注記：

注記は、本文の内容を補う中立または肯定的な情報に注意を促します。また、本文とは独立した貴重な情報に注意を促すこともあります。

### 重要：

重要な注記は、重大な問題を引き起こすおそれのある状況に注意を促します。

### ヒント：

ヒントは、本文で説明するテクニックや手順を適用する際に役立つ情報に注意を促します。ヒントには、キーボードのショートカットや、説明を要する代替方法に関する情報が含まれる場合もあります。

### 注意：

注意事項は、ソフトウェアの誤動作、データ損失、サービス中断等を引き起こすおそれのある状況に注意を促します。

### 警告：

警告事項は、ハードウェアや装置の誤作動を引き起こすおそれのある状況に注意を促します。

### 危険：

危険事項は、人的傷害を引き起こすおそれのある状況に注意を促します。

### セキュリティ警告：

セキュリティ警告は、料金不正使用など、貴社電気通信システムの無断使用の危険性を高めるおそれのある状況に注意を促します。

### 静電気警告：

静電気警告は、静電気放電（ESD: Electrostatic Discharge）によって電子部品の損傷を引き起こすおそれのある状況に注意を促します。

---

## システム、基板、メディアモジュール

- 「システム」とは、Communication Manager を実行している Avaya Media Server を包括的に示す一般的な用語です。
- 基板コード（例えば、TN780 または TN2182B）は、**最下位の対応**アルファベット末尾文字（例えば、TN2182B の「B」）とともに示します。通常は、この末尾アルファベットより上位のコードにも対応可能です。ただし、最下位対応コードまたは上位コードの**ヴィンテージ**が、常に対応可能とは限りません。ちなみに、末尾文字「P」は、その基板にファームウェアをダウンロードできることを示します。
- 「キャビネット」は、MCC1、SCC1、CMC1、G600、G650 Media Gateway の外箱（シェル）です。基板は、キャビネット内特定キャリア（列）の、専用スロットに装着します。
- 基板アドレス指定の「**UUCSSpp**」は、基板の位置（アドレス）をキャビネットーキャリアー スロットー ポートの順に示します。このアドレス指定で、**UU** はキャビネット番号、**C** はキャリアの識別文字、**SS** は特定基板の専用スロット番号、**pp** は（該当があれば）基板上の特定ポートです。MCC1 Media Gateway 基板のポート 4 のサンプルアドレスは、例えば 02A0704 となります。
- G350 または G700 Media Gateway では、基板の代わりにメディアモジュールが使用されます。メディアモジュールのアドレスは、**XXXVSpp** で指定します。**XXX** は Media Gateway の設定番号、**VS** は Media Gateway 上の特定メディアモジュール専用スロット番号、**pp** は（該当があれば）メディアモジュールの特定ポート番号です。**V** は変数ではなく、コマンドには正確に記述する必要があります。G700 Media Gateway の MM711 Media Module 専用 V3 スロットにある、ポート 4 のサンプルアドレスは、例えば 002V304 となります。G700 Media Gateway に S8300 Media Server を装着する場合は、V1 スロットに装着します。

---

## 商標

® または ™ が付いたトレードマークは、Avaya, Inc. の登録商標および商標です。その他の商標は、所有する各社の財産です。

---

## セキュリティについて

料金不正使用とは、正規の料金を払わずに長距離電話をかけることです。料金不正使用が発生すると、その料金は貴社の負担となります。料金不正使用防止について詳しくは、*Avaya Toll Fraud and Security Handbook*, 555-025-600 を参照してください。または、アバイアのセキュリティ・ホットライン（米国：+1 800 643 2353）か、お近くのアバイア販売代理店までお問い合わせください。

---

## 関連説明書

*Administrator Guide for Avaya Communication Manager, 555-233-506* では、システムの諸機能および相互関係についてより詳しく説明しています。*Administrator Guide for Avaya Communication Manager* では、システムの設計、操作、管理についても説明しています。

### 注記：

なお、このマニュアルは、1997 年 4 月以前には *DEFINITY Implementation*、および *DEFINITY Feature Description* の 2 冊であったものをまとめたものです。

次の説明書にも、追加情報が記載されています。

- *Avaya Toll Fraud and Security Handbook, 555-025-600*
- 『Avaya Communication Manager ハードウェアガイド、555-245-207JA』
- *Highlights of Avaya Communication Manager, 03-300123*
- *Feature Description and Implementation of Avaya Communication Manager, 555-245-205*

---

## フィードバックについて

このマニュアルについてご意見をお寄せください。いただいたフィードバックに対してお返事は差し上げられませんが、すべてのご意見を拝見した上で、今後の参考にさせていただきます。お寄せいただくご批判、ご助言が、本書の改善に大きく役立ちます。

郵送先： Avaya  
Product Documentation  
Group  
Room B3-H29  
1300 W. 120th Avenue  
Denver, CO 80234 USA

FAX 送付先： +1 303 538 1741

E-mail： document@avaya.com

---

## インターネットによる本書の入手方法

インターネットに接続できるシステムをお持ちの場合は、『Avaya Communication Manager 概説』最新版の表示およびダウンロードができます。ただし、このマニュアルを参照するには、Acrobat Reader が必要です。

**注記：**

Acrobat Reader をお持ちでなければ、<http://www.adobe.com> で無料コピーが入手できます。

本書最新版の入手方法

1. アバイアのウェブサイト <http://www.avaya.com/> にアクセスします。
2. **Get Support** セクションで、**Documentation** リンクをクリックします。
3. **Search** テキストボックスに、**03-300468JA**（本書の文書番号）を入力します。**Go** をクリックします。
4. 一覧表が表示されたら、該当するマニュアルのバージョンを選択します。マニュアルのタイトルをクリックします。

---

## 印刷版マニュアルのご注文方法

連絡先： Avaya Publications Center  
電話：+1-800-457-1235 または +1-207-866-6701  
Fax：+1-800-457-1764 または +1-207-626-7269

郵送先： Globalware Solutions  
Attn: Avaya Account Management  
200 Ward Hill Ave  
Haverhill, MA 01835 USA

E-mail： [totalware@gwsmail.com](mailto:totalware@gwsmail.com)

注文： 文書番号：03-300468JA、第1版、2005年6月

継続購読をお申し込みいただければ、本書を改訂するたびに最新版を自動的にお届けいたします。継続購読についての詳細またはお申し込みは、Avaya Publications Center にご連絡ください。

---

## アバイアのヘルプライン

さらにヘルプが必要な場合は、次に示すアバイアお客様サポートウェブサイトアクセスします。<http://www.avaya.com/support/>

- 米国内の場合は、**Support Tools** 見出しの下にある **Escalation Contacts** リンクをクリックします。次に、必要なタイプのサポートに該当するリンクをクリックします。
- 米国以外の場合は、**Support Tools** 見出しの下にある **Escalation Contacts** リンクをクリックします。次に **International Services** をクリックしてください。ここには各地域での COE（テクニカルセンター）の電話番号が表示されます。

米国内の場合は、次に示す各種サービスにもアクセスできます。一部のサービスには、追加サービス契約の手続きが必要になります。疑問点や問題については、アバイア公認販売店にお問い合わせください。

|                                                                   |                 |
|-------------------------------------------------------------------|-----------------|
| Avaya Communication Manager ヘルプライン（機能の設定管理とシステムのアプリケーションに関するサポート） | +1 800 225 7585 |
| アバイア全米お客様サービスセンターのサポートライン（メンテナンスと修理に関するサポート）                      | +1 800 242 2121 |
| Avaya Toll Fraud Intervention（アバイア料金不正使用防止ライン）                    | +1 800 643 2353 |
| Avaya Corporate Security（アバイア企業セキュリティライン）                         | +1 800 822 9009 |

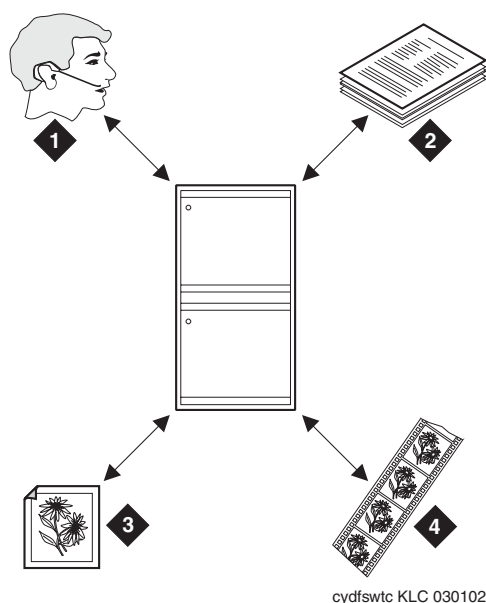


# 第 1 章 : Avaya Communication Manager の概要

Avaya Communication Manager ソフトウェアは、音声、データ、画像およびビデオ伝送を系統化し、迂回路を決定します。プライベートネットワークや公衆電話網、イーサネット LAN、ATM ネットワーク、インターネットにも接続できます。

Communication Manager は、音声通話を強化し付加価値アプリケーションと一体化することで、ビジネスの成功に貢献します。Communication Manager は、オープンで設計が容易な、信頼性の高い安全なテレフォニーアプリケーションです。33 ページの [図 1 : 「Avaya Communication Manager を実行するシステム」](#) に示すように Communication Manager では、ユーザー管理およびシステム管理機能、インテリジェントなコール・ルーティング、アプリケーション統合および拡張、企業通信ネットワーク機能が得られます。

図 1 : Avaya Communication Manager を実行するシステム



図注 :

- |    |    |    |     |    |    |    |         |
|----|----|----|-----|----|----|----|---------|
| 1. | 音声 | 2. | データ | 3. | 画像 | 4. | マルチメディア |
|----|----|----|-----|----|----|----|---------|

## オプションソフトウェア

各種のオプションパッケージを追加すれば、システムの性能を拡張できます。本書で説明されている機能の中には、オプションのソフトウェアが必要なものもあります。詳しくは、お近くのアバيا販売代理店にお問い合わせください。

---

## 容量

多数の製品と機能のために、システム容量が拡張されました。ただし、最新のシステム容量に関する情報は、Communication Manager マニュアルにはリストされていません。

更新された容量の完全な一覧表については、*Avaya Communication Manager System Capacities Table*, 555-245-601 を参照してください。

システム容量の制限を表示するには、次の手順に従います。

1. アバياのウェブサイト <http://www.avaya.com/> にアクセスします。
2. **Get Support** セクションで、**Documentation** リンクをクリックします。
3. **Search** テキストボックスに、**555-245-601** または **system capacities table** と入力します。矢印をクリックします。
4. システム容量リストの最新版を見つけ、タイトルをクリックして、情報をダウンロードします。

---

## Avaya Installation Wizard

Avaya Installation Wizard は、特定のシステム・コンフィギュレーションで Communication Manager をインストール（アップグレードではない）する際に使用するツールです。Installation Wizard は、インストールの複雑さ、インストールに必要な時間、インストールの費用を軽減します。

メディアゲートウェイやメディアサーバーの中には、Avaya Installation Wizard が機能しないものもあります。詳しくは、お近くのアバيا販売代理店にお問い合わせください。

 **注意：**

Avaya Installation Wizard と Avaya のメンテナンスウェブページからアクセス可能なインターネットによるインストール手順は、同時に実行しないでください。必ず、1 つのプロセスを終了してから他のプロセスを開始します。

Installation Wizard には、次のような利点があります。

- オンラインヘルプを備えた直観的なユーザーインターフェース
- 必要に応じて、データファイルからのフォームを自動完了
- 外部のインターネット接続を想定しない
- 最新のソフトウェアとファームウェアへの更新が簡単
- カスタマイズされた名前と番号のリストをインポートする機能
- すべての設定の完全な記録
- 最初から最後まで説明が付いたプロセス

Installation Wizard は、次の手順をステップごとにガイドします。

- ライセンスファイルと認証ファイルの設定
- メディアサーバーおよびメディアゲートウェイの構成
- テレフォニー、トランク、エンドポイントの構成と設置
- 設置ログファイルのサマリーの作成

Communication Manager の Installation Wizard には次の機能があります。

- Installation Wizard は、最大 10 台の G700 Media Gateway の積み重ねをサポートする。
- Installation Wizard プロセスの一部として、技術者がメディアモジュールファームウェアの更新されたバージョンをラップトップからロードできる。
- BRI Media Module の設置がサポートされる。
- Installation Wizard は、ローカルサバイバルプロセッサ (LSP) を使用する G700 Media Gateway の設置をサポートする。
- 内線通話コントローラ (ICC) メディアモジュールのない Remote G700 は、Installation Wizard を使用し、設置作業が終わるまで一時的に G700 Media Gateway にスペアの ICC Media Module を設置することで、設定できる。
- 電子プレインストレーション・ワークシート (EIW) を提供し、選択した事前設置のデータをインポートする作業を自動化する。この性能は、IP アドレス情報のインポートに焦点を合わせている。
- デフォルトのトランスレーションデータを選択して、カスタマイズできるようにするカスタマイズ・テンプレート。
- IA770 モジュールの構成に対応。
- 日本、英国、およびフランスのシステム、トランクレベルパラメータなどに対応。  
Communication Manager の次のリリース前に、オーストラリアや他の国々に拡張される可能性がある。
- IP トランクの構成に対応。

- トランクの診断に対応。
- Gateway Installation Wizard (GIW) による分散 G700 ゲートウェイの IP アドレス構成に対応。

Avaya Installation Wizard の最新版はインターネットで入手できますが、必ずしも Communication Manager のソフトウェアリリースに関連しているとは限りません。Avaya Installation Wizard の最新バージョンは、<http://support.avaya.com/avayaiw> からダウンロードできます。

---

## Gateway Installation Wizard

Gateway Installation Wizard (GIW) は、特定のメディアゲートウェイの設置と設定を支援する独立したアプリケーションです。詳しくは、お近くのアバヤ販売代理店にお問い合わせください。

GIW の最新版はインターネットで入手できますが、必ずしも Communication Manager のソフトウェアリリースに関連しているとは限りません。GIW の最新バージョンは、<http://support.avaya.com/avayaiw> からダウンロードできます。

---

## Avaya メディアサーバーとメディアゲートウェイ

Communication Manager を実行可能なメディアサーバーとメディアゲートウェイについて詳しくは、『Avaya Communication Manager ハードウェアガイド、555-245-207JA』を参照してください。

また、更新された容量の完全な一覧表は、容量のリストを参照してください。最新のシステム容量に関する情報は、Communication Manager マニュアルにはリストされていません。その代わりに、この情報はオンラインで入手可能です。容量のリストを見つける方法は、34 ページの「[容量](#)」を参照してください。

---

## Multi-Tech ゲートウェイのサポート

Communication Manager は、サードパーティ・ベンダー MultiTech のボイスオーバー IP (VoIP) ゲートウェイをサポートします。Communication Manager を実行するシステムであれば、この Multi-Tech ゲートウェイを接続して、実行することができます。

詳しくは、『Avaya Communication Manager ハードウェアガイド、555-245-207JA』をご覧ください。

## 第 2 章： アプリケーション・プログラミング・インタフェース

アプリケーション・プログラミング・インタフェース（API）により、多数のソフトウェア・アプリケーションが Avaya Communication Manager と動作できます。またクライアントのプログラマーが API を使って、Communication Manager と動作する独自のアプリケーションを作成することもできます。

---

### Application Enablement Services

Application Enablement Services（AE Services）は、アプリケーションと Communication Manager 間の接続を提供するコネクタです。このコネクタを使うと、Communication Manager を変更したり、専用のインタフェースを公開したりすることなく、新しいアプリケーションや機能を開発することができます。

AE Services は、呼、デバイス、メディアの制御や管理を行う単一の共通プラットフォーム構成を提供します。社内のアバヤ開発者と社外のパートナーは、AE Services を使って、広範な Communication Manager 機能セットを装備するパワフルなアプリケーションを作成できます。

アバヤでは、次の 2 つの AE Services 配備オプションを提供しています。

- 「ソフトウェアのみのオプション」
- 「バンドルしたサーバーのオプション」

同一のクライアントアプリケーションとソフトウェア開発キット（SDK）を両オプションで実行できます。

---

### ソフトウェアのみのオプション

アバヤでは、AE Services ソフトウェアを提供します。これは、AE Services コネクタサーバーソフトウェアと AE Services SDK から構成されています。必須ハードウェア、プラットフォームソフトウェア、サードパーティのソフトウェアは、ユーザーが準備します。すべてのソフトウェアとハードウェアのインストールおよびメンテナンスは、ユーザーが行います。

---

## バンドルしたサーバーのオプション

アバイアは、ハードウェアサーバーと、必要なすべてのソフトウェアを提供します。

- AE Services コネクタサーバーソフトウェア
- AE Services SDK
- プラットフォーム
- サードパーティソフトウェア

アバイアのサービス技術者が、ハードウェアとソフトウェアのインストールを行います。メンテナンスまたはサービス契約、あるいはその両方を購入したユーザーには、システムのメンテナンスやサービスも提供しています。それ以外の場合は、ユーザーがシステムのメンテナンスを行います。

---

## CVLAN

CallVisor LAN (CVLAN) は、アプリケーション・プログラミング・インタフェース (API) で、これによりアプリケーションと Communication Manager 間の通信が可能になります。CVLAN は、TCP/IP 上の共有 ASAI リンクで ASAI メッセージの送受信を行います。アプリケーションは、ASAI メッセージを使って、Communication Manager リソースのモニタや制御を行います。

CVLAN ソフトウェアは、クライアントコンポーネントとサーバーコンポーネントから構成されます。CVLAN クライアントは、サーバー上にも、クライアントのワークステーション上にもインストールできます。CVLAN クライアントは、CVLAN サーバーを使って交換機にアクセスする機能も提供します。

---

## ウェブサービス

### Telephony Service

Telephony Service (TS) は、Communication Manager の基本的な発信呼制御機能を提供するウェブサービスです。Telephony Service を使うと、発信呼、呼の切断や転送、電話会議などを行うことができます。

Telephony Service は、Application Enablement Services (AE Services) プラットフォームに常駐するウェブサービスの 1 つです。

## System Management Service

System Management Service (SMS) は、Communication Manager の管理機能を提供するウェブサービスです。SMS を使うと、OSSI プロトコルや SAT 画面上で利用可能な Communication Manager で、特定の管理オブジェクトの表示、一覧表示、追加、変更、削除などを行うことができます。

SMS は、Application Enablement Services (AE Services) プラットフォームに常駐するウェブサービスの 1 つです。

## User Service

User Service では、ユーザーデータの設定管理、検索、プログラムによる操作などを行う共通の方法を提供します。同サービスによって、製品と統合するアプリケーションに、共通のユーザーデータストアとプログラミング可能なインタフェースが提供されます。User Service には、共通ユーザプロファイルデータのリポジトリとして、業界標準のデータストア、LDAP が備わっています。

さらに、インフラストラクチャとして、ウェブサービスも装備しています。このインフラストラクチャを使って、製品を独自のスケジュールで User Service と統合することができます。User Service では、プログラミング可能な SOAP インタフェースが提供されるため、サードパーティのアプリケーションでその機能が利用できるようにプログラミングすることができます。

この統合は、User Service のソフトウェアアダプタを介して行います。アダプタとウェブサービスの技術を使うと、User Service で製品スペースにユーザーイベントを公開したり、さらに製品スペースで共通ユーザー領域にイベントを公開することもできます。

このため、管理者が共通のデータストアにユーザーを追加すると、ユーザーイベントが適切な情報とともにすべての該当製品に送信されます。同様に、製品レベルの管理者がユーザーレコードを独自のユーザーシステムで変更すると、変更データが共通ストアに格納されるように User Service にイベントが送信されます。この後、User Service は、このユーザーイベントをその他の該当製品の領域に中継します。

---

## デバイスおよびメディア制御 API

デバイスおよびメディア制御 API は、Communication Manager へのコネクタを提供します。これにより、ファーストパーティ・コール・コントロールを備えたアプリケーションを開発できます。アプリケーションは、Communication Manager で IP 内線番号を登録してから、それらの内線番号をモニタし、制御できます。

デバイスおよびメディア制御 API は、コネクタサーバーソフトウェアとコネクタクライアント API ライブラリで構成されます。コネクタサーバーソフトウェアは、Communication Manager から独立したハードウェアサーバーで実行されます。すなわち、デバイスおよびメディア制御 API は、Communication Manager と同じ場所では実行されません。

デバイスおよびメディア制御 API のマニュアルに関する完全なリストについては、お近くのアバイア販売代理店にお問い合わせください。

---

## DEFINITY LAN ゲートウェイ

DEFINITY LAN ゲートウェイ (DLG) は、ASAI 呼制御プロトコルメッセージを IP パケットにトンネルし、顧客のコンピュータテレフォニー統合 (CTI) サーバーまたはアプリケーションと Communication Manager の間のトランスポートを可能にするソフトウェアサービスです。

---

## アジャнкт／スイッチアプリケーションインタフェース

アジャнкт／スイッチアプリケーションインタフェース (ASAI) は、Communication Manager と外部アプリケーションをリンクします。このインタフェースにより、外部アプリケーションから Communication Manager 機能にアクセスし、迂回情報をシステムに供給できます。

アバイアでは、コンピュータテレフォニー統合 (CTI) として ASAI を推奨します。ASAI は、Q.932 プロトコルに基づいています。

---

## JTAPI

Java テレフォニー・アプリケーション・プログラミング・インタフェース (JTAPI) は、Avaya コンピュータテレフォニーがサポートするオープン API で、Communication Manager ASAI に統合できます。マルチメディアソリューションの開発に有利な、オブジェクト指向プログラミング・インタフェースです。JTAPI アプリケーションは、JAVA 仮想マシン (Windows、UnixWare、Solaris プラットホームなど) をサポートするあらゆるクライアント、または Java 対応のウェブブラウザに対応します。

---

## TSAPI

電話サービスアプリケーション・プログラミング・インタフェース (TSAPI) は、Avaya コンピュータテレフォニーがサポートするオープン API で、Communication Manager ASAI に統合できます。

TSAPI は、CTI テレフォニー・サービスの国際標準に基づいています。具体的には、Computer-Supported Telecommunications Applications (CSTA) の欧州コンピュータ製造業者協会 (ECMA) の CTI 標準による定義が、TSAPI の基礎となっています。CSTA 標準は、交換機やコンピュータの主要ベンダーから構成されたオープンなマルチベンダーコンソーシアムが技術的な合意に達したものです。CSTA サービスとプロトコルの定義が TSAPI の基礎となっているため、TSAPI はジェネリックで交換機から独立した API を提供します。CSTA サービスは、ユーザーのデスクトップでもっともよく使われる 2 つの装置、電話機と PC を論理的に統合するものです。

テレフォニー・サービスのセキュリティ管理によって、システム管理者は、さまざまな方法で TSAPI 機能へのユーザーアクセスを制限することができます。例えば、ユーザーがデスクトップで行う機能を、電話機の制御やモニタに制限することができます。同様に、ログインしたデスクトップでの呼制御と電話機のモニタに制限することもできます。

セキュリティ許可を拡張すれば、ユーザーの制御範囲を広げ、ワークグループや部署別のテレフォニーアプリケーションを支援できます。管理者は、さらにユーザー許可を拡張して、CTI リンクでの制御が可能な電話機やデバイスまでも含められます。また、コールセンター環境でユーザーのデスクトップに呼が伝送される前に、呼を処理するサーバーアプリケーションに無制限のセキュリティ許可レベルを割り当てることも可能です。管理者は、ユーザーごとに異なる許可レベルを割り当てることができます。



## 第 3 章： 中継台機能

Avaya Communication Manager には、電話システムの中継台（オペレーター）を介して通信する簡単な方法を提供する多数の優れた機能が含まれています。さらに、オペレーターはシステム内の他の電話機から自分のコンソール（スイッチボード）に接続でき、これにより中継台の機能を拡張します。

---

### 中継台のアクセス

---

#### 中継台へのダイヤルアクセス

中継台へのダイヤルアクセスは、特番をダイヤルしてオペレーターにアクセスできる機能です。オペレーターは、トランクあるいは別の電話機に呼を着信させることができます。

---

#### 個別中継台へのアクセス

個別中継台へのアクセスは、特定の中継台に電話できる機能です。各中継台に個別の内線番号を割り当てることができます。

---

### リコール

これは、2 者通話、あるいはコンソール上での中継台会議通話を使用しているとき、ユーザーがオペレーターをリコールできる機能です。

- アナログ電話機ユーザーがオペレーターをリコールするには、リコールボタンを押すかスイッチフックをすばやく押します。
- デジタル電話機ユーザーが、オペレーターへリコールするには、会議ボタンあるいは転送ボタンを押します。いずれのボタンを押しても、接続が切れることはありません。

---

## 中継台バックアップ

中継台バックアップは、1 台または複数の特別に設定されたバックアップ電話機から、中継台のほとんどの機能にアクセスできる機能です。これにより呼への応答を迅速化できるため、宿泊客や将来の利用が見込まれる顧客により良いサービスを提供できます。

中継台が完全話中の場合、バックアップ電話機のボタンを押すか、または機能特番をダイヤルすることによって、オーバーフローした呼に応答できます。その後も中継台で処理しているのとまったく同様に呼を処理できます。バックアップ電話機には、アバイアの 6408、6416、6424 の各モデルをお勧めします。

---

## アテンダントルームステータス

Communication Manager により、オペレーターは客室が空室か使用中か、また各室のハウスキーピングステータス（清掃状態）を確認できます。この機能は、ご使用のシステムでホテル拡張機能がオンになっている場合にのみ使用できます（91 ページの「[ホテル機能](#)」を参照）。

この機能は、プロパティマネージメントのハウスキーピングステータスとチェックイン／チェックアウトの 2 つの機能を組み合わせた機能ですが、プロパティ・マネージメント・システム（PMS）は不要です。

---

## Distributed Communications System（分散通信システム） プロトコルを使用する中継台の機能

---

### トランクグループ制御

トランクグループ制御により、Distributed Communications System（分散通信システム）（DCS）内のノードのオペレーターは、隣接したノードの発信トランクグループを制御できます。着信呼あるいは非常に重要な発信呼のためにトランクグループを確保したい場合など、電話機ユーザーからの特定のトランクグループへの発呼をオペレーターが抑制したい場合に、この機能が役立ちます。

---

## 直接トランクグループ捕捉

直接トランクグループ捕捉により、トランクグループに割り当てられたボタンを押すことによって、オペレーターはローカルまたはリモートトランクグループのアイドル状態の発信トランクに直接アクセスできます。この機能は、オペレーターが頻繁に使用するトランクグループのトランクアクセスコードを記憶したり、検索したりあるいはダイヤルしたりする手間を省きます。直接トランクグループ捕捉はオペレーターによる発信呼の処理をスピードアップするための機能です。

---

## 中継台間コール

中継台間コールにより、複数のブランチの中継台への呼をメインの交換機に集中させることができます。そのブランチへの着信トランクコールや電話機のオペレーター宛ての呼は、専用線トランクを介してメインの交換機へ迂回されます。

---

## 呼処理

---

### 中継台の割り込み

中継台の割り込み機能を使うことで、オペレーターは通話中の呼に割り込むことができます。中継台の割り込み機能は、コールオファーとも呼ばれます。

---

### 中継台ロックアウト — プライバシー

この機能は、電話機ユーザーにリコールされる場合を除き、コンソールで保留になっているマルチパーティ接続（会議通話等）にオペレーターが再び入ることを防止します。この機能はシステム規模で設定されます。起動または起動停止にできます。

---

### アテンダントスプリットスワップ

アテンダントスプリットスワップは、オペレーターが話中の呼とスプリット呼を切り替えることができる機能です。この操作は、オペレーターが呼を転送する必要があるけれども、まず最初にそれぞれの相手と個別に話をしてから転送を完了したい場合に役立ちます。

---

## 中継台ベクタリング

中継台ベクタリングにより、オペレーターへの着信呼の非常にフレキシブルな管理が可能で  
す。例えば、現行のナイトサービス処理では、中継台からナイトステーションへ転送される呼  
は、そのステーションでのみ呼び出し音を鳴らすことができ、カバレッジパス処理は行われま  
せん。

中継台ベクタリングでは、ナイトサービス呼はナイトステーションのカバレッジパスに従って  
処理されます。カバレッジパスは別の内線電話へ、最終的にはボイスメールシステムへ呼を転  
送できます。発呼者はここでメッセージを残すことができ、このメッセージは後で再生され処  
理されます。

---

## 自動オペレーターサービス

自動オペレーターサービスでは、発呼者はシステムのどの内線番号でも入力することができま  
す。入力後、呼は内線番号に迂回されます。この機能は、有人のオペレーターの必要性を減ら  
すことによってコストを削減します。

---

## バックアップアラートینگ

バックアップアラートینگ機能は、バックアップのオペレーターに、主オペレーターが呼を  
取ることができないことを通知します。オペレーターのキューがキュー警告レベルに到達する  
と、バックアップ電話機に可聴および可視警報を発します。キューが警告レベルを下回ると、  
警報が停止します。

可聴アラートは、中継台が夜間モードの場合にも、中継台のキューの長さに関係なく起動され  
ます。

---

## コールウェイティング

コールウェイティングは、通話中のアナログ電話機のユーザーに別の電話がかかってきたこと  
をオペレーターが通知する機能です。オペレーターは、通知を行った後、他の呼に応答するこ  
とができます。オペレーターは、コールウェイティング・リングバックトーンを聞き、話中の  
電話ユーザーはコールウェイティングトーンを聞きます。被呼電話機のユーザーだけがこの  
トーンを聞きます。

---

## 着信制限内線への中継台コール

着信制限の接続制限クラス（COR）が付いた電話機は、公衆網呼、中継台発信呼、中継台転送呼を受信できません。この機能を使うと、これらの制限を超えることができます。

---

## 会議

会議機能により、オペレーターは、自分自身を含めて最高 6 人の電話会議を設定できます。システムの内部および外部からの会議を電話会議に加えることができます。

Communication Manager のリリース 3.0 から、6 人以上の場合でも、拡張ミーティングカンファレンス機能を使って電話会議を設定できるようになりました。詳しくは、79 ページの「[拡張ミーティングカンファレンス機能](#)」を参照してください。

---

## リスト・ディレクトリ・ナンバー

中継台グループへの外部の発呼者のアクセスを許可できる機能です。着信呼に使用したトランクの種類によって 2 つの方法があります。着信ダイレクトイン・ダイヤルトランクを介した中継台グループへのアクセス、または着信局用交換機トランクおよび米国フォーリンエクスチェンジトランクを介した中継台グループへのアクセスを許可できます。

---

## 中継台オーバーライド

中継台オーバーライドは、離席機能やコールカバレッジのような迂回機能が起動されているときでも、オペレーターが呼を内線に接続して、これらの迂回機能を見捨てる機能です。この機能は、中継台の割り込みとともに、電話機ユーザーに緊急電話を転送するために使うことができます。

---

## 優先キューイング

優先キューイングは、オペレーターが着信呼にすぐに対応できないとき、順序付けされたキューの中に着信呼を待機させることができる機能です。この機能により、最も高い優先権が与えられる緊急電話を含め、オペレーターへの着信呼用に 12 の異なるカテゴリを定義できます。

---

## リリースループ操作

リリースループ操作は、呼を被呼者へすぐに送ることができない場合、オペレーターがコンソールで呼を保留できる機能です。呼が保留された時点から、タイマーがスタートします。割り当て時間内に呼が応答されない場合、呼はオペレーターのキューに戻されます。時間超過通知により、その呼は最初に処理をしたオペレーターに戻されますが、そのオペレーターが応答できない場合にのみ、呼はまたキューに返されます。

---

## 会議のミュート操作の選択

81 ページの「[会議のミュート操作の選択](#)」を参照してください。

---

## シリアルコール

シリアルコールは、オペレーターがトランクコールを転送し、転送先で受話器を置くとそのオペレーターに呼が戻って来るようにする機能です。戻って来た呼は交換機内の別の電話機に転送できます。トランク不足でダイレクトインダイヤルが利用できない場合に、この機能は役立ちます。外部の発呼者は、トランクがあまりにもビジーなために何回もリダイヤルする必要があるかもしれません。オペレーターといったんつながれば、発呼者は交換機に入る同一の回線を複数回の呼に使用できます。中継台ディスプレイには、着信呼がシリアルコールであることが表示されます。

---

## 時間超過通知と中継台タイマー

中継台タイマーは、次の呼を受信後にタイマー設定された時間が経過すると、オペレーターに自動的にアラームを送ります。

- 応答待ちの転送呼、または話中のアナログ電話への接続を待っている呼
- コンソールで保留されている呼
- 転送後に応答になっていない呼

時間超過通知は、オペレーターに対して呼への注意が必要であることを通知します。オペレーターが呼を再接続した後、発信ユーザーは別の内線と話すか、受話器を置くか、あるいはそのまま待ち続けることができます。Communication Manager は、さまざまな状況で使用できる設定可能な中継台タイマーを多数提供しています。

---

## 中央中継台

中央中継台（CAS）は、中心となるロケーションでプライベートネットワーク内の集中的なオペレーターサービスを提供します。中央中継台の各ブランチは、独自のリスト・ディレクトリ・ナンバー、または公衆網からの他のアクセス手段を持っています。ユーザーが直接オペレーターに対して発した呼やブランチへの着信呼は、リリースリンクトランクを介して中央中継台に迂回されます。

---

## ディスプレイ

中継台ディスプレイは、オペレーターが、コンソールを操作する際に役立つ呼関連情報を表示する機能です。また個人的なサービスおよびメッセージ情報も示します。情報は、中継台の英数字ディスプレイを使って表示されます。オペレーターは、数種類のディスプレイメッセージ言語のうちから1つ選択します。利用できる言語は英語、フランス語、イタリア語、あるいはスペイン語です。さらに、ユーザーとオペレーターがディスプレイに使用できるように、もう1つの言語を定義できます。

---

## 発呼

---

### オートスタートと非スプリット

オートスタートは、最初にスタートボタンを押さなくてもオペレーターが発呼できる機能です。オペレーターが通話中にダイヤルパッドの操作を行うと、システムは自動的に呼を分割し、2番目の呼へのダイヤルを開始します。

非スプリットは、オートスタート機能を起動停止にする機能で、メッセージを引き出すなどの目的のために回線上にタッチトーンを送ることが可能です。

---

### 自動マニュアルスプリット

自動マニュアルスプリットは、オペレーターが、発呼者に聞かれることなく被呼者に呼を通知したり、内密に相談できる機能です。発呼者をスプリットするので、被呼者が応答できるかどうかオペレーターは内密に判断できます。

---

## 呼のモニタリング

---

### 中継台トランクグループ制御

中継台トランクグループ制御機能によって、オペレーターは発信および双方向トランクグループを制御できます。オペレーターは、通常、電話回線が混み合っている時間帯にこの機能を起動します。これは、電話機のユーザーが特定のトランクグループについて発信を行えないようにするときに役立ちます。着信呼や非常に重要な発信呼のためにトランクグループを確保する場合などに使用します。

この機能を使って、オペレーターが制御した発信トランクグループに電話機ユーザーが直接アクセスできないようにすることもできます。

---

### 中継台直接内線選択

これは、オペレーターが内線状態（内線がアイドルか話中か）を追跡することができる機能です。また、内線番号をダイヤルすることなく、内線へ呼を発信したり、転送したりできます。オペレーターは次の2つの方法でこの機能を使用できます。

- 標準的な直接内線選択アクセスを使用する方法
- 拡張的な直接内線選択アクセスを使用する方法

---

### 中継台直接トランクグループ捕捉

この機能を使用して、オペレーターは、トランクグループに割り当てたボタンを押すことによって、アイドル状態の発信トランクに直接アクセスできます。この機能は、オペレーターが頻繁に使用するトランクグループのトランクアクセスコードを記憶したり、検索したりあるいはダイヤルしたりする手間を省きます。ラベル付けしたボタンを押すことにより、希望するグループの空きトランクを選択します。

---

## 中継台への緊急事態通報

緊急電話がかかると、緊急事態通報として可視および可聴警報の両方で中継台に知らせます。可聴警報は救急車のサイレンと類似した音です。可視警報は CRSS-ALRT ボタンのランプを点滅させ、発呼者の名前と内線（または客室）番号を表示します。緊急呼が発呼された場所を示すので、オペレーターまたは他のユーザーは発呼者に救援をさし向けることができます。ホテル業界や病院施設で使用されることが多いのですが、標準中継台にもこの機能を設定できます。

緊急事態通報機能が起動している場合、コンソールは中継台話中モードになり、他の着信呼が緊急呼通報に割り込めないようにします。他の係員に通報できるようにコンソールから発呼はできます。緊急事態通報呼がコンソールに着呼したら、コンソールのユーザーは中継台話中ボタンを押してコンソールの話中モードを解除し、緊急事態通報ボタンを押して、可視および可聴警報をオフにしてください。

1 つの緊急呼が話中である間に別の緊急呼が発呼された場合には、着信呼はキューで待機させられます。すべてのユーザーが応答するようにシステムが設定されている場合、すべてのユーザーがすべての呼に応答しなければなりません。この場合、呼は必ずしも発呼順に待機させられるわけではありません。ひとりのユーザーが応答するようにシステムが設定されている場合、最初の緊急事態通報が、応答された電話機で話中状態を保ちます。それに続く呼は、着信した順に、次に応答可能な電話機を待ちます。

---

## トランクグループ話中／警告表示

この機能は、グループ内の話中トランク数が設定レベルに達したというビジュアルな表示をオペレーターに提供します。グループ内のすべてのトランクが話中である時も、ビジュアルな表示が提供されます。この機能は、特に中継台トランクグループ制御の起動が必要であることをオペレーターに示す際に便利です。

---

## 中継台によるトランク識別

トランク識別により、オペレーター、あるいはディスプレイ付き電話機のユーザーが、呼に使用されている特定のトランクを確認できます。この機能は Trunk ID（トランク ID）ボタンを中継台あるいは電話機に割り当てることにより提供されます。この機能は、欠陥があるトランクを確認する際に特に役立ちます。欠陥のあるトランクをサービスから切り離すことができ、問題を迅速に解決できます。

---

## ビジュアリー・インペアード・アテンダント・サービス

ビジュアリー・インペアード・アテンダント・サービス (VIAS) は、視覚障害を持つオペレーターに音声によるフィードバックを提供します。各音声フレーズは、連続した1つまたは複数の単一音声メッセージです。この機能には、視覚障害を持つオペレーター用に、以下のボタン6個が定義されています。

- ビジュアリー・インペアード・サービス起動／停止ボタン：この機能を起動、停止します。それ以前に使用不可にされたリング（例えば、リコールおよび着信呼）は、すべて使用可になります。
- コンソールステータスボタン：コンソールが **Position Available**（応答可）と **Position Busy**（話中）のどちらの状態にあるか、コンソールが夜間中継台であるか、中継台のキューの状態、システムアラームの状態を音声で知らせます。
- ディスプレイステータスボタン：コンソールディスプレイの表示内容を音声で知らせます。ディスプレイ内容には **VIAS** サポートがないものもあります（例えば、接続制限クラス情報、個人名、一部の呼目的などは音声サポートされません）。
- 直前操作ボタン：直前に実行した操作を音声で知らせます。
- 直前音声メッセージボタン：直前に聞こえた音声メッセージを繰り返します。
- 直接トランクグループ捕捉ステータスボタン：中継台でモニタするトランクグループの状態を音声で知らせます。

視覚障害を持つオペレーターは、「**Inspect**」モードを使って各ボタンの位置を探ことができ、実際に機能を実行しなくとも各ボタンに割り当てられている機能を確認できます。

## 第 4 章： コールセンター

Avaya コールセンターは、完全に統合された電気通信プラットフォームを提供し、顧客のコールセンターのニーズすべてに応えるよう設計された機能、性能、アプリケーションを揃えた強力なサポートを実現しています。

---

### コンピュータテレフォニー統合

コンピュータテレフォニー統合（CTI）によって、外部アプリケーションでの Communication Manager 制御が可能となり、顧客情報データベースに呼制御機能を統合できます。

Avaya コンピュータテレフォニー（旧名、CentreVu™ コンピュータ・テレフォニー）は、Communication Manager のプレミアムコール制御機能に、顧客データベースの顧客情報を統合するサーバーソフトウェアです。これは、ローカルエリアネットワーク（LAN）ベースの CTI ソリューションで、クライアント/サーバー構成で実行するサーバーソフトウェアから成ります。Avaya コンピュータテレフォニーは、コンピュータテレフォニー統合（CTI）を構成し、また新登場のアプリケーション・プログラミング・インタフェース（API）とともに、コンタクトセンターアプリケーションの要件に対応するプラットフォームを提供します。

---

### Network Call Redirection をサポートする外部装置ルーティング

この機能は、外部装置ルーティングベクターステップへの迂回要求の応答を使用して、Network Call Redirection（NCR）を呼び出す機能を提供します。このため、CTI アプリケーションは、ASAI 外部装置ルーティングアプリケーションにより、PSTN で着信呼を転送するために NCR を直接利用できます。

転送要求は、電話番号に転送される PSTN とともに、外部装置からのルート選択メッセージに含まれます。転送要求は、ベクターが NCR を呼び出した方法と同じ方法で、着信呼のためにトランクグループを割り当てたネットワーク転送をどんな形態でも呼び出します。転送先への情報転送（Information Forwarding）は、ベクターが呼び出した方法と同じ方法でサポートされます。

この機能は、交換機が呼の 2 番目の区間を設定する NCR プロトコルのネットワーク転送タイプまたは PSTN が呼の 2 番目の区間を設定するネットワークデフレクションタイプのどちらかとともに動作します。

---

## 同時常駐 DEFINITY LAN ゲートウェイ

簡単に言えば、DEFINITY ローカルエリアネットワーク (LAN) ゲートウェイ、すなわち DLG は、TCP/IP クライアント間の通信と Communication Manager 呼処理を可能にするアプリケーションです。専門的に説明すると、DLG アプリケーションは、あるプロトコルから別のプロトコル (ISDN から TCP/IP) に相互接続ネットワークメッセージを迂回し、TCP/IP トンネルプロトコル経由ですべての ASAI メッセージトラフィックをブリッジ接続します。

以前の構成では、DEFINITY LAN ゲートウェイ (DLG) は外部で独立した TN801 MAPD 基板に接続されていました。DLG アプリケーションは Communication Manager とともに内部に実装されています。内部に実装された DLG は同時常駐 DLG と呼ばれます。

同時常駐 DLG は S8300 Media Server でのみ使用可能です。

同時常駐 DLG は、基本インタフェース (BRI) トランスポートの代わりに、イーサネットトランスポートを使用して、アジャнкт／スイッチアプリケーションインタフェース (ASAI) の機能を提供します。S8300 Media Server では、接続はプロセッサのイーサネット経由で提供します。

同時常駐 DLG と G700 Media Gateway について詳しくは、Avaya *MultiVantage Software CallVisor ASAI Technical Reference*, 555-230-220 の“DEFINITY LAN Gateway and ASAI-Ethernet”、“Installation and Test for CallVisor ASAI”の各章を参照してください。

また次のマニュアルも参照してください。

- *DEFINITY Enterprise Communications Server CallVisor ASAI Applications Over MAPD*, 555-230-136
- *Installation for Adjuncts and Peripherals for Avaya Communication Manager*, 555-233-116

---

## ダイレクト・エージェント・アナウンスメント

ダイレクト・エージェント・アナウンスメント (DAA) は、アジャнкт／スイッチアプリケーションインタフェース (ASAI) とエキスパート・エージェント・セレクション (EAS) のダイレクト・エージェント・コーリングを拡張した機能です。キュー待ち状態のダイレクト・エージェントコールの発呼者にアナウンスを行います。

---

## フレキシブルな課金

フレキシブルな課金は、Communication Manager や外部装置から、ISDN-PRI メッセージによって公衆網と通信し、900 型着信呼 (米国) の課金料率を変更できる機能です。新規課金料率を指定する料金の変更は、呼が応答されてから切断するまでの間であれば、いつでも要求できます。

フレキシブルな課金機能は、米国で AT&T MultiQuest 900 Vari-A-Bill サービスに使用できます。フレキシブルな課金機能の実行には、アジャнкт／スイッチアプリケーションインタフェース（ASAI）と他のアプリケーションソフトウェアが必要です。

---

## 保留ワークモード変更

この機能により、エージェントが完全話中のときに、ASAI アプリケーションはそのエージェントの現在のワークモードを変更できます。この変更は、現在の呼すべてが消去されるとすぐに効力を持つ、保留の変更です。

---

## トランクグループ識別

トランクグループ識別は、発呼者番号（CPN）が分かっているときでも、トランクグループ情報を得るための機能を ASAI アプリケーションに提供する機能です。ASAI は、インバウンドおよびアウトバウンドコールの両方のイベントレポートでトランクグループ情報を提供します。自動番号識別（ANI）がわかっている場合、イベントレポートにはトランクグループ情報と CPN が報告されます。

---

## マニュアルでの転送・会議操作中のユーザー間情報伝達

マニュアルでの転送または会議操作中に、ASAI が特に使用するユーザー間情報（UII）を新しい呼に伝達できる機能です。以前は呼を別のシステムに転送する場合、ASAI の UII を設定メッセージに入れて送信できなかったため、その転送呼を受け取るシステムで呼をモニタするアプリケーションに、ASAI の UII はまったく渡されませんでした。

この機能は、マニュアルでの転送および会議操作にのみ適用されます。転送または会議の操作がソフトウェアアプリケーションによって制御される場合（例えば ASAI リンク上での呼やエージェントの制御など）、アプリケーションは必要な ASAI の UII を新しい呼に挿入できます。

---

## ASAI メッセージに対する VDN オーバーライド

この機能は、ISDN 呼に対して、特定の ASAI メッセージの被呼者番号をオーバーライドするための VDN オプションを提供します。これは、被呼者番号ではなく、話中の VDN 内線番号を要求する CTI アプリケーションに適用されます。これは、VDN 画面の 2 ページにある“VDN Override for ISDN Trunk ASAI Messages”フィールドです。デフォルト値は、**no** です。

オプションが y (es) に設定されている VDN に対する呼の場合、提供された被呼者番号は、着信する ISDN SETUP メッセージで表示される最初の被呼者番号ではなく、呼の話中の VDN に対応します。これは、ASAI のコールオファーされたメッセージ、アラートを発するメッセージ、キュー状態のメッセージ、接続イベントメッセージ、外部装置の迂回要求メッセージに適用されます。

---

## 自動着信分配

自動着信分配 (ACD) は、コールセンター・アプリケーション用の基本的な機能です。ACD は着呼を効率的に、そして利用可能なエージェント間で均等に配信する方法を提供します。ACD を利用して、エージェントグループのうち話中でないエージェントや、最も空き状態のエージェントに呼を配信します。

ACD 環境では、エージェントは同じ種類の呼を処理するエージェントのグループであるハントグループに割り当てられます。ハントグループは、エキスパート・エージェント・セレクション (EAS) を持つスプリットまたはスキルとしても知られています。

ハントグループは、特定の電話内線番号に大量の呼が予想される場合に特に役立ちます。ハントグループは、特定の内容に関する呼を処理する訓練を受けたスタッフで構成されることもあります。例えば、次のようなグループが考えられます。

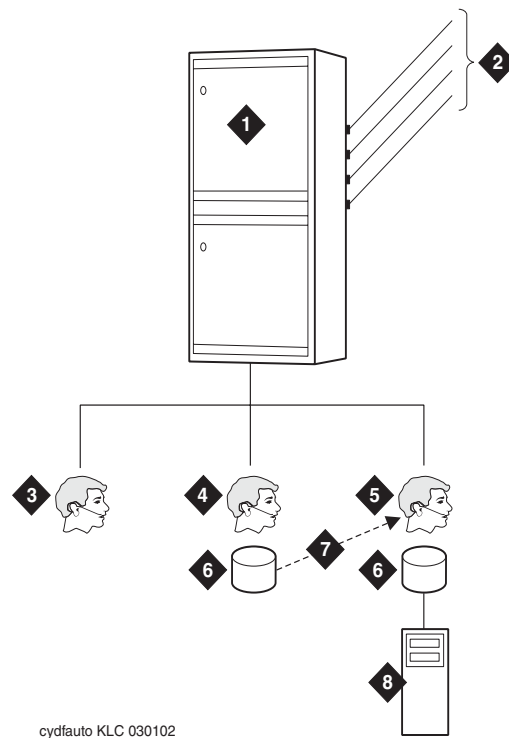
- 企業内の福利厚生部門
- 販売する製品のサービス部門
- 旅行の予約窓口
- オペレーター室

また、ハントグループは共有する通信機器のグループで構成される場合もあります。例えば、次のようなグループが考えられます。

- モデムプール
- データライン回路ポートのグループ
- データモジュールのグループ

次の例 (57 ページの [図 2: 「自動着信分配 \(ACD\) の基本例」](#)) では、ハントグループ「A」にはキューがないため、エージェントが空いている場合のみ呼を直接受け取ります。ハントグループ「B」への呼はエージェントが応答できない場合、キューの中で待ち状態にすることができ、設定した時間内に応答されない場合、ハントグループ「C」に転送されます。ハントグループ「C」への呼が設定時間内に応答されない場合には、ボイスメールに転送されます。

図 2：自動着信分配（ACD）の基本例



cydfauto KLC 030102

## 図注：

- |                                          |                         |
|------------------------------------------|-------------------------|
| 1. Avaya Communication Manager を実行するシステム | 5. ハントグループ C：一般的な情報     |
| 2. 着信回線                                  | 6. キュー                  |
| 3. ハントグループ A：ビジネストラベル                    | 7. ハントグループ C へのコールカバレッジ |
| 4. ハントグループ B：パーソナルトラベル                   | 8. ボイスメール               |

## 放棄呼サーチ

放棄呼サーチは、タイムリーな切断監視を行わない局用交換機（CO）が、放棄呼を識別できるようにする機能です。放棄呼とは、呼が応答される前に発呼者が電話を切ってしまう呼のことです。放棄呼サーチは、タイムリーな切断監視を行わない旧型の局用交換機だけに適する機能です。

---

## 外部装置ルーティング

外部装置ルーティングは、実行時に処理呼の迂回場所を求める迂回要求が、接続外部装置への指定リンクで送信されるベクターステップです。これに対して外部装置からは、呼を迂回する内部宛先または外部番号を指定するルート選択メッセージが返信されます。外部装置ルーティングは、ASAI とともに使用されます。

---

## 連続オートイン・スプリット

連続オートイン・スプリット（AAS）は、自動着信分配（ACD）スプリットのメンバーを常にオートイン・ワークモードにしておく機能です。オートイン・ワークモードになっているエージェントは、ACD 呼切断後ただちに別の ACD 呼に応答できるようになります。連続オートイン・スプリットを使って ACD スプリットのメンバーを、システムの再起動後にオートイン・ワークモードに戻すことができます。

この機能はレコーダーや音声応答ユニットだけで構成されるスプリット用の機能ですが、他のスプリットにも使用できます。

---

## 自動番号識別

自動番号識別（ANI）機能を使うと、発呼者の電話番号をディスプレイ付き電話機に表示することができます。システムでは ANI を使って、マルチ周波数（MF）またはセッション開始プロトコル（SIP）のトランク上での発呼者の信号情報を解釈します。

---

## 着信自動番号識別

被呼者のアドレス番号などの情報にはインバンド・シグナリングを使い、それを音声／データ接続に使用する同一のトランク基板に伝送します。シグナリング情報が音声／データ接続に使うパス以外のシグナリングパスを介して渡される場合は、帯域外または ISDN シグナリングを使用します。

例えば、555-3800 からディスプレイ付き電話機の内線番号 81120 に発呼し、**Trunk Group**（トランクグループ）画面で **Incoming Tone (DTMF) ANI** フィールドに **\*ANI\*DNIS\*** を設定すると、トランクグループは **\*5553800\*81120\*** を受信します。同じフィールドを **ANI\*DNIS\*** に設定すると、トランクグループは **5553800\*81120\*** を受信します。どちらの場合も、**555-3800 からの呼**が電話機のディスプレイに表示されます。

インバンド ANI を使用しない場合は、着信トランクグループ名が電話機のディスプレイに表示されます。

---

## 発信自動番号識別

発信自動識別（ANI）は発信に使うロシアの MF ANI、R2-MFC ANI、中国の #1 MF ANI、およびスペインの Multi Frequency España（MFE）ANI トランクのみに適用します。

発信 ANI を使って、発信呼で送信する ANI の種類を指定します。MF ANI（マルチ周波数シグナリングトランクで送信される発呼者の番号）の先行番号を COR によって定義できます。これによって、各種の局用交換機（CO）にいろいろな種類の ANI を送信できるようになります。

複数の種類の着信、発信トランクを使うタンデム呼の場合、サーバーでは次の呼を使用します。

- ロシアまたは R2-MFC 発信トランクの場合は、着信トランクの COR を割り当てた呼の種類
- MFE 発信トランクの場合は、自動迂回機能（ARS）の呼の種類

---

## キュー待ち ACD 呼へのローカルフィードバック

多数のコールセンターには、コスト削減を達成するために、エージェントの所在地を米国や欧州連合のロケーションから域外ロケーションに移す傾向があります。このようなコスト削減の達成に伴う 1 つの短所は、域外ロケーションに呼を転送することでトランクコストが上昇することです。

呼が代替の交換機に再迂回されると、その呼が応答可能なエージェントを待っている迂回先の交換機でキュー状態になっている間、可聴フィードバックを提供するのは迂回先の交換機の責任になります。通常、このような可聴フィードバックは、音楽の中に録音アナウンスメントを入れた形になります。

発信する交換機と受信する交換機間のトランクが IP トランクである場合は、音楽と録音アナウンスメントの packets が宛先の交換機から発呼者に送信されるときにバンド幅が利用されます。音楽は連続する特質を持つので、キューで待機する発呼者にこのような可聴フィードバックを提供するために必要なバンド幅は、一般的に発呼者とエージェントの間の会話をサポートするために必要なバンド幅よりも大きくなります。

Communication Manager により、呼が域外の交換機のキューに迂回された後でも、ベクター処理はローカルの発信元交換機で継続されます。発信元の交換機のベクター処理は、呼が宛先の交換機でキュー状態になっている間、発呼者に可聴フィードバックを引き続き提供できます。呼のキューイング段階の間、IP トランク上で packets を送信する必要はありません。

---

## キュー状態表示

Communication Manager では、キュー待ち呼数とキュー待ち時間を基に、自動着信分配 (ACD) 呼のキュー状態表示を設定できます。キューの状態をモニタしやすくするために、これらの表示をエージェント、スーパーバイザー、オペレーターの電話機や中継台のランプに割り当てることができます。

また補助キュー警告ランプを定義してキュー状態を監視できます。ディスプレイ付き電話機では、キュー待ち状態の呼数、待ち時間が最長の呼の待ち時間を表示させることができます。

---

## Avaya ベーシックコールマネージメントシステム

Avaya ベーシックコールマネージメントシステム (BCMS) は、コールセンター・エージェントのパフォーマンスを判定するために必要なデータを含むレポートを作成することによって、コールセンターのオペレーションを微調整するのに役立ちます。

BCMS 機能は、2000 人以下のエージェントで構成されるコールセンターに、低コストのコールマネージメント・コントロールおよびレポート作成機能を提供します。BCMS は、システム内で ACD コールデータ (7 日分まで) を収集し、処理します。コールマネージメントレポートを作成するために、外部プロセッサは不要です。

作成できるレポートのタイプを以下に示します。

- 次のリアルタイムレポート
  - エージェント状態
  - システム状態
  - ベクターディレクトリ番号状態
- 次のヒストリカルレポート
  - エージェント
  - エージェントサマリー
  - スプリット
  - スプリットサマリー
  - トランクグループ
  - ベクターディレクトリ番号

---

## Avaya Business Advocate

Avaya Business Advocate は、コールが過剰な状態ではエージェントのために呼を選択したり、また呼のためにエージェントを選択できるという、柔軟性を提供する機能を集めたものです。従来の「ファースト・イン／ファースト・アウト」方式ではなく、発呼者のニーズ、潜在的なビジネス上の価値、待つ意思があるかどうかなどを計算します。その上で、どのエージェントが発呼者に対応するかが決定されます。

### 自動リザーブエージェント

自動リザーブシステムは、システムがエージェントのスキルに対して稼働率割当機能を使用できる機能です。

### スキルによるコール選択オーバーライド

コール選択オーバーライドはスキルによって決定されます。コールセンタースーパーバイザーは、通常の呼処理アクティビティを特定のスキルについてのみ、またはコールセンター全体の規模でオーバーライドできます。

### ダイナミックな稼働率調整

ダイナミックな稼働率調整は、システムが実際のサービスレベルをサービス目標と比較できる機能です。システムはその後、スキルの全体的な利用効率を高めるようにサービス目標を調整します。

### ダイナミックなキューポジション

ダイナミックなキューポジションは、システムが複数のベクターディレクトリ番号 (VDN) からの呼をスキルのキューに入れることができる機能です。計算は、VDN のサービス目標率に匹敵する VDN の ASA 比に基づきます。この機能により、VDN 全体の呼処理のバランスが確実に調整されます。

### ダイナミックなしきい値調整

ダイナミックなしきい値調整は、システムが実際のサービスレベルとサービス目標を比較して、負荷しきい値を調整できる機能です。この機能により、過負荷状態のエージェントをより効率的に活用します。

## ログイン Advocate エージェントカウント

ログイン Advocate エージェントカウントは、サービス目標、稼働率、リザーブスキルがエージェントのログイン ID に割り当てられている場合、あるいはエージェントのスキルの 1 つが最少実稼働エージェントまたはサービスレベルスーパーバイザーを割り当てられている場合、Advocate エージェントのリミットに向けてエージェントを数える機能です。

## 稼働率割当

稼働率割当は、システムが、リザーブエージェントのあるスキルでの作業時間を、そのスキルの割り当て目標時間と比較することによって、呼を自動リザーブエージェントに分配できる機能です。

## 待ち時間オーバーによるリザーブエージェント起動

予想待ち時間（EWT）が、あらかじめ決められているしきい値を超える場合、または呼がキューで待機する時間が設定されているサービスレベルスーパーバイザーしきい値を超える場合、この機能はリザーブ（予備の）エージェントをアクティブにします。リザーブエージェントは、次の条件が両方とも満たされたときのみ、そのスキルから解除されます。

- そのスキルの EWT が設定されているしきい値の両方よりも低い。
- 先頭の呼がキューで待つ時間がサービスレベルスーパーバイザーしきい値を、もはや超えない。

---

## Avaya G700 Media Gateway でサポートされる Avaya コールセンター機能

Avaya コールセンター機能は、S8300 Media Server または S8700 Media Server では Communication Manager がインストールされた G700 Media Gateway でサポートされます。

Avaya G700 Media Gateway が備わった Avaya S8300 Media Server または Avaya S8700 Media Server は、Avaya コールセンター「基本」ソフトウェア（Communication Manager に付属）機能、また、小規模のオフィスや支社のオフィス用の低コストのコールセンターソリューションとしてオプションのコンピュータ・テレフォニー機能（CTI）を提供します。サポートされるエージェント数とメディアゲートウェイ数の最新の容量は、<http://www.avaya.com/support> で入手可能な容量に関するマニュアルを参照してください。容量のリストを見つける方法は、34 ページの「容量」を参照してください。

Avaya S8300 Media Server が備わった Avaya G700 Media Gateway は、さらに強固なコールセンター機能をサポートします。これには、Avaya ベストサービス・ルーティングとオプションの Avaya Virtual Routing をサポートする Avaya コールセンター「デラックス」、Avaya エキスパート・エージェント・セレクションやオプションの Avaya Business Advocate、Avaya Dynamic Advocate の各ソフトウェアの基本ソフトウェアとしてのサービスをサポートする Avaya コールセンター「エリート」が含まれます。

オプションのソフトウェアパッケージ（デラックスまたはエリート）に含まれるコールセンター機能は、「コールベクタリング」やリソースの選択による強力な統合された呼迂回を提供することで、Communication Manager コールセンターのユーザーが、カスタマーサービス、ヘルプデスク、トラベル、他のオペレーションを強化できるようにします。

---

## Avaya コールマネージメントシステム

Avaya コールマネージメントシステム（CMS）は、呼トラフィックデータの収集、管理レポートの作成を行い、自動着信分配（ACD）用管理インタフェースを提供します。以下の項目を考慮すると、ACD 環境での人員、トラフィックの負荷および設備を管理する上で役立ちます。

- どのくらいの呼を処理するか？
- どのくらいの発呼者がエージェントと話をする前に呼を放棄するか？
- すべてのエージェントが呼の負荷を適切に分担しているか？
- 追加が必要なほど回線が話中の場合が多いか？
- ある ACD ハントグループのトラフィックは過去 1 年間でどのように変化したか？

---

## Avaya Virtual Routing

Avaya Virtual Routing（旧名、ルックアヘッド・インターフロー [LAI]）は、ACD 呼の負荷バランスを複数ロケーションにわたって調整する機能です。Virtual Routing によって、各呼のニーズを分析し、各呼を最適ロケーションに直接転送することで、複数ロケーション間で呼の負荷をバランス調整することができます。例えば、呼の量やキューでの待ち時間、また時刻などの要素を分析します。

Avaya Virtual Routing によって、ベクターに定義されているパラメータ範囲内での呼の処理能力に応じ、呼をバックアップロケーションへ迂回させることもできます。反対にバックアップシステム側でも、定義されているパラメータに基づいて、呼に応答したり拒否したりできます。

Avaya Virtual Routing では、キューの先頭付近の呼のみがインターフローしてファースト・イン／ファースト・アウト（FIFO）の呼の配信ができるため、呼処理およびトランク処理を大幅に削減することができます。

---

## 拡張情報転送

情報転送の拡張により、コードセット 0 を共有するユーザー間情報 (UII) (非 QSIG の場合) または QSIG メーカー特有情報 (MSI) を使って、コールセンター関連の情報を公衆網、非 QSIG または QSIG プライベートネットワークで透過的に配信することができます。UII について詳しくは、76 ページの「[公衆網上のユーザー間情報](#)」を参照してください。

---

## コールセンター・リリースコントロール

コールセンター・リリースコントロールは、使用している交換機で「アクティブ」な機能を確認します。コールセンター・リリース・コントロール機能は、あるコールセンターソフトウェアが使用可能かどうかをコントロールします。

---

## コールプロンプティング

コールプロンプティングは、システムが発呼者から情報を集め、コールベクタリングを介して呼を転送できる機能です。

発呼者はシステムの音声ガイダンスを聞き、プロンプトの指示に従って情報を入力します。この情報を用いて呼は転送され、あるいは何か他の方法 (例えば、メッセージの記録) で処理されます。この機能は主に、自動着信分配 (ACD) アプリケーションで呼をより効率的に取り扱うために使われます。

---

## データコレクション

発呼者がデータを入力すると、このデータが後にホストコンピュータアプリケーションによって、呼処理のために使用されます。例えば、発呼者のアカウント番号などのデータが入力されると、このデータは照会/応答アプリケーションのサポートに利用できます。

---

## データ・イン/音声応答

データ・イン/音声応答 (DIVA) により、発呼者は入力する数字に基づいて選択したアナウンスメントを聞くことができます。これは、音声掲示板のようなアプリケーションに用いることができます。

---

## コールベクタリング

コールベクタリングは、発呼者側の最大の利益とコールセンターの効率を得るため自動着信分配（ACD）と一緒に組み合わせて使用できる、幅広い用途をもつ着信呼の迂回手段です。コールベクターとは、どのように呼を処理し、迂回するか定義する一連の呼処理ステップです（呼出し音、話中音の提供、音楽やアナウンスメントの再生、呼の自動着信分配（ACD）ハントグループへのキューイングなど）。ベクターコマンドと呼ばれるこのステップは、特定の呼が受け取る処理のタイプを決定します。

ベクターコマンドは、呼を構内あるいは内線延長（構外）の宛先、スキルまたはハントグループへの転送、あるいはアナウンスメント、強制切断、強制話中、音楽などの特定の呼処理へも転送することができます。

異なるベクターコマンドを組み合わせて、着信日時、予測待ち時間（EWT）、呼の重要度やその他の選択基準によって、着信呼の取り扱いを変えることが可能です。各ベクターには最大 32 のコマンドを持たせることができます。Communication Manager では、複数のベクターを「goto vector」コマンドでリンクさせることもできます。

---

## 拡張ベクタールーティング

拡張ベクタールーティングは、Communication Manager ベクタールーティングの性能を拡張する機能を集めたものです。

### 平均応答時間ルーティング

平均応答時間（ASA）ルーティングは、コールベクターの拡張機能で、VDN またはスプリット／スキルの平均応答時間に基づいて、呼のルーティングやキューイングを柔軟に行う方法を提供します。

### ベストサービス・ルーティング

ベストサービス・ルーティング（BSR）は、予測待ち時間（EWT）や応答可能なエージェントの特性に基づいて、リソース中の最適なローカルまたはリモートのスプリット／スキルへと呼を配信します。

### ベアラチャネル不要の IP ベースのベストサービス・ルーティングポーリング

ベアラチャネル不要の IP ベースのベストサービス・ルーティング（BSR）ポーリングは、ISDN PRI B チャネルがなくても H.323 IP トランク上の複数サイト間における BSR ポーリングが可能です。関連 IP メディアプロセッサハードウェアも不要です。

この BSR ポーリングソフトウェアでは、QSIG 一時シグナリング接続を使用するため、IP メディアプロセッサ基板は不要です。これにより BSR は、よりコスト効果の高いマルチサイトソリューションとなります。

### 予想待ち時間ルーティング

予想待ち時間（EWT）ルーティングは、呼の待ち時間を継続的に推定する特許アルゴリズムで割り出した、キュー状態の呼の待ち時間に基づいて、コールセンターのルーティングを決定する機能です。予想待ち時間のアナウンスメントによって、発呼者のキューでの待ち時間をより快適にできます。

---

### コールセンター・メッセージ

コールセンター・メッセージは、メッセージを残すか、またはエージェントのキューで待機するか 2 つのオプションを発呼者に与えます。例えば、オンライン注文エントリーシステムまたは着信コールセンターの操作をさらに自動化するために使用されます。

---

### ホリデーベクタリング

ホリデーベクタリングで、休・祭日など特別な日の着信呼に対するフレキシブルな管理が可能です。ホリデーベクタリング機能により、特別なスケジュールに関する情報を基に呼を分岐したり、迂回したりできます。特別なスケジュールは、それぞれ特別日を最高 15 日または日の範囲として設定できる表に記録します。ホリデーベクタリングで、最高 10 表をベクター処理で別々に処理することができます。

---

### ベクターディレクトリ番号

呼はベクターディレクトリ番号（VDN）を使用して、Communication Manager ベクターにアクセスします。ベクターディレクトリ番号は、物理的な装置の位置に割り当てられるのではなく、「ソフト」的な内線番号のことです。VDN には、システムマネージャーによって管理されるプロパティがあります。

VDN は、通常の内線番号を呼び出すのと同じ方法でアクセスできます。呼に応答する時、ディスプレイ上にベクターディレクトリ番号に関する情報（受注や苦情処理受付の名前など）が表示され、応答するエージェントは、ダイヤルされた番号を把握して呼に答えることができます。この操作により被呼先番号通知サービス（Dialed Number Identification Service: DNIS）が行われ、エージェントは着信呼の目的を確認することができます。

## VDN の接続制限クラス

接続制限クラス（COR）は VDN への転送のためにチェックされます。特定のエージェントから AUX トランクアナウンスメントをブロックするためにも使うことができます。VDN を許可または制限するようにモニタをセットすることもできます。

## Route-to DAC 呼における VDN の表示

Route-to DAC 呼における VDN の表示は、応答するエージェントに対して「VDN 発呼者」フォーマットを示す VDN オプションです。「VDN 発呼者」表示オプションは、呼の特定エージェントへの迂回が求められ、エージェントから応答がないかエージェントがログアウトしている場合は、呼をカバレッジへ転送する ACD アプリケーションに必要です。

## カバレッジパスの VDN

カバレッジパスの VDN は、コールカバレッジとコールベクタリングの両機能の拡張機能で、カバレッジパスの最終ポイントとしてベクターディレクトリ番号を割り当てることができます。カバレッジパスに転送される呼をベクタリングやプロンプティングによって処理して、コールカバレッジ処理を拡張します。

## オリジナル VDN アナウンス

オリジナル VDN アナウンス機能は、呼の処理に使用するベクターディレクトリ番号（VDN）をもとに、発呼者の発信地や求められているサービスに関する短いボイスメッセージをエージェントに流す機能です。オリジナル VDN アナウンス（VOA）のメッセージは、発呼者の用件に適した応答をするのに役立ちます。

例えば、受注用とサポート用の 2 つの 800 番号（米国でのフリーダイヤル番号）がある場合、同一エージェントグループに呼を迂回するよう 2 種類の VDN を設定します。着信呼がオリジナル VDN アナウンス（例えば「新規注文」または「サポート」）が割り当てられている VDN に迂回されると、その VDN は呼をベクターに迂回し、そのベクターが呼をエージェントのキューに入れます。エージェントが呼に応答する時に、オリジナル VDN アナウンスのメッセージが聞こえ、発呼者の用件に適した応答ができます。

この機能は、特に視覚障害を持つエージェントやディスプレイ付き電話機のないエージェントに便利です。

## VDN 返送先

VDN 返送先は、ベクターでいったん処理した呼を、設定された返送先へ再転送するオプション機能です。発呼者を除くパーティがすべて切断されていると、このステップが発生します。返送先は VDN 内線でなければなりません。

---

## コールワークコード

コールワークコード (CWC) によって ACD エージェントは、1 つの ACD 呼用に数字を入力し、社会保証番号または電話番号などの顧客が定義するイベント発生が記録できます。通話を中断することなく ACD (インバウンド) 呼中か、または通話後の後処理 (ACW) モード中に、CWC 機能ボタンの操作とダイヤルパッドの使用によって、エージェントはコールワークコードが入力できます。数字は、入力中にディスプレイ付きの電話機に表示されます。

---

## 呼情報転送

Avaya コールセンターはまた、AT&T Caller Information Forwarding (CINFO) (呼情報転送) サービスもサポートします。ユーザーはこれによって、ネットワーク経由で転送した独自のデータを収集できます。この情報は呼の迂回、またはエージェント電話機での可視表示に利用できるとともに、コンピュータテレフォニー統合 (CTI) アプリケーションに渡すこともできます。

---

## サイクリックステーションハントグループ

このハントグループタイプは、ハントグループ内の「ddc」または「ホットシート」アルゴリズムに代わるものです。Communication Manager は、ハントグループ内で呼を最後に受信した内線を記録します。別の呼が着信すると、次のアイドル状態の内線に送られ、前の呼を受信した内線に呼がまわらないようにします。

他の内線がアイドル状態であるにもかかわらず、ハントグループの最初の内線だけが最も忙しいという状態はなくなります。

---

## ATM の CMS 測定

ATM のコールマネージメントシステム (CMS) 測定は、CMS で ATM トランクを外部的に測定する機能です。拡張された装置がサポートされるよう CMS メッセージとレポートは修正されます。

---

## 被呼先電話番号通知サービス

これは、被呼者または応答エージェントに、着信呼に関連するサービスまたは製品を表示する機能です。システムが表示する内容はユーザーが設定します。

---

## ダイレクト・エージェントコール

ダイレクト・エージェントコールによって発呼者は、発呼のたびにいつでも同じエージェントに自動的に直接接続され、迅速な個人サービスを受けることができます。エージェントに対するこれらの直接呼は、コールセンターが測定する統計情報にも含まれます。

---

## CMS への二重リンク

CMS への二重リンクは、ある CMS へもう 1 つ追加の TCP/IP リンクを提供し、完全二重化した CMS データ収集機能と可用性の高い CMS コンフィギュレーションを可能にする機能です。同じデータが両方のサーバーに送られ、どちらのサーバーからも管理できます。

次の状態によるデータ損失を防ぐために、ACD データは異なるネットワークルートで配信されます。

- ACD リンク障害
- CMS ハードウェアまたはソフトウェアの誤作動
- CMS メンテナンス
- CMS アップグレード

---

## エージェントログイン ID の複製

エージェントログイン ID の複製で、類似エージェントのログイン ID フォーム設定が簡単にできます。

---

## エージェントログイン ID スキルペアの増加

LINUX プラットフォームは、20,000 の設定されたエージェントログイン ID をサポートするので、設定されたエージェントログイン ID スキルペアは 65,000 から 180,000 に増加されました。

このような拡張により、ユーザーは 20,000 のエージェントログイン ID に対してエージェント 1 人あたり平均 9 つのスキルを設定できます (180,000/20,000)。ユーザーは、それぞれ 20 のスキルを持つ 9,000 人のエージェントを設定することもできます (180,000/20)。スキルペアの数は、**Display Capacity SAT** (容量表示 SAT) 画面で Administered Logical Agent-Skill Pairs フィールドを使用して設定されます。

### 注記：

この容量の増加は、S8700 Media Server および S8700 の容量を持つ他の構成にのみ適用されます。

---

## エキスパート・エージェント・セクション

エキスパート・エージェント・セクション (EAS) により、特定のスキルタイプは、呼のタイプあるいはベクターディレクトリ番号 (VDN) に割り当てられます。ベクタリングにより呼のルートを決めると、システム管理は顧客の問い合わせに適切に対応するために必要な特別なスキルを持つエージェントに呼を迂回できます。

---

## スキルの追加と削除

エキスパート・エージェント・セクション (EAS) を使用するエージェントが、スキルを追加したり、削除できる機能です。スキルとはエージェントの特定の能力を表す数値識別子のことです。例えば、あるエージェントが英語とスペイン語を話せる場合は、そのエージェントに外国語会話スキル識別子 20 を割り当てることができます。顧客がスペイン語を話せるエージェントを必要とする場合、システムはそのスキルを持つエージェントに呼を迂回します。各エージェントはアクティブなスキルを 4 つまで持つことができ、各スキルには優先レベルが割り当てられます。

---

## スキルベース・ルーティング

ある特定のエージェントスキルを必要とする呼（「製品 X に関する知識を有する」あるいは「スペイン語を話す」など）を、必要なスキルを持つエージェントに転送することができます。最高 999 までのスキル番号のうちの 1 つを、1 つまたは複数のニーズに対して割り当てることができます。スキルは、管理設定して、以下のそれぞれに関連づけることができます。

- ベクターディレクトリ番号 (VDN)
- エージェントログイン ID
- 発呼者

以上のような細かいスキルの定義付け機能によって、着信呼の処理を、例えば顧客別、製品別、言語別などに分けて行うことができます。

---

## キューツーベスト ISDN サポート

キューツーベスト情報は、QSIG メーカー特有情報 (MSI) や ISDN プラットホーム拡張機能の一部であるエンベロープを使用して、公衆網および QSIG プライベートネットワーク上に透過的に配信されます。

---

## 最少実稼働エージェント

最少実稼働エージェント (LOA) 機能は、呼を空いているすべてのエージェントに均一に配分して、スキルの少ないエージェントの作業量と複数のスキルをもつエージェントの作業量とのバランスを取ります。すでにログインしているエージェントが現在の着信呼数レベルを維持しているのに、一方であるエージェントはシフトの始めにあるスキルにログインした後、休む間もなく電話応答しなければならないという問題は、LOA により解決されます。

---

## 複数呼処理機能（強制）

これは、他の呼がアラーティング状態、アクティブ状態、保留中に、エージェントが自動着信分配 (ACD) の呼に応答できるようにする機能です。

---

## 複数保留音源

複数保留音源によって、音楽またはカスタマイズしたアナウンスメントを、キューで待ち状態にある発呼者に提供できます。これにより、待ち時間がより生産的で快適になります。製品、サービス、その他のコールセンターアプリケーションに関する情報や、公共のサービス情報、音楽などを提供できます。

---

## アナウンスメント／音楽のローカル音源

アナウンスメント／音楽のローカル音源機能を使うと、ローカルポートネットワークまたはメディアゲートウェイ上で、アナウンスメントや音楽の音源にアクセスすることができます。

ローカル音源には、次のような利点があります。

- 音質が向上する
- VoIP リソースなど、リソースの使用量を低減する
- アナウンスメント／音楽の音源のバックアップメカニズムを提供する

---

## マルチスプリットキューイング

マルチスプリットキューイングによって、呼を同時に複数のスプリットに転送し、最初の応答可能エージェントが呼に応答できるようにします。最繁忙期でも容易に発呼者に対する迅速なサービスができる機能です。

---

## Network Call Redirection

今日、コールセンターの顧客はコスト削減のあらゆる手段を模索しています。公衆電話網（PSTN）仮想プライベートネットワーク（VPN）によってできるだけプライベートネットワークのコストを排除する方法もそのひとつです。こうしたコスト削減は、企業またはマルチサイトコールセンター環境、特にネットワークコストが一般に高い企業コールセンターでは特に重要です。

Network Call Redirection（NCR）は、トランクコスト削減のため公衆網または PSTN VPN 上の、複数サイト間の呼転送方法を提供します。関連トランクグループが、Network Call Transfer または Network Call Deflection 機能用に、公衆サービスプロバイダによって使用可能になっている場合は、着信 ISDN トランク呼に対してだけ NCR を起動できます。

---

## ETSI Explicit Call Transfer シグナリング

Network Call Redirection（NCR）の「ETSI Explicit Call Transfer（ECT）」機能サポートは、ISDN サービスに多様な PSTN サービスプロバイダを使用する、マルチサイトの米国以外の Avaya コールセンターによって求められます。これらの米国以外のコールセンターでは、呼を再転送する Communication Manager サイトで転送呼の ISDN トランクを占有せずに、サイト間で転送を実現することを求めています。

Network Call Redirection/Network Call Deflection (NCR/NRD) 機能は、アナウンスメント、コールプロンプティング、コールバックタリングに対応していません。したがって、ETSI ECT は、NCR/NRD を使用できないユーザーのための機能です。このようなユーザーは、発呼者に対してアナウンスメントを流し、Communication Manager コールプロンプティングを使用して、発呼者が呼の迂回を決定できるようにすることを望むからです。

---

## Network Call Redirection 2B チャネル転送

この拡張機能により、Network Call Redirection (NCR) 機能に 2B チャネル転送 PSTN ネットワーク転送プロトコルのサポートが追加されます。次のプロトコルがサポートされます。

- Telcordia TBCT (米国とカナダで Lucent 5Ess 交換機または Nortel DMS100 交換機でローカル PSTN および交換機間の PSTN が提供する)
- 将来使用するための 1998 ANSI Explicit Call Transfer (ECT)

もう 1 つのネットワーク転送は、PBX が呼の 2 番目の区間を設定し、ネットワークが着信呼を発信呼 (2B チャネル) とマージして、PBX へのトランクを切断する場合に生じます。

---

## PASTE

PASTE は、ユーザーがディスプレイ付き電話機で、電話機各ボタンの用途、交換機の機能特番の説明など、コールセンターデータを見るための機能です。PASTE は Avaya IP Agent とともに使用します。

---

## 優先キューイング

優先キューイングは、特別な発呼者に優先ステータスを割り当てて、他の発呼者より先に迂回させる機能です。これによって、大切な顧客にできるだけ早く対応できます。

---

## 理由コード

エージェントが、AUX ワークモードに入る理由やシステムをログアウトする理由を表す数値コードを入力できる機能です。理由コードにより、コールセンターの担当責任者は、エージェントの時間の使い方に関する詳細情報を把握できるようになります。このデータを使って一段と正確なスタッフ配置予測モデルを開発したり、またスケジュール厳守パッケージと共に用いて、エージェントにスケジュールどおりの時間にスケジュールに組まれた業務を確実に行わせるようにすることができます。理由コードを使用するには、エキスパート・エージェント・セレクション (EAS) をオンにしておく必要があります。

---

## 不応答転送

これは、呼び出し音が設定回数を超えた場合、ACD のスプリットやスキルの呼、ダイレクト・エージェントコールのリングングを転送する機能で、不応答の呼がいつまでも呼び出し音を鳴らし続けないようにします。呼はスプリットやスキルのいずれかに転送して別のエージェントに応答させたり、ベクターディレクトリ番号 (VDN) に転送して別の呼処理をしたりできます。ダイレクト・エージェントコールはエージェントのカバレッジパスに迂回し、カバレッジパスが設定されていない場合は VDN に迂回します。この機能を使用するには ACD 機能をオンにしておく必要があります。

---

## エージェントのリモートログアウト

エージェントのリモートログアウトは、機能特番を使用して、選択されたユーザーがエージェントからログアウトできる機能です。

---

## モニタ機能

モニタ機能は、スーパーバイザーなど特定のユーザーが、別のユーザーによる通話中の呼をモニタできる機能です。ベクターディレクトリ番号の呼もモニタできます。モニタするユーザーは、受話専用モードか、送受話モードでモニタできます。モニタ機能は、全内線番号のすべての呼ではなく、特定の内線番号をある電話機からモニタするようセットアップします。

**注記：**

モニタ機能は、国や地方の法律、規則や規制の適用対象となったり、発呼者と被呼者のどちらかまたは両方の同意が必要となる場合があります。この機能を使用する前に、適用されるすべての法律、規則、規制を調べ、従うようにしてください。

---

## COR によるモニタ機能

COR（接続制限クラス）によるモニタ機能により、一部のユーザーはモニタ機能の使用が制限されます。

---

## VDN のモニタ機能

VDN のモニタ機能（VDN のエージェント応答モニタとも呼びます）によって、スーパーバイザーは呼がエージェントステーションに転送された時点で、VDN への呼のモニタを開始できます。モニタするユーザーには、ベクター処理中の音声（アナウンスメント、音楽など）は聞こえません。

---

## リモートモニタ機能

機能ボタンが付いていない電話機からもモニタできるオプションです。モニタするユーザーは、（VDN による）リモートアクセス機能または呼ベクターリング／プロンプティング機能、あるいはその両方による「FAC 監視」手順で、VDN または物理的な内線装置をリモートでモニタできます。

---

## ベクター起動型モニタリング

VDN のエージェント応答モニタとも呼ばれるベクター起動型モニタリングによって、スーパーバイザーは呼がエージェントまたはステーションに転送された時点で、VDN への呼のモニタを開始できます。これによって、モニタするユーザーの VDN モニタ起動後の時間が節減できます。これは後続の各呼についてのベクター処理やエージェントの応答を待つ必要がないからです。

---

## リモートポートネットワークのための設置場所統計

リモートポートネットワークのための設置場所統計は、ロケーション ID を CMS に転送し、コールセンターのサイト固有のレポートを提供します。

---

## 公衆網上のユーザー間情報

この機能は、Communication Manager 上のアプリケーションから発信される、またはそこに着信する情報などを主要公衆網に伝送するメカニズムを提供します。

---

## 音声応答インテグレーション

音声応答インテグレーション (VRI) は、コールベクタリング機能をアバイアの CONVERSANT 音声情報システムなどの音声応答装置の機能に統合する機能です。また音声応答装置を自動着信分配機能 (ACD) にも統合できます。機能の統合にはさまざまな利点があります。例えば、呼がキュー待ち状態の間に、発呼者はオーディオテキスト・アプリケーションによる製品情報を聞いたり、あるいは対話型の音声応答処理を完了したりできます。また呼がキュー待ち状態のときに発呼者の質問に答えることもでき、これによりピーク時に他の発呼者のキュー待ち時間を短縮できます。

---

## VuStats

VuStats は、電話機のディスプレイに BCMS の統計情報を表示する機能です。エージェント、スーパーバイザー、コールセンター担当責任者やその他のユーザーがボタンを押すと、エージェント、スプリットやスキル、VDN、トランクグループの統計情報を表示できます。表示される統計情報は、エージェントが自分のパフォーマンスをモニタし、また発呼者の要求に的確に応えるのに役立ちます。次の機能が含まれます。

- VuStats ログイン ID
- VuStats サービスレベル

## 第 5 章： コラボレーション

Avaya Communication Manager には、同僚グループ、顧客グループ、および役員、営業担当者、専門家などとの共同作業を容易に行うことを目的としたさまざまな機能があります。こうした主要ワークグループには、高度で効果的なインタラクションが必要です。

本章は、次の 3 部に分かれています。

- 「[会議](#)」
- 「[マルチメディア・コーリング](#)」
- 「[ページングとインターカム](#)」

---

### 会議

---

#### ハングアップによる会議中止

会議ボタンを押し、何らかの理由で会議を完了する前に受話器を下ろすと、会議はキャンセルされます。ソフトホールドされていた元の呼はハードホールドされます。

---

#### 会議 — 3 者

会議ボタンを使用して、アナログ電話機ユーザーはオペレーターの支援なしで 3 者電話会議ができます。

---

#### 会議 — 6 者

会議ボタンを使用して、デジタル電話機ユーザーはオペレーターの支援なしで 6 者電話会議を行うことができます。

---

## 会議／転送表示プロンプト

会議／転送表示プロンプトは、ユーザーの接続制限クラス（COR）をベースにします。表示プロンプトは、ユーザーの COR をベースにし、ラインアピランス選択による会議、およびダイヤルトーンなしの会議操作機能に依存しません。起動した機能に応じて表示メッセージは変化しますが、追加情報の表示または非表示の選択は、電話機ユーザーの COR によって左右されます。

---

## 会議／転送 — 切り替え／スワップ

会議／転送 — 切り替え／スワップは、ユーザーが、全通話者への接続に先立って電話会議設定の最中に 2 人の通話者間で呼を切り替えたり、呼の転送に先立って両方の通話者と相談できる機能です。表示も 2 人の通話者間で切り替わります。

---

## グループ受話

グループ受話は、ご使用のスピーカフォンを受話専用モードにし、同時に受話器やヘッドセットを送受話モードにする機能です。これにより、1 人がグループの代表として話をできます。1 人が会話に参加して、室内の他の人々が会話の内容を傍聴することができます。

**注記：**

この機能は特定のタイプの電話機でのみ使用可能です。IP 電話機ではサポートされていません。

---

## 会議保留／保留解除

**Hold**（保留）ボタンによって、保留された通話者を会話に戻せる機能です。ラインアピランスボタンの代わりに、保留ボタンを使用します。保留／保留解除は、保留されているラインが 1 本で、他にアクティブなラインアピランスがない場合にだけ有効です。保留解除機能が許されない場合に選択されると、エラーメッセージが表示されます。

**注記：**

この機能は、BRI 電話機または中継台では使用できません。

---

## ミーティングカンファレンス機能

ミーティングカンファレンス機能によって、最高 6 者までの参加型電話会議を設定できます。ミーティングカンファレンス機能では、コールベクタリングを使って電話会議の設定を処理します。

ミーティングカンファレンス機能では、特番を必要とするように設定することもできます。特番が割り当てられ、特番の入力を要求するベクターがプログラムされていると、電話会議にダイヤルする各ユーザーは、正しい特番を入力しないと会議に参加できません。

ミーティングカンファレンス内線番号が顧客 DID ブロックの一部ならば、内部またはリモートアクセスユーザーのすべて、外部ユーザーのすべてがその番号をダイヤルできます。

---

## 拡張ミーティングカンファレンス機能

拡張ミーティングカンファレンス機能アプリケーションを使うと、参加者が 6 人を超える複数者間電話会議を設定できます。拡張ミーティングカンファレンス機能では、最大 300 人までサポートします。このアプリケーションは、Communication Manager リリース 3.0 以降で利用できます。

拡張ミーティングカンファレンス機能アプリケーションには、外部の Meeting Exchange (MX) サーバーが必要です。詳しくは、*Feature Description and Implementation for Avaya Communication Manager*, 555-245-205、第 3 版以降の “Expanded Meet-me Conferencing” を参照してください。また、MX サーバーのマニュアルも参照してください。

---

## ダイヤルトーンなしの会議操作

すでに始まっている 2 つの呼を会議させる場合、発信音の受信でユーザーが混乱しないようにできる機能です。すでに 1 人の通話者が保留されていたり、アラート状態のラインアピアランスがあると、自動ライン選択がスキップされます。ユーザーをガイドするヘルプメッセージが、場合に応じて表示されます。この機能はシステム規模で割り当てられます。

---

## 保留なしのカンファレンス

この機能により、ユーザーは現在の呼で通話を続けながら、もう 1 人の参加者を自動的に追加できます。新しい参加者は、呼が応答されるとすぐに通話に自動的に加わります。参加者が呼に追加される前に、オプションのトーンを鳴らすことができます。

### 注記：

発呼した電話機で、緊急時中継台アクセス呼の保留、会議、転送はできません。これは、それらの機能を使用する従来の方法、それらの機能を使用する保留なしの方法の両方に適用されます。

ダイヤルした後、設定された「timeout」フィールドで指定した時間内に、保留なしのカンファレンスが応答されない場合は、保留なしのカンファレンス呼は解除されます。

---

## ラインアピアランス選択による会議

ライン「b」での通話中に、別のラインが保留されているか、ライン「a」で着信呼が鳴っている場合、**CONF** ボタンを押すと、2 つのラインの呼がブリッジ接続されます。**Communication Manager** でラインアピアランス選択による会議機能を使用する場合、ユーザーはもう一度 **CONF** ボタンを押す代わりに、ラインアピアランスボタンを押して会議を終了させることもできます。

この機能は、**CONF** ボタンを押してラインがソフトホールドされている場合にのみ適用できます。**TRANSFER** ボタンを押してソフトホールドになっている場合は、この機能は適用されません。

---

## 会議参加者の選択表示、切断、ミュート操作

会議参加者の選択表示、切断、ミュート操作は、ディスプレイ付きデジタル電話機または中継台で、2 者間通話または電話会議を行っている他の通話者すべてをディスプレイに表示できる機能です。

話中に機能ボタンを押すと、電話機または中継台は会議表示モードになります。さらに同じ機能ボタンを反復して押すと、現在電話会議に参加している各通話者の表示がスクロールできます。ディスプレイには、発呼者の電話番号と名前（該当情報がある場合）が表示されます。

ユーザーはさらに、次のいずれかを実行できます。

- ボタンを一度押すだけで、現在表示されている通話者を選択して切断できます。電話会議中、追加した通話者からの応答がなく、呼がボイスメールへ転送される場合、この機能が役立ちます。
- ボタンを一度押すだけで、現在表示されている通話者を選択してミュートできます。選択された通話者は「受話専用」モードになります。電話会議中に1人の通話者が電話会議を保留すると、会議に参加している全通話者がそれぞれ保留音を強制的に聞かなければなりません。この機能によってそれが避けられます。すなわちユーザーは保留した通話者をミュートできるため、会議が中断なく継続できます。ミュートされた通話者は、電話機の # キーを押すことで会議に復帰できます。

### ⚠ 注意：

会議参加者の選択表示操作によって表示をスクロールする場合、電話機ユーザーは十分に注意する必要があります。あまり頻繁に表示のスクロールを繰り返すと、ハイパー動作機能によって電話機が使用できなくなります。その結果、電話機がリセットされ、ユーザーは電話会議から切断されます。

ミーティングカンファレンス拡張機能アプリケーションによって、あらゆる種類の会議の選択表示に影響がでます。詳しくは、*Feature Description and Implementation for Avaya Communication Manager*, 555-245-205、第3版以降の“Expanded Meet-me Conferencing”を参照してください。

## 会議のミュート操作の選択

会議のミュート操作の選択により、ディスプレイ付き電話機を持つ電話会議の参加者は、雑音のあるトランク回線をミュートできます。会議のミュート操作の選択は、相手側のミュートとしても知られています。

電話会議中にミュートすることが考えられる、雑音のあるトランク回線の例を次に示します。

- セル電話
- 保留音を使用する電話
- ミュート機能がない電話

会議のミュート操作の選択は、電話会議のトランク回線にのみ適用され、電話機には適用されません。選択によって一度にミュートできるのは、電話会議のトランク回線1本のみです。この拡張された会議機能は、「conf-dsp」および「fe-mute」ボタンの付いたディスプレイ付き電話機から起動できます。

会議のミュート操作の選択機能は、従来の3者または6者会議、あるいはミーティングカンファレンスのどちらの場合でも、Communication Managerによって設定される任意の会議で機能します。

### 注記：

この機能のためには、拡張された会議機能が「system-parameters customer-option (システムパラメータ顧客オプション)」画面で **Y** に設定されている必要があります。

---

## マルチメディア・コーリング

マルチメディア呼は音声とビデオの場合にのみ開始します。呼がいったん接続されると、通話者の1人が関連するデータ会議を開始して、データをサポートできる通話者全員をその呼に参加させることができます。データ会議は拡張サービスモジュール（ESM）と呼ばれる外部装置で制御されます。

---

## マルチメディア・アプリケーションサーバー・インタフェース

マルチメディア・アプリケーションサーバー・インタフェース（ASI）は、Communication Manager と、1つまたは複数の MMCX（マルチメディア・コミュニケーション・エクステンジ）ノードとをリンクします。MMCX は、アバヤ製のスタンドアローン型マルチメディア呼プロセッサです。この Communication Manager とのリンクにより、Communication Manager 機能の一部を共有できるようになるため、各 MMCX システムの機能が拡張されます。

特に、このインタフェースには次のような利点があります。

- 課金データ（CDR） — 課金データを取り込んで、Communication Manager の管理者が通常の呼を分析するのとまったく同じように、マルチメディア呼の呼パターンと利用度を分析できます。
- 自動迂回機能（AAR/ARS） — 利用できるリソースと使用するキャリアに基づいて、最もコスト効果の高い呼の迂回路を自動的に選択します。DEFINITY® MultiMedia Communication Exchange（MMCX）経由で公衆トランクが選択されることがあります。
- ボイスメール統合 — MMCX から EMBEDDED AUDIX または INTUITY AUDIX のボイスメッセージングシステムに MMCX からアクセスできます。

---

## ベクターと電話機でのマルチメディア呼事前応答

事前応答機能は、音声への変換に関連してマルチメディア呼に適用される機能です。事前応答には次の機能があります。

- データコールに応答する。
- 変換呼の完了前に、マルチメディア・プロトコルを確立する。
- 発呼者宛て、または発呼者からの音声パスが音声呼の応答時に必ず利用できるようにする。

事前応答機能は着信呼の場合、事前応答が迂回中やターミネーション処理中に指定された場合を除き、着信エンドポイントが応答した時にダイナミックサービスリンク呼に応答します。

### 注記：

「着信先音声エンドポイント」：着信先電話機の呼が転送されたり、内線延長（構外）にカバーされたりする場合、外線に呼が渡る場合があります。

---

## マルチメディア呼処理

180 ページの「[マルチメディア呼処理](#)」を参照してください。

---

## マルチメディア・エンドポイント（端末）へのマルチメディア呼の転送

デュアルポート・マルチメディア電話機は、コールカバレッジ、可変不在転送および話中転送（ステーションハンティング）などの呼の転送機能の着信先になる場合があります。この電話機でマルチメディア呼やマルチメディアに変換されたデータコールを受信することができます。

---

## ESM によるマルチメディアデータ会議（T.120）

データ会議は拡張サービスモジュール（ESM）という外部装置で制御されます。ESM によって T.120 プロトコル（データ会議制御用プロトコル標準である一般会議呼 [GCC] を含む）を完結し、データ会議の制御とデータの配信を行います。マルチメディアインタフェース基板の TN787 で、T.120 と ESM 間のデータレート調整を行います。

ESM について詳しくは、*Installation for Adjuncts and Peripherals for Avaya Communication Manager*, 555-233-116 を参照してください。

---

## マルチメディア保留、会議、転送、切断（ドロップ）

電話機のユーザーは、マルチメディア呼の保留、会議、転送または切断（ドロップ）を起動することができます。マルチメディア・エンドポイントと音声のみの電話機が、同じ会議に参加することができます。

---

## 音声アナウンスメント付きマルチメディア・キューイング

マルチメディア呼がハントグループのキュー待ちになっている場合、発呼者は音声によるアナウンスを聞くことができます。

---

## ページングとインターカム

---

### コードコーリングアクセス

これは、オペレーター、ユーザー、専用線トランクユーザーが、コード化したチャイムで呼び出しを行うことができる機能です。この機能は、電話機から離れていることが多いユーザー、あるいは電話機の呼び出し音が迷惑になる可能性のある場所にいるユーザーに便利です。

---

### グループページング

グループページングは、ユーザーが、他の人々に向けてスピーカフォンからアナウンスできる機能です。ユーザーがアナウンスを開始すると、スピーカフォンは自動的にオンになります。アナウンス対象者は、メッセージをハンドセットから聞くこともできますが、アナウンスをしているユーザーに応答することはできません。

グループページングのメンバーがコールアピランス（発着信）で話中、呼の呼び出し中、オフフック、「離席機能（Send All Calls）」がオン、「着信拒否（Do Not Disturb）」がオンのいずれかの場合、そのメンバーはアナウンスを受信しません。

---

### インターカム — 自動

この機能を使うと、頻繁に電話をかけあうユーザーが内線番号に電話する代わりに1つのボタンを押すだけで電話をかけることができます。発呼ユーザーが自動インターカムボタンを押し、ハンドセット（受話器）を持ち上げます。被呼ユーザーは特別なインターカムリングを聞きます。インターカムランプがあればそれも点滅します。

---

### インターカム — 自動応答

インターカムコールへの自動応答は、インターカムグループ内のインターカム呼に、インターカムボタンを押さずに応答できる機能です。インターカムコールへの自動応答は、内蔵スピーカ、ヘッドホンまたは外部スピーカフォンの付いたデジタル電話機、BRI 電話機、またはハイブリッド電話機で動作します。

---

## インターカム — ダイアル

これは、デジタル電話機ユーザーが、管理グループ内の他の人に容易に電話できる機能です。発呼者は、ハンドセット（受話器）を持ち上げ、ダイアルインターカムボタンを押し、希望する相手に割当てられた 1 桁または 2 桁のコードをダイアルします。被呼ユーザーの電話機ではベルが鳴り、インターカムランプがある場合には、これが点滅します。この機能によって、頻繁に電話をかけ合うユーザーは、内線番号をダイアルする代わりにボタンを 1 つ押して、1 桁または 2 桁のコードをダイアルすれば電話がかけられます。

---

## スピーカ・ページング・アクセス

これは、オペレーターおよび電話機ユーザーが、ボイスページング装置にダイアルアクセスできる機能です。システムは最高 9 つのページングゾーンを提供でき、全部のゾーンを同時に起動することができるゾーンを別に 1 つ用意できます。

### 注記：

ゾーンとはスピーカの設置場所のことです（例えば、会議室、倉庫、保管室など）。

この機能は、希望するページングゾーンのトランクアクセスコードをダイアルすることによって起動できます。また、アクセスコードを短縮ダイアルリストに入力しておくこともできます。この機能を起動すると、ハンドセット（受話器）に向かって話をするだけで、アナウンスを行うことができます。

デラックス・スピーカ・ページング・アクセス（デラックスページングとも呼ばれる）は、オペレーターおよび電話機ユーザーからページング装置およびコールパーク機能へ統合アクセスできる機能です。デラックスページングを起動すると、呼は自動的にパークされます。コールパークで保留された呼は、タイムアウト設定時間が切れると識別呼出しを発してパーク操作をしたユーザーに戻ります。

---

## マニュアル・シグナリング

あるユーザーが別のユーザーに信号を送ることができる機能です。受信側ユーザーは 2 秒の呼び出し音を聞きます。信号を発する側のユーザーがボタンを押す度に信号が送られます。信号の意味は送信側と受信側間であらかじめ取り決めます。受信側電話機が着信呼からの呼び出しを受けている最中の場合、マニュアル・シグナリングは拒否されます。

---

## ウィスパーページ

ウィスパーページにより、話中の電話に、話し手のアシスタントや同僚が割り込んで（ブリッジして）、電話の相手（複数の場合も可）に聞こえないようにして、話し手にメッセージを伝えることができます。ウィスパーページは特定のタイプの電話機でのみ使用可能です。

## 第 6 章： 対応通信デバイス

---

### Avaya IP Agent

Avaya IP Agent は PC ベースの IP アプリケーションで、エージェントが PC を電話として使用できるようにします。標準電話機の従来の機能（転送、保留、会議など）に加えて、IP Agent はディレクトリサービス、スクリーンポップ、呼の履歴、エージェントモードの履歴を提供します。

---

### Avaya IP Softphone

Avaya IP Softphone により、さらに高度な Communication Manager サービスが利用できます。この機能により、PC やノートパソコンを高性能電話機として使用できます。PC で電話の送受信や、複数の電話の処理ができます。

#### 注記：

二重接続（2 つの内線番号）構成を使用する R1 および R2 IP Softphone ならびに IP Agent は、サポートされなくなりました。単一接続（1 つの内線番号）構成を使用する R3 および R4 IP Softphone ならびに IP Agent は、引き続きサポートされます。これは、ロードウォリアー構成および IP Softphone 用の Native H.323 構成に適用されます。

IP Softphone の R5 リリースは、次の機能を含む多数の拡張機能をサポートします。

- 改善されたエンドポイント接続復旧アルゴリズム
- AES メディア暗号化（195 ページの「[暗号化アルゴリズム、ベアラチャネル用](#)」を参照）
- インスタントメッセージング
- ユニコードのサポート（89 ページの「[ユニコードのサポート](#)」を参照）
- ソフトフォンと電話機の共有制御（88 ページの「[IP Softphone と IP Agent — 共有コントロールモード](#)」を参照）

DCP 電話機の特定のモデルとともに使用した場合、IP Softphone では、拡張機能を備えたグラフィカルユーザーインターフェースを使用できます。Communication Manager は H.323 登録のモードをサポートし、これによって IP Softphone は電話機を使用不可にせずに、DCP 電話機と同じ内線番号を登録できます。また、IP Softphone が電話機と並行して、ボタンプッシュメッセージを送信したり、ディスプレイメッセージおよび呼処理メッセージを受信できるようにします。このモードで、Softphone は音声を着信しません。

---

## IP Softphone と IP Agent — ロードウォリアーモード

IP Softphone および IP Agent のロードウォリアーモードでは、世界中のあらゆる一時滞在の遠隔地から Avaya Communication Manager の全機能を使用できます。ロードウォリアーアプリケーションは、IP ネットワークで Communication Manager に接続されている PC で実行される 2 つのソフトウェアで構成されています。

PC と Communication Manager 間の単一ネットワーク接続に 2 つのチャンネルが使用されます。1 つはシグナリングパスでもう一方は音声用パスです。Communication Manager では、ロードウォリアーアプリケーションのシグナリング用に CLAN 基板が、音声処理用に IP メディアプロセッサが必要です。

---

## IP Softphone と IP Agent — 共有コントロールモード

IP Softphone と IP Agent の共有コントロールモードでは、同一の内線番号で電話機のエンドポイントと IP Softphone を使用できます。IP Softphone と IP 電話機を統合して、IP Softphone で机上の IP 電話機を制御できます。これによって、PC デスクトップの機能（LDAP ディレクトリ、TAPI PIM/Contact Manager など）を、デスクトップ IP 電話機とともに使用できます。

IP Softphone は、稼動中の電話機のエンドポイントに割り当てられた内線番号に登録できます。そのときから、どちらかのエンドポイントで実行したユーザーの操作は、内線番号への呼または内線番号からの呼に適用されます。ただし、内線番号の音声を伝送するのは電話機のエンドポイントのみです。

---

## IP Softphone と IP Agent — テレコミュータモード

IP Softphone と IP Agent のテレコミュータモードでは、テレコミュータが自宅から Communication Manager の全機能を使用できます。Communication Manager にそれぞれ個別接続する PC および電話機で構成されます。PC は、呼のコントロール用のシグナリングパスとユーザーインタフェースを提供します。標準の電話機を使用することで高品質の音声パスを提供します。テレコミュータ・アプリケーションにはシグナリング用に CLAN 基板が必要です。テレコミュータ・アプリケーションでは、IP メディアプロセッサは使用しません。

---

## ポケットコンピュータ用 Avaya IP Softphone

ポケットコンピュータ用 Avaya IP Softphone により、さらに高度な Communication Manager サービスが利用できます。この機能では、携帯情報端末（PDA）を高度な電話機として使用できます。PDA で電話の送受信や、複数の電話の処理ができます。

---

## Avaya Communication Manager PC コンソール

Avaya Communication Manager PC コンソールにより、オペレーターは、パーソナルコンピュータを使って効率的に着信呼を処理できます。使い慣れた Microsoft Windows のグラフィカル ユーザーインターフェース (GUI) を使用して、オペレーターは発呼者がどのくらい待ち状態にあるか、またどの番号を待っているか容易に把握することができます。オペレーターは同時に最高 6 つの呼をモニタできます。

呼に応答するとき、オペレーターは紙と鉛筆でメモを取る必要はありません。各発呼者が何を必要としているかコンピュータに情報を入力することができるからです。こうした機能を使うことで、顧客に会社の良い第一印象を与えることができます。同じコンピュータでスプレッドシート、ワードプロセッサなどのソフトウェアと呼処理ソフトウェアを使用することができるため、オペレーターは電話と電話の間でも生産性を維持できます。

PC コンソールは容易にカスタマイズできます。そのため、たとえ異なるシフトのオペレーターが同じコンピュータを共有するとしても、各自の好む呼処理環境を維持できます。PC コンソールの表示には英語、標準フランス語、ラテンアメリカのスペイン語、ドイツ語、オランダ語、イタリア語、ポルトガル語が用意されています。例えばスペイン語を話すオペレーターがフランス語を話すオペレーターの後を引き継ぐ場合、ボタンを一回押すだけですべてのラベル、エラーメッセージおよびオンラインヘルプがスペイン語に変わります。

---

## Avaya SoftConsole

Avaya SoftConsole は、Windows ベースの GUI アプリケーションで、物理的な 302B 「ハード」コンソールの代わりになります。これによってオペレーターは、IP 接続による PC インタフェース経由で、呼への応答や呼の迂回ができます。

---

## ユニコードのサポート

Communication Manager では、ユニコードが使用可になっている電話機での英語以外の静的および動的なテキスト表示をサポートします。英語以外のディスプレイ情報は、Avaya Integrated Management アプリケーションに入力します。Communication Manager では英語以外のテキストを処理、格納し、ユニコード表示をサポートする電話機に送信します。

ユニコードのサポートによって、国際的なソリューションおよび多国間の通信をサポートする機能が提供されます。エンドユーザーには、母国語の通信インターフェース (IP 電話機または IP Softphone による) が提供されます。この機能は、簡体字中国語、日本語、韓国語 (CJK) の文字セットをサポートします。

---

## ユニコードの QSIG サポート

ユニコードの QSIG サポート機能により、単一サーバーのユニコードサポートをマルチノードの Communication Manager ネットワークに拡張できます。この機能を使うと、大規模な構内構成全体でのユニコードサポートが可能になります。多くの構成には、拡張性の要件により、複数の Communication Manager サーバーが含まれています。この機能によって、通常複数の Communication Manager サーバーを使用する、多国籍企業などで使われる大規模な社内ネットワーク全体でのユニコードサポートも可能になります。

## 第 7 章： ホテル機能

---

### 英数字ダイヤリング

英数字ダイヤリングは、長い電話番号の代わりに、英数字名を入力することによりデータコールを発呼できる機能です。

### アテンダントルームステータス

44 ページの「[アテンダントルームステータス](#)」を参照してください。

### ダイレクトインダイヤル番号の自動選択

この機能によりシステムが、利用できるダイレクトインダイヤル（DID）番号一覧から番号を自動的に選択でき、この番号は宿泊客のチェックイン時に客室の内線に割り当てられます。

この機能で、ホテルは宿泊客に客室番号とは異なる 2 つ目の電話番号を与えて、宿泊客のプライバシーを守ることができます。特定の DID 番号がダイヤルされると、その呼は客室の内線に転送され、その客室に直接電話をかけたようにカバー処理されます。宿泊客のセキュリティの向上に加え、オペレーターまたはフロント係員が客室へ呼を転送する必要もなくなります。

### 自動モーニングコール

自動モーニングコールは、オペレーター、フロント係員および宿泊客が、ある内線番号にモーニングコールが 1 回または 2 回、後で自動的にかかってくるように設定できる機能です。モーニングコールが発呼され、応答すると、録音アナウンスメント（スピーチ合成アナウンスメントが可能）、または音楽が流れるか、単に無音となります。内蔵アナウンスメント機能を使うと、海外からの宿泊客に対してさまざまな言語でモーニングコールをアナウンスできます。

92 ページの「[デیلیーモーニングコール](#)」、93 ページの「[モーニングコール 2 回呼び](#)」、95 ページの「[VIP モーニングコール](#)」を参照してください。

---

## チェックイン／チェックアウト

この機能により、フロントの係員が到着した宿泊客をホテルへチェックインしたり、出発客をチェックアウトできます。これには **PMS** 電話機から、あるいは中継台（またはバックアップ電話機）からの 2 つのいずれかの方法で行います。中継台からのチェックイン／チェックアウトはプロパティ・マネージメント・システム（**PMS**）がない場合、または **PMS** へのリンクがダウンしている場合にのみ使用します。**PMS** が設置され、作動している場合は、**PMS** を使って宿泊客のチェックイン／チェックアウトを行います。

中継台からの宿泊客のチェックイン／チェックアウト用に、中継台（またはバックアップ電話機）には「チェックイン」、「チェックアウト」とそれぞれラベルの付いた 2 つのボタンがあります。チェックイン処理では、客室電話の制限を解除して外線通話を可能にする、客室の状態使用中に変更する、という 2 つの機能を実行します。

---

## ユーザーが選択可能な VIP DID 番号

この機能は DID 番号の自動選択機能を基にした機能です。これによってホテルの従業員は、チェックイン時にホテルの客室に割り当てる DID 番号を制御できます。すなわち、ユーザーは客のチェックイン時に、システムの要求に応じて任意の DID 番号を指定できます。これらの割り当て番号は、自動選択機能で使用するものとは別の、DID 番号プールから選択します。システムがこの番号群から自動的に番号を割り当てることはありません。この番号群の番号は、ユーザーが明確に指定した場合にのみ使用されます。

---

## デイリーモーニングコール

デイリーモーニングコールにより、宿泊客またはフロントの係員が、1 回リクエストを設定するだけで毎朝のモーニングコールを設定できます。例えば、宿泊客が宿泊期間中毎日、午前 5 時 30 分にモーニングコールを受ける必要がある場合、システムに毎日別々に要求を出すのではなく、1 回の要求を出すだけで済みます。

---

## 名前によるダイヤリング

名前によるダイヤリングは、システムへの発呼者が、連絡しようとしている宿泊客の名前をダイヤルするだけで、客室にアクセスできる機能です。この機能では録音アナウンスメントおよびコールベクタリング機能を使って、自動中継台手順を設定します。この自動中継台手順により、発呼者が宿泊客の名前を入力できるようになります。一致する単一または唯一の名前が見つかると、その呼はその宿泊客の客室へ転送されます。

---

## 着信拒否（ホテル）

着信拒否（ホテル）は、宿泊客、オペレーターおよび権限を与えられたフロントユーザーが、優先電話以外の呼を指定された時間まで特定の内線に接続しないように設定できる機能です。

---

## モーニングコール 2 回呼び

この機能により、宿泊客は、2 回の異なる時刻にモーニングコールを受けることができます。モーニングコール 2 回呼びは、ホテルで使用される標準の自動モーニングコール機能の拡張機能です。

標準のモーニングコール機能では、宿泊客またはフロント係員は、1 つの内線番号につきモーニングコールを 1 回設定できます。モーニングコール 2 回呼び機能では、宿泊客およびフロント係員は 1 回または 2 回のモーニングコールを設定できます。宿泊客用のモーニングコール 2 回呼び機能は、システムがスピーチシンセサイザ基板を装備していない場合にのみ有効です。

---

## ハウスキーピングステータス

ハウスキーピングステータスは、最高 6 つのハウスキーピングのステータスコードを記録し、プロパティ・マネジメント・システム（PMS）へレポートする機能です。このステータスコードは通常、清掃係が客室または指定の電話機から入力します。フロント係員が中継台またはバックアップ電話機を使って更新することもできます。客室からは 6 つのステータスコードを、客室サービスクラス（COS）のない電話機からは 4 つのステータスコードを入力できます。

---

## 氏名登録

氏名登録は、チェックイン時に宿泊客の名前および部屋の内線番号をプロパティ・マネジメント・システム（PMS）から交換機へ自動的に送信し、チェックアウト時に自動的にこの情報を削除する機能です。氏名登録機能によって提供される情報は、中継台あるいはホテルのさまざまな場所（例えば、ルームサービス、セキュリティなど）にあるディスプレイ付きの電話機に表示することができます。

---

## プロパティ・マネジメント・システム付加番号の挿入／削除

宿泊客の客室電話内線番号の設定は、大抵の場合、客室番号の始めにもう 1 桁加えた番号が使用されます。PMS 付加番号の挿入／削除機能により、メッセージ内の内線番号の付加番号をユーザーが削除できます。この機能は、客室番号の前に同じ 1 桁を加えた番号を内線番号として使用しているホテルで役立つ機能です。この付加番号は、メッセージが交換機に送られると自動的に挿入されます。

PMS インタフェースは 3、4、5 桁の内線番号に対応していますが、付加番号の付いた内線の場合、インタフェースを通して番号全部が送られるものではありません。割り当てられた内線番号だけが送られます。このため付加番号の挿入／削除機能も使用する場合、付加番号はダイヤルしないようにしてください。

---

## プロパティ・マネジメント・システム・インタフェース

プロパティ・マネジメント・システム（PMS）により顧客は病院とホテル／モーテルの両方の環境で用いられる特定の機能を制御することができます。プロパティ・マネジメント・システムは通信リンクを使用して交換機に問い合わせることができ、また交換機と PMS 間で情報を伝達することができます。交換機は宿泊客のステータス情報（客室番号、コールカバレッジパス、その他のデータ）を PMS と交換します。

宿泊客データは次の 2 つの方法で符号化できます。

- BCD 符号化と ASCII 文字セットの組み合わせを使用
- ASCII 文字セットのみを使用

---

## 一桁ダイヤリングと混合桁ダイヤリング

この機能は、ホテルスタッフあるいは宿泊客が簡単に内部のホテル／モーテルサービスへアクセスできるようにします。また、部屋番号と客室の電話を関連付ける機能を提供します。この機能は一桁ダイヤリング、内線プレフィクスおよび混合桁ダイヤリングという3種類のダイヤルプランを提供します。

---

## Suite Check-In

Suite Check-In は、一度に2台以上の電話機をチェックインできる機能です。これは複数の内線がある客室では便利です。この機能は、すべての内線が同時にチェックインされることを可能にします。Hunt-to 機能による Suite Check-In はまた、スイート全体のすべての内線を同時にチェックアウトすることもできます。

---

## VIP モーニングコール

VIP モーニングコールは、フロント係員が重要な宿泊客に個別にモーニングコールを発することが出来る機能です。重要な宿泊客に対してモーニングコールがスケジュール設定されると、フロント係員にモーニングコール通知呼が発呼され、そこで係員がその宿泊客にじかにモーニングコールを発呼します。

---

## 確認トーンによるモーニングコール起動

スピーチシンセサイザ基板が装着されていない場合でも、宿泊客は自分用のモーニングコール（モーニングコール2回呼び機能がオンの場合は2回）を入力できます。スピーチシンセサイザ基板を使用している場合には、音声プロンプトは流れません。その代わりに、呼処理トーン（リコール発信音および確認トーン）が聞こえ、これでモーニングコールを設定します。

---

## Xiox Call Accounting

Xiox Call Accounting は、ホテル機能付きのあらゆるシステムの外部装置として機能します。Xiox Call Accounting 機能により、ネットワークやその使用法に関する重要な決定を行うのに必要な情報を作成して、ホテルの経営者がホテルの電話システムを主要な収入源として利用できます。

## 第 8 章： ローカライゼーション

---

### 表示言語の設定変更

電話機ディスプレイ装置に、ユーザーが話す言語でメッセージを表示できる機能です。これらのメッセージには、英語（デフォルト）、フランス語、イタリア語、スペイン語、またはユーザーが定義したもう 1 つの言語が使用できます。ディスプレイメッセージの言語は各ユーザーが選択します。この機能には 40 文字ディスプレイ電話機が必要です。

### 可変ロスプラン

可変ロスプランは、電話呼の信号ロスおよびゲインを設定する機能です。音声呼の許容ロス量は国によって異なることがあるため、この機能は必要です。可変ロスプランでは交換機のエンドポイントは 17 タイプに分類され、トランク、電話機、個人用局線に対してロスプランを設定できます。ロス値の範囲は、15 dB ロス～ 3 dB ゲインです。国別のデフォルト値があらかじめ設定されています。

### Bellcore 方式発信者 ID

この機能により、システムは、Bellcore 方式発信者 ID をサポートする地域電話会社（LEC）ネットワークから発信者名情報を受け付けることができます。Bellcore 方式発信者 ID が設定されている場合、システムは発信者名情報をそのフォーマットで送出できます。次の発信者 ID プロトコルをサポートします。

- Bellcore（デフォルト） — 米国のプロトコル（212 モデムプロトコルの Bellcore 伝送プロトコル）
- V23-Bell — バーレーンのプロトコル（V.23 モデムプロトコルの Bellcore 伝送プロトコル）

---

## コレクトコール阻止

この機能は、接続制限クラスに基づいて、コレクトコールを阻止します。この機能は、ブラジルの国番号を用いるあらゆる交換機で使用できます。電話機でこの機能がオンになっていると、その電話機に着信するすべてのトランク呼は局用交換機（CO）にダブル応答を返します。ダブル応答は、この特定の電話機がコレクトコールを受け付けないことを CO に知らせます。呼がコレクトコールであれば、CO はここで呼を接続しません。

---

## 話中音切断

世界の一部地域では、CO が切断メッセージの話中音を送信します。CO から話中音を送信されると、話中音切断によって交換機は、アナロググループスタートの局用交換機トランクを切断します。

---

## 各国仕様のローカライゼーション

---

### イタリア

#### Distributed Communications System（分散通信システム）プロトコル

イタリア DCS は既存の DCS 機能に追加機能を加えたもので、イタリアの TGU/TGE 専用線トランクの使用を必要とします。

次のような機能が追加されています。

- EDCS ネットワーク内の交換機間で接続制限クラス（COR）の情報の交換
- オペレーターに呼処理情報を提供
- メイン交換機とサテライト交換機間の中継台の割り込み
- サテライト交換機ではなく、メイン交換機での DID/CO インターセプト処理を提供

---

## 日本

### TTC Q931a 専用線プロトコルのサポート

TTC が標準化した日本独自の PBX 間のデジタル専用線プロトコルをサポートします。Q931a プロトコルは、標準 ISDN プロトコルとは異なります。当交換機は、Q931a プロトコルをサポートします。

### カタカナ文字セット

Communication Manager では、日本語のカタカナ文字をサポートします。この 9 ポイントのフォントは、交換機によって生成されるメッセージに加えて、カタカナ文字をユーザーインタフェースに表示できるようにするために設計されました。

---

## ロシア

### G700 Media Gateway での局用交換機サポート

Communication Manager は、G700 Media Gateway を使用して、局用交換機（CO）をサポートします。

### ISDN/DATS ネットワークサポート

system-parameters country-options（システムパラメータ国オプション）画面で、tone generated（生成トーン）フィールドに 15（ロシア）を設定すると、この機能が ISDN/DATS トランクネットワークをサポートします。ロシアのトランクネットワークをサポートするため、オーバーラップ送信遅延、ISDN T302 および T304 タイマーが変更されます。

### マルチ周波数パケットシグナリング

マルチ周波数パケット（MFP）アドレスシグナリングは、発信 CO トランクに対してロシアで提供される機能です。発呼者番号およびダイヤルされた番号情報が、市内交換機と市外交換機間の発信リンクに送信されます。ロシアの MFP は、trunk（トランク）画面の **type**（タイプ）フィールドにある各トランクグループに設定されます。

#### 注記：

ロシアの MFP は PCOL トランクには適用されません。

---

## E&M シグナリング — 連続およびパルス式

連続およびパルス式 E&M シグナリングは、米国で使用されている E&M シグナリングを改良したものです。連続 E&M シグナリングはブラジル向けのものですが、ハンガリーでも使用できます。パルス式 E&M シグナリングはブラジル向けのもので

---

## マルチナショナルロケーション

複数国で事業を行う企業の場合は、マルチナショナルロケーション機能を使うと、単一の Enterprise Communication Server (ECS) を、次のような機能とともに複数国で利用できます。

- 電話機
- ポートネットワーク
- リモートオフィス
- メディアゲートウェイ

マルチナショナルロケーション機能を使えば、国境を越えて、次のような Communication Manager 機能が利用できます。

- A & Mu law 圧縮
- 呼処理トーン生成
- ロスプラン
- アナログライン基板パラメータ
- 課金データ (CDR)
- R2-MFC (マルチ周波数シグナリング) トランク

マルチナショナルロケーション機能は、Communication Manager リリース 2.1 以降がサポートするすべての Linux プラットフォームで動作します。

S8300、S8500、S8700 の各 Media Server は、25 ロケーションのパラメータセットをサポートします。最大 25 カ国まで、サポートする国ごとにパラメータセットを 1 つ設定できます。

### 注記：

S8100 Media Server は、1 つのロケーションしかサポートしないため、複数のロケーションに依存するマルチナショナルロケーション機能は、S8100 プラットフォームではサポートされません。

---

## ロケーションごとのアナログライン基板パラメータ

各ロケーションについて、次のようなアナログライン基板パラメータを設定できます。

- アナログ呼び出し断続音
- アナログライン送信
- フラッシュフック間隔上限
- フラッシュフック間隔下限
- 転送切断タイマー (msec)

アナログライン基板は、基板のロケーションパラメータにしたがって、上記のパラメータを使用します。

---

## ロケーションごとの DCP 電話機／基板の圧縮

各リモートオフィスやメディアゲートウェイ、また回線交換システムのその他の部分についても、圧縮モードを設定できます。

- デジタル通信プロトコル (DCP) の電話機が使用可能になると、Communication Manager が電話機のロケーションに合った圧縮モードをダウンロードします。
- 基板が使用可能になると、Communication Manager が、基板をサポートするメディアサーバー、リモートオフィス、メディアゲートウェイに設定された圧縮モードをダウンロードします。

---

## 課金データ記録のロケーション ID

次の課金データ (CDR) パラメータを、ソースと宛先の両方について、CDR カスタムフォーマットで設定できます。

- ロケーション
- タイムゾーン
- 国

---

## ロケーションごとのロスプラン

各ロケーションについて、デジタルロスおよびトーンロス、DCP ターミナルのロスパラメータ、管理者が指定したカスタムデータを設定できます。

マルチロケーションのイントラシステム呼のロスを挿入する場合、Communication Manager では、IP 専用線トランクが異なる通話者に接続されているかのように呼を処理します。音声ストリームが TDM から IP に変換されると、システムではその音声ストリームを調整します。システムは、送信ロケーションの IP メディアプロセッサ基板上で、音声ストリームを IP 上の音声について定められた ISO 標準レベルになるように調整します。次に、受信ロケーションのメディアプロセッサで、音声ストリームが該当ロケーションの TDM レベルになるように調整します。

この基板レベル調整は、DS1 リモート拡張ポートネットワーク (EPN) については行われません。対象となる国の音声伝送レベルがほぼ同じであれば、複数国間で DS1 リモート EPN を使用できます。

---

## トランクグループごとのマルチ周波数シグナリング

Communication Manager リリース 2.1 より前のバージョンでは、R2-MFC シグナリングのパラメータをシステムごとに設定していました。Communication Manager リリース 2.1 以降の場合は、R2-MFC シグナリングのパラメータをトランクグループごとに設定します。

R2-MFC シグナリングのトランクグループでは、そのトランクグループについて設定された MFC シグナリングコードに従って、8 つの MFC シグナリングパラメータのいずれかを使用します。

---

## ロケーションごとのトーン生成

各ロケーションについて、トーン生成の特性と管理者が指定したカスタムデータを設定できます。電話機やトランクで Communication Manager ECS 生成トーンを再生する必要がある場合、音声を聞く側のエンドポイントロケーション、または呼のもう一方のエンドポイントのトーン特性を使って、呼にトーンが流れるようにサーバーを設定できます。

---

## 公衆網コールの優先

公衆網での優先通話は、公衆網の交換機での緊急呼保持、強制切断、イントルージョン、解放制御モードおよび再呼び出しを提供します。これらの機能は各国で別の名称で呼ばれることが多くあります。

---

## ワールドクラストーン検出

ワールドクラストーン検出は、Avaya Communication Manager がシステムの設定に応じて異なるタイプの呼処理トーンを識別、処理できるようにします。トーンデテクタとデータ端末ダイヤルの表示を使用して、短縮ダイヤル、自動迂回機能（AAR/ARS）の利用、あるいはデータ端末ダイヤルによって、トランクコールにいつデジットを送出するかを決定できます。



## 第 9 章：メッセージ統合

---

### 可聴音メッセージウェイティング

可聴音メッセージウェイティングは、電話ユーザーが受話器を持ち上げると、ダイヤルトーンのはじめにスタッターを発する機能です。このスタッタートーンはユーザー宛てに待機メッセージがあることを示します。この機能は、メッセージランプを見ることができない視覚障害者に特に役立ちます。この機能は、メッセージ・ウェイティング・ランプのない電話機でよく使用されます。

可聴音メッセージウェイティングは、ユーザーに提供するトーンの特性に制限がある国では利用できない場合があります。

---

### Avaya Interactive Response

Avaya Interactive Response (IR) (旧名 INTUITY Conversant®) 音声情報システムは、電話を適切な部署へ迂回するような単純な作業から、大学生の授業の登録あるいは銀行の残高照会などの複雑な作業の電話処理を自動化する対話型音声応答システムです。デジタル録音された自然な話し言葉で顧客と対話し、1 日 24 時間、オペレーターの手を借りずにサービスを行います。

システムは単一あるいは複数の音声応答アプリケーションを同時に処理することができ、一度に最高 48 人の発呼者にサービスすることができます。情報提供あるいはデータ収集用に単独運用することも、あるいは預金口座記録のような大きいデータベースにアクセスするためにホストコンピュータと一緒に運用することもできます。優れた音声認識機能により、ダイヤル式電話を使用しているユーザーでも、電話によるさまざまなサービスが利用できます。先進の電話機能により、既存の電話環境でインテリジェントな呼転送機能を実現することができます。

---

### モードコード接続による集中化ボイスメール

集中化ボイスメール機能により、ネットワークの各サイトにボイスメールシステムを持つ必要がなくなります。この機能は、Avaya Communication Manager を実行するネットワークが、単一の INTUITY AUDIX ボイスメッセージングシステムを、ネットワーク全体におよぶ集中化ボイスメールシステムとして使うことを可能にします。INTUITY AUDIX システムは、Communication Manager、DEFINITY BCS、および Merlin Legend/Magix 交換機のハイブリッドネットワーク内で、集中化ボイスメールシステムとして機能することもできます。

---

## 二重化された DCP I チャンネル

この機能は、**AUDIX** ネットワーキング用の二重化された DCP I チャンネルの使用をサポートします。この場合、ネットワーキングとはデータファイルを **AUDIX** システム間で送信できる機能のことで、交換機との通信のことを意味するものではありません。

---

## EMBEDDED AUDIX

多くのボイスメッセージングシステムでは別の装置や別途の接続が必要ですが、EMBEDDED AUDIX システムは、キャビネット内にたやすく直接設置でき、外部プロセッサ不要で高度なボイスメッセージング機能をサポートします。それぞれの EMBEDDED AUDIX システムは、最高 2000 のメールボックスをサポートし、最高 100 時間までの録音メッセージが保存できます。

EMBEDDED AUDIX システムの呼び出しは、電話機のタッチトーン・キーパッドによるコマンド入力で行います。ただ単に希望する操作を指定し、その音声プロンプトに従うだけです。

特殊な音声処理機能には、ボイスメール、応答機能、アウトコーリング、多重自動オペレーターサービス、掲示板機能などがあります。次に、EMBEDDED AUDIX 機能の概要を示します。

- **内線共有**で、1 台の電話を共有する各個人について個人メールボックスを提供します。
- **多重パーソナルグリーティング**により、9 種類までの個人メッセージを用意できます。時間を短縮できるとともに、より個人的な対応の顧客サービスを行うことができます。電話中、離席中、休暇中であるなどの別々のメッセージを用意できます。内線、外線、業務時間終了後にかかってきた電話別に、別々のメッセージを割り当てることができます。
- **優先メッセージ**は、重要なメッセージに高い優先順位を付ける機能です。内線および外線の発呼者はメッセージに優先のしるしを付けることができます。
- **アウトコーリング**は、ボイスメールボックスにメッセージが入ると、あらかじめ決められた電話番号やポケットベルに、自動的に電話をかける機能です。
- **優先アウトコーリング**は、ボイスメールボックスに**優先**メッセージが入ると、あらかじめ決められた電話番号やポケットベルに、自動的に電話をかける機能です。
- **ブロードキャスト**で、同じメッセージをシステム上の複数の相手またはすべてのユーザーに送信することができます。
- **システムブロードキャスト**で、広報メッセージを定例のボイスメッセージとして、またはログイン時にユーザーに聞こえるメッセージとして送信できます。
- **AUDIX ディレクトリ**で、電話機のダイヤルパッドで名前を入力するだけで、他のあらゆるユーザーの内線番号を調べることができます。

- **パーソナルディレクトリ**で、略名の一覧を作成して、電話番号にすばやくアクセスすることができます。
- **架空内線用応答機能**は、システムに内線番号を持たないユーザーにボイスメールボックスを提供します。
- **フルメールボックス・アンサーモード**は、被呼者のメールボックスにスペースがないためにメッセージを残せない場合に、発呼者にこれを知らせます。
- **ユーザー名録音**で、ユーザーがシステムに自分の名前を録音できます。
- **自動メッセージスキャン**で、1件ごとにボタンを押さなくても、新しいメッセージの全部またはその一部を一度に再生できます。この機能は携帯電話からメッセージを聞く場合に特に便利です。
- **コミュニティー別送信制限**で、AUDIX ボイスメッセージングシステム経由で通信できる発呼者コミュニティーを制限できます。
- **グループリスト**で、同じメッセージをブロードキャストで多数に送信する際に使用する、最大 250 人までのメーリングリストを作成できます。
- **メッセージ転送**で、コメント付きまたはなしで、メッセージを転送できます。
- **ネームアドレッシング**により、内線番号がわからない場合に名前でメッセージをアドレスすることができます。
- **親展メッセージ**は、受取人がメッセージを転送できないように特殊なコード化を行う機能です。
- **メッセージ機能**により、電話機のボタンを押すだけで、標準的な「お電話ください」というメッセージをどの内線番号にも残せます。
- **オンラインヘルプ**により、システム使用中いつでも、システムの使用方法に関する音声による説明をすぐに聞くことができます。
- **複数言語サポート**によって、30 の使用可能言語スーパーセットから、9 か国語をシステムにインストールできます。
- **拡張メッセージ処理**は柔軟なメッセージ処理を提供します。これらの機能の中には、個々のメッセージをとばして先に進んだり、巻き戻したりできる**メッセージ早送り／巻き戻しオプション**と、誤って消去したメッセージを再生する**メッセージ復元**の 2 つが含まれます。

---

## INTUITY AUDIX

INTUITY メッセージングシステムには、EMBEDDED AUDIX システムと本質的に同じユーザー機能が備わっているほか、さらに次の機能があります。

- **FAX メッセージ**により、FAX メッセージをボイスメールと同じように簡単に処理することができます。FAX を送信、受信、保存、スキャン、削除できるだけでなく、スキップしたり、転送したりできます。この機能はボイスメッセージング機能と完全に統合しているため、例えば FAX をボイスメッセージに添付することもできます。また各 FAX 装置に専用のメールボックスを作成することもできます。FAX 装置が話中のときにこのメールボックスが FAX 呼を受け付け、FAX 装置が使用可能になった時、その FAX 装置に FAX を届けます。
- **AUDIX 応答オフ**により、システムリソースを節約するために応答機能をオフにすることができます。例えば、発呼者向けのメッセージを作成してメッセージを残すことができない旨、あるいは別の電話番号にかけ直すよう伝えます。
- **プレアドレス**で、メッセージを録音する前にアドレスすることができます。
- **統合メッセージング**で、音声、FAX、電子メールによる着信メッセージや添付ファイルに、自分のパーソナルコンピュータや電話機からアクセスして管理できます。例えば、ボイスメッセージを電子メールのメールボックスに、電子メールをボイスメールボックスに入れることもできます。またメッセージのヘッダーだけが別のメールボックスに入るようにオプションを設定することもできます。また、電話機でボイスメッセージや FAX メッセージを作成して、電子メールの受信者に送信することもできます。
- **テキストツースピーチ機能**で、対応する電子メールシステムまたは INTUITY メッセージマネージャー、あるいはその両方から送信された、テキストメッセージの読み上げを聞くことができます。
- **テキスト印刷**で、対応する電子メールシステムまたは INTUITY メッセージマネージャー、あるいはその両方から送信されたメッセージを印刷することができます。
- **拡張アドレッシング**により、最大 1500 人にまでメッセージを送信することができます。
- **転送制限**により、ボイスメッセージングシステム内で行われている転送を制限することによって、料金不正使用をコントロールできます。
- **インターネットメッセージング**はウェブを利用して、電子メールアドレスとメッセージ（音声とテキスト）を交換できる機能です。
- **Avaya Voice Director** では、タッチトーンで内線や名前を入力することに加え、音声で名前を言うことによってメッセージをアドレスできます。この機能はまた、名前を言うことによって、AUDIX 加入者（他のロケーションの加入者を含む）への転送をサポートします。
- **国外での可用性**

---

## Avaya IA770 INTUITY AUDIX メッセージングアプリケーション

IA770 アプリケーションは、企業内の通信および情報交換を強化し、応答とメッセージングをうまく使用できるようにします。IA770 アプリケーションにより、PC でメッセージを表示したり、電子メールにボイスメールコンポーネントを追加し、ボイスメールを利用して電子メールを聞くことができます。

IA770 は Linux OS を使用し、G700、G350 Media Gateway の OS と一貫性を持たせます。分散された構成は、信頼性と存続性を目的に設計され、簡単かつ効率的な操作、および迅速な応答でビジネスを確実に回復できるように集中管理されます。

IA770 アプリケーションは、S8300 Media Server に常駐する、ライセンスファイルによって起動されるソフトウェア、現場でインストールおよびアップグレードできる小さなカードで構成されます。

IA770 アプリケーションには INTUITY メッセージ・マネージャーが含まれます。テキストツースピーチ機能はアメリカ英語のみで提供されますが、プロンプト使用可能言語 35 か国語ならどれでも、追加料金なしで初期実装されます。

IA770 は INTUITY デジタル (TCP/IP) ネットワークプロトコルをサポートします。Avaya Interchange では、さらに広範囲のネットワークを提供します。

ウェブインタフェースを使用して、管理者はシステムのバックアップ、すべての設定されたデータ（アナウンスメント、記録された名前、グリーティング）およびローカルエリアネットワーク（LAN）による約 50 時間のメッセージの復元を実行できます。より直観的な画面はわかりやすく、インストールの時間を短縮し、研修や経験の必要性を減らします。IA770 システムでは、各フィールドを処理するのではなく、スマートデフォルトを使用します。

IA770 メッセージングアプリケーションについて詳しくは、S8300 and S8700 Library CD, 555-233-825 を参照してください。

---

## INTUITY AUDIX 内蔵 S8100 Media Server

このアプリケーションでは、テキストツースピーチ機能、メッセージ・マネージャーとともに、音声、ファクス、およびテキストメッセージを S8100 Media Server 上の 1 つのプロセッサ・ドーターカードで提供します。

### 注記：

Communication Manager リリース 3.0 は、S8100 Media Server 上では利用できません。

Avaya Directory Enabled Management (DEM) と Fax Extended Dialing (FED) が含まれます。

- ADEM は、Communication Manager と INTUITY AUDIX に対するリアルタイムのディレクトリベースのアクセスを提供します。
- FED は、リモートの AMIS ネットワークマシンとして、ファクス番号の範囲を設定する必要性をなくすだけでなく、ユーザーが宛先の番号に関する制限を指定できるようにします。さらに、FED は最大 23 桁のファクスエンドポイントを許可することで、国外の番号の入力に対処します。

INTUITY AUDIX ドーターカードは、メッセージングに必要な DSP リソースも提供します。このハードウェアにより、通常、この機能に必要な INTUITY Map 5P 外部装置が不要になります。

106 ページの「[EMBEDDED AUDIX](#)」も参照してください。

---

## AUDIX のワンステップ録音

ユーザーは、1 つのボタンを押すだけで通話を録音できます。この機能は AUDIX を録音デバイスとして使用します。この機能は、モードコードまたはリモート AUDIX を使用する INTUITY AUDIX では使用できません。

### 注記：

この機能の使用を希望する場合は、機能を起動する**前**に必ず通話の録音に関する地域の法律を調べ、理解しておくことが重要です。

この機能には audix-rec という名前の機能ボタンを使用します。このボタンは、設定可能な機能ボタンが付いたすべての電話機にあります。設定すると、このボタンには（AUDIX 内線番号用の）ハントグループ内線番号も必要になります。

### 注記：

中継台には、このボタンはありません。

呼の進行中に通話を録音するには audix-rec ボタンを押します。このボタンを押すと、機能ボタンの LED が点滅し始めます。4 ～ 6 秒後に、呼に参加している内部のユーザーは、電話機ディスプレイが CONFERENCE に変更するのに気が付きます。録音を開始した電話機の LED は点灯しています。これで、AUDIX の録音機能は準備が完了し、通話の録音が始まります。

ディスプレイ装置と同じ交換機を使用する内部のユーザーは、呼の参加者数が 1 人増えたことに気が付きます。この時点で、設定によっては、準備完了を知らせるトーンが呼のすべての参加者に流される場合、録音開始者のみに流される場合、どの参加者にも流されない場合があります。

十分な情報が録音された後、録音開始者は LED が点灯しているときに audix-rec ボタンをもう一度押して、録音を停止します。録音開始者の電話機で機能ボタンの LED が消えます。ディスプレイ装置を使用する内部のユーザーは、呼の参加者数が 1 人減少したことに気が付きます。呼はアクティブな状態を維持します。

Interval For Applying Periodic Alerting Tone フィールドを使用して、交換機管理者が録音中に呼のすべての参加者に警告トーンを発する時間間隔を選択できます。値は 0 ～ 60 で、デフォルトは 15 です。つまり、デフォルトを使用すると、15 秒ごとに呼のすべての参加者に警告トーンが流され、通話が録音されていることを知らせます。値が 0 の場合は、録音中にトーンは定期的に流されません。

---

## INTUITY コール・アカウンティング・システム

INTUITY ボイスメッセージング製品をご使用の場合、INTUITY のコール・アカウンティング・システムがおそらく最良の課金装置ソリューションです。このシステムは MAP/40 か MAP/100 コンピュータに収容されている INTUITY 製品専用に機能します。Windows 用コール・アカウンティング・システムの機能と同じ機能が多数用意されていますが、さらに INTUITY アプリケーションの統合に役立つ機能を提供します。

---

## INTUITY ロジック

INTUITY ロジック機能は特に、ホテルなどの宿泊業界や、病院や大学などの宿泊施設を提供する組織向けに設計されたメッセージングシステムです。このシステムは宿泊客に対し、ボイスメッセージやファクスメッセージを保存しておくシステムメールボックスを提供します。INTUITY ロジック機能は、それぞれの内線ごとの個人用留守番電話として使用できます。

ホテルの宿泊客が中継台を通さずにお互いにメッセージを残すことができます。着信呼の場合は中継台が呼を該当する客室に転送します。宿泊客が応答しない場合や通話中の場合は、呼は自動的に宿泊客のボイスメールボックスに転送され、発呼者はボイスメッセージを残すことができます。客室の電話機のメッセージウェイティングランプが、ボイスメールボックスにメッセージが入っていることを宿泊客に知らせます。宿泊客は、リモートでメッセージにアクセスするためのパスワードを割り当てられます。ホテル内外の、どの電話からでもメッセージを取り出し、保存することが可能です。

宿泊客はボイスメールのプロンプトおよびメニューを、複数の言語から選んで聞くことができます。現行では次の各言語が用意されています。

- アラビア語（女性の声）
- 英語（アメリカ）
- 英語（イギリス）
- ギリシャ語
- スペイン語（ラテンアメリカ）
- 中国語（標準）
- ドイツ語

## メッセージ統合

- 日本語
- フランス語（カナダ）
- フランス語（標準）
- ポルトガル語（ブラジル）
- ロシア語

上記の言語すべてまたはどれかを複数インストールできますが、一度に利用可能にできるのは9か国語だけです。オペレーターが、宿泊客の希望の言語をチェックイン時に入力します。宿泊客がメッセージを再生するためログインすると、メニューやプロンプトを自分で選んだ言語の音声で聞くことができます。言語オプションについて詳しくは、お近くのアバイア販売代理店にお問い合わせください。

---

## INTUITY ロジック・アカウンティング・システム

INTUITY ロジックのコール・アカウンティング・パッケージ（Homisco の統合シリーズ）は、システムが供給する呼データを取り込み、標準の課金画面に入力し、この課金情報をプロパティ・マネージメント・システムへ送信します。宿泊客のチェックアウト時に、長距離電話料金が請求書に自動的に印刷されます。これにより、電話使用収入の管理がしやすくなります。

---

## メッセージ機能

メッセージ機能（LWC）は、内部のシステムユーザーが、プログラムされている短いメッセージを他の内線ユーザーに残すことができる機能です。プログラムされたメッセージは、通常、発呼者名、内線番号と電話があった時刻を明示した「電話をください」というメッセージです。メッセージが保存されると、被呼先電話機のメッセージランプが自動的に点灯します。

LWC を使用したメッセージは、電話機ディスプレイ、ボイスメッセージ再生または AUDIX を使って呼び出すことができます。メッセージは、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、またはユーザーが定義した言語で利用できます。

---

## メッセージ機能 — QSIG/DCS

メッセージ機能（LWC）は、DCS ネットワークだけでなく、プライベートネットワークプロトコルとしての QSIG エンタープライズネットワークにも拡張されます。

DCS と QSIG の混在するエンタープライズネットワーク、または DCS から QSIG へ移行中のエンタープライズネットワーク用には、LWC のプロトコル間相互作用機能が利用できます。LWC はまた、ネットワークに接続されていない単一の交換機内でも機能します。

**注記：**

DCS+ シグナリング・グループが必要ですが、これは 4 桁または 5 桁のダイヤルプランのネットワークでのみ使用できます。

---

## マニュアル・メッセージ・ウェイティング

これは、デジタル電話機ユーザーが、別のデジタル電話機のマニュアル・メッセージ・ウェイティング・ボタンに対応するステータスランプを点灯することができる機能です。操作はユーザー本人の電話機のボタンを押すだけです。この機能は、秘書と管理者のような、一組のペアとなる電話機にだけ設定できます。秘書はそのボタンを押して、管理者が応答する必要がある電話があること、あるいは訪問者が到着したことを知らせることができます。管理者はそのボタンを使用して、邪魔されたくないことを示すことができます。

---

## メッセージ・デマンドプリント

メッセージ・デマンドプリントは、メッセージセンターに電話しなくても、配信されていないメッセージを印刷できる機能です。

---

## メッセージの確認

電話機のメッセージウェイティングランプにより、常に待機メッセージがあるかないか知ることができます。メッセージは、次に示すようにいくつかの方法で確認できます。このメッセージの確認オプションは個々のユーザーに割り当てることができます。

---

## ディスプレイ上でのメッセージ確認

ディスプレイ付きのデジタル電話機、または電話機内蔵のパーソナルコンピュータを使用して、メッセージを表示することができます。

---

## スピークツーミー

あらゆるタッチトーン電話機を使ってスピークツーミーにダイヤルすると、合成音声によるメッセージの読み上げが電話から聞こえます。

---

## Message Sequence Tracer の拡張機能

以前は各メッセージに、他のソケットからのメッセージと区別するためのタグがなかったため、特定のソケットに関する Message Sequence Tracer (MST) ツールによるメッセージの追跡は困難でした。

発信データおよび着信データの新しい形式には、ソケット番号/識別子が含まれます。これらの新しい形式では、新しいタイプ識別子 05 と 06 を使用します。新しい形式のペア 07 と 08 も PROCR ip インタフェース上の発信および着信ソケットコントロールメッセージ用に作成されました。

このような新しい形式に新しい形式タイプを作成することで、メッセージの復号化がさらに簡単になります。

Message Sequence Tracer (MST) に次の拡張機能が付加されました。

- ネットワークの停止中に Communication Manager と TN799 CLAN 間のシグナリング・メッセージを追跡し、より高度な診断を得ることができます。
  - プロセッサの TN799 CLAN ソケット情報を MST 追跡に追加して、開発者がソケットの問題をデバッグするのを支援する。
  - ソケットデータにソケット番号を含めるために MST を拡張する。
  - TN799 CLAN 基板の ID を CLAN MST IP ソケット追跡メッセージに追加する。

---

## モードコード・インタフェース

Communication Manager には、INTUITY AUDIX および、同じインタフェースを使用した他のボイスメールシステムとの通信用アナログ・モードコード・インタフェースが備わっています。このインタフェースには DTMF トーン、ライン信号、機能特番が採用されており、データリンクを使用せずに、INTUITY AUDIX と Communication Manager のデータ交換が可能です。他の外部装置メーカーが、このインタフェースを使用するように製品を設計製造できます。

---

## Octel の統合

Communication Manager は、Octel 200/300 メッセージサーバー、Octel 250/350 メッセージサーバーを含む Octel メッセージングシステムの全ラインと統合できます。

---

## QSIG/DCS ボイスメール接続

QSIG/DCS ボイスメール接続は、QSIG の機能の 1 つです。DCS+/QSIG ゲートウェイ経由で、DCS を QSIG 集中化ボイスメールに統合します。DCS+/QSIG とラベル付けされた複数交換機は、複数のマルチベンダ PBX を単一のボイスメッセージングシステムに統合します。QSIG/DCS ボイスメール接続は、G3r、G3si、G3csi で作動し、専用 T1 なしで、ネットワークの柔軟性および DCS 機能を提供します。

---

## 複数の QSIG ボイスメール・ハントグループ

Communication Manager では、QSIG 統合メッセージングをサポートするために、10 のメッセージセンター・ハントグループを提供します。この機能により、単一の Communication Manager システムのユーザーを複数のメッセージングシステムに拡散できます。これによって、ユーザーは、同一のボイスメールボックスを保持しながらも、Communication Manager システム内で移動できます。ユーザーがボイスメッセージを失うことはありません。

この機能は、拡張だけではなく、単一の Communication Manager システムでエンドユーザーが移行する能力に対処することにより、企業でユーザーが Avaya メッセージングシステムをより便利に使用できるようにします。

---

## ボイスメール再生ボタン

Avaya Communication Manager では、ボイスメール再生ボタンを 2420 DCP および 4602 電話機の固定機能ボタンとしてサポートします。

「voice-mail Number: \_\_\_\_\_」フィールドが 2420 型および 4602 型の電話機の **Station**（電話機の設定）画面に表示されます。このフィールドに使用できる値は、自動ダイヤル機能ボタンの番号が取れる値と同じです。このフィールドは固定フィールドで、16 桁までの数字を入力できます。この番号は、ユーザーのボイスメールシステムにアクセスするために自動ダイヤルされます。

- 番号のフィールドが空白の場合、ボイスメール再生ボタンは、「Transfer to Voice Mail」ボタンと同じように扱われます。
- 番号のフィールドが空白でない場合は、ボイスメール再生ボタンは、自動ダイヤルボタンのように扱われます。

---

## ボイスメッセージ再生

ボイスメッセージ再生により、電話機のユーザー、リモート接続するユーザーやオペレーターが、メッセージ機能（LWC）やコールカバレッジのボイスメッセージを取り出すことができます。この機能を使って、自分のメッセージや他のユーザーのメッセージを取り出すことができます。ただし、他のユーザーのメッセージは、次の場合しか取り出せません。

- カバレッジパスにある電話機または中継台から取り出す場合
- システム全体の管理設定済のメッセージ再生機能から取り出す場合
- その内線番号および関連するセキュリティコードを知っているリモートのユーザーである場合

システムは無許可のユーザーがメッセージを取り出せないよう制限します。

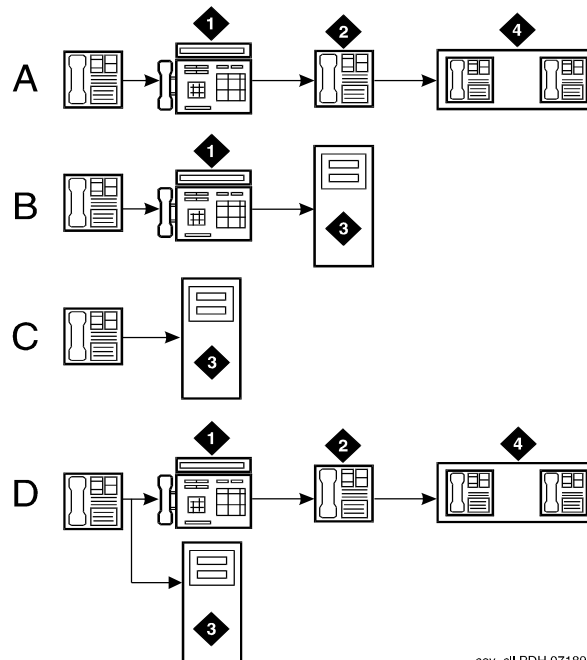
---

## ボイスメッセージングおよびコールカバレッジ

117 ページの [図 3:「標準的なコールカバレッジオプション」](#) に示すように、多くの場合 AUDIX システムは、コールカバレッジパスの最後のポイントとして設定されます。秘書あるいは同僚が転送された呼に応答する場合、さらにその発呼者を被呼者の AUDIX メールボックスに転送することができます。メッセージが個人的であったり、長かったり、あるいは専門的である場合には、発呼者にとってボイスメールを残す方が便利な場合があるからです。

その他の多くのオプションが利用できます。例えば、発呼者は AUDIX システムからの呼をオペレーターへ転送することができます。あるいは発呼者はメッセージを残す代わりに別の内線番号に転送することも可能です。また、AUDIX 自動オペレーターサービスが会社にかかってくるすべての電話に対応し、必要に応じて社内内線番号に転送するように設定することができます。この場合、発呼者は呼を転送するためにダイヤルパッドコマンドを入力するよう指示されます。

図 3 : 標準的なコールカバレッジオプション



cov\_cli PDH 071896

## 図注 :

- |                                                           |                            |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------|
| <b>A</b> 外線通話：話中 (Active)、完全話中 (Busy)、不応答 (Do Not Answer) | <b>1.</b> 秘書               |
| <b>B</b> 内線呼：強制 (Cover All)                               | <b>2.</b> 事務員              |
| <b>C</b> 外線通話：話中 (Active)、完全話中 (Busy)、不応答 (Do Not Answer) | <b>3.</b> AUDIX ボイスメッセージング |
| <b>D</b> 内線呼：離席機能 (Send All Calls)                        | <b>4.</b> メッセージセンター・グループ   |



## 第 10 章：モバイル対応

IP 電話機または IP Softphone によって、1 つのロケーションに拘束されることなく、Avaya Communication Manager 機能にアクセスできます。IP 電話機の主な利点の 1 つは、同じ LAN 内であればプラグを抜いて移動し、別のロケーションで再びプラグを差し込めば簡単に再接続できることです。一方、IP ソフトフォンの主な利点の 1 つは、ラップトップ PC にロードして、PC のモデムを使用して交換機にほとんどどこからでも接続できることです。

詳しくは、87 ページの「[Avaya IP Softphone](#)」を参照してください。

---

### 架空内線

この機能により、システムに物理的に存在しない電話を管理できます。この機能は、物理的に存在する内線を管理するのと同様に動作します。つまり、電話機を移動しても、可変不在転送や離席機能（Send All Calls）などのユーザーが起動した機能を維持して使用することができます。これは、システム上の電話機の設定および変更に要する時間を大幅に短縮します。

---

### 電話機の自動移設

電話機の自動移設（ACTR）によって、交換機で設定しなくても電話機を移設できます。操作は、現在のロケーションでプラグを抜いて、他のロケーションでプラグを差し込むだけです。該当電話機の内線番号は、交換機によって新ポートへ自動的に割り当てられます。

ACTR は、2420 DCP 電話機および 6400 シリアライズド電話機で機能します。6400 シリアライズド電話機は、容易に識別できるようにフェイスプレートに「serialized」の文字がスタンプされています。6400 シリアライズド電話機のメモリには、独自の部品 ID（コムコード）および製造番号が電子的に格納されています。電話機が移設されると、ACTR はこの格納情報によって電話機を新ポートに割り当てます。

ACTR によって、電話機の識別と移設が簡単になります。

---

## Avaya Wireless Telephone Solutions

Avaya Wireless Telephone Solutions (AWTS) は、Communication Manager と完全に統合されているため、ユーザーはワイヤレス電話から Communication Manager の全機能を利用できます。

**注記：**

Avaya Wireless Telephone Solutions (AWTS) は、DEFINITY Wireless Business System (DWBS) に代わって使用されます。

---

## Avaya セルラー内線

Avaya セルラー内線機能には、携帯電話サービスの拡張機能で、単一番号による可用性、ユーザー容量の拡大、柔軟なファシリティおよびハードウェア、より厳正な不正利用の制御、有効／無効機能の強化、実用性の強化、IP トランクファシリティのサポートなどが含まれます。

Avaya セルラー内線と PBX 外部の電話機 (OPS) を使えば、設定管理された電話機 1 台のみで、オフィスの電話機 1 台と社外の電話機 1 台分の Avaya Communication Manager 機能をサポートすることができます。セルラー内線／OPS により、時間と場所を問わず、オフィスにかかってきた電話を受信することができます。オフィスに不在の場合でも、かかってきた電話が自分の元に届くようになっているからです。かかってきた電話は、例えば、自分のセル電話で受信することができます。

このような柔軟性が加わったために、電話網外の電話機からも、いくつかの Communication Manager 機能を使用できます。

セルラー内線の以前のバージョンでは、オフィスにかかった電話をユーザーのセル電話で受けることができました。また、セル電話からの呼は、オフィスの電話機で、同一の呼処理サーバーにある別の電話機に電話をかけたかのように表示されていました。Communication Manager のいくつかの機能については、セル電話から利用することができました。これらの機能は、現在でも使用可能です。

セルラー内線の以前のバージョンでは、セル電話を XMOBILE ステーションで設定する必要がありました。Communication Manager リリース 2.0 では、この必要はなくなりました。

Communication Manager の以前のリリースでセルラー内線を設定してある場合は、設定を変更することなく、引き続きセルラー内線の機能を使うことができます。機能はそのまま利用できますが、現バージョンで利用できるようになったセルラー内線／OPS の機能のすべてにはアクセスできません。

---

## PBX 外部の電話機

Avaya Communication Manager リリース 2.0 では、PBX 外部の電話機（OPS）アプリケーションタイプを使って SIP 電話機の設定を行います。OPS は、セルラー内線の有効／無効機能ボタンを使って無効にすることはできません。

### 注記：

4602 SIP 電話機は、OPS が設定されているかどうかに関係なく、SIP プロキシに登録する必要があります。

セルラー内線／OPS アプリケーションにより、以前のセルラー内線アプリケーションで使ったパラメータの多くを、いくつかのタイプの DCP や IP ステーションのいずれかに移すことができます。呼処理の観点からみると、セルラー内線／OPS は複数機能の電話機を扱っていることになります。一方、以前のセルラー内線実装では、アナログステーションタイプのように動作する 1 つまたは 2 つの XMOBILE ステーションを使用していました。

セルラー内線／OPS アプリケーションには、個別のマニュアルセットがあります。セルラー内線／OPS マニュアルの完全なマニュアルセットについては、お近くのアバヤ販売代理店にお問い合わせください。

---

## IP 配線接続された内線番号用の E911 ELIN

この機能は、緊急呼（米国では 911）の間、IP サブネットワーク（「サブネット」）を使用して緊急ロケーション情報番号（ELIN）割り当てのプロセスを自動化します。ELIN は CAMA または ISDN PRI トランクのどちらかで緊急電話番号（米国では 911）をダイヤルした緊急サービスネットワークに送信されます。この機能は、キャンパスまたはロケーションの任意の場所から緊急電話番号に発呼した、配線接続された IP 電話機を正確に特定します。

### 注記：

この機能の使用条件は、顧客がその地域に対応するサブネットを持っていることです。

次の IP エンドポイントの両方のタイプで動作します。

- H.323
- SIP

緊急支援が必要な発呼者は、統一緊急電話番号（例えば、米国では 911、オーストラリアでは 000、欧州共同体では 112）をダイヤルします。呼はローカル局用交換機、緊急中継オフィスを経由して、適切な PSAP（警察や消防などの緊急通話）に接続されます。PSAP が呼に応答します。

代表的なタンデム局は、最大 4 つの周辺地域内の PSAP に呼を接続します（米国の場合は、4 つの周辺地域の市外局番）。その緊急事態に不適切な PSAP が呼を受信した場合、この PSAP が呼を適切な PSAP に転送できる場合があります。このような転送は、地理的に隣接した PSAP または最寄の PSAP の間でのみ行われます。

それぞれの PSAP は、通常、1 つの市または郡を対象にします。PSAP では、緊急オペレーターが緊急事態の性格を特定し、警察、消防署、救急車など適切な部局に連絡します。米国では、通常 1 つの PSAP が複数の独立した警察と消防署を扱います。

拡張 911 (E911) の場合は、米国局用交換機課金システム (CAMA) トランクで、または ISDN トランクで発呼者番号 ID を経由して、発呼者番号 (CPN) が呼とともに、緊急サービスネットワークに送信される場合があります。PSAP のシステムは、CPN を使用して、自動位置情報 (ALI) データベースで発呼者の記録された住所を調べます。ALI データベースは、通常、地域電話会社が所有し、管理します。多数の企業顧客は、ALI データベースを更新するためにサードパーティーと契約を結びます。

これは、CPN は常にシステム所有者が ALI データベースに設定するために準備した住所に一致するという仮定によるものです。この仮定は、必ずしも正しいとは限りません。

- H.323 IP 電話機を持つユーザーは、システム管理者に通知せずに電話機を移動できます。
- SIP IP 電話機を持つユーザーは、1 つの内線番号を複数の異なる電話機で同時に使用できます。

この機能なしでは、これらのユーザーが緊急電話番号（米国では 911）をダイヤルすると、救急隊が誤った場所に行く可能性があります。この機能があれば、救急隊は正確な場所に行けます。さらに、緊急呼（米国では 911）がブリッジコールアピランスから受信された場合でも、救急隊は正しい場所に行くことができます。

---

## IP 電話機の E911 デバイス位置

Communication Manager は、RedSky Technologies の E911 Manager デバイスと動作します。このサードパーティの E911 Manager は、IP (VoIP) テレフォニー上で音声を実装するユーザーに、柔軟で包括的な自動化された E911 管理システムを提供します。RedSky Technologies の E911 Manager は、Communication Manager リリース 2.1 以降で動作し、各内線の自動位置情報 (ALI) データを正確に保ちます。E911 Manager では、IP エンドポイントが新しいサブネットに移動するたびに通知も出します。

---

## デバイス位置の E911 SCCAN サポート

この機能を使うと、ユーザーが構内の SCCAN 電話機から緊急番号に電話をかけ、適切な PSAP（警察や消防署などの緊急通話先）にユーザーの物理的な位置を伝えることができます。

この機能では、緊急呼の間に使用する W310 Wireless LAN Gateway のワイヤレスライトアクセスポイントごとに緊急ロケーション内線番号を自動的に割り当てます。その緊急番号をダイヤルすると、該当する緊急ロケーション情報が、緊急サービスネットワークに送信されます。緊急呼に応答する公共サービス担当者は、ユーザーが社内で SCCAN 電話機を使用した場合でも、その大体の場所を特定することができます。

詳しくは、124 ページの「[Seamless Converged Communication Across Networks](#)」を参照してください。

---

## パーソナル・ステーションアクセス

パーソナル・ステーションアクセス（PSA）により、お使いの電話機の優先設定および許可設定を、互換性のある他の電話機に転送することができます。転送できる設定には、電話機ボタンの定義、短縮ダイヤルリスト、サービスクラスの許可、接続制限クラスの許可が含まれます。この機能はオンサイトでもオフサイト（DEFINITY® エクステンダーを使用）でも利用できます。

PSA には複数のテレコミュニケーションアプリケーションがあります。例えば、数人のテレコミュニケーション従業員が、同じオフィスを曜日別に共用することが可能です。社員は、該当する日に共用の電話機を簡単にリモートから「自分用の」電話機にすることができます。リモート利用には DEFINITY® エクステンダーが必要です。

---

## 不応答理由コード

パーソナル・ステーションアクセス（PSA）機能では架空内線（AWOH）を使いますが、この機能では、システム管理者が物理的なポートを指定せずに、電話機を割り当てることができます。例えば、「X」をポートとして使用します。電話機が割り当てられていない場合、その電話機は、デジタル電話機のような物理的な特定の電話機に現在マップされていないことを意味します。現在割り当てられていない電話機内線番号に発呼者がダイヤルすると、「完全話中」の代わりに「不応答」を示すメッセージが返ります。

---

## 名前／番号固定表示

ユーザーが PSA によって電話機に内線を割り当てると、そのユーザーの名前と内線番号が、割り当てた電話機のディスプレイに表示されます。ユーザーが PSA 割り当て機能特番を使用して、当該内線の割り当てを電話機から外すまで、この情報表示は継続します。

---

## Seamless Converged Communication Across Networks

Seamless Converged Communication Across Networks (SCCAN) プログラムは、モトローラ、Proxim、アバイア 3 社の共同開発によるものです。SCCAN の目的は、統合されたセルラーの無線 LAN (WLAN) に加え、新しいレベルの通信モバイル性やネットワーク接続を提供する IP テレフォニーサービスを作成して配備することです。

SCCAN システムは、次のような新製品から構成されています。

- モトローラの Wi-Fi/ デュアルシステム携帯電話機 (Subscriber Unit と呼ばれる)
- アバイアのセッション開始プロトコル (SIP) 対応 IP テレフォニーソフトウェア (Avaya Communication Manager SIP Trunking と呼ばれることが多い)
- Proxim の音声対応無線 LAN インフラストラクチャ (W310 Wireless LAN Gateway と呼ばれることが多い。旧名は、Converged Mobility Gateway [CMG])。W310 は、アバイアと Proxim の共同開発によるものです。
- アバイアの IPSec セキュリティクライアント (VPNRemote) — モトローラのハンドセットで動作
- Proxim 開発のライトアクセスポイント (LAP)

---

## ターミナルトランスレーションの初期化

Communication Manager は、ターミナルトランスレーションの初期化 (TTI) 機能を提供します。これは架空内線 (AWOH) とともに動作する機能です。TTI は、特殊な機能特番、TTI セキュリティコードおよび内線番号を、配線接続されていてもトランスレーションはされていないジャックに接続されているターミナル (端末) から入力することにより、ターミナルトランスレーションデータを特定のポート・ロケーションに関連付けます。

---

## TransTalk 9000 デジタルワイヤレスシステム

TransTalk 9000 は、シングルゾーンまたはダブルゾーンの構内ワイヤレスシステムで、Communication Manager ベースのシステムにワイヤレス電話を提供します。机上の有線電話機のパワーと機能のすべてに、ワイヤレス電話機の利点とアクセスの良さが加わっています。

---

## X-station mobility

X-station mobility によってリモートユーザーが交換機の機能にアクセスできます。つまり、PRI トランクインタフェース上でリモート接続されている OEM ワイヤレス電話機を、交換機に直接接続されているかのように、Communication Manager から制御できます。

電話機は XMOBILE タイプに設定され、関連する PRI トランクグループにリモート電話機機能を割り当てる **Station**（電話機の設定）画面に設定情報が追加されます。このためワイヤレス電話から、呼関連ディスプレイ、ブリッジ接続、メッセージ・ウェイティング、呼の転送などの機能が利用できます。

X-station mobility は現在、EMEA および APAC 地域の非セルラーワイヤレス製品（DECT、PHS）、あるいは世界全域のセルラー内線製品で使用できます。

モバイル対応

# 第 11 章：ポートネットワークとゲートウェイ接続

---

## 非同期転送モード

非同期転送モード（ATM）スイッチは、CSS またはダイレクト接続スイッチに代わるオプションです。いくつかのタイプのアバイアの ATM スwitch は、Communication Manager とポートネットワーク接続できます。EU 承認の ATM 規格に準拠するアバイア以外の ATM スwitch でも、Communication Manager とポートネットワーク接続できます。

---

## ATM WAN スペアプロセッサマネージャー

ATM WAN スペアプロセッサ（WSP）を中心に、非常修復および業務継続計画が構築できます。このアプリケーションにより、ユーザーは Communication Manager を実行するメインサーバーからトランスレーションをダウンロードすると同時に、それらのトランスレーションを複数（最大 15 台）の ATM WAN スペアプロセッサ（WSP）に LAN 接続経由でアップロードできます。これは、システム管理者が指定したスケジュールに従って実行できます。トランスレーションの実行は、ただちに 1 回、または将来の指定日の指定時間に 1 回スケジュールできます。定期的に毎日 1 回または週 1 回実行するようにスケジュールすることもできます。

このモジュールは、Communication Manager トランスレーションの日次または週次の、定期的更新スケジュールにも使用できます。ATM WAN スペアプロセッサマネージャーによって、Communication Manager を実行するメインサーバーおよび、ネットワーク内に定義されたあらゆる WSP 装置の現在の状態が把握できます。各スイッチについて完全な履歴ログが作成され、このログには、予定作業の実施日時、結果メッセージがリストされます。モジュールにはオンラインヘルプが内蔵されているので、容易に使用できます。

---

## ポートネットワーク接続

ATM ポートネットワーク接続（ATM-PNC）では、プロセッサ・ポートネットワーク（PPN）を 1 つまたは複数の拡張ポートネットワーク（EPN）に接続する場合、センターステージ・スイッチ（CSS）のコンフィギュレーションに代わるコンフィギュレーションを提供します。ATM-PNC では、DEFINITY R8r 以降のネットワークの CSS の代わりに ATM スwitch または ATM ネットワークが使用されます。ATM-PNC は、一重化、二重化、完全二重化のいずれの Communication Manager 信頼性オプションでも使用できます。さらに、ATM-PNC の二重化も可能です。

ATM-PNC では、非同期転送モードによる集中化した広帯域ネットワーク上での音声、ビデオおよびデータ伝送を統合することができるので、インフラストラクチャのコストを削減することができ、ネットワークの信頼性を向上させることができます。ATM-PNC には、Communication Manager を実行する新旧システムのどちらかで提供されている標準オープンインタフェースが使用されています。

---

## WAN によるポートネットワーク接続

広域ネットワーク（WAN）による ATM-PNC は、顧客が私設 ATM スイッチ間でサービスプロバイダの ATM ネットワークを使用する環境に適します。この場合、顧客はネットワーク内の ATM スイッチを制御しません。トラフィックポリシングポリシーおよび製品品質はプロバイダに依存します。

公衆広域ネットワークによるパーマネントバーチャルパス（PVP）が、プライベート WAN 内の専用回線と同様に、顧客の私設 ATM スイッチ間で設定される場合があります。ただし、ATM セルの処理は公衆広域ネットワーク内で行われるので、顧客はサービスプロバイダが所有し管理する ATM スイッチに依存します。

スイッチドバーチャルサーキット（SVC）では、ATM ネットワークによる音声のようなアプリケーションの伝送に ATM プロトコルが使用されます。SVC ソリューションの利点は、呼トラフィックの最繁時に必要なバンド幅をさらに得るため、Communication Manager が ATM ネットワークにダイナミックな信号送信ができることです。ATM ネットワークが追加トラフィックを処理できない場合、呼は拒否されます。

---

## WAN スペアプロセッサ

ATM WAN スペアプロセッサ（WSP）は、ATM WAN 上に配置するメディアゲートウェイ G3r 拡張ポートネットワークの災害復旧オプションを提供します。

ATM WSP は、ネットワークに災害による異常が発生した場合に PPN として機能します。ATM WSP は PPN までのパスを連続的にモニタして、パスがオンラインで接続可能かどうかを判断します。メインの PPN が機能しない場合や、他の 1 台または複数の EPN と通信しない場合、WSP は PPN として機能します。1 つの Communication Manager ATM ポートネットワーク構成につき 1 ～ 15 台の ATM WSP を設置して、PPN がバックアップできるため、Communication Manager の各機能をいつでも使用できます。

### 注記：

ATM WSP は、従来型の CSS と共には使用できません。

---

## 回線交換

---

---

### センターステージ・スイッチ

Communication Manager では、音声トラフィック伝送のため回線交換技術によって PPN と EPN 間をインタフェースする方法として、CSS がサポートされます。

---

### センターステージ・スイッチ分離

4 つまたはそれ以上のポートネットワーク (PN) を持つ、Avaya MCC1 または SCC1 Media Gateway 構成の S8700 Media Server は、センターステージ・スイッチ (CSS) を使用して PN に相互接続します。

センターステージ・スイッチ (CSS) の分離機能は、重複する S8700 Media Server と対応する CSS の物理的な分離に対処し、存続性を向上します。Media Server と CSS は、最大 10 km 離れていても、1 つ、または複数の遠隔地で通信ネットワークのバックアップと存続性を提供します。

---

## インターネットプロトコル (IP)

---

---

### H.248 メディアゲートウェイ制御

G700 のような Avaya メディアゲートウェイの呼制御を実行するため、Communication Manager では H.248 に基づく規格が使用されます。H.248 には、インテリジェントなメディアサーバーと、複数の「非インテリジェント」メディアゲートウェイ間の呼制御シグナリングのフレームワークが規定されています。

---

### ゲートウェイ間迂回機能

ゲートウェイ間迂回機能 (IGAR) は、IP-WAN でポートネットワーク間、またはメディアゲートウェイ間のベアラ接続を行う単一サーバーで IP-WAN でベアラ接続ができない場合に、代わりに公衆電話網 (PSTN) を使う手段を提供します。IGAR では、次のような場合、PSTN によるベアラ接続を要求することがあります。

## ポートネットワークとゲートウェイ接続

- 割り当てられた呼回数、または呼受け付け制御バンド幅上限（CAC-BL）で割り当てたバンド幅に達した
- MG/PN での VoIP RTP リソース枯渇がみられる
- 2つのネットワークリージョン間で CODEC セットが指定されていない
- 2つのネットワークリージョン間で強制転送が構成されていない

IGAR では、ネットワークリージョンで提供される公衆網やプライベートネットワークの機能を利用します。現在使用されているほとんどのトランクは、IGAR で使用できます。IGAR で使用した方がよいトランク機能には、次のようなものがあります。

- 公衆またはプライベートの ISDN PRI/BRI
- R2MFC

IGAR は、大型の単一分散サーバー構成に、拡張された Quality of Service（QoS）を提供します。

## Network Region Wizard

複数のネットワークリージョンを持つ大型の単一分散サーバーシステムの場合、Network Region Wizard（NRW）を使うと、バンド幅上限を使った呼受け付け制御（CAC-BL）やゲートウェイ間迂回機能（IGAR）などを含む複数の IP ネットワークリージョンの設定を簡素化し、早めることができます。

---

## IP ポートネットワーク接続

Communication Manager によって、複数ポートネットワーク制御のため制御チャネル・メッセージ・セット（CCMS）メッセージが、IP LAN および WAN 経由でパケット単位に区切られます。

---

## リンク復旧

IP 呼には、Avaya G700 Media Gateway と通話コントローラの間に H.248 リンクが必要です。Communication Manager を実行する Avaya サーバーと Avaya Media Gateway 間の H.248 リンクは、次の操作のためにシグナリングプロトコルを提供します。

- コールセットアップ
- 呼制御（保留、電話会議、転送などのユーザーのアクション）
- コールエンド

何らかの理由でリンクに不具合が生じた場合、リンク復旧機能は既存の呼を保持し、元のリンクを再確立しようと試みます。ゲートウェイが元のサーバーに再接続できない場合、リンク復旧機能は、元のサーバーの構成内の代替 TN799DP (CLAN) 基板、またはローカルスペアプロセッサ (LSP) との接続を自動的に試行します。

リンク復旧機能は、リンク停止を発生させたネットワークの不具合からの復旧や解決を試みることはありません。またリンク復旧は、リンク停止を引き起こしたネットワークの不具合の診断も、修理も行いません。

リンク停止中、Media Gateway とコールコントローラの間に可能な通信手段がないので、ボタンを押しても認識されず、機能にアクセスできません。他の種類の呼処理も機能しません。基本的に、H.248 リンクが復旧するまで、システムはどんな刺激にも反応しません。このような状態によってのみ、リンク復旧が進行中であることがわかる場合があります。

 **注意：**

ゲートウェイがリンク復旧中に、管理者がそのゲートウェイに電話機を追加しようとしても、ゲートウェイが回復するまで、電話機は使用できません。このような場合は、ゲートウェイが使用可になったときに、その電話機で **busyout/release** コマンドを実行します。

**機能の主な特長：**

- シグナリングチャンネルの不具合は、速い速度（デフォルトで 30 秒程度）で検出されます。
- シグナリングチャンネルの不具合から、より早く、混乱することなく回復するために、エンドポイントはプライマリゲートキーパーおよび代替ゲートキーパー (Alternate Gatekeeper) を認識します。
- エンドポイントは、既存の呼を保持する一方、プライマリゲートキーパーを使用して、シグナリングチャンネルを再確立しようとします。
- IP エンドポイントの登録は（シグナリングの不具合から回復している間）、そのエンドポイントの既存の呼が保持されている間に、受け入れ可能です。
- 顧客はエンドポイントの回復パラメータ（タイマーやゲートキーパーなど）を設定できます。

IP エンドポイントがこの機能を利用するには、ファームウェアまたはアプリケーションソフトウェアが、回復機能をサポートする新しいアルゴリズムで更新されている必要があります。IP エンドポイントには、IP 電話機と IP ソフトフォンが含まれます。ただし、この機能には旧バージョンとの互換性があるので、既存の IP エンドポイントのアップグレードは必須ではありません。

## ベアラとシグナリングの分離

ベアラとシグナリングの分離（SBS）機能により、プライベートな専用線の購入が不可能な顧客は、音声が高品質で低価格の仮想プライベートネットワークを利用できます。SBS は、ダイヤルプラン拡張（DPE）機能を必要とする顧客に DCS + VPN に代わるオプションを提供します。

### 注記：

DCS は、6 桁、7 桁のダイヤルプランでは機能しません。QSIG は、6 桁および 7 桁のダイヤルプランで機能しますが、VPN 上では機能しません。

SBS は次の機能をサポートします。

- 低価格の IP ネットワーク上の QSIG プライベートネットワークシグナリング
- 公衆交換網を使用する音声（ベアラ）呼
- QSIG 機能シグナリング情報と各音声呼のアソシエーション

SBS 呼を発信するには、常に AAR/ARS/UDP を使用する必要があります。SBS 呼は、トランクアクセスコード／ダイヤルアクセスコードを使用して発信できません。

SBS 呼が正しく機能するには、以下に示すような適切な管理と構成が必要です。

- **System-Parameters Features**（システムパラメータ機能）画面のフィールド、**Trunk Group**（トランクグループ）画面のフィールド、**SBS Extension**（独立したベアラとシグナリング呼の関連付けに使用するハードウェアが割り当てられていない内線番号）と呼ばれる **Station** タイプ。
- 顧客は、予想される SBS のトラフィック量に基づいて、十分な数の SBS 内線番号を割り当てる必要があります。これは、SBS トランクグループメンバーにも適用されます。
- 設定されたそれぞれの SBS 内線番号は、ローカルサービスプロバイダから取得した DID/DDI 番号に一致する必要があります。

### 注記：

Feature Plus Pseudo DID 機能が使用できる場合は、各 SBS 内線番号に DID/DDI 番号を取得する必要はありません。

- 直接のネットワークアクセスが制限されるリモートオフィスの構成やリモートゲートウェイの構成では、DID/DDI 番号は、リモートオフィス／ゲートウェイの地域ではなく、アクセスを制御するゲートウェイサーバーの地域のサービスプロバイダから取得します。これにより、過度のトラフィックがリモートオフィス／ゲートウェイを経由して、制御するゲートウェイサーバーに流れなくなります。
- 国内公衆網の完全な番号（すなわち、DID/DDI 番号）に一致するすべての SBS 内線番号をマップするには、**ISDN Public-Unknown Numbering**（ISDN 公衆網不明番号）画面を正しく設定する必要があります。この公共の画面は、着信する SBS トランクグループの番号の形式がプライベートな番号用に設定されている場合でも、完全な番号を生成するために使用します。

## 第 12 章：トランク接続

---

### 非同期転送モード

127 ページの「[非同期転送モード](#)」を参照してください。

---

### 回線エミュレーションサービス

ATM 回線エミュレーションサービス (ATM-CES) によって、Communication Manager では ATM ファシリティの ISDN-PRI トランクをエミュレーションできます。これらの仮想トランクは、統合アクセス、タンデム、専用線トランクとして使用できます。

ATM-CES トランクエミュレーションは、トランクを統合することによってポートネットワーク機能を最大限に高めます。例えば、通常複数の基板が必要となるネットワーク接続を 1 つの回路カードに統合することによって、CES インタフェースは最大 8 本の専用線接続用仮想回線を定義できます。

---

### ATM の CMS 測定

68 ページの「[ATM の CMS 測定](#)」を参照してください。

---

### 回線交換

---

### DS1 トランクサービス

24 チャンネルを 1 本の 1.544 Mbps ストリームに多重化するビットオリエンテッドのシグナリングです。DS1 は音声データコールや音声グレード・データコール、データ伝送プロトコルに使用できます。E1 トランクサービスは、32 チャンネルを 1 本の 2.048 Mbps ストリームに多重化するビットオリエンテッドのシグナリングです。DS1、E1 はともに、トランクグループにデジタルインタフェースを提供します。デジタルサービス 1 (DS1) トランクは、T1 または ISDN 一次群インタフェース (PRI) サービスを提供するために用いられます。

## エコーキャンセル機能付き UDS1 基板

Communication Manager プラットホームのすべてで利用可能な汎用 DS1 (UDS1) 基板 (TN464GP/TN2464BP) には、エコーキャンセル機能回路があります。この基板のエコーキャンセル機能は、音声通信をサポートするチャンネル専用です。データ通信をサポートするチャンネルにエコーキャンセル機能を提供することは望ましくありません。

TN464GP/TN2464BP は、公衆網に接続されている回線でエコーが発生しやすい Communication Manager ユーザー向けです。エコーは、Communication Manager が ATM や IP など、複雑なサービス用に構成されている場合に発生しやすくなります。また、Communication Manager が、エコーキャンセル装置を自社回線に定期的にインストールしないローカル通信事業者とインタフェースしている場合も、エコーは発生しやすくなります。

## E1

Communication Manager は E1 接続もサポートします。T1/E1 アクセスおよび変換により、T1 (1.544 Mbps) と E1 (2.048 Mbps) ファシリティ両方への同時接続が可能です (別々の基板を使用)。

## T1

ネットワークシステムの必要条件を計画するとき、デジタルサービス 1 (DS1) ファシリティでの多重化をオプションの 1 つとして考慮する必要があります。

---

## TDM ステーションと TDM トランクの個別ライセンス

リリース 2.0 より前のバージョンの Communication Manager は、ステーションとトランクを含むライセンスポートとして販売されていました。ライセンスポート数の合計は、**Optional Features** (オプション機能) 画面の **Maximum Ports** フィールドに表示されていました。

Communication Manager のリリース 2.0 からは、ライセンス販売の対象はステーションのみとなり、トランクは対象外となりました。現在、**Optional Features** 画面の **Maximum Ports** フィールドは、トランクとステーションの両方を含むライセンスに使われています。

Communication Manager リリース 3.0 では、別のフィールド **Maximum Stations** が **Optional Features** 画面に加わり、ステーションのライセンスのみを記録するようになっています。これによって、システム上のステーションライセンスの数が簡単にわかります。

---

# インターネットプロトコル (IP)

---

---

## H.323 トランク

MedPro モードの TN802B または TN2302AP IP インタフェースにより、Communication Manager を実行する 2 つのシステム間で IP 接続を使用する H.323 トランクサービスが可能となります。H.323 トランクグループは、システム固有の専用線トランク、ジェネリック専用線トランク、またはダイレクトインダイヤル (DID) 公衆トランクとして設定することができます。また、H.323 トランクは QSIG や BSR などの ISDN 機能をサポートします。

---

## IP ロスグループ

音声通信システムにロスプランを実行する主な理由は、着信する音声とトーンの音量を通話に快適なレベルにするためです。ユーザーが、通話の相手が誰で、どこにいるか、どんな種類の電話機を使用しているかなどを気にせずに受話できるように、これを実行します。

10 dB のエンドツーエンドのロスを持つ接続 (Overall Loudness Rating と呼ばれる) は、1 m の距離をおいた話し手と聞き手の間の通常の会話とほぼ同等で、ユーザーの大半に高い満足度を与えます。したがって、エンドツーエンドロスの音声通信の標準は、この数字をベースにします。

Communication Manager には、さらに 2 つの IP テレフォニーのロスグループがあります。この 2 つのロスグループの目的は、音声とトーンの音量を別々に IP 接続に設定することです。これらのロスグループでは、各国仕様のゲートウェイロスプランを使用します。

2 つの IP ロスグループは次のとおりです。

- Loss Group 18: IPtrunk — IP トランクのロスグループ (IP キャリア媒体)
- Loss group 19: IPphone — IP ターミナルのロスグループ (IP ポート)

アップグレード時に、IP 電話機のロスプランのデフォルトが 2、IP トランクのロスプランのデフォルトが 13 の場合は、Communication Manager がデフォルトをそれぞれ 19 と 18 に変更します。

---

## IP トランク

IP トランクグループは、Communication Manager を実行するシステム間または ITS-E サーバー間の、仮想プライベートネットワークの専用線であると定義できます。各 IP トランク基板は、基本的には 12 ポートのパッケージですが、合計 30 ポートまで拡張できます。定義されるポートの数は IP トランクインタフェースで伝送される同時コールの合計数に一致します。

IP トランクのメリットとしては、長距離電話およびファックスの経費節減、国際的な通信への対応、データと音声を統合する完全な機能を持つネットワークの提供、利用可能なネットワークリソースの使用によるネットワークの最適化などがあります。

IP トランクを日常の音声／ファックス通信に利用すれば、企業のコスト削減に貢献します。IP トランクコールは、公衆電話網ではなく、企業のイントラネット経由で呼を送ります。したがって企業内部の通常通信に IP トランクを利用すると、大幅なコスト削減が可能です。

一般に IP トランクは、電話会議機能のように呼を複数の相手に迂回させるアプリケーションやボイスメッセージングシステムには適していません。IP トランクコールはネットワークの帯域幅を節約するため圧縮されます。そして、圧縮と復元のたびにデータが失われるため、最終的な信号の質が劣化します。

1 つの呼については 3 回までの圧縮サイクルなら問題ないとされ、圧縮サイクル 3 回では音質はそれほど損なわれません。通常の企業用の音声・FAX 通信では圧縮サイクルは 3 回未満です。ただし、マルチポイント電話会議やほとんどのボイスメッセージングシステムでは、圧縮サイクルが多すぎるため、信号の劣化が適正レベルを超えてしまいます。

---

## セッション開始プロトコル

セッション開始プロトコル (SIP) は、IP ネットワークでセッションを確立するために使用するシグナリングプロトコルです。

SIP には、個別のマニュアルセットがあります。SIP について詳しくは、<http://www.avaya.com> ウェブサイトの **documentation** リンクをクリックしてください。

## SIP トランク

SIP トランク機能は、Linux サーバーが従来のレガシーエンドポイント（電話機とトランク）と SIP エンドポイント間の POTS ゲートウェイとして機能できるようにします。また、SIP 間迂回機能を提供します。迂回の際、サーバーは、SIP プロキシが提供するものと類似したコールルーティングをサポートします。

SIP リンクでは、シグナリングを暗号化するための TLS を使用して保護することができ、認証を行うためにダイジェスト認証を使用できます。TLS を使用する場合は、音声チャネルを暗号化するためにメディア暗号化機能も使用できます。

SIP トランク機能は次のとおりです。

- より安価な市内および長距離電話サービス、SIP サービスプロバイダが提供する他のサービスへのアクセスを提供
- 企業のメンバーや、他の企業やサービスプロバイダを含む、企業外部の認証を受けた消費者にプレゼンスおよび可用性に関する情報を提供
- Seamless Service Experience など、企業内で SIP が使用可になった統合された通信アプリケーションを促進

シグナリングおよび音声チャネルの暗号化を可能にすることにより、安全な通信インフラストラクチャを使用するオプションを顧客に提供できます。202 ページの「[SIP トランクのシグナリング暗号化](#)」を参照してください。

---

## AUX トランク

AUX トランクは、補助キャビネット内の装置を **Communication Manager** に接続します。このトランクでサポートされる機能には、録音アナウンスメント、ディクテーション・サービス、マリシャス・コール・トレースやスピーカページングなどがあります。

---

## アドバンスド・プライベートライン・ターミネーション

これにより、米国大型顧客向け専用線サービス (**CCSA**) や拡張専用線サービス (**EPSCS**) などの局用交換機 (CO) のプライベートネットワークへのアクセスおよび終端を行うことができます。

**APLT** トランクは、アナログ専用線トランクで使用されているものと物理的には同じで、トランクのシグナリングは **EPSCS** および **CCSA** ネットワーク交換機と互換性があります。発信 **APLT** トランクは、ダイヤルされた番号をプライベートネットワークに伝送します。**APLT** トランクは、**EPSCS** ネットワークからのみ **PBX** を介して連結することができます。**CCSA** ネットワークには呼の終了に中継台が必要です。

---

## 局用交換機

着信あるいは発信呼のため、局用交換機 (CO) トランクによって **Communication Manager** をローカル局用交換機に接続します。

---

## G700 Media Gateway での局用交換機サポート — ロシア

99 ページの「[G700 Media Gateway での局用交換機サポート](#)」を参照してください。

---

## デジタル多重インタフェース

デジタル多重インタフェース機能は、ホストコンピュータへの直接接続のために、ビットオリエンテッド・シグナリングとメッセージ対応シグナリングの2つのシグナリングテクニックをサポートします。

デジタル多重インタフェースには、2つの主要な利点があります。

- デジタル多重インタフェースは、T1 キャリアを介してホストコンピュータを内部的および外部的にリンクするために、標準シングルポート・インタフェースを提供します。
- ISDN 標準と互換性があり、多数の装置メーカーに承認されているため、デジタル多重インタフェースはマルチベンダ間の接続を促進します。

Communication Manager では、以下の2つのバージョンのデジタル多重インタフェースをサポートしています。各バージョンは、24 番チャネル上の情報送信方法が異なります。

- ビットオリエンテッド・シグナリング
- メッセージ対応シグナリング

---

### ビットオリエンテッド・シグナリング

デジタル多重インタフェース・ビットオリエンテッド・シグナリングは、ホストコンピュータやその他のベンダ装置に接続するための、フレーミング、アラームデータおよびシグナリング情報を伝送します。

---

### メッセージ対応シグナリング

デジタル多重インタフェース・メッセージ対応シグナリングは ISDN-PRI との完全な互換性を持ち、制御およびシグナリングに ISDN-PRI と同様のメッセージ対応シグナリング形式の D チャネル上リンクアクセス手順を使用します。これらのシグナリング機能は、デジタル多重インタフェース・メッセージ対応シグナリング多重通信の長所を公衆 ISDN ネットワークまで拡張するものです。

---

## ダイレクトインダイヤル

ダイレクトインダイヤル (DID) トランクは、オペレーターの手を借りずに内線に直接ダイヤルされた着信呼のため、ローカル局用交換機に Communication Manager を接続します。

---

## PBX ダイヤルイン

局用交換機（CO）トランクおよびダイレクトインダイヤル（DID）トランクにより、中継台は局用交換機に接続されます。CO トランクは呼の発信を行い、中継台への着信呼を受け取ります。PBX ダイヤルイン（DIOD）トランクは、中継台の介在なしに着信する必要のある呼に対して使用されます。

---

## E&M シグナリング — 連続およびパルス式

100 ページの「[E&M シグナリング — 連続およびパルス式](#)」を参照してください。

---

## E911 CAMA トランクグループ

この画面で、米国局用交換機課金システム（CAMA）トランクを設定・管理し、地域の局用交換機を通じて地域の拡張 911 システム（米国）へ緊急呼発信者 ID（CESID）情報を提供します。

---

## 米国フォーリンエクスチェンジ

米国フォーリンエクスチェンジ（FX）トランクは、ローカルオフィスの局用交換機に Communication Manager を接続します。

---

## ISDN トランク

公衆網やプライベートネットワークの多種多様なサービスやファシリティにアクセスできる機能です。ISDN 標準は、オープン・システム・インターコネクト（**OSI**）モデルのレイヤー 1、2、3 で構成されています。Communication Manager を実行するシステムは、標準フレームフォーマット、すなわち基本インタフェース（BRI）および一次群インタフェース（PRI）を使って ISDN に接続できます。

**ISDN** はエンドツーエンドのデジタル接続を提供し、サービスとは独立して交換機サービスにアクセスできる高速インタフェースを使用しています。**ISDN** は国際的に認知された標準インタフェースを介して、ネットワーク内の回線交換やパケット交換の接続を提供し、他の **ISDN** 対応インタフェースとリンクして、国内や国際間のデジタル接続を提供します。

---

## 自動端末終端点識別子

ネットワークによる自動 TEI の割り当てはユーザー側でサポートされています。固定および自動 TEI の割り当ては、ネットワーク側でサポートします。

---

## コールバイコール・サービス選択

各トランクグループを個々の特定のサービス専用にするかわりに、1 つの **ISDN-PRI** トランクグループが呼を多種多様なサービスに搬送できるようにします。この機能により、特定の呼に種々の音声やデータのサービスや機能を設定できます。

---

## ETSI 機能

ETSI 公衆網とプライベートネットワークの **ISDN** 全機能が正式にサポートされています。これにはルックアヘッド・インターフロー (LAI)、ルックアヘッド迂回、チャネル割り当ての各機能が含まれます。

また、次の **QSIG** サプリメンタリーサービスも含まれます。

- 名前識別
- 転送（再迂回を含む）
- 転送
- パス再接続機能

次の機能は、ETSI 機能に含まれません。

- DCS
- ノン・ファシリティ・アソシエイテッド・シグナリング
- D チャネルバックアップ
- ワイドバンド・シグナリング

---

## ファシリティおよびノン・ファシリティ・アソシエイテッド・シグナリング

ファシリティおよびノン・アソシエイテッド・シグナリングは、**ISDN-PRI DS1/E1** インタフェース D チャンネルが、B チャンネル用のシグナリング情報（音声とデータ）を搬送できるようにします。D チャンネルバックアップを設定して、システムの信頼性を向上することもできます。

---

## Feature Plus

Feature Plus は、DID がないユーザーが公衆網でリモート PBX のユーザーに直接ダイヤルできるようにします。ISDN Feature Plus により、DID 機能のないユーザーはオペレーターの介在を必要としなくなります。

---

## ISDN 基本インタフェース

基本インタフェース（BRI）と呼ばれる標準フォーマットを使用して、ISDN をサポートする装置またはエンドポイントにシステムを接続できる機能です。2 本の 64 Kbps の B チャンネルと 1 本の 16 Kbps の D チャンネルを備える 192 Kbps のインタフェースです。

ISDN は、レイヤープロトコルを使用する国際的なアクセス標準です。音声、データ、ファクス、ビデオのサービスおよびネットワークに、複数の別々のアクセス装置を用意する必要がなくなります。現在単純な電話呼を搬送しているものと同一の対線を使用して、音声、データ、ビデオサービスをデジタルフォーマットで送信できます。

ISDN-BRI トランク基板により、Communication Manager は ISDN 標準（ITU-T 勧告 I.411）に定義されているような T インタフェースと S/T インタフェースに対応しています。この基板にはネットワークに接続する 8 ポートが備わっており、B チャンネル 2 本と D チャンネル 1 本をサポートします。

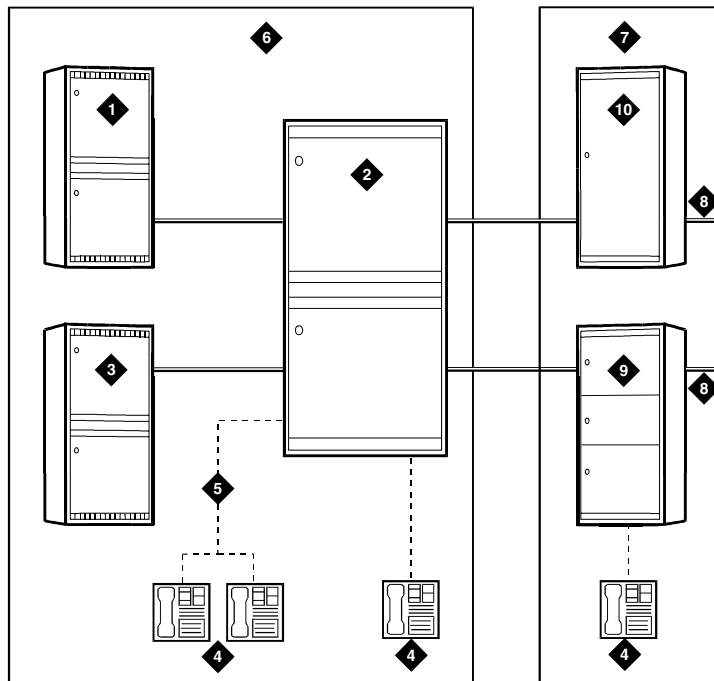
ISDN-BRI トランクには下記の利点があります。

- 通信事業者提供の ISDN サービスに接続する安価な方法を提供
- ほぼすべての ETSI 国プロトコル要件に適合
- ISDN 基本サービス（サブプリメンタリーサービスを除く）に対応

BRI トランクは、米国外ポイントと中央ポイント間の接続による公衆網アクセスをサポートします（INS64 サポート）が、Communication Manager をパッシブバスで他の BRI エンドポイントと接続してはならないという制約があります。ISDN-BRI トランクは、QSIG ピアー・プロトコルを使用する PBX 間専用線トランクとしても使用できます。142 ページの [図 4](#)：

「[Communication Manager と ISDN](#)」を参照してください。

図 4 : Communication Manager と ISDN



図注 :

- |                                    |                                |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 1. Communication Manager を実行するシステム | 6. プライベート ISDN (ATM-CES で伝送可能) |
| 2. Communication Manager を実行するシステム | 7. 公衆 ISDN (ATM-CES で伝送可能)     |
| 3. Communication Manager を実行するシステム | 8. 公衆網およびプライベートネットワーク          |
| 4. 基本インタフェース (BRI) 電話機             | 9. 局用交換機                       |
| 5. パッシブバス (受動)                     | 10. タンデム交換機                    |

## 複数加入者番号 — 制限

ISDN の標準複数加入者番号 (MSN) 機能により、ユーザーが複数の内線番号を、1 台の BRI エンドポイント (端末) に割り当てられるようになっています。この MSN 機能は、チャンネル ID IE を「優先」と符号化できる BRI エンドポイントで機能します。

---

## TN556C の NT インタフェース

Communication Manager は、TN556C 基板を使用して、T インタフェースの NT（ネットワーク）サイドをサポートします。これにより BRI トランクを使って、交換機で専用線トランク全機能が使用できます。Communication Manager は、公衆網を介して、両端が TN2185 の専用 BRI 回線接続をサポートします。ただし、Communication Manager では、同じ TN556C 基板上の両エンドポイントおよびトランクを、ユーザーが設定することはできません。

---

## 表示規制

ISDN トランク上の発呼者／被呼者番号の表示を規制します。ISDN トランクグループは、発呼者／被呼者番号表示を制御するように設定できます。各トランクグループについて、発呼者／被呼者番号の代わりに「Presentation restricted」（発信番号表示規制済）、「Number no available due to networking」（ネットワーク接続が原因で番号表示なし）、または設定した文字列を表示するように設定できます。

---

## ワイドバンドスイッチング

2 本以上の ISDN B チャネルや DSO エンドポイントを 1 本にまとめて、広帯域幅が必要なアプリケーション専用にできます。ビデオ会議や高速データ伝送などのアプリケーションを使用するには帯域幅の拡大が必要で、これらのアプリケーションのニーズを満たすには、いくつかの ISDN-PRI 狭帯域幅チャネルを 1 本の広帯域幅チャネルにまとめることが必要となります。

この機能は欧州と北米の標準に対応しています。

---

## マルチ周波数パケットシグナリング — ロシア

99 ページの「[マルチ周波数パケットシグナリング](#)」を参照してください。

---

## TTC Q931a 専用線プロトコルのサポート — 日本

「[TTC Q931a 専用線プロトコルのサポート](#)」を参照してください。

---

## 個人用局線

デジタル電話機と局用交換機（CO）またはネットワーク経由の他の交換機との間に専用トランク回路を提供します。

---

## リリースリンクトランク

リリースリンクトランク（RLT）は交換機間に使用され、中央中継台または ACD（自動着信分配）グループ機能を提供します。

---

## 専用線トランク

専用線トランクは、Communication Manager とプライベートネットワーク内の他の交換機間の通信を伝送します。設置するプライベートネットワークのタイプによって、異なる種類のトランクが使用されます。

---

## 発信トランクコールの時間超過自動切断

この機能により、設定された時間が経過した後、発信トランクコールは自動的に切断されます。トランクが切断されるまでの時間の長さは、2 分から 999 分の間に指定できます。タイマーのフィールドが空白（デフォルト値）の場合、機能は無効になり、トランクは自動的に切断されません。

時間超過の呼の切断は、指定された接続制限クラス（COR）に属する話者が発呼するすべての発信トランクコールに適用されます。

発信トランク切断タイマーは、発信する公衆網用トランク（CO、DIOD、FX、WATS、ISDN 公衆網）のみに有効です。

### 注記：

発信トランク切断タイマーは、ユーザーに十分な応答時間を提供するために、不足のない値に設定します。

発信トランク切断タイマーは、緊急呼、サービス呼には適用されません。具体的に言うと、発信トランク切断タイマーは、ARS 呼の種類が alrt、emer、nsvc、op、svcl、svfl、svct、svft の呼には適用されません。

発信トランク切断タイマーは、発信トランクコールが応答された後、始動します。発信トランクコールは、次の場合に応答されたと見なされます。

- ネットワークからの応答監視のライン信号が提供される
- ISDN CONNect メッセージが受信される
- 応答監視タイムアウトタイマーの設定時間が切れる
- コールクラシファイアが呼を応答済みに格付けする
- Outgoing End of Dial Timer の設定時間が切れる

トランクを切断する前に、呼の参加者全員に警告のトーンを発します。呼の残り時間が 1 分になると、最初の警告のトーンが流れます。呼の残り時間が 30 秒になると、2 回目の警告のトーンが流れます。

---

## 米国広域電信サービス

米国広域電信サービス（WATS）は、定義済サービスエリアの電話機に、長距離外線音声グレードの呼を発呼できます。サービスエリアの距離、呼の長さ、時刻および曜日によって料金が決定されます。



## 第 13 章：公衆網ネットワークと接続

---

### アナログトランクからの発信者 ID

アナログトランクからの発信者 ID により、システムは、Bellcore 方式発信者 ID をサポートする地域電話会社（LEC）ネットワークから発信者名情報を受け付けることができます。Bellcore 方式発信者 ID が設定されている場合、システムは発信者名情報をそのフォーマットで送出できます。

### デジタルトランクからの発信者 ID

米国では、ユーザーの電話機に発信者情報が表示されます（ディスプレイ付き電話機の場合）。米国局用交換機から発信者氏名および電話番号を得ることができます。

氏名および電話番号の表示は、40 字または 32 字の英数字ディスプレイ付きの、Communication Manager デジタル電話機（DCP および BRI）全タイプで機能します。

### DS1 トランクサービス

133 ページの「[DS1 トランクサービス](#)」を参照してください。

### エコーキャンセル機能付き UDS1 基板

134 ページの「[エコーキャンセル機能付き UDS1 基板](#)」を参照してください。

### E1

134 ページの「[E1](#)」を参照してください。

---

## T1

134 ページの「[T1](#)」を参照してください。

---

## フレキシブルな課金

54 ページの「[フレキシブルな課金](#)」を参照してください。

---

## ローカル局用交換機トランク

ローカル局用交換機トランクは、局用交換機に **Communication Manager** を接続します。次に利用できる数種類のローカル局用交換機トランクを示します。

---

## 800 番サービストラंक

800 番サービストラंकは、発信者が電話料を支払うことなく連絡できるように、インバウンド長距離電話料金を被呼側の会社が負担します。

---

## 局用交換機トランク

137 ページの「[局用交換機](#)」を参照してください。

---

## デジタルサービス 1 トランク

133 ページの「[DS1 トランクサービス](#)」を参照してください。

---

## ダイレクトインダイヤルトランク

138 ページの「[ダイレクトインダイヤル](#)」を参照してください。

---

## PBX ダイヤルイントランク

139 ページの「[PBX ダイヤルイン](#)」を参照してください。

---

## 米国フォーリンエクスチェンジトランク

139 ページの「[米国フォーリンエクスチェンジ](#)」を参照してください。

---

## 米国広域電信サービス

145 ページの「[米国広域電信サービス](#)」を参照してください。



## 第 14 章：インテリジェントネットワーク

---

### Avaya VoIP Monitoring Manager

223 ページの「[Avaya VoIP Monitoring Manager](#)」を参照してください。

---

### Distributed Communications System（分散通信システム） プロトコル

Distributed Communications System（分散通信システム）（DCS）プロトコルにより、2 台以上の交換機をあたかも 1 台の大型システムであるかのように構成できます。DCS は各交換機間で中継台機能および電話機機能を提供します。DCS はダイヤリング手順を簡素化して、Communication Manager 機能の一部が透過的に使用できるようにします（機能の透過的な使用とは、交換機の場所とは無関係に DCS の全ユーザーが利用可能であることを意味します）。詳しくは、49 ページの「[中央中継台](#)」および 45 ページの「[中継台間コール](#)」を参照してください。

---

### DCS 付き中継台

#### 直接トランクグループ捕捉

45 ページの「[直接トランクグループ捕捉](#)」を参照してください。

#### ディスプレイ

49 ページの「[ディスプレイ](#)」を参照してください。

---

### DCS 自動回路保証

212 ページの「[DCS 自動回路保証](#)」を参照してください。

## ISDN-PRI D チャネル上の DCS

DCS のスイッチノード間で DCS 接続を行うために公衆網にアクセスできるようにすることによって、DCS を拡張します。この機能（DCS Plus または DCS+ としても知られている）により、専用回線でも DCS 機能を使用できるようになります。ISDN-PRI B チャネルは音声通信で使われ、ISDN-PRI D チャネルは、DCS 制御情報のトランスポートに使われます。

---

## DCS プロトコル — イタリア

98 ページの「[Distributed Communications System（分散通信システム）プロトコル](#)」を参照してください。

---

## 再迂回機能付き DCS

交換機が、より質の高い低コストの迂回路を見つけた場合に、DCS 呼を別の迂回路へ迂回し直すことができます。この機能では、転送後の呼、または通話中の呼を再迂回できます。再迂回機能付き DCS は QSIG で使用されている再迂回機能に類似しています。

---

## QSIG/DCS ボイスメール接続

115 ページの「[QSIG/DCS ボイスメール接続](#)」を参照してください。

---

## 電子タンドムネットワーク

Communication Manager では、プライベート・ネットワーク・アクセス（PNA）としても知られる電子タンドムネットワーク（ETN）を利用して、ネットワーク全体でさまざまな機能を提供します。これによって、プライベートネットワーク内の他のシステムに呼を迂回できます。呼は公衆網ではなく 専用回線を通して迂回されます。

---

## 条件付自動迂回機能

条件付き迂回機能を使って、特定呼の迂回制御が行えます。例えば、どのようなエンドツーエンド・プライベートネットワークのルートパターンでも、通信サテライトホップ（トランクとして用いられる通信サテライトリンク）の数を制限できます。サテライトホップの数を制限することは、音声とデータコール両方について伝送品質あるいは呼の遅延を制御するために望ましい場合があります。

---

## トランクシグナリングとエラー回復

シグナリング障害が起こった場合、トランクコールを別の回線で再度行うことによって、電子タンデムネットワーク呼の信頼性を高めます。

- **タンデム交換機**：ETN 内の交換機。ネットワーク呼の最適ルートを決断するための論理を提供し、送出信号の桁を修正したり、特定のユーザーへの特定の呼を許可または拒否します。
- **タンデムスルー**：着信トランクから発信トランクへの、人間が介在しない交換接続。
- **タンデム専用線トランク・ネットワーク（TTTN）**：顧客の複数の交換機システムを相互接続するプライベートネットワーク。

127 ページの「[ポートネットワークとゲートウェイ接続](#)」を参照してください。

---

## 内線番号ポータビリティ

社員がネットワーク内で移動するとき、自分の内線番号を維持することができます。会社内で他の場所に移動する際、内線番号、電子タンデムネットワーク、ダイレクトインダイヤル番号を保持できるこの機能を使えば、呼を逃すことなく、貴重な時間を節約できます。

---

## インターネットプロトコル（IP）

Communication Manager の機能とアプリケーションは、IP の導入によりさらに拡張されます。Communication Manager IP は LAN または WAN で音声をサポートし、またリモートのユーザーは、PC から通信システム機能が利用できます。Communication Manager はまた、メディアサーバーとメディアゲートウェイ間で規格に基づいた制御を行うため、通信インフラストラクチャをネットワークの末端まで配分できます。

Communication Manager IP エンジンには、ユーザーによる音声通信の品質向上が可能な機能を提供します。この QoS 機能によって、ユーザーは DiffServ (Differentiated Services Type-of-Service) の値を設定・ダウンロードして音声品質を最適化できます。QoS 機能では、音声処理ボードへのバッファ実装で遅延を短縮し、一部のルーターによる音声トラフィックの優先が支援できます。

Communication Manager IP にはまた、ヘアピン接続および IP-IP 直接接続が導入されています。いずれも音声通信の効率をいっそう高める機能です。これらの機能によってポートあたりのコスト、および IP バンド幅の使用を軽減できるので、音声通信の効率が向上します。

IP ソリューションは、トランク、IP 通信デバイス、IP ポートネットワーク、メディアゲートウェイの IP 制御をサポートします。IP ソリューションは、サーバーまたは Avaya メディアゲートウェイ内部の各種 IP メディアプロセッサ基板によって実装されます。この IP メディアプロセッサは、H.323 トランク接続および IP 電話機の H.323 音声処理を行います。IP メディアプロセッサを使用する機能には、CLAN 基板または既存プロセッサによるイーサネット接続が必要です。

地理的に異なるロケーションにわたる顧客 IP ネットワーク拡張のため、この IP LAN を VPN および WAN にも接続できます。Distributed Communications System (分散通信システム) (DCS+)、または QSIG サービスによって、機能透過性、集中化ボイスメール、中央中継台 (CAS)、コールセンターアプリケーションを拡張し、複数の IP トランクにわたる呼の迂回機能が強化できます。

### 注記：

IP による音声品質の最適化には、ハードウェアおよびネットワーク両方の構成を考慮する必要があります。例えば、IP ソフトフォンを使用すると、通常の電話回線で音声を送信し、高品質の音声を提供したり、また LAN 接続を使って IP で音声を送信することもできます。IP ネットワークは必ずスイッチイーサネットインフラストラクチャである必要があります。また IP トラフィックによるリアルタイム音声を効率的に実現するのに必要な、バンド幅、遅延、パケット損失に対応できる適切なエンジニアリングも不可欠です。

---

## 代替ゲートキーパー (Alternate Gatekeeper) と登録アドレス

IP エンドポイント (ソフトフォン、IP 電話機、Avaya R300 など) を交換機に登録すると、交換機から IP 登録アドレスが返信されます。交換機は循環アルゴリズムに従って、登録ごとに異なる IP アドレスを送信します。

元の CLAN 基板 IP アドレス登録が成功すると、交換機からはインターコネクト領域を含まない、1 つのネットワークリージョンに属する全 CLAN 基板に対してその IP アドレスが返信されます。これらの CLAN アドレスを、ゲートキーパーアドレスと呼びます。ゲートキーパーアドレスは、元の CLAN 基板で呼シグナリングが失敗した場合にも利用できます。

**注記：**

IP アドレス機能に基づく LAN 領域を使用する交換機では、IP 電話機に割り当てられるネットワークリージョン番号と、当該電話を登録する TN799 のネットワークリージョン番号が異なる場合があります。この違いは、IP 電話機と同じネットワークリージョンの TN799 アドレスリストが空だということを意味します。代替ゲートキーパー機能によって、空白リストが当該 IP 電話機に送信された結果です。

こうした事態の発生を避けるには、1 台の IP 端末を Communication Manager に登録し、そのエンドポイントに Communication Manager から、当該端末と同じ領域内に属する CLAN すべての IP アドレスを返信させ、次に当該端末の属する領域とインターコネクトするネットワークリージョンの CLAN IP アドレスを返信させます。

1 つの CLAN 基板へのネットワーク接続が失敗した場合は、当該 IP エンドポイントを別の CLAN に再登録します。代替ゲートキーパー、登録アドレスおよび CLAN 基板のロード共有によって、IP エンドポイントの登録を複数の CLAN 基板に拡散させ、ネットワークの性能および信頼性を高めます。

---

## クラスレスドメイン間ルーティング

クラスレスドメイン間ルーティング (CIDR) はサブネットマスクを再定義したものです。これによって 1 つのネットワーク定義で、全クラス対応の連続したネットワークが実現できます。Communication Manager に IP アドレスを設定する場合、より効率的な迂回テーブル管理が可能になります。

---

## CLAN ごとの複数ネットワークリージョン

CLAN ごとの複数ネットワークリージョン機能によって、単一の CLAN が、複数のネットワークリージョンの IP エンドポイントに対して、登録および呼の制御を行うことができます。Communication Manager では、単一の CLAN にだけでなく、マッピング画面で複数のネットワークリージョンに IP アドレスをマップさせることで、この機能を実現します。IP 電話機を登録する場合、IP アドレスに基づいて、交換機が該当電話機のネットワークリージョン番号を決定します。

---

## ネットワークリージョンごとのマルチロケーション対応

ネットワークリージョンごとのマルチロケーション対応は、リモート Avaya メディアゲートウェイが次のものを保持するために、中央の Avaya メディアサーバーに接続することを可能にします。

- ローカルロケーションタイム
- ローカルランク用のローカル ARS 公衆分析テーブル
- 自動夏時間
- Avaya IP 電話機などの IP 通信デバイスのローカルタッチトーンレシーバ

Communication Manager によって、ネットワーク管理者は複数のロケーションを複数の IP ネットワークリージョンにマップできます。

---

## ネットワークリージョン

ネットワークリージョンは、Communication Manager 機能が IP エンドポイントに割り当てられる際の設定基盤になります。ネットワークリージョンは、IP ネットワークでインターコネクトされた IP エンドポイントと、交換機 IP インタフェースを集めたものです。

ネットワークリージョンを共有するエンドポイントは通常、共通利益に基づくユーザーを示します。例えば、大都市圏に 2 か所の小規模な施設を持つ顧客がいて、WAN でインターコネクトされた両施設に、Communication Manager を実行する同じ 1 台のサーバーが対応しているとします。Communication Manager によって顧客は、各施設に対してそれぞれネットワークリージョンを定義し、さらに各領域に対して CLAN および IP メディアプロセッサ基板をそれぞれ関連付けることができます。

---

## QoS

音声パスのすべてまたは一部がパケットファシリティで伝送される場合、Communication Manager ではさまざまな QoS 機能によって、可能な限り最高のエンドツーエンド音声品質を提供します。ここでの「最高」とは、システム管理者の指示によって顧客が定義するもので、音声再生品質、音声パス遅延（待ち時間）、音声損失、ネットワークリソース消費など、複数要素間でバランスをとることになります。

## 802.1p/Q

IEEE 規格 802.1Q および 802.1p には、MAC アドレスに基づく迂回が可能な LAN ハブまたはブリッジによる、仮想 LAN (VLAN) およびレイヤ 2 のフレーム優先の指定手段が規定されています。802.1p/Q によって、8 レベルの優先指定 (3 ビット) および大量 (12 ビット) の VLAN 識別子が提供されます。レイヤ 2 の VLAN 識別子によるトラフィックの分離で、個別リンク上のトラフィックが軽減できます。802.1p は MAC レイヤで動作するため、単一のネットワークリージョン内では場合により LAN セグメントごとにその様相が変わります。各ネットワークインタフェースごとに、802.1p/Q オプションを指定できる柔軟性が必要です。

## Camp-on/Busy-out

Camp-on/Busy-out は、通常、システム技術者がメンテナンスや修理を必要とするシステムリソースを使用停止にするために使用するコマンドです。このコマンドがなければ、リソースがシステムから物理的に除去された場合、それらのリソースを使用する通話中の呼は無差別に切断されます。特に多数の呼が切断された場合、このように影響の大きいアクションは顧客に問題を及ぼします。

Prowler、MedPRO、Cruiser の Camp-on/Busy-out 機能により、システムの使用可能な VoIP リソースからアイドル状態の VoIP リソースを除去する機能が追加されます。

### 注記：

この機能は、G700、G350 Media Gateway のプラットフォームではサポートされません。

Camp-on/Busy-out 機能により、ユーザーは、メディアプロセッサの稼動中に、メディアプロセッサの使用停止を選択できます。指定されたメディアプロセッサ内でリソースを使用していた呼が終了した後、アイドル状態のリソースはシステムの使用可能なリソースから除去されます。メディアプロセッサのすべてのリソースが「busy-out」状態になると、通話中の呼を中断せずに、関連付けられたボードをシステムから取り外せます。

## 呼受け付け制御バンド幅管理

ボイスオーバー IP 呼で QoS を保証するには、WAN リンク上の全体的な VoIP トラフィックを制限する必要があります。Communication Manager の呼受け付け制御 (CAC) バンド幅管理機能により、顧客は 2 つの IP ネットワークリージョン間ならどこでも VoIP バンド幅の上限を指定できます。そのバンド幅の上限を越える呼を WAN リンクで伝送する必要がある場合、呼は拒否されます。

## CLAN 負荷バランス調整

CLAN 負荷バランス調整は、IP エンドポイントを CLAN 基板 (TN799x) に登録するプロセスです。負荷バランス調整は、ネットワークリージョン内の CLAN の間で発生します。

CLAN 基板間の IP エンドポイント登録は、アルゴリズムによって行われます。このアルゴリズムは、TN799x 基板ごとに使用されているソケットの数を追跡し、使用可能な（使用されていない）ソケットが最も多い TN799x に IP エンドポイントを登録します。このアルゴリズムは、H.248 および H.323 シグナリンググループ、H.323 電話機、SIP エンドポイントに適用されます。外部装置が使用するソケットは、ソケットカウントに含まれません。

## CODEC（変調復調プロトコル）

CODEC（変調復調プロトコル）は、音声圧縮の手段を提供します。CODEC は通常 VoIP で使用されます。Communication Manager でサポートされる CODEC は、G.711、G.723、G.729 です。

## DiffServ

DiffServ（Differentiated Services）オプションによって、システム管理者は TN2302AP に、DiffServ Type-of-Service（TOS）の値を（領域別で）指定・ダウンロードできます。これによって、IP レベルでの音声ストリーム優先が、データネットワーク機器で可能になり、音声品質を向上することができます。DiffServ では、既存 IP バージョン 4 のヘッダに含まれる TOS オクテットを利用します。そうした設定が情報の送信元でなされ、ネットワーク内の IP（レイヤ 3）ルーターで使用される場合もあります。

## ダイナミックジッターバッファ

伝達遅延およびジッターは、IP ネットワークでトランスポートするためサンプリングしエンコードし、パケット単位に区切った人間の声が、受信時に異なるレートでデコードされた場合に発生します。この変換を円滑に行うため、音声出力のバッファにジッターバッファが使用されます。Communication Manager では、ダイナミックジッターバッファにより変換遅延と起こり得る急速バーストとのバランスを取ります。

## Cajun Rules によるインテグレーション

Cajun Rules は QoS パラメータの中央リポジトリを提供し、これによってルーター、交換機、エンドポイントにわたる包括的な QoS 管理ができます。QoS パラメータおよびポリシーは、「Network Region」上のネットワークリージョンに応じて割り当てられ、エンタープライズ・ディレクトリ・ゲートウェイ（EDG）経由で Communication Manager、ルーター、交換機デバイスに配信されます。

## IP 過負荷制御

この拡張機能により、より効果的にプロセッサ占有過負荷状態が制御されます。この拡張機能を使用して、より高い占有レベルで発生する重大な状況を防ぐために、選択した低い占有しきい値で過負荷メカニズムを適用できます。

IP 過負荷制御の拡張機能は次のとおりです。

- 登録トラフィックのバーストに対して、システムを強化
- 一定の時間にわたって登録を送信しないよう相手に警告するメカニズムを提供
- 潜在的なパフォーマンスの問題の履歴を維持するために、イベントを記録
- 使用可能なメモリと CPU サイクルに応じて、サーバーが処理できる同時登録の最大数を最大限に活用
- ネットワークの問題によってサーバーが過負荷状態になる可能性のある周波数を低減

## 呼制御の QoS

Communication Manager では、DiffServ および 802.1p/Q 方式に基づく音声チャネルと同じ規格を採用することで、CLAN などゲートキーパーから送信されるシグナリングパケットの QoS が可能になります。この QoS サービスで、ユーザーの VoIP 音声品質がいっそう向上します。

## VoIP の QoS

Communication Manager では、G.711、G.723、G.729 のような音声 CODEC の選択および、レイヤ 2 IEEE 802.1p/Q 方式とともに、レイヤ 3 DiffServ 方式によるネットワーク優先順位付け要求によって、QoS を実現します。Diffserv および 802.1p/Q は、ゲートウェイに対して送受信し、IP 電話機のようなエンドポイントに到着する音声パケットでサポートされます。ダイナミックジッターバッファも使用されます。

## エンドポイントへの QoS

IP ネットワークで発生する呼の音声処理性能、または QoS を最適化するため、ユーザーは操作パラメータが設定できます。これらのパラメータには、音声 CODEC、DiffServ 機能によるネットワークの優先順位、IEEE 802.1p/Q MAC レイヤによる優先順位付けおよび分離があります。

エンドポイントの設置担当者またはユーザーによってパラメータ値が設定されない場合は、デフォルトの QoS パラメータが IP 電話機 R1.5 および IP ソフトフォン R3 にダウンロードされます。いくつかのオプションはエンドポイントでローカルに、またはゲートキーパーを介して設定できます。エンドポイントは登録時にこれらのパラメータを受信します。さらにいったん登録されると、QoS パラメータの設定値が変更されるたびに受信します。

## Resource Reservation Protocol

Resource Reservation Protocol (RSVP) は、QoS シグナリングプロトコルです。RSVP により、IP パケットフローの条件を指定し、「受け付け制御」と呼ばれるプロセスで、介在するネットワークがそのフローを保護するリソースを提供できるかどうか確認する手段が提供されます。

混雑に影響を受けやすい WAN および他のリンク上の VoIP 音声ストリームに対する RSVP 保護機能により、進行中の VoIP 呼の品質を保護できます。

- IP 電話機またはゲートウェイは、バンド幅を確保するためにネットワークルーターを要求します。
- ルーターはリクエストに基づいて作動し、QoS リクエストに従ってバンド幅を割り当てます。
- バンド幅が確保されると、呼は、負荷がかかったネットワーク、または混雑したネットワークで他のネットワークのトラフィックから保護されます。これによって高い音声品質が保証されます。

管理者は、Communication Manager で RSVP 設定を構成できます。IP Network Region (IP ネットワークリージョン) 画面の RSVP enable フィールドが **y** に設定されていると、RSVP Reservation Parameters フィールドが表示されます。

---

## IP 上の FAX 送受信

Communication Manager リリース 2.1 から、ボイスオーバー IP (VoIP) とモデムオーバー IP (MoIP) のネットワーク上で FAX の送受信ができるようになりました。TN2302AP 基板 (Hardware Vintage 10 以降)、MM760 Media Module、G700 Media Gateway、G350 Media Gateway に常駐するファームウェアは、IP ネットワークで FAX が正しく作動するのに必要な手順を実質的に実行します。

## モデムオーバー IP

モデムオーバー IP (MoIP) 機能を使うと、64kbps の無制限クリアチャネル上でデータ伝送ができます。Communication Manager リリース 3.0 から、クリアチャネルデータコールが発生すると、システムがメディアプロセッサまたは VoIP エンジンと通信し、64kbps クリアチャネルを開いてデータを伝送するようになりました。

## 中継モード

中継モードでは、ファームウェアが FAX 発信音を検出し、適切な変調プロトコル (V.xx) を使って、IP ネットワーク上で FAX を伝送できるように FAX を開始/終了します。IP ネットワークでのバンド幅を低減するため、システムは FAX の変調アナログ信号をエンコードし、リレーコーダ/デコーダを使用します。これによって、伝送の信頼性が高まります。また、中継モードの FAX 用データパケットが、送信エンドポートから受信エンドポートへのほぼ一方向のみに送信されるため、バンド幅の使用が低減します。

中継モードは、受信 FAX エンドポイントと送信 FAX エンドポイントが両方 Avaya Communication Manager のメディアサーバーを介して通信する場合のみ機能します。FAX 信号の伝送は、9600 bps の速度で行われます (ただし、ファームウェアのバージョンによって、速度は変わることがあります)。このモードは、Communication Manager R2.0 システムとの FAX 通信にも使用できます。

## パススルーモード

また、FAX 信号の伝送を、「パススルー」モードで行うこともできます。パススルーモードでは、G.711 のようなエンコードを使って FAX 信号の伝送を行い、IP 信号として受信 FAX エンドポイントに送ります。この機能では、ネットワークのエンドポイントが同一のクロック源にすべて同期する状況で高品質の伝送が行えます。パススルーモードは、受信 FAX エンドポイントと送信 FAX エンドポイントが両方 Avaya Communication Manager のメディアサーバーを介して通信する場合のみ機能します。

伝送速度は、回線交換呼と同程度までとなっており、G3 と Super G3 の FAX 速度についても、33.6 kbps までサポートします。

### 注意：

Super G3 FAX 装置とモデムを両方使用する場合は、これらの FAX 装置を、モデムと FAX の両方が有効になった IP CODEC セットでネットワークリジョンに割り当てないようにしてください。CODEC セットがモデムと FAX 信号の両方について有効になっていると、Super G3 FAX 装置が誤って FAX 伝送ではなくモデム伝送を使おうとするためです。

このため、モデムエンドポイントをモデム対応の IP CODEC セットを使うネットワークリジョンに、Super G3 FAX 装置を FAX が有効になった IP CODEC セットを使うネットワークリジョンに割り当てるようにしてください。

パススルーと中継モードの両方でパケット冗長性を割り当てることができます。これによって、メディアゲートウェイで RFC 2198 パケット冗長性を使い、ネットワーク上で FAX を伝送する際のパケット伝送や堅牢性を向上させることができます。

パススルーモードでは、中継モードよりネットワークバンド幅を使用します。冗長性によって、バンド幅の使用がさらに増えることになります。

## 暗号化

Avaya Encryption Algorithm (AEA) または Advanced Encryption Standard (AES) のどちらかを使って FAX パススルー呼を暗号化できます。FAX 中継呼の暗号化には、AEA しか使えません。詳しくは、195 ページの「[セキュリティ、プライバシー、安全機能](#)」を参照してください。

---

## インターネット上の T.38 FAX

Communication Manager リリース 2.1 を使うと、T.38 標準で中継し、VoIP ネットワーク上で FAX の送受信ができます。TN2302AP 基板 (Hardware Vintage 10 以降)、MM760 Media Module、G700 Media Gateway、G350 Media Gateway に常駐するファームウェアは、IP ネットワークで FAX を正しく処理するのに必要な手順を実質的に実行します。FAX 信号の伝送速度は、9600 bps です。

T.38 FAX 機能では、アバイア以外のシステムに接続されたエンドポイントとも FAX の送受信ができます。この機能は、標準に基づくもので、IP トランクと H.323 シグナリングを使ってアバイア以外のシステムとの通信を行います。さらに、T.38 FAX 機能では、UDP プロトコルを使います。

### 注記：

T.38 FAX が有効になっていれば、2 つの異なる Avaya メディアサーバーが処理する FAX エンドポイント間でも、相互に T.38 FAX を送信することもできます。この場合は、メディアサーバーでも IP トランクを使います。

ただし、T.38 FAX の送受信エンドポイントが、同一メディアサーバーに登録されたポートネットワークまたはメディアゲートウェイにある場合、ゲートウェイまたはポートネットワークは、アバイアの FAX 中継モードに戻ります。アバイアの FAX 中継モードは、バンド幅の観点からは、T.38 より効率的です。

送受信システムの両方で、H.245 機能交換の間、T.38 FAX データアプリケーションのサポートを通知する必要があります。アバイアのシステムでは、CODEC Set (CODEC セット) 画面でリージョンの当該機能が設定されており、音声チャネルに T.38 対応のメディアプロセッサが選択されている場合に、T.38 FAX のサポートを通知します。また、FAX 伝送を正しく行うには、接続での複数 IP ホップを回避するため両方のシステムで H.245 ヌル機能交換 (シャフリング) をサポートする必要があります。

### 注記：

T.38 FAX 機能は、TCP には対応していません。

T.38 標準 FAX にパケット冗長性を割り当てて、ネットワーク上で FAX を伝送する際のパケット伝送や堅牢性を向上させることができます。

## パススルーモード

パススルーモードの場合は、T.38 標準で FAX を送信することはできません。

---

## シャフリングとヘアピン接続

シャフリングとヘアピン接続により、使用可能な IP ネットワークリソースを割り当てて、Communication Manager スイッチ構成をより効率的に利用することで、トラフィック処理性能および音声品質を向上させることができます。

「シャフリング」は、2 つの IP エンドポイントに接続する音声チャネルの再迂回です。IP シグナリングおよび TDM バスシグナリングの混合接続で伝送されていた音声は、シャフリング後、2 つの IP エンドポイント間を直接 LAN または WAN 経由で迂回します。エンドポイントがリソースに TDM バスを必要とする会議などの機能をサポートさせたい場合は、シャフリングがこれとは逆方向の処理を意味することもあります。

「ヘアピン接続」も、2 つの IP エンドポイントを接続する音声チャネルの再迂回です。これにより、IP-TDM 変換を行わず、また TDM バスを經由することなく、ベアラ (音声) パケットが IP フォーマットで TN2302AP IP Media Processor 基板経由で再迂回します。

## NAT のシャフリング

Communication Manager では、IP エンドポイントは、IP ネットワークでネットワークアドレス変換 (NAT) デバイスの背後にある場合、シャッフルできます。

### 注記：

ネットワークアドレス変換 (NAT) は、既存のネットワークによって再使用される IP アドレスをグローバルに登録できるようにすることで、IP V4 アドレスの不足に対処する方法です。NAT デバイスは、変換されたアドレスと既存の IP アドレスを切り替えます。

Communication Manager は、NAT デバイスにより変換された 2 つのエンドポイント間の IP ダイレクトコール (シャッフルされた呼) をサポートします。

この拡張機能は、静的な一対一の NAT に対応しますが、ネットワークアドレスポート変換 (NAPT) としても知られているポートアドレス変換 (PAT) を促進しません。この拡張機能は、多対一の NAT に対応しません。

---

## TTY

聴覚障害または言語障害を持つ人々は、電話システムで通信するために、TTY として知られるデバイスに依存することがよくあります。「TTY」はテレックスの省略形です。(聾啞者用通信機「TDD」という用語もよく使用されます。ただし、このデバイスの使用者の多くは聾啞者ではないので、一般的に「TTY」という用語が好まれます。)

TTY デバイスは、通常、小型のラップトップコンピューターに似ていますが、コンピュータスクリーンの代わりに、1 行または 2 行の英数字表示がある点が異なります。

通常、電話網に接続するときには、ユーザーが音響カプラーに電話機のハンドセットを差し込むか、アナログ RJ-11 tip/ring 接続を使用します。

TTY シグナルの信頼性の高い伝送は、Communication Manager にサポートされます。これは、米国のアクセス関連の法律で概要が述べられている要件およびガイドラインに準拠します。これには次の法律が含まれます。

- 1990 年米国障害者法 (ADA)、第 II、III、IV 章
- 1996 年電気通信法、第 251、255 節
- 1998 年総労働力投資法、第 508 節

Communication Manager TTY のサポートは、現在、次を使用する TTY デバイスのみに限定されています。

- US 英語標準 TTY プロトコル — ANSI/TIA/EIA 825 では、「A 45.45 Baud FSK モデム」と指定
- UK 英語標準 TTY プロトコル — Baudot 50

この標準の重要な特性は以下のとおりです。

- 伝送時以外は、TTY は無音です ファクスやコンピュータモデムとは異なり、TTY には通話の始めに「ハンドシェーク」がなく、通話中のキャリアトーン也没有ありません。この方法の利点は、TTY トーン、DTMF、音声を同一の呼で混合できることです。

### 注記：

TTY デバイスを使用する人の大半は、音声と TTY データの入力を同じ呼で混合します。最もよく使用するのは、聴覚障害がありながら、明瞭に話す能力を持つ人々です。多くの場合、このような使用者は TTY デバイスでテキストを受信し、口頭で応答することを選びます。このプロセスは、Voice Carry Over (VCO) と呼ばれます。

- 「半二重」の動作 — TTY ユーザーは交替で送信し、通常、互いに割り込むことができません。2 人のユーザーが同時に入力しようとする、彼らの TTY デバイスにテキストがまったく表示されないことや、認知不可能なテキストが表示されることがあります。また、入力した文字が正しく受信されなかったとき、TTY ユーザーに知らせる自動的なメカニズムがありません。
- 各 TTY 文字は、連続する 7 つの独立したトーンで構成されます。最初のトーンは常に 1800 Hz の「開始トーン」です。この後に、1400 または 1800 Hz の連続する 5 つのトーンが続き、文字を指定します。シーケンスの最後のトーンは、常に 1400 Hz の「停止トーン」です。停止トーンは、この文字と次の文字を切り離す境界です。

次の種類のシステムは TTY 通信をサポートします。

- アナログ電話機とトランク
- デジタル電話機とトランク
- VoIP ゲートウェイ
- メッセージングシステム
- 自動オペレーターサービスシステム
- IVR システム
- TTY 互換のコーダーを使用するワイヤレスシステム

ユーザーの TTY デバイスがサポートする限り、Communication Manager では、次の操作が可能です。

- 同一の呼で音声と TTY トーンを混合する。
- 同一の呼で DTMF と TTY（音声の有無にかかわらず）を混合する。これにより、TTY ユーザーは DTMF ベースのボイスメール、自動応答、IVR システムにアクセスできます。
- 音響結合された TTY デバイスと「直接接続」(RJ-11) TTY デバイスの使用

## アナログおよびデジタルトランク上の TTY

Communication Manager は、2 つのアナログ電話機のためのゲートウェイまたはポートネットワーク内で TTY 呼をサポートします。アナログトランクまたはデジタルトランクを使用するゲートウェイまたはポートネットワークからの TTY 呼もサポートされます。

## Avaya IP トランク上の TTY

Communication Manager では、ゲートウェイ間コール (IGC) だけではなく、IP トランクを使用する呼もサポートされます。

### 注記：

この機能が動作するには、TTY 呼の送信者（近端）と受信者（遠端）の両方が Avaya IP トランクに接続している必要があります。どちらかの電話機が IP 電話機でない場合、この機能は動作しません。

## TTY 中継モード

中継モードでは、次の処理を行います。

- TTY 文字の検出
- IP ネットワーク上で文字表現を伝送
- TTY デバイスへの伝送のため、文字／トーンを再生成

この TTY 伝送では、US 英語 TTY (Baudot 45.45) と UK 英語 TTY (Baudot 50) をサポートします。TTY では、RFC 2833 か RFC 2198 のスタイルパケットを使って、TTY 文字を伝送します。

呼にある TTY 文字によって、音声モードと TTY モードの伝送が切り替わります。システムでは TTY 文字送信の際に最大 16 kbps のバンド幅を使用します。音声モードについては、通常の音声 CODEC のバンド幅を使います。このモードは、Communication Manager R2.0 システムとの TTY 通信にも使用できます。

中継モードでは、パケット冗長性を割り当てることもできます。これによって、メディアゲートウェイが重複 TTY パケットを送信し、ネットワーク上での通信の質が確実に向上します。

## TTY パススルーモード

また、TTY 信号の伝送を、パススルーモードで行うこともできます。パススルーモードを有効にすると、システムが TTY 文字を検出すると、G.711 エンコードを使って IP ネットワーク上で TTY エンドツーエンド信号を伝送します。G.711 エンコードパススルーモードでは、TTY 信号をデジタルフォーマットに変更して、デジタル信号をアンエンコードした後、受信エンドポイントに伝送します。

パススルーモードでは、ネットワークのエンドポイントが同一のクロック源にすべて同期するような状況で高質の伝送が行えます。

パススルーモードでは、パケット冗長性を割り当てることもできます。これによって、メディアゲートウェイが重複 TTY パケットを送信し、ネットワーク上での通信の質が確実に向上します。

パススルーモードは、中継モードよりネットワークバンド幅の使用が増えます。パススルー TTY では、パケットサイズによって 87 ~ 110 kbps を使用しますが、TTY 中継モードでは、構成した音声 CODEC のバンド幅までしか使用しません。冗長性によって、バンド幅の使用がさらに増えることになります。

---

## 可変長 ping

R7.1 での ping コマンドの拡張機能です。この拡張機能は、ping コマンドでより長いパケットを送信するように指定し、ルーターまたはホストが転送されたパケットを断片化または統合する上で問題があるかどうかを示します。

---

## 可変長サブネットマスク

可変長サブネットマスク (VLSM) はサブネットマスクの再定義です。Communication Manager で IP アドレスを指定する場合、これによって既存の全クラス対応ブロック内の IP アドレス割り当てがより効率的に行えます。

---

## QSIG

---

### 基本

QSIG は、国際標準化機構 (ISO) の ISDN-PRI のプライベートネットワーク仕様に準拠し、ISO が国際的なプライベートネットワーク規格として定義しているプラットフォームです。QSIG 機能は BRI トランク上でサポートされています。

QSIG はシグナリングプロトコルの属名です。Q 参照ポイントやインタフェースは、プライベートネットワークの 2 つの同等の PBX 間でシグナリングが引き渡される論理ポイントです。QSIG シグナリングは、単一メーカーのシステムや複数メーカーのシステムの機能透過性を提供します。

QSIG は呼関連サプリメンタリーサービスを提供します。サプリメンタリーサービスは音声接続性やデータ接続性、番号トランスポートや番号表示を超えるサービスで、一例として名前識別、可変不在転送 (迂回転送)、転送などの機能があります。

## 完了呼

完了呼は QSIG プラットホームの拡張呼独立シグナリング接続を利用しており、Distributed Communications System（分散通信システム）（DCS）の機能、「内線キャンプオン」と機能的には同等です。完了呼機能には、接続切断法が含まれます。接続切断法では、呼独立シグナリング接続の各段階後、一時シグナリング接続（TSC）を解除し、引き続く各段階について新規 TSC を確立します。

## 可変不在転送（迂回転送）

QSIG 可変不在転送（迂回転送）機能は、Communication Manager の可変不在転送機能を基にした機能で、QSIG トランク上の可変不在転送の機能透過性を向上させます。

- QSIG 可変不在転送機能が起動すると、すべての呼はただちに迂回されます。
- QSIG 話中／不応答転送機能が起動され、電話機が完全話中の場合、呼はただちに迂回されます。
- QSIG 話中／不応答転送機能が起動され、電話機がアイドル状態であるのに不応答の場合、呼は指定回数まで呼び出し音が鳴ってから迂回されます。

以上の機能は、機能特番（FAC）をダイヤルするか、あるいはボタンを押して起動させます。

## 呼独立シグナリング接続

呼独立シグナリング接続（CISC）は、QSIG に準拠した 2 つのノード間で通話中の呼とは関係のない QSIG サプリメンタリーサービス情報の受け渡しに使用されます。呼独立シグナリング接続は、ISO 標準に基づいて実施されます。SAT で「status signaling group」コマンドを使うことによって、QSIG TSC の状態を判定することが可能です。

## コールオファー

この機能は、発呼者からのリクエストに応じて（またはそのユーザーの代わりに）、呼を次のように処理します。

- 話中の被呼者にオファーする。
- 話中の被呼者が必要なリソースが利用可能になり、呼を受け取れるようになるまで待機する。

## 転送

QSIG 転送機能が標準の Communication Manager 転送機能と異なる点は、転送完了後、接続された発呼者と被呼者に対して、呼関連の追加情報を表示する点ですが、この情報は QSIG トランクの場合にだけ送出されます。ある呼を交換機内の別の内線等に転送する場合、その呼を着信したユーザーは相手の名前を受信します。

---

## 被呼者名 ID

QSIG 被呼者名機能は、呼び出し中に発呼者のディスプレイに被呼者の名前を表示します。呼が応答されると、「接続先」の名前に変わります。

---

## 中央中継台

オペレーター全員を 1 か所に配置し、複数の場所のユーザーにサービスを行う機能を提供します。QSIG CAS（中央中継台）は別々のリリースリンクトランク（RLT）を使いません。この機能は呼が非 QSIG トランクで配信されるのを制限しませんが、その場合 QSIG CAS の全機能は使用できません。

## 接続制限クラスの中継台ディスプレイ

通話中、オペレーターは「COR display」（COR 表示）ボタンを押して、ユーザーの接続制限クラスを見ることができます。オペレーターは、制限されたラインがユーザーに転送されるのをブロックしません。この機能は情報を得る目的だけのために使用されます。

## 中継台リターンコール

オペレーターによって転送された呼が一定の時間にわたって応答されない場合、呼はオペレーターに戻されます。呼は、可能な限り最初に転送したオペレーターに戻ります。

## 優先キューイング

QSIG MSI（メーカー特有情報）はメイン PBX により多くの情報を配信します。この情報により、QSIG CAS ブランチからの着信呼は、メイン PBX で発呼される呼と同様に、キューの適切な位置に配置されます。

## PRI による RLT エミュレーション

ISDN QSIG トランクは呼を PBX のブランチからメイン PBX に迂回します。専用の RLT ネットワークを指定する必要がなくなりました。QSIG パス再接続機能がトランクの最適化を行います。ユーザーは、メイン PBX に呼を柔軟に迂回することができます。

---

## Communication Manager と Octel QSIG の統合

Communication Manager は、QSIG を介して Octel メッセージングサーバーを統合できます。115 ページの「[Octel の統合](#)」を参照してください。

---

## メッセージ機能

112 ページの「[メッセージ機能](#)」を参照してください。

---

## メーカー特有情報

QSIG は、特定の PBX やネットワークに特有の標準化されていない情報を処理します。この情報はメーカー特有情報 (MSI) として知られています。次の手続きを踏むと、各メーカーはメーカー特有のサブプリメンタリーサービス操作を定義することができます。

- スポンサー、発行組織（この場合は ECMA：欧州コンピュータ製造業者協会）に申し込む。
- 組織の識別番号を割り当てられる。この組織識別番号は、そのメーカー特有のサービスオペレーション・バリュー（値）として使用される。

MSI オペレーション・バリューはすべて、そのメーカー固有の値であることが必要です。

メーカー特有のサブプリメンタリーサービスは、メーカーの識別子でエンコードされた特定操作によって作成できます。Communication Manager では、MSI の複数 QSIG ネットワークにわたって情報を転送できる非 QSIG アプリケーションをサポートします。非 QSIG ネットワーク上で実行できる機能と同じ機能を、QSIG ネットワーク上でも実行できるようになりました。MSI を使用するアプリケーションには、中央中継台、Audix への転送、ベストサービス・ルーティング、QSIG VALU などがあります。

---

## メッセージ・ウェイティング・ランプ

宿泊客のボイスメールボックスに、1 つまたは複数のメッセージが届いていることを知らせるランプです。被呼者の電話に付いたこのランプは、メッセージの着信と同時に自動的に点灯します。

---

## 名前／電話番号識別

交換機が発呼者の電話番号、発呼者名、被呼者の電話番号、被呼者名を送受信できるようにする機能です。被呼者名と被呼者電話番号の表示を制御する追加パラメータを、**Feature-Related System-Parameters**（機能関連システムパラメータ）画面に設定できます。QSIG 名前／電話番号識別機能は、ISDN-PRI インタフェースで、発呼者名と被呼者名には最長 15 文字まで、発呼者番号と被呼者番号については最長 15 桁までの数値を表示します。

---

## パス接続保持付きパス再接続機能

この機能により、プライベートネットワーク内の交換機間の呼を、呼の接続中に新しい接続と置き換えることができます。この機能は呼の転送時に起動してコストを低減できる場合があります。

例えば呼の転送後、その転送呼の発呼者と被呼者を直接接続して、不要なトランクはドロップ（切断）されます。エンドポイントで設定される迂回により、コスト効果の高い接続が可能となります。

DEFINITY の旧バージョンでは、パス再接続機能がオンの時は元のトランクで呼を迂回することはできませんでした。このパス再接続機能にはパス保持機能も備わっているため、Communication Manager が実行する迂回分析によって元のトランクが最良ルートであることが分かった場合、元のトランクグループパスを使用できます。

---

## QSIG/DCS ボイスメール接続

QSIG/DCS ボイスメール接続は、現行 QSIG の拡張機能の 1 つです。DCS+/QSIG ゲートウェイ経由で、DCS を QSIG 集中化ボイスメールに統合します。DCS+/QSIG とラベル付けされた複数交換機は、複数のマルチベンダ PBX を単一のボイスメッセージングシステムに統合します。QSIG/DCS ボイスメール接続は、G3r、G3si、G3csi で作動し、専用 T1 なしで、ネットワークの柔軟性および DCS 機能を提供します。

---

## ボイスメールに接続後のパス最適化

QSIG ボイスメール・ハントグループへ迂回転送された呼のパス最適化をサポートします。つまり交換機は、発呼者とボイスメールシステムとの間の最短ルートに呼を移動します。例えば、スイッチ A 上のユーザー A がスイッチ B 上のユーザー B を呼び出し、その呼がスイッチ C のボイスメールシステムへ伝送される場合、2 つのトランク A-B および B-C が使用されます。ここでもしスイッチ A と C を直接接続するトランク A-C があったとすると、この最適化機能によって A-B および B-C 接続は切断され、スイッチ A からスイッチ C への新しい呼が設定され、トランクが 1 つ節約されます。パス最適化は自動的に行われるので、余分なトランクが切断されたことはユーザーには知らされません。

## 個別動作パス再接続機能

パス再接続機能は、既存の呼をより効率的な新しいパスへ再迂回させる迂回処理機能であり、この処理の後には古い呼が切断され、使用されていたリソースは再び使用可能になります。パス再接続機能では、より効率的な呼の迂回および、リソース、トランク利用の節約によって、潜在的なコスト削減がもたらされます。

パス再接続は個別動作機能として使用することもでき、また次のような場合にも発生します。

- 迂回による転送が失敗し、転送スイッチによる可変不在転送が実行された場合を含む、転送による可変不在転送スイッチサプリメンタリーサービス
- 着信または発信ゲートウェイとして動作する **Communication Manager** が、ゲートウェイ間のパス最適化のため **PR** を作動させる場合のゲートウェイシナリオ
- 真のユーザーが呼にまだいないにもかかわらず、キュー／ベクター内の呼が処理される場合
- **QSIG** ルックアヘッド・インターフロー呼、ベストサービス・ルーティング呼、または外部装置ルーティング

## サプリメンタリーサービスと再迂回機能

**QSIG** 基準ではサプリメンタリーサービスを、音声またはデータ接続、番号トランスポートおよび番号表示以外のサービスとして規定しています。例えば、可変不在転送、転送、保留などです。

## VALU

### コールカバレッジ

この機能は、**DCS** コールカバレッジ、およびコールカバレッジリモートオフネット (**C-CRON**) に類似したコールカバレッジを提供します。**QSIG** でカバーされている場合、呼は戻ります。この機能は、すべての交換機が **Communication Manager** のもとで動作し、**QSIG VALU** を使用している場合に限り有効です。呼の転送先では識別呼出しを受けることができます。

### コールカバレッジと **CAS**

トランクの **CAS** と **VALU** コールカバレッジの両方が起動していると、**PBX** のブランチからメイン **PBX** におよぶ呼に関するカバレッジディスプレイ情報が提供されます。パス再接続機能は、カバレッジの後で試みられます。

## 識別呼出し

呼が QSIG ネットワークを迂回する場合、リモートの被呼者に内線と外線の個別呼び出し音で知らせます。

---

## ユニフォーム・ダイヤルプラン

ネットワークの各ステーションに割り当てた一意の 4 または 5 桁の番号です。ユニフォーム・ナンバリングは、そのステーションにアクセスするために電子タンデムネットワーク内のどのような場所からでも使うことができる一意の番号（ロケーションコードおよび内線番号）を各ステーションに付与します。Communication Manager は、通常のユニフォーム・ダイヤルプランを無制限の 5 桁のユニフォーム・ダイヤルプランに拡張できます。このプランでは、呼の迂回のために最高 5 桁まで解析できます。

---

## ダイヤルプラン拡張

Communication Manager では、ダイヤルプランを 6 桁から 7 桁に（4 桁、5 桁のダイヤルプランから）拡張できます。これは、電話機、データモジュール、ベクター、エージェントログイン ID、ベクターなどを含むすべての内線番号に影響を与えます。

このような変更によって、任意のダイヤルプランに存在できる内線番号の総数が増加します。また、Avaya サーバーが、すでに 6 桁または 7 桁のダイヤルプランを使用するネットワーク、例えば他のベンダーによる交換機のネットワークに参加できるようになります。

管理者は、3 桁から 7 桁までのダイヤルプランを設定できる柔軟性を持ち、Communication Manager は同じダイヤルプラン内における桁数の混合をサポートします。

Communication Manager にアップグレードする顧客は、6 桁または 7 桁のダイヤルプランに移行するかどうかを選択できます。移行しない顧客は、後にダイヤルプランを切り替えることができます。

Distributed Communications System（分散通信システム）プロトコルは、3 ～ 5 桁のダイヤルプランに限定されます。ダイヤルプランで 6 ～ 7 桁を使う場合は、QSIG（シグナリングプロトコルグループの属名）が必要です。

---

## マルチロケーション・ダイヤルプラン

顧客が複数の音声サーバー QSIG/DCS ネットワークから、ゲートウェイがデータネットワーク全体に分散している単一の音声サーバーに移行する場合、当初、一部のダイヤルプランが使用不可能になったような印象を受けることがあります。

この機能は、複数の QSIG/DCS ネットワークで提供されていたのに、単一の分散ネットワークに移行する際に失われてしまった、内線番号とオペレーターのダイヤルプランの独自性を保持します。この機能により、次のようなダイヤルプラン機能が提供されます。これらは移行前に提供されたダイヤルプランに類似しています。

- 内線番号の独自性
- ロケーションごとのアナウンスメント
- ローカル中継台へのアクセス
- ローカル ARS コードの管理

顧客を複数の QSIG/DCS 環境から単一の S8700 ネットワークに移行する主な理由は、より多くの機能を提供し、コストの削減を支援することです。単一のネットワークに移行すると、顧客が維持するシステムの数が減ります。その結果として、複数の交換機ではなく、1 台の交換機を管理し、1 つのダイヤルプランを維持するなどにより、管理コストが削減されます。単一の分散ネットワークソリューションでは、一部の機能は複数のロケーションにわたって透過的に動作しなくなります。

例えば、多数のロケーションを持つデパートでは、各ロケーションが QSIG/DCS ネットワークに独自の交換機を使用していたとします。したがって、同一の内線番号をすべての店舗で一意的な部門に使用することができました。例えば、内線番号 123 はすべての店舗で旅行用かばん売り場の内線番号であったとします。顧客が単一の分散ネットワークに移行すると、マルチロケーション・ダイヤル機能がなければ、このような機能は使用できません。

さらに、S8700 ソリューションは、中継台に迂回された呼がローカル中継台に着信することを保証しません。例として、以前各学校の交換機でネットワーク接続されていた公立学校区では、この学校区が S8700 ネットワークに移行すると、学校の中継台の特番をダイヤルしても、呼はローカル中継台に迂回されない可能性があります。

完全な内線番号をダイヤルする代わりに、マルチロケーション・ダイヤルプラン機能により、ユーザーは短縮された内線番号をダイヤルできます。例えば、顧客は 123-4567 の代わりに 4567 をダイヤルできます。Communication Manager は、ロケーションの先行番号を取得し、それをダイヤルされた番号の先頭に追加します。このダイヤル番号全体が交換機によって分析され、**Dial Plan Parameters**（ダイヤルプランパラメータ）画面の設定に基づいて、呼が迂回されます。

---

## 電話機ディスプレイの桁区切り

デジタル電話機ディスプレイで、Communication Manager は 桁区切りを表示して 6 桁または 7 桁の内線番号を読みやすくなります。表示可能な数字と桁区切りの数は、8 文字以内です。

表示できる桁区切りには、次のものがあります。

- ハイフン（例えば、xxx-xxxx）
- ピリオド（例えば、xxx.xxxxx）
- スペース（例えば、xx xx xx）

数字を桁区切りとともに表示する形式は、**Dial Plan Parameters**（ダイヤルプランパラメータ）画面にあります。

- デフォルトの 6 桁の表示形式は、xx.xx.xx
- デフォルトの 7 桁の表示形式は、xxx-xxxxx

**Dial Plan Parameters** 画面について詳しくは、*Administrator Guide for Avaya Communication Manager*, 555-233-506 を参照してください。

---

## 拡張トランクアクセス

ユニフォーム・ダイヤルプランと共に使用し、システムが認識不能番号（ローカルで設定されていない内線番号など）を、別のシステムに送信して分析、迂回できます。このような認識不能番号には、機能特番、トランクアクセスコードや、ユニフォーム・ダイヤルプランテーブルにない内線番号などがあります。ユニフォーム・ダイヤルプラン以外の番号は、**First Digit Table**（ファースト・デジット・テーブル）（**Dial Plan Record** [ダイヤルプランの記録] 画面）か **Second Digit Table**（セカンド・デジット・テーブル）に設定します。**Extended Trunk Access Call Screening Table**（拡張トランクアクセスコールスクリーニングテーブル）には設定しません。拡張トランクアクセスにより、自動迂回およびユニフォーム・ダイヤルプランをフルに活用できます。

---

## 内線番号ポータビリティ

社員がネットワーク内で移動するとき、自分の内線番号を維持することができます。会社内で他の場所に移動する際、内線番号、電子タンドムネットワーク、ダイレクトインダイヤル番号を保持できるこの機能を使えば、呼を逃すことなく、貴重な時間を節約できます。

## 第 15 章：データインタフェース

---

### 固定接続

設定された属性に基づいて、2つのアクセスまたはデータエンドポイント間にエンドツーエンドの接続を自動的に確立します。固定接続は、設定可能なアラームタイプおよびしきい値を含むアラーム通知、SDDN（ソフトウェア定義データネットワーク）を介して確立された接続の自動修復、ISDN-PRI トランクグループ（サービスの名称は ISDN-PRI [AC/AE] サービス）、継続的な接続だけでなくスケジュールによる接続、接続が失敗した場合の設定可能なリトライ間隔、などを可能にします。

### データコールセットアップ

キーボードダイヤリング、電話ダイヤリング、ヘイズ・コマンド・ダイヤリング、固定交換接続、固定接続、自動コーリングユニット・インタフェースおよびホットラインダイヤリングなどのさまざまな方法を使って、データコールの設定を可能にします。データコールセットアップは、DCP 電話機および ISDN 基本インタフェース（BRI）電話機で利用できます。

### データホットライン

発信者が受話器を下ろすと、データコールを自動発呼します。データホットラインは、セキュリティのために用いることもできます。この機能は、よく電話をかけるデータエンドポイントへの迅速かつ正確な発呼を行います。頻繁に同じ番号に電話をするデータ端末のユーザーは、データホットラインを使えば、受話器を下ろす際に自動的に発呼できます。

### データモジュール

データモジュールは、必要に応じてプロトコル、接続およびタイミングを変更して Communication Manager を実行するシステムを他の通信装置と接続します。

Communication Manager は次のタイプのデータモジュールをサポートします。

- 高速リンク
- データスタンド
- モジュール式プロセッサのデータモジュール
- 7000 シリーズのデータモジュール
- モジュール式トランクのデータモジュール
- 非同期データ装置
- 非同期データモジュール (ISDN 基本インタフェース [BRI] 電話機用)
- 端末アダプタ

これらすべてのデータモジュールは、業界標準をサポートし、データ装置とマッチした操作プロファイル設定用のオプションを含みます。

---

## データプライバシー

データプライバシーは、システムのオーバーライドまたはリング機能による中断からアナログデータコールを保護します。データプライバシーは、ユーザーが通話を始める時に起動コードをダイヤルすると有効になります。

---

## データ制限

システムのオーバーライドあるいはリング機能による中断からアナログデータコールを保護します。この機能は、特定のアナログやデジタル電話機およびトランクグループについてシステムレベルで設定されます。

---

## デフォルト・ダイヤリング

ごく頻繁に特定の番号に電話するデータ端末ユーザーが、その番号に非常に簡単な方法で電話することができます。この機能を使えばデータ端末ユーザーは、データモジュールのタイプに応じたさまざまな方法で、事前に設定した宛先にデータコールを発呼できるため、データ端末（キーボード）ダイヤリングが以前より速くできます。データ端末ダイヤリングおよび英数字ダイヤリングには影響を与えません。

---

## IP 非同期リンク

Communication Manager では、IP 非同期リンク機能によって既存の非同期外部装置接続をイーサネット（TCP/IP）環境に移行できます。IP 非同期リンク機能は、クライアントアプリケーションだけではなく、スイッチ・サーバー・アプリケーションもサポートします。

Communication Manager を実行するシステムでは、Avaya Visibility Suite のようなシステム管理アプリケーションに LAN 経由で接続できます。課金データ（CDR）デバイス、プロパティ・マネージメント・システム（ホテル用）（PMS）、プリンタは、非同期 TCP/IP リンクによって接続できます。

IP 非同期リンク：

- 各種外部装置が Communication Manager を実行するシステムに接続するコストを削減
- オープンアーキテクチャによる情報トランスポートを可能にし、データ転送速度を高速化
- ユーザーによる現場または遠隔地からのアプリケーション管理が可能
- 複数のシステム管理アプリケーションが 1 台の PC 上で実行できるため、必要なハードウェア台数を削減
- 信頼性の高いセッション層プロトコルによりデータ伝送を保証
- ネットワーク・ターミナル・サーバーの使用を介して、ユーザーの既存シリアルハードウェア投資をサポート

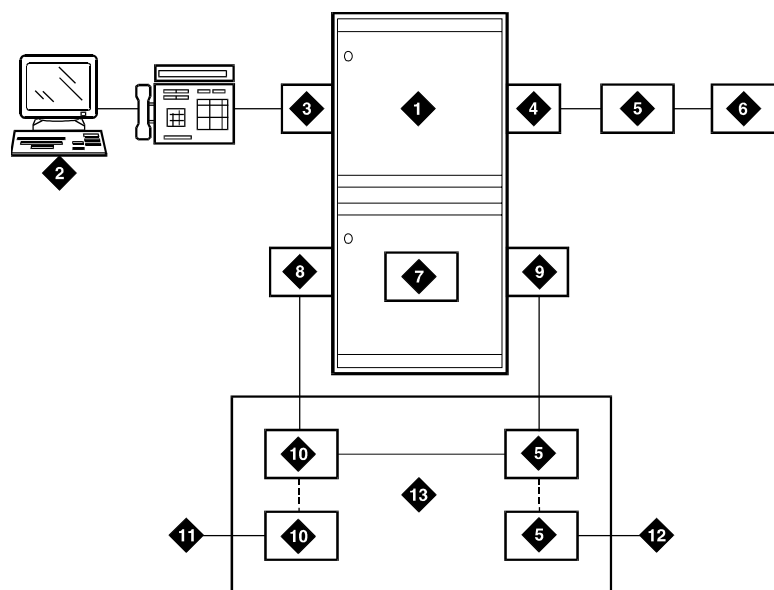
---

## モデムプーリング

デジタル・データ・エンドポイント（データモジュール）とアナログ・データ・エンドポイント間および音響結合モデム（acoustic coupled modem）間のスイッチ接続を可能にします。デジタル・データ・エンドポイントとアナログ・エンドポイント間のデータ伝送は、信号変換を必要とします。これは、データモジュールが使用する DCP フォーマットは、アナログモデム変調信号と互換性を持たないからです。モデムは **DCP** フォーマットと変調信号を相互に変換します。モデムプーリング機能はこうしたモデム用の信号変換を提供します。

Communication Manager モデムプールは、モデムプールグループに割り当てられます。1 つのグループは、「メンバー」と呼ばれるモデムを最大 32 台まで持つことができます。また、Communication Manager は最大 63 までのモデムプールグループを持つことができます。178 ページの [図 5:「モデムプーリング」](#) を参照してください。

図 5: モデムプーリング



mod\_pool PDH 071896

図注:

- |                                    |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. Communication Manager を実行するシステム | 7. 内蔵モデムプール     |
| 2. 非同期端末                           | 8. データラインポート    |
| 3. デジタルポート                         | 9. アナログポート      |
| 4. アナログトランク                        | 10. 7400A       |
| 5. モデム                             | 11. デジタル通信プロトコル |
| 6. リモートアプリケーション                    | 12. アナログ        |
|                                    | 13. EIA 標準      |

## マルチメディア・アプリケーションサーバー・インタフェース

マルチメディア・アプリケーションサーバー・インタフェースは、Communication Manager と、1 つまたは複数の MMCX (マルチメディア・コミュニケーション・エクスチェンジ) ノードとをリンクします。MMCX システムは、アバシア製のスタンドアロン型マルチメディア呼プロセッサです。この Communication Manager とのリンクにより、Communication Manager 機能の一部を共有できるようになるため、各 MMCX システムの機能が拡張されます。特に、このインタフェースには次のような利点があります。

- 課金データ (CDR) — 課金データを取り込んで、Communication Manager の管理者が通常の呼を分析するのと同じように、マルチメディア呼の呼パターンと利用度を分析できます。
- 自動迂回機能 (AAR/ARS) — 利用できるリソースと使用するキャリアに基づいて、最もコスト効果の高い呼の迂回路を自動的に選択します。DEFINITY MMCX システムを介して、公衆トランクを選択することもあります。
- ボイスメール統合 — MMCX から EMBEDDED AUDIX または INTUITY AUDIX のボイスメッセージングシステムにアクセスできます。

---

## マルチメディア・コーリング

マルチメディア呼は音声とビデオの場合にのみ開始します。呼がいったん接続されると、通話者の 1 人が関連するデータ会議を開始して、データをサポートできる通話者全員をその呼に参加させることができます。データ会議は拡張サービスモジュール (ESM) と呼ばれる外部装置で制御されます。

---

## ベクターと電話機でのマルチメディア呼事前応答

事前応答機能は、音声への変換に関連してマルチメディア呼に適用される機能です。事前応答には次の機能があります。

- データコールに応答する。
- 変換呼の完了前に、マルチメディア・プロトコルを確立する。
- 発呼者宛てまたは発呼者からの音声パスが (音声) 呼の応答時に必ず利用できるようにする。

事前応答機能は着信呼の場合、事前応答が迂回中やターミネーション処理中に指定された場合を除き、着信エンドポイントが応答した時にダイナミックサービスリンク呼に応答します。

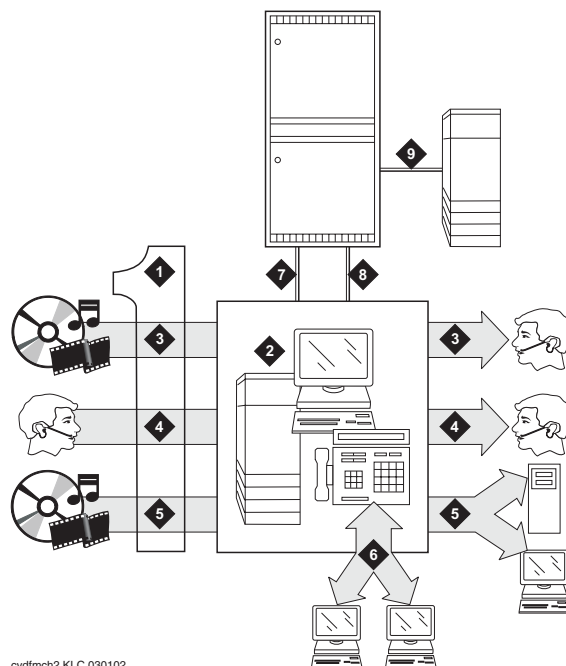
### 注記：

「着信先音声エンドポイント」：着信先電話機の呼が転送されたり、内線延長 (構外) にカバーされたりする場合、外線に呼が渡る場合があります。

## マルチメディア呼処理

マルチメディア呼処理（MMCH）により、電話機を使用して音声、ビデオおよびデータ送信の制御を行うことができます。多機能電話機の機能ボタンにより、ビデオ会議を行ったり、標準の音声呼と同様にマルチメディア呼の転送、カバー、保留、パークが実行できます。また、PC アプリケーションを共有して、離れた場所にいる同僚と協力して仕事を行うことができます。180 ページの図 6:「マルチメディア呼処理（MMCH）」を参照してください。

図 6：マルチメディア呼処理（MMCH）



cydfrch2 KLC 030102

図注：

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 単一番号アクセス        | 5. 呼の転送            |
| 2. マルチメディア呼複合システム  | 6. マルチメディア会議       |
| 3. マルチメディアから音声への変換 | 7. BRI データ接続       |
| 4. 標準の音声呼処理        | 8. DCP 音声接続        |
|                    | 9. ESM データコラボレーション |

---

## マルチメディア・エンドポイント（端末）へのマルチメディア呼の転送

デュアルポート・マルチメディア電話機は、コールカバレッジ、可変不在転送および話中転送（ステーションハンティング）などの呼の転送機能の着信先になる場合があります。この電話機でマルチメディア呼やマルチメディアに変換されたデータコールを受信することができます。

---

## ESM によるマルチメディアデータ会議（T.120）

データ会議は拡張サービスモジュール（ESM）という外部装置で制御されます。拡張サービスモジュールによって T.120 プロトコル（データ会議制御用プロトコル標準である一般会議呼 [GCC] を含む）を完結し、データ会議の制御とデータの配信を行います。マルチメディアインタフェース基板の TN787 で、T.120 と ESM 間のデータレート調整を行います。

---

## マルチメディア保留、会議、転送、切断（ドロップ）

電話機のユーザーは、マルチメディア呼の保留、会議、転送または切断（ドロップ）を起動することができます。マルチメディア・エンドポイントと音声のみの電話機が、同じ会議に参加することができます。

---

## マルチメディア複数ポートネットワーク

Communication Manager は、6CCS トラフィックレベルで動作する 580 基本モード複合システムと同等のシステムをサポートします。ハードモードサービスリンクを使用すると容量が少なくなるため、拡張モード複合システムはすべて、ソフトモードサービスリンクで動作します。G3si の制限は、メモリとポートネットワークの制限によって異なりますが、G3r の制限の 3 分の 1 から 2 分の 1 です。

---

## ワールドクラス BRI エンドポイントへの課金情報通知

課金情報通知（AOC）をワールドクラス BRI（WCBRI）エンドポイントに表示します。WCBRI エンドポイントを使用する 1 件の呼について、呼が終了し、相手が呼を切断すると、AOC 情報がエンドポイントに表示されます。



## 第 16 章：コール・ルーティング

---

### オールタナイト・ファシリティ制限レベル（AFRL）

Communication Manager で、回線またはトランクのファシリティ制限レベル、または認証コードを調節できる機能です。通常、各回線またはトランクにはファシリティ制限レベルが割り当てられています。この機能を使用すれば、オールタナイト（代替の）ファシリティ制限レベルも割り当てることができます。オペレーターは割り当てられた制限レベルを代替の制限レベルに変更できるので、回線およびトランクへのアクセスを変更できます。例えば、この機能を使用して、夜間には大半の長距離電話を使用不可にして、無許可のスタッフが長距離電話を使用することを防止できます。

#### 注意：

この機能は、AAR および ARS 迂回の優先順位を変更することがあります。タンドムおよび専用線トランクアプリケーションにこの機能を使用すると、ネットワーク全体に影響がおよびます。全国規模のプライベートネットワークに含まれる呼は、ブロックされることがあります。

---

### 自動迂回機能（AAR/ARS）

Communication Manager は、公衆網およびプライベートネットワーク用のさまざまな自動迂回機能を提供します。自動迂回機能である AAR および ARS はこの機能の基本です。自動迂回機能は、呼が発信された時点で選択可能な望ましい（通常最もコストの低い）ルートに基づいて呼を迂回します。一般的に、AAR はプライベートネットワーク上で呼を迂回し、ARS は公衆網番号計画を利用して呼を迂回します。ただし、AAR と ARS は両方とも公衆網およびプライベートネットワークをサポートします。AAR および ARS 使用時には、このセクションにリストされている他の機能を使用できます。

---

### 自動迂回機能（AAR）

自動迂回機能（AAR）は、公衆網にアクセスすることなしに、1 つまたは複数の場所でのプライベートネットワーク呼の発信および着信を可能にします。特番および電話番号をダイヤルすると、**AAR** はその呼に最も望ましい迂回路を選択し、必要に応じてデジット変換を実行します。最初に選択された迂回路が利用できない場合には、別の迂回路を自動的に選択します。

通常、AAR を使用する呼の番号は、プライベートネットワーク番号です。ただし、公衆網の番号、サービスコード、**国際番号**、オペレーター特番、またはオペレーター支援ダイヤル番号にも電話することができます。**AAR** とサブネット・トランキングを使用すれば、頻繁に電話をかける外国の都市に**国際電話**をかけるのに便利です。こうした呼は、可能な限りプライベートネットワーク内の迂回路を通過してから公衆網にアクセスします。これにより、市外通話料金を節約し、プライベートネットワークをできる限り使用できるようにします。

---

## 自動迂回機能（ARS）

**自動迂回機能（ARS）**は通信業者を自動的に選択し、公衆網上でコストの低い方法を使用して呼を迂回します。利用できる長距離通信業者および米国広域電信サービス（**WATS**）が1つまたは複数ある場合、**Communication Manager** は呼に最も望ましい迂回路を選択します。長距離通信業者コードダイヤリングは、システムにより選択された迂回路には必要ありません。長距離通信業者コードを割り当てると、**Communication Manager** がそれをトランスレートします。システムは、必要に応じてコードを挿入し、自動通信業者選択を確実にします。**ARS** は、さまざまな種類の番号に呼を迂回でき、多様な種類のトランクグループにアクセスします。

## FAC のない ARS/AAR ダイヤリング

この機能の自動迂回機能（ARS）バージョンにより、ユーザーは、最初に機能特番（FAC）、例えば外線にアクセスするための番号「9」をダイヤルせずに、公衆網の完全な番号をダイヤルすることによって電話をかけることができます。システムは、呼を **ARS** 呼として認識し、ARS デジット分析表とデジット変換表を使用して数字を分析し、呼を迂回します。

この機能の自動迂回機能（AAR）バージョンは類似していますが、呼が **AAR** 呼として迂回されるので、AAR デジット分析表とデジット変換表が使用される点が異なります。

## AAR/ARS オーバーラップ送信

**Communication Manager** は、ISDN-PRI トランクグループ上に迂回される AAR および ARS 呼のオーバーラップ送信をサポートします。ISDN-PRI 呼アドレス情報は、1 ブロックごとではなく、1 度に 1 デジットずつ送信されます。複雑な公衆網番号計画を使用している国では、これにより呼設定時間を大幅に短縮できます。オーバーラップ受信が有効な場合、これは特にタンデム呼に効果があります。

## AAR/ARS パーティショニング

**AAR** および **ARS** を、1つのシステムにつき最高 8 つの異なるユーザーグループに分割して、各ユーザーグループごとに個別の迂回処理ができます。

ユーザーグループは、同一のパーティショングループ番号を共有します。この番号は特定の呼に使用するルーティングテーブルの選択を示します。各接続制限クラス（COR）が、特定の **パーティショングループ番号** または（指定）時間別に割り当てられます。異なる **接続制限クラス** を、同一の **パーティショングループ番号** に割り当てることができます。

---

## 一般迂回機能

音声およびデータコールの迂回機能を提供します。最も安価な迂回路選択だけでなく、適切なファシリティを介した最適な迂回路の選択にも使用します。迂回路決定に追加パラメータを提供し、呼迂回に適切なファシリティを使用する機会を最大限にすることにより、**AAR および ARS を強化**します。また、エンドポイントに互換性がない場合には、変換リソース（モデムプールのモデムなど）を提供して、適切なエンドポイントと適切なファシリティを適合させようとしています。

---

## ルックアヘッド迂回機能

トランキングファシリティの効果的な使用方法を提供します。完了していない発信 ISDN-PRI 呼の再迂回を継続的にリトライできます。**Communication Manager** が、混雑を示す理由種別を受信すると、ルックアヘッド迂回機能によって、次にとるべき処理がシステムに提示されます。各迂回優先路について、次の迂回優先路を試みるべきか、または現在の迂回優先路を再度試みるべきかを示すことができます。

---

## ノード番号迂回

プライベートネットワーク内の各ノードに関連するルートパターンを指定できます。この機能は内線番号ポータビリティ機能に必要な機能で、自動迂回機能（ARS）、AAR/ARS パーティショニング、プライベートネットワーク接続、ユニフォーム・ダイヤルプランの各機能と共に使用します。**ユニフォーム・ダイヤルプラン**の内線は、その関連パターンに従って特定のノードに迂回できます。ノード番号迂回機能により、ノード番号やロケーションコードに基づいて**ユニフォーム・ダイヤルプラン**のルートパターンを設定できます。**AAR** と **ARS** のデジット分析テーブルには、ルートパターンではなくノード番号を指定することもできます。

---

## 時刻迂回機能

**ARS** および **AAR** 呼の最も経済的な迂回方法です。この迂回は、発呼の時刻と曜日に基づきます。各曜日につき 1 日最高 6 回まで変更できる、最高 8 つの TOD（時間別）迂回計画を設定できます。これにより、特定の曜日および特定の時刻に安い電話料金を利用することができます。また、異なる時間帯に拠点がある会社は、時刻または曜日に応じて安い料金の場所を利用できます。この機能を利用して、オフィスが閉まっている間パターンを変更して不正な呼を低減あるいは排除することもできます。

---

## マルチロケーション対応

マルチロケーション対応機能によって、ローカルロケーションタイム、ローカルトランク用ローカル ARS 公衆分析テーブル、自動夏時間を有効にし、リモート拡張ポートネットワーク (EPN)、ATM ポートネットワーク、Avaya Media Gateway などが、別のロケーションにある中央サーバーからリモートでオフにされた場合、共有リソースアルゴリズム（タッチトーンレシーバ）を拡張できます。

---

## ネットワークリージョンごとのマルチロケーション対応

156 ページの「[ネットワークリージョンごとのマルチロケーション対応](#)」を参照してください。

---

## トラベリングクラスマーク

トラベリングクラスマークは、発呼者のファシリティ制限レベルを 1 つの電子タンデムネットワーク交換機から別の交換機へ受け渡すための機構です。トラベリングクラスマークにより、電子タンデムネットワークを介して各交換機に特権チェックングを受け渡すことが可能です。

---

## 応答検出

課金データ (CDR) のために、被呼者がいつ呼に応答した時点を知る必要があります。Communication Manager には、被呼者が発信呼に応答したかどうか判断する 3 つの方法があります。

---

## タイムアウトによる疑似応答

各トランクグループごとにタイマーを設定します。タイムアウトになった時点で発呼者がオフ・フック状態にあると、Communication Manager では呼が応答されたと判断します。これは最も正確さに欠ける方法です。タイマーの時間設定より短い呼は記録されず、長時間呼び出ししている呼は、応答の有無にかかわらず呼の記録が作成されます。

---

## コールクラシファイア基板

コールクラシファイア基板によって回線上のトーンおよび音声周波数信号を検出し、呼が応答されたかどうかを識別します。

---

## ネットワークからの応答監視

局用交換機（CO）から返される信号によって、相手側の応答を判断します。呼が CO に到着する前にプライベートネットワークを経由した場合には、この信号はプライベートネットワークを介して発信側のシステムに返送されます。この方法は極めて正確ですが、米国では CO、FX または WATS トランク経由では使用できません。



## 第 17 章：信頼性と存続性

---

### 代替ゲートキーパー（Alternate Gatekeeper）

代替ゲートキーパー拡張機能は、Avaya Communication Manager と IP 電話機や IP Softphone のような IP 通信デバイス間の存続性を提供します。ネットワークまたはゲートキーパーの故障が発生した場合に、代替ゲートキーパー（CLAN）を提供し、また複数のゲートキーパー間におけるエンドポイントトラフィックの負荷バランスを調整します。ただし、交換機に対する通信が再確立されるまでの間、呼は切断されることに注意してください。

---

### H.248 ゲートウェイの主サーバー自動フォールバック

この機能では、いくつかの H.248 メディアゲートウェイを 1 つまたは複数のローカルサバイバルプロセッサ（LSP）で処理する場合に、断片化されたネットワークを自動的に主メディアサーバーに戻します。この機能は、H.248 メディアゲートウェイのみを対象としたものです。

管理者はこの機能を使って、次のような移行ルールを定義できます。

- LSP で処理されているメディアゲートウェイを、自動的に主メディアゲートウェイに移行するかどうか。
- 通話中の呼カウントに関係なく、可能な場合は、メディアゲートウェイをただちに移行するかどうか。
- 通話中の呼カウントが 0 の場合のみメディアゲートウェイを移行するかどうか。
- 曜日と 1 日あたりの時間間隔を指定することで、一定の時間内に限って、メディアゲートウェイの移行を許可するかどうか。このオプションでは、呼カウントは考慮しません。
- 曜日と時間を指定することで、一定の時間内に限って、あるいは呼カウントが 0 に達したらただちに、メディアゲートウェイの移行を許可するかどうか。この場合は、両方のルールが同時に有効になります。

システム内部では、主通話コントローラが、現在 LSP で処理されていないメディアゲートウェイからの登録要求を優先します。この優先度は、設定不可能です。

---

## H.248 メディアゲートウェイの接続保持フェイルオーバー／フェイルバック

接続保持移行（CPM）機能では、H.248 メディアゲートウェイが 1 つの Communication Manager サーバーから別のサーバーに移行する間、既存のベアラ（音声）接続を保持します。移行は、ネットワークやサーバーの障害によって引き起こされる可能性があります。

保持されるのは、安定した呼だけです。次のような呼は保持されません。

- 不安定な呼 — 不安定な呼とは、通話者間でトークパスが確立されていない呼のことです。不安定な呼には、次のような例があります。
  - ダイヤルトーンのある呼
  - ダイヤル段階の呼
  - 呼び出し段階の呼
  - アナウンスメントを再生中の呼
  - 音楽を再生中の呼
  - ホールド中の呼（ソフト、ハード）
  - キュー待ち ACD の呼
  - ベクター処理中の呼
- IP トランク（SIP と H.323 の両方）
- ISDN-BRI 電話機
- ISDN-BRI トランク

接続保持の呼の場合、保留、会議、転送などの機能は使えません。

---

## 二重化サーバーの接続保持アップグレード

二重化サーバーの接続保持アップグレードは、次のような二重化サーバーのアップグレード時に接続保持機能を提供します。

- IP 電話機が関わる接続
- ポートネットワークでの TDM 接続が関わる接続
- H.248 ゲートウェイでの接続
- ポートネットワークとメディアゲートウェイ間の IP 接続

安定した呼は保持されますが、不安定な呼は切断されます。

---

## エンタープライズサバイバルサーバー

エンタープライズサバイバルサーバー (ESS) は、バックアップサーバーを顧客のネットワークでさまざまなロケーションに配置できるようにすることで存続性を提供します。バックアップサーバーがポートネットワークにサービスを提供するのは、S8500 シリーズメディアサーバーまたは S8700 シリーズメディアサーバーのペアに障害が発生した、あるいは、メインサーバーまたはサーバーのペアへの接続が失われた場合です。

ESS 環境の場合は、メインサーバーは 1 台しかありません。これは、S8500 シリーズメディアサーバー 1 台か 1 対の S8700 シリーズメディアサーバーのどちらかになります。メインサーバーが S8500 シリーズメディアサーバーの場合、構成に属するすべての ESS も S8500 シリーズメディアサーバーである必要があります。通常の動作では、メインサーバーはすべてのポートネットワークと通信して、それを制御します。メインサーバーには、メインサーバーとしてサーバーを識別し、ESS 機能を起動するライセンスファイルが含まれます。

---

## ローカルサバイバルプロセッサ

ローカルサバイバルプロセッサ (LSP) は、不可欠な G700 Media Gateway を備えた内線通話コントローラ (ICC) です。ICC はメインプロセッサではなく、スベアプロセッサとして動作するように設定されます。スタンバイ Avaya S8700 Media Server は、停止した場合に通信を失うことなく制御を開始できるように、二重モードでメインサーバーとともに動作します。

LSP は、Avaya 呼処理アプリケーションの冗長性を提供するために使用する構成です。通常、メディアモジュールは、システムの ICC として機能しますが、呼処理用の冗長プロセッサとして機能することも可能です。LSP 構成では、このプロセッサが IP 電話機やメディアゲートウェイのような IP エンティティ用の代替コントローラ/ゲートキーパーとして機能します。これらの IP エンティティでは、主コントローラへの接続が失われると LSP を使用します。

リモート Avaya G700 Media Gateway と主通話コントローラ (Avaya S8300 Server または Avaya S8700 Server) 間の通信が失われた場合、LSP は、Avaya IP 電話機と主通話コントローラが制御していた Avaya G700 Media Gateway 間でサービスを提供します。

Avaya G700 Gateway と IP エンドポイントが主通話コントローラから LSP に制御を切り替える方法は、通話コントローラのリストを使用して、エンドポイントを駆動させます。初期化中に、各 IP エンドポイントと Avaya G700 Gateway は通話コントローラのリストを受け取ります。IP エンドポイントは、確実な応答を受けるまで、リストの各通話コントローラにサービスを要求します。後に通話コントローラへのリンクに不具合が生じた場合、エンドポイントは LSP を含む、リストの他の通話コントローラからサービスを受けようとします。

LSP は、登録するすべての Avaya G700 Gateway と IP エンドポイントにサービスを提供します。主通話コントローラでサービス提供の準備ができると、LSP はリセットされます。これによって、IP エンドポイントは通話コントローラのリストを再び要求するよう通知を受け、主通話コントローラにサービスの要求を再開します。

LSP はさまざまな構成で冗長性を提供し、Avaya G700 Gateway ネットワークのどこにでも配置できます。

LSP の容量は、容量のリストを参照してください。容量のリストを見つける方法は、34 ページの「[容量](#)」を参照してください。

---

## サーバー／LSP ソフトウェアとライセンスの自動アップグレードツール

この機能は、ウェブページのアップグレードツールに次の機能を追加します。

- ライセンスファイルを必要とする LSP に対して、アップグレードツールを実行中のサーバーからライセンスファイルを分配
- 照会結果についての SID/MID を表示
- アップグレードターゲットとして G350 Gateway をサポート
- スタンバイサーバーのアップグレード
- アップグレードツールを実行中のサーバーをアップグレード
- ESS サーバーのアップグレード
- ゲートウェイアップグレードプロトコルとして FTP および TFTP をサポート
- FTP/TFTP 同時セッションの数設定をサポート

この機能は、Linux サーバーでのみ実装されます。

---

## CLAN ごとの複数ネットワークリージョン

155 ページの「[CLAN ごとの複数ネットワークリージョン](#)」を参照してください。

---

## 非常切替

電源障害時に、米国広域電信サービス（WATS）を含む地域の電話会社の局用交換機（CO）からのサービスおよび局用交換機へのサービスを提供します。この機能により、電源障害時にも重要な呼または緊急の呼を発呼したり、応答することができます。

---

## サバイバルリモート EPN

サバイバルリモート拡張ポートネットワーク (SREPN) により、メインプロセッサへのリンクに障害が発生した場合や、プロセッサや CSS が故障した場合でも、DEFINITY ECS (R6r 以降) EPN のサービスを顧客に提供することができます。システムへのリンクが復旧し、安定した場合、ロジックスイッチを手動でリセットすると、拡張ポートネットワークが交換機のリンクに再接続されます。コマンドによるリセットと手動のリセットの両方があります。リセットは SAT でリモートで行うことも、現場で手動で行うこともできます。

災害からの復旧の際に機能するためには、SREPN は個別に (PPN の二重化としてではなく) 設定される必要があります。操作をサポートするための設定 (電話機、トランク、機能) がされていないと、サバイバルリモート EPN として機能しません。

### 注記:

SREPN は ATM ポートネットワーク接続 (ATM-PNC) とは互換性はありません。ATM ポートネットワーク接続については、128 ページの「[WAN スペアプロセッサ](#)」を参照してください。

---

## WAN スペアプロセッサ

128 ページの「[WAN スペアプロセッサ](#)」を参照してください。



## 第 18 章：セキュリティ、プライバシー、安全機能

---

### システム管理者

---

#### アクセス・セキュリティ・ゲートウェイ

アクセス・セキュリティ・ゲートウェイ（ASG）は認証インタフェースで、システム管理、システムのメンテナンスポートやログインのセキュリティを保護するために使用されます。アクセス・セキュリティ・ゲートウェイは「challenge/response」プロトコルを使ってユーザーの正当性を確認し、無断アクセスを低減します。

その機能が互換性のあるキーと交信すると、認証が正常に終了します。RS-232 セッションがいったん確立し、有効なシステムログイン ID をユーザーが入力すると「challenge/response」交渉が開始します。認証処理では、ユーザーの入力するログイン ID に基づきシステムから「challenge」が発行され、続いてユーザーの提供する「response」をシステムが受信します。

#### 暗号化アルゴリズム、ベアラチャネル用

Communication Manager は、IP テレフォニーのシグナル暗号化の Advanced Encryption Standard (AES) 形式をサポートします。この暗号化アルゴリズムは、アバヤ独自の暗号化プロトコル、Avaya Encryption Algorithm (AEA) を補うものです。

AES は、機密扱いを受けていない情報を保護するために米国政府が開発した暗号化アルゴリズムです。Communication Manager は、カウンターモードの 128 ビットキーの AES (AES-128-CTR) を使用します。

暗号化なし、AEA 暗号化、または CODEC セットレベルでの AES 暗号化の組み合わせの選択を設定できます。

#### オールタネイト・ファシリティ制限レベル

この機能により、Communication Manager で、回線またはトランクのファシリティ制限レベル、または認証コードを調節できます。通常、各回線またはトランクにはファシリティ制限レベルが割り当てられています。この機能を使用すれば、オールタネイト（代替の）ファシリティ制限レベルも割り当てることができます。オペレーターは割り当てられた制限レベルを代替の制限レベルに変更できるので、回線およびトランクへのアクセスを変更できます。

例えば、この機能を使用して、夜間には大半の長距離電話を使用不可にして、無許可のスタッフが長距離電話を使用することを防止できます。

### 注意：

この機能は、AAR および ARS 迂回の優先順位を変更することがあります。タンデムおよび専用線トランクアプリケーションにこの機能を使用すると、ネットワーク全体に影響がおよびます。全国規模のプライベートネットワークに含まれる呼は、ブロックされることがあります。

---

## オールタナイト・オペレーション・サポート・システム（AOS）の アラーム番号

この機能により、アラームが発報されるようなイベントが発生した場合、Communication Manager による 2 番目の発呼番号を設定できます。この機能は、INADS または OneVision などのバックアップのサポート部門に警報を発するのに便利な機能です。

## プライバシー — 中継台ロックアウト

45 ページの「[中継台ロックアウト — プライバシー](#)」を参照してください。

---

## 認証（オーソリゼーション）コード — 13 桁

認証コードは発呼特権の制御を拡張し、リモートアクセス発呼者のセキュリティを強化します。認証コードは最長 13 桁まで設定できます。

Avaya Site Administration の認証コードは次の場合に使用されます。

- 発信電話機またはトランクに割り当てられたファシリティ制限レベルをオーバーライドする
- 個々の着信専用線トランクおよびリモートアクセストランクの発信トランクへのアクセスを制限する
- コスト割り当てのために CDR 呼を記録する
- セキュリティ制御を追加する

---

## 発着信制限

管理者やオペレーターが特番をダイヤルすると、ユーザーが特定タイプの呼を発信、受信するのを制限できます。次の5種類の制限方法があります。

- Outward（外線）— ユーザーは外線呼を発呼できません。
- Station-to-station（内線制限）— ユーザーは内線呼を発呼できません。
- Termination（停止）— ユーザーは優先呼以外のどのような呼も受けられません。
- Toll（市外）— ユーザーは市外通話を発信することができませんが市内通話は発信できます。
- Total（完全停止）— ユーザーはどのような呼も発したり、受けたりできません。

---

## Class of Restriction（接続制限クラス）

呼の発着信特権について多数のさまざまなクラスを定義できます。Communication Manager には、制限がない場合、接続制限クラスを1つだけ持つ場合、または希望する制限を設定するために必要な数の接続制限クラスを持つ場合があります。多数の異なる種類の接続制限クラスを、交換機内の多様なファシリティに割り当てることができます。例えば、発呼者 COR は発呼者が公衆網にアクセスできないようにするために使用できます。

## コレクトコール阻止

98 ページの「[コレクトコール阻止](#)」を参照してください。

---

## 顧客設置のアラーム装置

システムアラームが発生し、システムがサービス会社への連絡を試みたことを示します。ランプあるいはベルなどの顧客が設置した装置がアラーム状況を示すために使われます。通知を希望するアラームレベルを設定できます。

---

## データプライバシー

176 ページの「[データプライバシー](#)」を参照してください。

---

## データ制限

176 ページの「[データ制限](#)」を参照してください。

---

## ファシリティ制限レベルおよびトラベリングクラスマーク

特定のユーザーにはある特定の呼を許可する一方で、他のユーザーには同じ呼を拒否することができます。例えば、ある特定のユーザーは社内の別のオフィスへの呼に局用交換機（CO）トランクを使うことを許可される一方で、他のユーザーはより安価なプライベートネットワーク回線のみに制限される場合があります。AAR および ARS のユーザーに**最高 8 つの制限レベルを設定できます**。

---

## H.248 リンク暗号化

IP ネットワークで伝送されるメディアストリームにプライバシーを提供するために、メディアサーバー（メディアゲートウェイコントローラ）およびメディアゲートウェイ間の H.248 シグナリングチャンネルは暗号化されます。このシグナリングチャンネルは、メディアゲートウェイにメディアセッションキーを配信するために使用され、ユーザーがダイヤルする認証（オーソリゼーション）コードとパスワードを搬送することがあります。

この機能は、H.248 ゲートウェイとサーバー間のシグナリングチャンネルを暗号化することで、顧客の投資を保護します。また、メディアゲートウェイとメディアゲートウェイコントローラの間でメディア暗号化キー、PIN、アカウントコードも保護します。

任意のメディアゲートウェイへの H.248 リンクの暗号化は、**Media Gateway**（メディアゲートウェイ）画面を使用して、使用可または使用不可にできます。ただし、暗号化プロトコルは使用不可にできません。

---

## マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）

いたずら電話を追跡できる機能です。電話機ユーザーのグループを定義して、グループのメンバーがいたずら電話に応答した時にグループの他のメンバーに知らせることができます。その後、これらのユーザーはその呼に関連する情報を検索することができます。この情報を使用していたずら電話の発呼者を特定したり、外部システムの担当者に情報を提供して追跡を遂行したりすることができます。また、ETSI PRI のマリシャス・コール・トレースとともに、いたずら電話の記録もできます。

## マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）ロギング

マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）ロギング機能によって、いたずら電話を記録するための情報を PC で、Communication Manager から受け取ることができます。

---

## メディア暗号化

メディア暗号化は、VoIP（ボイスオーバー IP）呼の音声部分の暗号化です。メディア暗号化を使用して、機密情報の交換を伴う VoIP 通信に強化されたプライバシーを提供できます。メディア暗号化は、Avaya メディアゲートウェイおよびメディアサーバー間で提供されます。

VoIP 呼の音声部分をデジタルで暗号化すると、電子盗聴のリスクを減少できます。「スニッファ」と呼ばれることもある IP パケットモニターと VoIP 呼の関係は、盗聴装置と回線交換 (TDM) 呼の関係と同じです。1 つの例外は、IP パケットモニターが暗号化されていない IP パケットを待機し、捕捉して、リアルタイムで通話を再生、または後に再生するために保存できるということです。

Communication Manager では、IP パケットは IP ネットワークを経由する前に暗号化されます。暗号化された通話は、IP モニターを介して再生されると、ホワイトノイズや空電による雑音のように聞こえます。次の理由で、エンドユーザーには呼が暗号化されていることがわかりません。

- 視覚的にも聴覚的にも、呼が暗号化されていることを示すものがない。
- 暗号化された呼と暗号化されていない呼の間には、はっきりと感知できるほどの音質の差がない。

### セキュリティ警告：

メディア暗号化には次の重大な制限があることを必ず知っておいてください。

- DCP またはアナログ電話機など、回線交換 (TDM) エンドポイントを使用する呼は、従来の盗聴テクニックに対して無防備です。
- 暗号化をサポートしない IP エンドポイントやゲートウェイを使用する呼は、IP モニタリングのターゲットになる可能性があります。この一般的な例は、サードパーティーベンダーの交換機に接続された IP トランクです。
- IP 電話会議を暗号化しない参加者は、他の IP リンクで暗号化が行われている場合でも、暗号化していない参加者間の IP 呼の参加者全員とサポートしているメディアプロセッサをモニタリングにさらすことになります。

サポートされたハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアのメディア暗号化の要件、およびサポートされない装置のリストについては、『Avaya Communication Manager ハードウェアガイド、555-245-207JA』を参照してください。

## ライセンスファイルの要件

サーバーにメディア暗号化が使用可になっている有効なライセンスファイルがない場合、メディア暗号化は機能しません。現在のライセンスファイルでメディア暗号化が使用可になっているかどうかを確認するには、次の手順に従います。

1. **display system-parameters customer-options** と入力して、**Enter** キーを押します。  
**Optional Features**（オプション機能）画面が表示されます。
2. **Media Encryption Over IP** フィールド（200 ページの [図 7: 「Optional Features 画面」](#)）が表示されるまで **Next** を押します。
3. Media Encryption Over IP フィールドが **y** に設定されていることを確認します。

図 7 : Optional Features 画面

|                                            |                                             |              |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------|
| display system-parameters customer-options |                                             | Page 3 of 10 |
| OPTIONAL FEATURES                          |                                             |              |
| Emergency Access to Attendant? y           | ISDN Feature Plus? y                        |              |
| Enable 'dadmin' Login? y                   | ISDN Network Call Redirection? y            |              |
| Enhanced Conferencing? n                   | ISDN-BRI Trunks? y                          |              |
| Enhanced EC500? y                          | ISDN-PRI? y                                 |              |
| Extended Cvg/Fwd Admin? y                  | Local Spare Processor? n                    |              |
| External Device Alarm Admin? y             | Malicious Call Trace? y                     |              |
| Five Port Networks Max Per MCC? y          | Media Encryption Over IP? y                 |              |
| Flexible Billing? y                        | Mode Code for Centralized Voice Mail? y     |              |
| Forced Entry of Account Codes? y           | Multifrequency Signaling? y                 |              |
| Global Call Classification? y              | Multimedia Appl. Server Interface (MASI)? n |              |
| Hospitality (Basic)? y                     | Multimedia Call Handling (Basic)? n         |              |
| Hospitality (G3V3 Enhancements)? y         | Multimedia Call Handling (Enhanced)? n      |              |
| IP Trunks? y                               | Multiple Locations? y                       |              |
| IP Attendant Consoles? y                   | Personal Station Access (PSA)? y            |              |
| IP Stations? y                             |                                             |              |

## 制限 — 制御

コンソールの許可を持つオペレーターまたは電話機ユーザーが、個々の電話機または電話機のグループに次の制限を起動または解除できる機能です。

- 外線制限
- 完全停止制限
- 内線制限
- 停止制限

---

## セキュアシェルとセキュア FTP

Telnet プロトコルでは、ログインとパスワードによる認証に基づくネットワークデバイスコンソールにリモートアクセスができます。Communication Manager リリース 3.0 より、セキュアシェル（SSH）が暗号化されたチャネル上で同機能を提供するようになりました。同様に、セキュア FTP（SFTP）は、リモートファイル転送を可能にする FTP プロトコルの暗号化されたバージョンです。SSH/SFTP は、安全なリモートサーバーアクセスだけでなく、ファームウェアダウンロードファイルや音声アナウンスメントのファイル転送に安全な代替策を提供します。

**enable filexfer** コマンドを使うと、SSH と SFTP が、TN799DP Control LAN（CLAN）基板と TN2501AP LAN 接続アナウンスメント（VAL）基板の両方に対して有効になります。

Telnet、FTP、SSH、SFTP などの TN2312A/BP IP サーバーインタフェース（IPSI）基板上での有効化機能は、引き続き Communication Manager ウェブインタフェースと Communication Manager Linux バッシュシェルを介して処理されます。

---

## IP 電話機構成ファイルのセキュリティ

この機能を使うと、デジタル証明書を含めたり、TLS を使って構成ファイルダウンロード用サーバーの認証を IP 電話機で行ったりできます。これによって、IP 電話機が認証されたソースに派生する構成パラメータのみを扱えるようになります。このメカニズムを介して送られる構成ファイルは、安全性の低い接続を介して送られたソフトウェアコードファイルの認証に使うメッセージダイジェスト値を送信することができます。

---

## IP 電話機登録 /H.323 シグナリングチャネルのセキュリティ

### 注記：

この機能の利用については、お近くのアバイア販売代理店にお問合せください。

この機能では、H.323 エンドポイントと Communication Manager ゲートキーパーが相互認証し、さらに IP 登録／受け付け／ステータス（RAS）の間に両者が交換するメッセージの内容も認証できる安全なメカニズムを提供します。この認証は、内線番号ごとに設定した 3～8 桁の単純な PIN に基づいて行われます。

RAS の間に行われる Encrypted Key Exchange（EKE）の実行手順によって、エンドポイントとゲートキーパーの間で共有される秘密についての交渉が起こります。この秘密情報を使って、一組の秘密を抽出し、それをすべての RAS や呼シグナリングメッセージのデジタル署名や、呼シグナルメッセージ、メディアセッションキー、CCMS メッセージなどの選択された要素の暗号化に使います。エンドポイントとゲートキーパーのどちらかの PIN が間違っていると、計算された共有秘密が違うものになり、メッセージ認証は失敗し、両者間の通信が行えません。

上記の手順で可能な機能は、次のとおりです。

- エンドポイントとゲートキーパーが相互認証する
- エンドポイントとゲートキーパーが各送信メッセージの署名／認証を行う
- メディアセッションの暗号化キーやダイヤルした番号も含む、呼シグナリングの選択要素のプライバシーを保護する
- PIN がモニターするユーザーに取得されても、エンドポイント／ゲートキーパーの通信の安全性は保護される
- 攻撃者が PIN を入手してあるセッションを突破したとしても、以前に行われた通信や今後行われる通信の安全性は守られる（これは、「Perfect Forward Secrecy」と呼ばれます。）
- 交渉された秘密性の高い情報（固有セッション ID で識別）を再使用して、エンドポイント／ゲートキーパー間で再登録やトランク処理の新しいシグナリングリンクを確保する

---

## セキュリティ違反通知

セキュリティ違反通知（SVN）は、セキュリティ関連パラメータを設定することができ、また設定した制限への違反があった場合に通知を受け取ることができる機能です。有効および無効のアクセス両方に関するレポートを生成できます。また、セキュリティ違反のあったログイン ID またはリモートアクセス・オーソリゼーションを使用不可にすることもできます。

---

## SIP トランクのシグナリング暗号化

SIP トランクのシグナリング暗号化は、SIP トランク上の音声チャネルを暗号化することで、顧客の投資を保護します。

---

## 内線セキュリティコード

セキュリティ機能を追加するため、リモートでシステムにログインしようとする場合の認証手順を確立するための、セキュリティ機能を高めた自分用の「init」ログインがオプションで用意されています。

---

## Tripwire セキュリティ

Tripwire は、すべての Linux ベースのメディアサーバーで提供されるセキュリティプログラムです。Tripwire がモニタするファイルのリストは、すべての管理ファイルと構成ファイルが特定されるデザイン中に決定される必要があります。

セキュリティ違反通知が検出された場合、Tripwire はセキュリティログで検出結果を報告します。これらのイベントにより、アラームが生じます。

### 注記：

通常、Tripwire は電子メールでセキュリティ違反を通知します。ただし、イベントをセキュリティログに通知することにより、セキュリティ違反はただちに処理されます。

---

## エンドユーザー

---

### バックアップアラートینگ

バックアップのオペレーターに、主オペレーターが呼を取ることができないことを通知します。オペレーターのキューがキュー警告レベルに到達すると、バックアップ電話機に可聴および可視警報を発します。キューが警告レベルを下回ると、警報が停止します。可聴警報は、中継台が夜間モードの場合にも、中継台のキューの長さに関係なく起動されます。

---

### バリアコード

バリアコードは、リモートアクセス機能と使用して、システムへの無断アクセスを防止するセキュリティコードです。システムのセキュリティを向上するため、7桁のバリアコードをリモートアクセス・バリアコードの有効期限とともに使用します。バリアコードは失効日を過ぎたり、アクセス件数が設定上限を超えると自動的に失効します。バリアコードに対して失効日とアクセス上限値の両方を設定してある場合は、どちらかの条件を満たすとバリアコードが失効します。

### 注記：

バリアコードは課金データ（CDR）によって追跡することはできません。バリアコードは着信アクセスコードであるのに対し、認証コードは主に発信アクセスコードです。

## 発呼者／被呼者番号制限

### 呼ごとの CPN 制限

ユーザーは発呼者番号プライバシー情報を表示することができます。ISDN 呼の場合、発呼者／被呼者番号（CPN）の番号表示がそれに応じて符号化されます。ISDN 以外の呼で、CPN 制限機能をサポートする公衆網を使用する呼の場合は、その公衆網特有のフィーチャーアクティベーションコードがその公衆網に渡されて、希望する機能が解釈され、起動されます。

呼ごとの CPN 制限が発信呼に対して起動された場合、発呼した電話機に設定されているあらゆる回線ごとの CPN 制限の設定が無効になり、発呼者番号を送信するよう設定されているあらゆる ISDN トランクグループの設定が無効になります。

### 回線ごとの CPN 制限

ユーザーは、発呼する場合に発呼者番号を知らせないようにすることができます。ISDN 呼の場合、CPN 表示がそれに応じて符号化されます。ISDN 以外の呼で、CPN 制限機能をサポートする公衆網を使用している呼の場合は、その公衆網特有のフィーチャーアクティベーションコードが、そのネットワークに渡されて解釈され、起動されます。

回線ごとの CPN 制限機能を電話機に設定すると、ISDN トランクグループに設定してある発呼者番号を送信する設定が無効になります。

---

## デジタルポケットベルへの緊急事態通報

緊急事態通報は緊急呼の通知をデジタルポケットベルに送信することもできます。この場合、緊急事態通報は 7 桁から 22 桁のメッセージをポケットベルに送り、緊急事態コード、内線番号、部屋番号および代表番号（入力されている場合）を表示します。ページング呼び出しを受けた人は緊急呼が発呼された場所がわかるので、救援を適切な場所にさし向けることができます。

デジタルポケットベルへの緊急事態通報を使うには、少なくとも 1 つのデジタル電話機に CRSS-ALRT ボタンがあり、Alert Pager（ポケットベルに警告）フィールドが **y** であるようにシステムを設定します。CRSS-ALRT ボタンとポケットベルの付いた電話機であれば正確な通報を受け取ることができます。

---

## デジタル電話機への緊急事態通報

緊急電話がかかると、緊急事態通報機能により可視および可聴警報の両方で、指定されたデジタルディスプレイ電話に知らせます。可聴警報は救急車のサイレンと類似した音です。可視警報は CRSS-ALRT ボタンのランプを点滅させ、発呼者の名前と内線、または客室番号を表示します。緊急事態通報は緊急呼が発呼された場所を示すので、オペレーターまたは他のユーザーは発呼者に救援をさし向けることができます。

緊急事態通報機能が起動している場合、電話機は中継台話中モードになり、他の着信呼が緊急呼通報に割り込めないようにします。他の係員に通報できるように電話機からの発呼はできません。

1 つの緊急呼が話中である間に別の緊急呼が発呼された場合には、着信呼はキューで待機させられます。すべてのユーザーが応答するようにシステムが設定されている場合、すべてのユーザーがすべての呼に応答しなければなりません。この場合、呼は必ずしも発呼順に待機させられるわけではありません。ひとりのユーザーが応答するようにシステムが設定されている場合、最初の緊急事態通報が、応答された電話機で話中状態を保ちます。それに続く呼は、着信した順に、次に応答可能な電話機を待ちます。

---

## 中継台への緊急事態通報

緊急電話がかかると、緊急事態通報として可視および可聴警報の両方で中継台に知らせます。可聴警報は救急車のサイレンと類似した音です。可視警報は CRSS-ALRT ボタンのランプを点滅させ、発呼者の名前と内線、または客室番号を表示します。緊急事態通報は緊急呼が発呼された場所を示すので、オペレーターまたは他のユーザーは発呼者に救援をさし向けることができます。ホテル業界や病院施設で使用されることが多いのですが、標準中継台にもこの機能を設定できます。

緊急事態通報機能が起動している場合、コンソールは中継台話中モードになり、他の着信呼が緊急呼通報に割り込めないようにします。他の係員に通報できるようにコンソールから発呼はできます。緊急事態通報呼がコンソールに着呼したら、コンソールのユーザーは中継台話中ボタンを押してコンソールの話中モードを解除し、緊急事態通報ボタンを押して、可聴および可視警報をオフにしてください。

1 つの緊急呼が話中である間に別の緊急呼が発呼された場合には、着信呼はキューで待機させられます。すべてのユーザーが応答するようにシステムが設定されている場合、すべてのユーザーがすべての呼に応答しなければなりません。この場合、呼は必ずしも発呼順に待機させられるわけではありません。ひとりのユーザーが応答するようにシステムが設定されている場合、最初の緊急事態通報が、応答された電話機で話中状態を保ちます。それに続く呼は、着信した順に、次に応答可能な電話機を待ちます。

## 緊急時中継台アクセス

オペレーターに緊急電話を発呼できる機能を提供します。これらの呼はシステムが自動的に発信することも、あるいはシステムユーザーがダイヤルすることもできます。緊急アクセスコールは、オペレーターによって優先的に応答されます。

---

## E911 CAMA トランクグループ

139 ページの「[E911 CAMA トランクグループ](#)」を参照してください。

---

## プライバシー — 自動通話割り込み禁止

サービスクラス（COS）が自動通話割り込み禁止オプションにセットされている場合、電話の受話器を取ると機能が起動します。この機能は、ダイヤルする前または通話中に通話割り込み禁止ボタンを押すと解除できます。割り込みを禁止された保留中の呼は、保留している電話のブリッジアピランスをもつ他の電話機によって保留を解除できます。

---

## プライバシー — 通話割り込み禁止

デジタル電話機ユーザーは、同じ内線番号のアピランスを持つ他のユーザーが通話中の呼にブリッジすることを防止できます。通話割り込み禁止は、通話割り込み禁止ボタンを押すことによって呼ごとに起動できます。

---

## 制限 — 制御

200 ページの「[制限 — 制御](#)」を参照してください。

---

## 電話機ロック

電話機ロック機能によってユーザーは、自分の電話機をロックして不正な呼の発信を防ぐことができます。発信呼を阻止しながら、着信呼は受信し続けることができます。この機能は電話機のボタンを押すか、機能特番（FAC）をダイヤルするかによって起動できます。

電話機ロック機能では、すべての電話機（あらかじめ設定されているものは除外）で、緊急呼を除くすべての発信呼を阻止できます。電話機はリモートでロックおよびロック解除ができます。

## 第 19 章：システム管理

Avaya Communication Manager システム管理機能によってシステム管理者は、通信ソリューションを維持し、情報システム総合コスト（TCO）の削減を促進する強力なツールが得られます。

---

### 架空内線

119 ページの「[架空内線](#)」を参照してください。

---

### オールタネイト・ファシリティ制限レベル（AFRL）

この機能により、Communication Manager で、回線またはトランクのファシリティ制限レベル、または認証コードを調節できます。通常、各回線またはトランクにはファシリティ制限レベルが割り当てられています。この機能を使用すれば、オールタネイト（代替の）ファシリティ制限レベルも割り当てることができます。オペレーターは割り当てられた制限レベルを代替の制限レベルに変更できるので、回線およびトランクへのアクセスを変更できます。例えば、この機能を使用して、夜間には大半の長距離電話を使用不可にして、無許可のスタッフが長距離電話を使用することを防止できます。

 **注意：**

この機能は、AAR および ARS 迂回の優先順位を変更することがあります。タンデムおよび専用線トランクアプリケーションにこの機能を使用すると、ネットワーク全体に影響がおよびます。全国規模のプライベートネットワークに含まれる呼は、ブロックされることがあります。

---

## アナウンスメント

アナウンスメント機能は、企業に電話をかけてきた発呼者に流すアナウンスメントを設定するために使用します。例えば、ダイヤルした番号の呼が完了できない、キュー状態である、すべての回線がふさがっているなどのメッセージを伝えることができます。アナウンスメントは、しばしば音楽とともに使用します。アナウンスメントには**内蔵アナウンスメント**と、**外部アナウンスメント**があります。

- 内蔵アナウンスメントは、キャリアの基板に常駐するものです。
- 外部アナウンスメントは外部装置に録音されて、そこから再生されます。

---

## 認証（オーソリゼーション）コード — 13 桁

196 ページの「[認証（オーソリゼーション）コード — 13 桁](#)」を参照してください。

---

## 自動回路保証

トランクの障害可能性の検出を助ける機能です。Communication Manager ではこの機能によって、個々のトランクのパフォーマンス記録が保管され、障害の可能性が検出された場合は、自動的に指定ユーザーに連絡されます。この機能は不良トランクの早期発見により優れたサービスを提供し、結果的にサービス停止時間を減らします。

---

## 自動伝送測定システム

音声およびデータトランクファシリティの伝送性能が基準を満たすかを測定します。測定レポートには、トランク信号ロス、ノイズ、信号リターンロス、エコーリターンロスのデータが含まれます。性能基準、テストのスケジュールおよびレポートの内容はプログラム可能です。

---

## バリアコード

203 ページの「[バリアコード](#)」を参照してください。

## 掲示板機能

掲示板は、アバイア社員を含め、交換機ユーザー間で情報やメッセージを送受信できる交換機内の場所です。適切な許可を持つ人は誰でも、日常のメッセージに掲示板を使用できます。また、アバイアの社員は、優先度の高いメッセージを残すことができ、これは掲示板の最初の10行に表示されます。

## 話中確認 — 電話機／トランク

オペレーターとデジタル電話機のユーザーが、話中と思われるリソースの状態をチェックするためにトランク、電話機、ハントグループへのテストコールを発信することができる機能です。この機能を使って、オペレーターあるいは多機能電話機ユーザーは、本当に話中の電話機と、何らかの問題が発生したため話中であるかのように見えるだけの電話機を区別することができます。ユーザーはこの機能を使って、欠陥があるトランクをすばやく特定することもできます。

## 通話料金情報

発信トランクで発呼した呼の料金概算を調べるには、2つの方法があります。

- 課金情報通知 — ISDN トランクの場合

課金情報通知（AOC）は、各発呼について公衆網から料金情報を収集します。課金情報通知は、呼のコストを表す数字で、料金単位または通貨単位で記録されます。

- 周期パルス計測 — ISDN 以外のトランクの場合

周期パルス計測（PPM）は、発信トランクコール中に定期的に公衆網から伝送されるパルス数を集計します。呼の終了時に、収集されたパルス数を基に料金を算定します。

通話料金情報を利用すれば、地域通信業者から次の請求書が届くまで待たなくても、発信呼の費用明細を把握できます。この機能は、電話料金の請求書に明細が記載されない国では特に重要です。この情報は、社員に電話代を認識させるため、そして会社の電話料金の節約に協力するように奨励するためにも使用できます。

**注記：**

この機能は、米国を含む特定の国の公衆網では提供されません。

さらに、BRI エンドポイントへの課金情報通知機能は、PRI ネットワークから受信した AOC 情報を WCBRI エンドポイントに透過的に配信します。

---

## 課金データ

コールアカウンティングの目的のため着信および発信呼についての詳細な呼情報を記録し、この呼情報を課金データ (CDR) 出力装置に送信します。記録する情報のタイプと記録を保存したいトランクグループおよび内線を指定することができます。内線および外線の呼を記録することができます。このアプリケーションにはさまざまなプログラム可能なオプションと機能があります。

---

### 物理的な内線番号の課金データ表示

エキスパート・エージェント・セレクション (EAS) エージェント発信呼の場合、**CDR System Parameters** (CDR システムパラメータ) 画面の Record Agent ID on Outgoing? フィールドが **y** (デフォルト値) に設定されていると、発信呼にエージェント ID が使用されます。

**CDR System Parameters** 画面の Record Agent ID on Outgoing? フィールドが **n** に設定されていると、物理的な内線番号が使用されます。

---

## 発信制限

管理者やオペレーターが特番をダイヤルすると、ユーザーが特定タイプの呼を発信、受信するのを制限できます。次の 5 種類の制限方法があります。

- Outward (外線) — ユーザーは外線呼を発呼できません。
- Station-to-station (内線制限) — ユーザーは内線呼を発呼したり、受けたりできません。
- Termination (停止) — ユーザーは優先呼以外のどのような呼も受けられません。
- Toll (市外) — ユーザーは市外通話を発信することができませんが市内通話は発信できます。
- Total (完全停止) — ユーザーはどのような呼も発したり、受けたりできません。

---

## 発呼者番号／課金番号

システムが発呼者番号／課金番号 (CPN/BN) データを ISDN-PRI トランクグループに送信できるようにする機能です。CPN は発呼者の電話番号です。BN は発呼者の課金番号です。CPN/BN には国番号が入っている場合があります。外部アプリケーションと共に使用されます。

---

## Class of Restriction（接続制限クラス）

197 ページの「[Class of Restriction（接続制限クラス）](#)」を参照してください。

---

## サービスクラス

電話機ユーザーが一定の機能にアクセスできるかどうかを定義します。例えば、次のような機能にアクセスが可能です。

- 内線キャンプオン
- 可変不在転送
- データプライバシー
- 優先電話
- 可変不在転送オフネット制限
- 可変不在転送話中／不応答
- 拡張可変不在転送および話中／不応答
- パーソナルステーションアクセス
- トランク間転送制限オーバーライド
- オフ・フック警告
- コンソールパーミッション
- 客室機能

---

## クラスレスドメイン間ルーティング

155 ページの「[クラスレスドメイン間ルーティング](#)」を参照してください。

---

## 複数ユーザーの同時使用

管理機能、メンテナンス機能を効率よく実行するために、Communication Manager では、複数の管理ユーザーセッション、メンテナンスユーザーセッションを同時に実行できます。3 台またはそれ以上の装置（管理ターミナルやオペレーション・サポートシステム）を交換機に接続して、管理タスクまたはメンテナンスタスク、あるいはその両方を同時に実行できます。

Communication Manager では、8 人のユーザーによる同時管理とメンテナンスをサポートしています。5 人が同時に管理を行い、残りの 3 人が同時にメンテナンスを行うことができます。同時使用は、ローカル接続とリモート接続をどのように組み合わせても実行できます。

---

## 顧客設置のアラーム装置

197 ページの「[顧客設置のアラーム装置](#)」を参照してください。

---

## ユーザーによる電話機起動

ユーザーが自分の電話機を設置できるようになるため、設置技師による設置が不要となります。この機能は TTI 機能を基にしており、ユーザーが物理的な電話機を交換機の設定済データ（Station Translation）に自分で割当てできるようにします。

ユーザーによる電話機起動（CTA）は TTI の合理化バージョンで固定機能特番がありますが、セキュリティコードは不要です。また CTA では電話機と、交換機の設定済データとの「マージ」のみが可能ですが、TTI では電話機と、交換機の設定済データとの「マージ」および「マージ解除」の両方が可能です。

CTA は DCP とアナログタッチトーンの回線交換電話機にのみ適用されます。

---

## DCS 自動回路保証

あるノードのユーザーやオペレーターが、DCS ネットワーク全体の自動回路保証（ACA）を起動、解除できる機能です。トラブルが検出されたノードとは別のノードを経由して呼を渡すようにします。

---

## 外部装置アラーム

アナログポートを外部装置用アラームインタフェースに割り当てる機能です。ポート位置、外部装置の識別情報、接続閉鎖時にレポートするアラームレベルを指定できます。

---

## 話中表示

デジタル電話機のユーザーが、どの回線、トランクグループ、同時着信音グループ（TEG）、ハントグループ、ページングゾーン（リソースあるいはファシリティと呼ばれます）が話中であるか見ることができる機能です。リソースに対応するランプが点灯している時、そのリソースは話中です。

内線番号、トランクグループアクセスコード、スピーカページング特番を話中表示ボタンに保存できます。話中表示ボタンで、各ファシリティへ直接アクセスできます。

---

## ファシリティ制限レベルおよびトラベリングクラスマーク

特定のユーザーにはある特定の呼を許可する一方で、他のユーザーには同じ呼を拒否することができます。例えば、ある特定のユーザーは社内の別のオフィスへの呼に局用交換機（CO）トランクを使うことを許可される一方で、他のユーザーはより安価なプライベートネットワーク回線の上に制限される場合があります。AAR および ARS のユーザーに**最高 8 つの制限レベルを設定できます**。

---

## ファシリティテストコール

電話機ユーザーが、特定のトランク、DTMF 受信器、タイムスロットおよびシステムトーンにアクセスするテストコールを発信することができる機能です。ユーザーは、特番にダイヤルして、テストコールを発信し、ファシリティが正しく動作していることを確かめます。無許可の使用を防止するためにセキュリティ対策が用意されています。

---

## ファームウェアのダウンロード

ファームウェアのダウンロード機能によって、リモートまたはローカルソースからプログラムファイルを **Communication Manager** を実行するシステムにダウンロードし、そのプログラムファイルを使用してポート基板のアプリケーションコードを再プログラミングできます。この機能により、ファームウェアのバージョンアップがより経済的にできます。この機能では、専門技術者でなくても基板のバージョンアップができるため、システムのポート基板のメンテナンス費用も低減します。ファームウェアのダウンロードは、TN799C CLAN インタフェースを使って行います。

### 注記：

ファームウェアのダウンロード機能でバージョンアップできる基板には、TN 番号の末尾に「P」と記載されています。

---

## MCC1 Media Gateway で最大 5 つの EPN

### 注記：

この機能は、MCC1 Media Gateway を S8700 Media Server または DEFINITY® Server R 構成とともに使用する場合にのみ、使用できます。

このオプションのソフトウェア機能により、呼の大きなトラフィック容量を必要とする顧客は、単一の MCC1 Media Gateway で 2 つから 5 つの拡張ポートネットワーク (EPN) を持つことができます。アバイアから特殊なケーブルを購入し、ソフトウェア設定で回避方法を実行して、追加のキャリアを EPN として機能させない場合、通常、2 つのポートネットワーク (PN) のみが使用可能です。

この機能が起動されると、Communication Manager により、5 台までのキャリアを EPN として管理することが可能になり、カスタムケーブルは不要です。すなわち、各キャリアは TDM バスの全バンド幅を利用できる一方で、MCC1 Media Gateway 1 台分の床面積しか必要ありません。これは、システムが大規模で使用度の高い、IPSI/PNC 二重化のないコールセンターにとって便利です。

MCC1 Media Gateway のハードウェア制限は、ポートキャリア 5 台です。5 台全部を拡張ポートキャリアにすることもできますが、トラフィック量に応じて 5 台以下にする方が良い場合があります。例えば、3 台の EPN キャリアと 2 台の標準ポートキャリアを選択することがあります。

1 枚のメンテナンス基板があり、キャリア A に設置されています。これがキャビネット内の唯一のメンテナンス基板です。

**注記：**

制御部二重化／完全二重化オプションが必要な場合、S8700 Media Server の IPSI が使用可になったシステムでは、2 つの PN のみが物理的にサポートされます。  
完全二重化／ATM ネットワーク二重化が必要な場合、DEFINITY サーバー R システムでは、2 つの PN のみがサポートされます。

この機能についての詳細は、お近くのアバイア販売代理店までお問い合わせください。

---

## インフォメーションおよびレポート

- Attendant position report (オペレーターパフォーマンスレポート)

Attendant position report には、次の項目がリストされます。

- オペレーターの稼働量
- 応答された呼の数
- オペレーターが新しい呼に応答可能であった時間の合計
- 応答された呼の平均保留時間
- Blockage study report (ブロッキングスタディーレポート)
- Call coverage report (コールカバレッジレポート)

Call coverage report には、コールカバレッジグループに送信されたトラフィック配信の測定結果が表示されます。すべての呼と外線呼用に別々のレポートが作成されます。

- Coverage points report (カバレッジポイントレポート)

Coverage points report の内容は、「all calls」(すべての呼) または「external calls」(外線呼) のどちらが選択されたかによって異なります。グループの各カバレッジポイントについて、転送された呼、カバレッジポイントで放棄された呼、次のカバレッジポイントへオーバーフローする呼の数がリストされます。

- Display ARP report (ARP 表示レポート)
- Emergency and journal reports (緊急レポートとジャーナルレポート)

Emergency and journal report は、すべての緊急事態通報からの情報を基に作成されます。

- Hunt group measurements report (ハントグループ測定レポート)
- IP report (IP レポート)
- Packet error history report (パケットエラー履歴レポート)

LAN パフォーマンス特性を間接的に示す、重要なパケットレベルの統計の 24 時間にわたる履歴を提供します。トラブルが解消された場合、24 時間の履歴により、これらの統計を振り返って見るができます。

- Port network and link usage report (ポートネットワークとリンク使用レポート)

- Processor occupancy report (プロセッサ占有レポート)

Processor occupancy report の内容は、プロセッサにどの程度の負荷があるかを示すサマリー情報です。

- Recent change history report (最新変更記録レポート)

システムマネージャーが交換機の最新の設定やメンテナンス変更の履歴レポートを表示・プリントできる機能です。このレポートは、診断あるいは情報を目的として使われます。

- Refresh route report (リフレッシュルートレポート)

- Summary report (サマリーレポート)

Summary report の内容は、Communication Manager を実行するシステムの性能サマリーです。

- Tandem traffic report (タンデムトラフィック・レポート)

Tandem traffic report の内容は、タンデムトラフィックに使用されるファシリティの情報です。

- Tracelog (トレースログ)

Tracelog には、特に次の項目がリストされます。

- すべての IP エンドポイントの登録
- すべての IP エンドポイントの登録解除
- 稼動を始めるすべてのイーサネット・インタフェース
- 稼動を停止するすべてのイーサネット・インタフェース

これらのイベントは、新規ログタイプとしてタグが付けられます。

- Traffic report (トラフィックレポート)

Traffic report には、ローカルまたはリモートアクセスの交換機ベースレポート形式による測定結果が示されます。またこれを収集して、オペレーション・サポートシステムインタフェースのプロトコルによって外部装置またはオペレーション・サポートシステムが行う、分析およびレポート作成に利用できます。

- Trunk group detailed measurements (トランクグループ詳細測定)

## 履歴レポートの解析機能

履歴レポートの内容は、すべてのデータコマンドに関する詳細です。このレポートで表示するデータを制限するために、解析オプションを使用できます。次の表に、使用可能な解析オプションを示します。

### 注記：

コマンド **list history** を入力してから、**HELP** をクリックするか、**F5** キーを押すことによって、これらのオプションを表示できます。

| オプション                  | 説明                                                                                                                      |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| date<br>(日付)           | 何月 ( <b>MM</b> ) または何月何日 ( <b>MM/DD</b> ) の履歴データを表示するかを指定します。                                                           |
| time<br>(時刻)           | 何時 ( <b>HH</b> ) または何時何分 ( <b>HH:MM</b> ) の履歴データを表示するかを指定します。                                                           |
| login<br>(ログイン)        | 履歴データを表示するログインを指定します。                                                                                                   |
| action<br>(アクション)      | 履歴データを表示するコマンドアクション (コマンド文字列の最初の単語) を指定します。 <b>HELP</b> をクリックするか、コマンド行で <b>F5</b> キーを押すことによって使用可能なコマンドアクションのリストを表示できます。 |
| object<br>(オブジェクト)     | 履歴データを表示するコマンドオブジェクトを指定します。                                                                                             |
| qualifier<br>(クオリファイヤ) | 履歴データを表示するコマンドクオリファイヤを指定します。                                                                                            |
|                        |                                                                                                                         |

履歴レポートで表示されるデータを制限するには、コマンド **list history** を入力し、その後スペース、正しいパーサー、該当する場合は形式を入力します。レポートには、指定されたパーサーのデータのみが表示されます。

複数のパーサーを入力できますが、入力できるインスタンスは、パーサーにつき1つです (例えば、**date**、**time**、**login** について解析できますが、**date**、**time**、2つの **login** については解析できません)。

---

## IP 非同期リンク

177 ページの「[IP 非同期リンク](#)」を参照してください。

---

## マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）

198 ページの「[マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）](#)」を参照してください。

---

## マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）ロギング

199 ページの「[マリシャス・コール・トレース（悪意呼トレース）ロギング](#)」を参照してください。

---

## 保留音

発呼者に音楽、無音またはトーンを自動的に提供します。音楽により、発呼者は接続がまだ有効であることがわかります。

---

## ローカル保留音

G700 Media Gateway では Communication Manager で保留音機能がサポートされます。保留音源は、MM711 Analog Media Module のポートに接続されます。ローカル保留音は、S8300 Media Server のコールセンター機能の一部です。

ローカル保留音では 1 つの保留音源が使用できます。G700 Media Gateway で複数の保留音源を使用するには、MM771 Analog Media Module で複数のポート（各保留音源に 1 つ）を使用する必要があります。

詳しくは、*Installation for Adjuncts and Peripherals for Avaya Communication Manager, 555-233-116*、または *Administrator Guide for Avaya Communication Manager, 555-233-506* を参照してください。

---

## 複数保留音源

MCC1、SCC1、CMC1、G600 Media Gateway で、この機能は顧客が複数の異なる音源を、コールベクタリング、保留中の呼、ピックアップ待機中の呼などに提供できるようにします。複数の保留音機能（「テナントパーティショニング」とも呼ばれる）を購入することで、最大 100 の保留音源を使用できます。

さまざまなテナントに対応するため、多種多様な音楽オプションを設定できます。220 ページの「[テナントパーティショニング](#)」を参照してください。

---

## 制限 — 制御

コンソールの許可を持つオペレーターまたは電話機ユーザーが、個々の電話機または電話機のグループに次の制限を起動または解除できる機能です。

- 外線制限
- 完全停止制限
- 内線制限
- 停止制限

---

## スケジューリング

Communication Manager の機能的スケジューリングによって、コマンドの実行時刻を指定したり、あるいはそれを定期的に実行するように指定することができます。コマンドライン入力後にユーザーとの対話が不要なコマンド（list、display、test など）だけをスケジューリングできます。

---

## セキュリティ違反通知

202 ページの「[セキュリティ違反通知](#)」を参照してください。

---

## 内線セキュリティコード

202 ページの「[内線セキュリティコード](#)」を参照してください。

---

## テナントパーティショニング

システムの分割により、システムのサービスと機能を複数テナントにリースできます。これは「バーチャルな」貸主に魅力的なサービスと収入を提供します。また、小企業テナントに手頃な価格で大規模システムの豊富な機能を提供します。Communication Manager では、最高 100 のパーティションと 27 のオペレーターグループをサポートします。

複数中継台グループを各パーティションに割り当てることができます。ステーション、ハントグループ、サービスクラス（COS）に割り当てたその他のエンドポイントを分割することができます。ネットワーク迂回パターンの優先設定も、割り当てたテナントパーティショニングに適用できます。また、テナントパーティショニングを使用した場合、保留された顧客用として、各テナントパーティションに独自の保留音を割り当てることができます。

218 ページの「[保留音](#)」を参照してください。

---

## ターミナルトランスレーションの初期化

124 ページの「[ターミナルトランスレーションの初期化](#)」を参照してください。

---

## LAN 経路時刻同期

ネットワーク内の複数スイッチ間では、正確な共通時刻ソースが必要です。Communication Manager を実行する複数のサーバーから送信されるイベントのレポートに、中央 Avaya コールマネージメントシステム（CMS）を使用する顧客にとって、これは特に重要です。

LAN 経路時刻同期は、次の 2 つのプラットフォームで実行されます。

- Linux
- UNIX

---

## Linux プラットホーム

Linux ベースのメディアサーバーで実行中の Communication Manager は、LAN ソースと直接時間を同期します。

---

## UNIX プラットホーム

Oryx/Pecos オペレーティングシステム（独自 UNIX ベースの OS）を使用する DEFINITY サーバーで実行される Communication Manager では、Avaya Site Administration から時刻調整のためのコマンドを受け取ります。Avaya Site Administration では、当該 LAN PC のクロックに対して同期を取ります。

---

## トランクグループ回路

Communication Manager と局用交換機や他の構内交換機などの交換機間に、トランクは通信リンクを提供します。同じ機能を実行するトランクはグループ化され、1 つのトランクグループとして管理されます。トランクはポート基板を介して Communication Manager とインタフェースします。

---

## 可変長 ping

166 ページの「[可変長 ping](#)」を参照してください。

---

## 可変長サブネットマスク

166 ページの「[可変長サブネットマスク](#)」を参照してください。

---

## Avaya Integrated Management

Avaya Integrated Management はシステム管理ソフトウェアで、音声とデータの統合ネットワークを管理するためのさまざまなアプリケーションが含まれます。次のアプリケーションが含まれます。

- ネットワーク管理
- 故障管理
- 処理性能管理
- 構成管理
- ディレクトリ管理
- ポリシー管理機能

---

## ATM WAN スペアプロセッサマネージャー

127 ページの「[ATM WAN スペアプロセッサマネージャー](#)」を参照してください。

---

## Avaya Communication Manager Configuration Manager

Avaya Configuration Manager によって、分散ネットワークおよび構内環境の集中管理ができます。単一エントリポイントおよびグラフィカルな WWW ページによるインタフェースを使用して、複数の Avaya メディアサーバーの構成と管理を行うことができます。

---

## Avaya Communication Manager Fault/Performance Manager

Communication Manager の Fault/Performance Manager は、Avaya Multiservice Network Manager と一体化して、統合ネットワークのシステムビューを提供します。Fault Manager は各装置の階層構造およびその状態を表示するので、アラームおよびエラーを確認して分離することができます。Performance Manager では、包括的な処理性能レポートを提供することで、処理性能問題の傾向把握および分離を行うことができます。

---

## Avaya Site Administration

Avaya Site Administration は、Microsoft Windows ベースのグラフィカル・ユーザー・インタフェース（GUI）で、ユーザーの変更／追加／移動、および基本トラフィック分析を行います。

---

## Voice Announcement over LAN Manager

Avaya Voice Announcement over LAN (VAL) Manager は、Avaya Integrated Management Suite の一部です。これによってユーザーは LAN 経由で、録音アナウンスメントを Avaya メディアサーバーに転送できます。

アナウンスメントは wav ファイルに保存し、変換せずに LAN 接続アナウンスメント基板へ送信できます。Voice Announcement over LAN (VAL) Manager ではまた、アナウンスメントファイルをバックアップし復元するためのリポジトリが提供されるとともに、管理を単純化できます。Voice Announcement over LAN Manager によって、アナウンスメントの現在の状態を監視し、アナウンスメントを簡単に追加、変更、削除することができます。また、アナウンスメントファイルを LAN 経由で、Avaya メディアサーバー から Voice Announcement over LAN Manager へ、また逆方向へのコピー、バックアップが容易にできます。

---

## Avaya VoIP Monitoring Manager

Avaya VoIP Monitoring Manager (VMON) によって、VoIP ネットワークの品質をモニタできます。この WWW ページによるアプリケーションでは、Avaya IP エンドポイントから受け取った QoS 統計データが図表およびレポートのかたちで表示されるので、貧弱な音質が検出された場合、システム管理者は音質問題を隔離して、トラップを送信できます。

---

## ディレクトリ

ディスプレイ付き電話機からシステムのデータベースにアクセスして、タッチトーンボタンを使って名前を入力し、システムディレクトリから内線番号を検索することが可能です。この電話帳には、システム内のすべての電話機に割り当てられた名前および内線番号が含まれます。

---

## 設定変更通知

Communication Manager と Avaya Directory Enabled Management (DEM) クライアントとの通信を可能にする機能です。この機能によってクライアントは、ユーザーが定義したルールに基づく Communication Manager の管理データに対し、リアルタイムで、統合されたディレクトリベースの読み出し／書き込みアクセスを行うことができます。さらにこれによってクライアントは、Communication Manager の管理データに対する変更通知に加入できます。このため特定オブジェクト（例えば電話機）に設定変更が生じると必ずリアルタイムで更新されます。

---

## Avaya Directory Enabled Management

Avaya Directory Enabled Management (DEM) 機能は、Avaya Integrated Management Suite の一部で、Avaya メディアサーバーおよび INTUITY AUDIX メッセージサーバーに対するリアルタイムの、統合的なディレクトリベースの読み出し／書き込みアクセスを提供します。音声／データの統合ネットワークによる電子的環境での、業務過程および情報管理が合理化できます。

DEM によって音声／データ統合ネットワークのメタディレクトリが作成されます。ディレクトリ情報は Communication Manager および INTUITY 装置からのデータと同期し、その情報が LDAP 準拠のディレクトリサービス（例えば Novell の eDirectory や Microsoft の Active Directory）に保存されます。ディレクトリ対応アプリケーションはこの DEM によって、業務過程における各種システム管理機能を自動化し、業務を高速化することができます。

---

## Lightweight Directory Access Protocol

Lightweight Directory Access Protocol バージョン 3 (LDAPv3) は、オンラインディレクトリサービスにアクセスするための、業界標準プロトコルです。ディレクトリはデータベースに類似していますが、より多くの記述情報を含んでいます。設定変更通知機能および、Avaya Directory Enabled Management クライアントアプリケーションを利用して、Communication Manager を LDAP データ保存と統合することで、Communication Manager および INTUITY AUDIX メッセージサーバーに対してリアルタイムで、統合されたディレクトリベースの読み出し／書き込みアクセスを行うことができます。

## 第 20 章：テレコミュケーティングとリモートオフィス

---

### オフネット転送呼のカバレッジ

オフネット転送呼のカバレッジ（CCRON）機能により、交換機外部の場所へ転送された呼を交換機に戻して、処理を続行できます。

例えば、テレコミュケーティングする社員は、2つのカバレッジパスを持つことができます。1つのカバレッジパスを会社で、もう1つを在宅勤務中に使用すれば、自宅のカバレッジパスが会社の電話宛ての呼を受けると同時に、自宅宛ての呼もカバーします。その社員が呼に応答しないか、または通話中の場合、呼は交換機に再び転送され、ボイスメールボックスへの転送など、続けて処理されます。

リモートコールカバレッジ機能と可変不在転送オフネット機能により、遠隔地に呼を転送することができます。これにより、会社やオンサイトのオフィスにかけられた呼を自宅のオフィスに転送することができます。呼をモニタして、転送後不応答の場合は会社や現場に戻して別の処理を行うか、あるいは呼を遠隔地（オフネット）に残しておくように、システムを設定することができます。

---

### 再転送呼の拡張ユーザー管理（テレコミュケーティングアクセス）

再転送呼の拡張ユーザー管理（テレコミュケーティングアクセスとも呼ぶ）機能により、オンサイト、オフサイトに関係なくあらゆる場所から、最優先コールカバレッジパスや転送先内線番号の変更が可能です。例えば自宅オフィスからカバレッジパスや転送先内線番号を変更することができます。

---

### IP Softphone と IP Agent — ロードウォリアーモード

88 ページの「[IP Softphone と IP Agent — ロードウォリアーモード](#)」を参照してください。

---

## IP Softphone と IP Agent — 共有コントロールモード

88 ページの「[IP Softphone と IP Agent — 共有コントロールモード](#)」を参照してください。

---

## IP Softphone と IP Agent — テレコミュータモード

88 ページの「[IP Softphone と IP Agent — テレコミュータモード](#)」を参照してください。

---

## IP Softphone

87 ページの「[Avaya IP Softphone](#)」を参照してください。

---

## 内線延長（構外）

トランクデータモジュールは、構外プライベートライン・トランクファシリティと Communication Manager とを接続します。トランクデータモジュールは、RS-232C と DCP 間の変換を行い、モデムプールの DCP メンバーとして DDD モデムに接続することができます。

231 ページの「[呼の転送](#)」、65 ページの「[コールベクタリング](#)」を参照してください。

---

## リモートアクセス

許可を受けた発呼者が遠隔の場所から公衆網を介してシステムにアクセスし、その機能およびサービスを使用できる機能です。機能にアクセスする方法は多数あります。アクセス後にはシステム発信音を受信します。また、システムのセキュリティ上バリアコードをダイヤルする必要があります。

## 第 21 章：テレフォニー

---

### 短縮ダイヤル

短縮ダイヤル（AD）は、次の目的に使用できる電話番号のリストを提供します。

- 市内、長距離、国際電話の発呼
- 機能の起動
- リモートコンピュータ装置へのアクセス

リスト番号、および該当電話番号に関連づけられた、1桁、2桁または3桁の番号をダイヤルするだけです。システムによってその番号が自動的にダイヤルされます。頻繁にダイヤルする番号は、短縮ダイヤルボタンに保存しておけば、このボタンを1回押すだけで発呼できます。

---

### 短縮ダイヤルラベリング

管理者は短縮ダイヤル（AD）システムリストの入力項目のパーソナルラベルを入力できます。2420 DCP 電話機に加え、4600 シリーズ、6400 シリーズ、8400 シリーズのディスプレイ付き電話セットのユーザーも、AD ソフトキーボタンのラベルを管理することができます。設定されたラベルはメニュー画面に表示されます。

これらのパーソナルラベルは、標準のサポートされる言語（英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ユーザーが定義した言語）で設定できます。AD システムリストの入力項目のためにパーソナルラベルが設定されていない場合、電話機にダウンロードされる機能ボタンのラベルは、AD`nn` となります。`nn` は短縮ダイヤルの番号です。

**注記：**

この拡張機能は、AD システムリストにのみ適用されます。

---

### 短縮ダイヤル・オンフック・プログラミング

オンフック・プログラミングにより、スピーカ付き 4600、6400、8400 各シリーズおよび、2420 DCP 電話機ユーザーは、コールアピランスが利用できればオフ・フックせずに、プログラミングモードにアクセスできます。シグナリングは DTMF から S チャネルに変化し、タイムアウト設定値を延長（60 秒）することができます。ディスプレイの付いていない電話機には、シグナリングは DTMF のままで、現在のタイムアウト設定値（10 秒）が適用されます。

---

## アクティブダイヤリング

6400 および 4600 シリーズの電話機には、オンフック時ダイヤルパッド上の番号を押すと、電話機から S チャンネルボタンコードが送られるダイヤリングオプションがあります。

---

## タイムアウト設定可能コールタイマー

6400 シリーズ電話機のコールタイマー機能を拡張したものです。コールタイマー機能では、呼の応答時にタイマーを開始し、呼の切断時にタイマーを停止して、呼の接続時間を測定します。

これまでのコールタイマー機能では、呼の切断後 5 秒間だけ呼の接続時間を表示していました。タイムアウト設定可能コールタイマー機能によって、ユーザーは呼の接続時間表示の長さを指定できます。

---

## 英数字ダイヤリング

91 ページの「[英数字ダイヤリング](#)」を参照してください。

---

## 内線キャンブオン

内線キャンブオン (ACB) は、内部のユーザーが、話中または応答のない内線電話に発呼した場合、被呼電話機が空いた時点で、自動的にコールバックされる機能です。

ユーザーが内線キャンブオンを起動すると、システムは被呼電話機をモニタします。被呼電話機が受信可能な状態になると、システムは内線キャンブオン呼を発信します。発呼者は、優先リングングを受信します。次に発呼者が受話器を持ち上げると、被呼者は最初の呼の時と同じリングングを受け取ります。

---

## アナログ電話機の内線キャンブオン

アナログ電話機の使用が発呼し、回線が話中である場合、アナウンスメントが発呼者に数字の 1 を入力して ACB を起動するか、2 を入力して呼をハントグループの内線番号に迂回するように指示します。

---

## 自動保留機能

オペレーターと多機能電話機ユーザーが、2 つ以上の呼を容易に切り替えられる機能です。例えば、自動保留を使用すると、2 番目の着信呼を取った場合、自動的に通話中の呼（もしあれば）を保留の状態にし、2 番目の呼を通話状態にします。この機能はシステム全体でのみ有効にできます。自動保留機能を起動していない場合には、2 番目の呼を選択すると最初の通話接続は切断されます。

---

## Bellcore 方式発信者 ID

システムが発信者名情報を、Bellcore 方式発信者 ID をサポートする地域電話会社（LEC）ネットワークから受け付けることができます。Bellcore 方式発信者 ID が設定されている場合、システムは発信者名情報をそのフォーマットで送出できます。次の発信者 ID プロトコルをサポートします。

- Bellcore（デフォルト） — 米国のプロトコル（212 モデムプロトコルの Bellcore 伝送プロトコル）
- V23-Bell — バーレーンのプロトコル（V.23 モデムプロトコルの Bellcore 伝送プロトコル）

---

## ブリッジコールアピランス — デジタル電話機

一次内線ユーザーの内線番号で発信、または受信する呼を 2 台以上の電話から処理できる機能です。ブリッジコールアピランス（発着信）は、本来の着信先である一次内線とそれに関連するボタン番号を、別の電話機のマルチランプボタンにプログラムすることにより設定できます。この機能が最も多く使われる例は、秘書あるいはアシスタントが一次内線（例えば管理職）への呼に応答したり処理する場合です。

一次内線が呼を受信すると、この機能を設定されているすべての電話機で、ブリッジコールアピランス（発着信）は点滅するか、あるいはベルを鳴らします。呼はこの機能を備えた電話機を持つ人なら誰でも応答することができ、一次内線ユーザーが応答するのと同様に処理することができます。ブリッジド・アピランスの最大数は 64 です。

---

## ブリッジコールアピランス — アナログ電話機

アナログ電話機のユーザーがデジタル電話機上でブリッジド・アピランスをすることができる機能です。

---

### コールカバレッジ

コールカバレッジは、指定の条件にあてはまる呼を、コールカバレッジパス内の代替りの応答ポジションに自動転送できる機能です。次に、カバレッジパスに含まれるものを一覧します。

- 電話機
- 中継台グループ
- サイクリック・ハンティング (UCD)・ハントグループ
- シーケンシャル・ハンティング (DDC)・ハントグループ
- 自動着信分配 (ACD) ハントグループ
- ボイスメッセージングシステム
- 転送された呼に応答するよう設定されたカバレッジ・アンサーグループ (CAG)

---

### 英数字のフィールド表示

主要なシステムリストおよび関連する情報のグループを数値で表示することに加えて、システム管理者は、次のリストとグループに、0 から 15 文字までの英数字の表示を指定できます。

- 短縮ダイヤルリスト
- 短縮ダイヤルグループ
- コールピックアップ・グループ
- コール・ルーティングパターン

---

### 可変カバレッジパス

可変カバレッジパスは、ユーザーが機能特番 (FAC) によってカバレッジポイントを変更できる機能です。

---

## 時刻

ユーザーが曜日および時刻に応じて、複数のカバレッジパスを持てる機能です。

---

## 呼の転送

---

### 可変不在転送話中／不応答

被呼内線が話中、または呼が設定時間内に応答されない場合に呼が転送される機能です。内線が話中の場合には、呼はただちに転送されます。内線が話中ではない場合には、着信呼は被呼内線を呼び出し、設定時間を過ぎても応答されない場合に転送されます。

---

### 可変不在転送

内線、外線番号（オフネット）、中継台または中継台グループに呼を転送できる機能です。特番や一時停止文字のように特別な文字を転送先に含めることができます。

---

### 可変不在転送オーバーライド

転送先内線のユーザーが可変不在転送をオーバーライドして、呼を発信するか、転送元の内線に転送呼を戻す機能です。

---

### 呼転送の間隔

Communication Manager により、システム管理者は、呼が次のカバレッジポイントに行く前に、それぞれのコールカバレッジポイントで呼び出し音を鳴らす回数を指定できます。

---

## コールパーク

ユーザーが呼を保留の状態にして、システムの範囲内で他の電話機から呼に応答する機能です。これは、ユーザーが通話中に情報を求めて別の場所へ移動する必要がある場合に便利です。また、別の電話のユーザーあるいはオペレーターからページング呼び出しを受けた後、どの電話機からでも呼に応答することが可能です。

---

## コールピックアップ

ダイレクトコールピックアップとともに、指定されたコールピックアップ・グループ内の他の電話機への呼に応答できる機能です。ダイレクトコールピックアップ機能を使えば、システムのあらゆる呼がピックアップできます。この機能を使えば、近くの電話機への呼に応答するために自分の電話機から移動する必要がありません。単に設定済みの特番をダイヤルするか、コールピックアップボタンを押すだけです。

---

## グループコールピックアップ

機能特番（FAC）とピックアップグループ番号をダイヤルし、異なるグループからの呼に応答できる機能です。例えば、セールスグループが電話に応答できないとき、マーケティンググループがセールスグループの電話に応答できます。この機能は、異なる部門が同じフロアにあり、仕切りで区切られていない事務所に適しています。

---

## アナログトランクからの発信者 ID

147 ページの「[アナログトランクからの発信者 ID](#)」を参照してください。

---

## デジタルトランクからの発信者 ID

147 ページの「[デジタルトランクからの発信者 ID](#)」を参照してください。

---

## サイクリックステーションハントグループ

68 ページの「[サイクリックステーションハントグループ](#)」を参照してください。

---

## 会議

77 ページの「[会議](#)」を参照してください。

---

## コンサルト

コールカバレッジを介してかかってきた呼に答えた後、カバーユーザーが内密に相談するために被呼者に電話する機能です。コンサルトは例えばカバーユーザーである秘書が、カバレッジコールの本来の被呼先の上司に、発呼者と話をすることを望むかどうか尋ねる場合等に利用します。

---

## カバレッジコールバック

カバーユーザーが、被呼者に、発呼者へ折り返し電話をするようメッセージを残すことができる機能です。

---

## カバレッジ着信呼識別

カバレッジ・アンサーグループ内のディスプレイ付きではないデジタル電話機ユーザーが、そのグループへの着信呼を識別できる機能です。

---

## 不応答呼の切断

あらかじめ設定した時間を経過しても応答されない発信呼を切断します。市内、市外、国際通話の発信中に、次のタイマーのいずれかが時間切れになると、交換機はその呼を切断して話中音にし、その後場合によってはハウラー音を発します。

- 事前ダイヤルおよびデジット間タイマー
- 発信捕捉検知タイマー
- 応答監視タイマー
- ARS 呼の種類に基づく 60、90、120 秒の不応答切断タイマー
- トランクアクセスコード宛ての呼など、呼の種類のない呼に使用される 120 秒タイマー

---

## 個別呼び出し音の設定

呼に応答する前に着信呼のタイプを判別できるように、電話機の呼び出し音を設定したり、アラートリングを起動させる機能です。この機能は Distributed Communications System（分散通信システム）（DCS）環境でも、単一システムの個別呼び出し音の設定機能と同様に機能します。

デフォルトでは内線呼は 1 バースト、外線呼は 2 バースト、優先呼は 3 バーストのリングングパターンで識別しますが、パターンは設定変更できます。

---

## 非特定 IP エンドポイントからの緊急電話

### 注記：

この機能の利用については、お近くのアバヤ販売代理店にお問合せください。

非特定 IP エンドポイントからの緊急電話機能を使うと、内線番号がなくても IP 電話機を登録することができます。同機能は、IP 電話機をターミナルトランスレーションの初期化（TTI）サービスに配置します。ユーザーは機能特番（FAC）をダイヤルし、内線番号を電話機に関連付けるか、電話機から内線番号の関連付けを解除します。

Communication Manager が正しく設定されると、TTI サービスに配置された IP 電話機を使って緊急呼やその他の通話ができるようになります。

---

## 拡張短縮ダイヤル

各システムに 1 つの拡張番号を提供することにより短縮ダイヤルを拡張します。拡張番号のリストには、あらゆる番号やダイヤルアクセスコードを含むことができます。システム管理者は、グループ番号リスト、システム番号リスト、拡張番号リストに特権を指定します。特権リストを使用すれば、制限されている番号にアクセスできます（例えば、長距離アクセス権がない電話機を、指定された長距離番号にアクセスできるようプログラムできます）。

S8700 Media Server は拡張短縮ダイヤルシステムリスト内で 20,000 の番号をサポートします。この 2 番目の拡張短縮ダイヤルリストによって、容量が 10,000 から 20,000 に倍増します。

リストの数を増加することで、将来、簡単に拡張短縮ダイヤルリストを拡張できます。リストの数を増加すると、全体の容量が 10,000 の倍数単位で増加します。

---

## 拡張電話機ディスプレイ

拡張電話機ディスプレイ機能で、Communication Manager ソフトキーおよびディスプレイ電話機に表示したい文字セットを選択できます。標準のローマ字セットに加えて、カタカナまたは大抵の欧州言語で使用される文字のいずれかを選択できます。

---

## Enterprise Wide Licensing

Enterprise Wide Licensing (EWL) は、Communication Manager リリース 3.0 と Remote Feature Activation (RFA) (リモート・フィーチャー・アクティベーション) で使われる技術です。EWL は、拡張ソフトウェアライセンスプログラム (ESLP) として知られる開発オファーに部分的に対応するために使用します。ESLP を使うと、ユーザーは一括購入によって複数のロケーションでライセンス機能を共有できます。

### 注記：

ESLP の提供開始については、後日発表される予定です。

---

## ゴーツーカー機能

ある内線に電話をするシステム内のユーザーが、その電話をカバレッジに直接送信できる機能です。

## 保留

通話中の呼を一時的に中断し、電話機を別の用途に使用して、また元の呼に戻ることができる機能です。

---

## インターカム — 自動応答

インターカムコールへの自動応答（自動応答 ICOM）は、インターカムグループ内のインターカム呼に、インターカムボタンを押さずに応答できる機能です。インターカムコールへの自動応答は、内蔵スピーカ、ヘッドホンまたは外部スピーカフォンの付いたデジタル電話機、BRI 電話機、またはハイブリッド電話機で動作します。

---

## インターナル・オートマチック・アンサー

特定の電話機が、着信内線通話に自動的に応答できる機能です。この機能はスピーカフォンまたはヘッドセットが付いている電話機での使用のために用意されています。電話機が未使用状態の場合に、インターナル・オートマチック・アンサー機能ボタンを押すだけで、呼に自動的に応答できます。内線および Distributed Communications System（分散通信システム）（DCS）の呼にオートマチックアンサーを使って応答できます。ただし、オペレーター宛の外線通話に応答するためにオートマチックアンサーを使うことができるのはオペレーターだけです。

---

## リダイヤル

最後にダイヤルした番号を自動的にリダイヤルできる機能です。システムは、呼が短縮ダイヤル（AD）あるいは手動でダイヤルされたかにかかわらず、最後にダイヤルされた番号の先頭 24 桁を保存します。ユーザーがリダイヤルボタンを押すかリダイヤル機能特番をダイヤルすると、最後にダイヤルされた番号に呼が再発呼されます。

---

## ローカル呼タイマー・オートマチックスタート／ストップ

6400 シリーズ電話機では、呼を着信するとローカルタイマーが自動的にスタートします。呼が終了すると、タイマーは自動的にストップします。呼が保留にされるとタイマーは作動し続けますが、表示はされません。呼の保留が解除されると、トータルの経過時間が表示されます。

---

## 長時間保留警告

呼が一定の時間を超えて保留されている場合、電話機に可視および可聴警報が送られます。電話の受話器が下りている場合、可視および可聴警告の両方が使用されます。電話がオフ・フックになっている場合には、「優先リングング」が使用されます。これはシステムレベルのオプション機能です。

---

## マニュアル・オリジネイティング・ラインサービス

アナログ電話ユーザーがハンドセット（受話器）を持ち上げると、自動的にオペレーターに接続される機能です。オペレーターの番号は短縮ダイヤルリストに保存されています。電話機ユーザーがハンドセット（受話器）を持ち上げると、ホットラインサービス機能を使ってシステムは自動的にオペレーターへ呼を迂回します。

---

## ミスオペレーション処理機能

ミスオペレーションが発生した場合の呼処理を定義します。ミスオペレーションとは、呼を制御しているステーションが受話器を下ろした際に、その呼が保留のままになることです。

例えば、以下のいずれかの状態でミスオペレーションが発生することがあります。

- 機能操作中その操作が完了する前に受話器を下ろした場合（転送のように受話器を下ろすと操作が完了する場合があります）。例えば、ユーザーが呼を保留して呼の転送を開始し、無効な内線番号をダイヤルした後に受話器を下ろすとミスオペレーションが発生します。
- 中継台が呼を保留している間にシステムがナイトサービスに入った場合。

システム管理者は標準ミスオペレーション処理を変更して、誰にも助けを求める方法がないミスオペレーションが発生した後外部の発呼者がずっと保留された状態にならないよう、またシステムから切断（ドロップ）されないように設定できます。

**注記：**

この機能を必要とするのはフランスとイタリアのみですが、機能をオンにしていれば、どこでも使用できます。

---

## コールアピアランスボタン優先指定

選択されたアピアランス上で発呼あるいは応答を行うことができる機能です。

- **リングングアピアランス優先**は、ユーザーがハンドセット（受話器）を持ち上げると、ユーザーを着信リングング呼に自動的に接続します。
- **アイドルアピアランス優先**は、自動的にユーザーを空きアピアランスに接続します。
- **プレセレクション**を使えば、手動でユーザーがアピアランスを選択することができます。例えば、ユーザーが保留された呼と再び通話する、あるいは機能を起動する場合に、プレセレクションが使用されます。

また、プレセレクションは、機能ボタンと一緒に使うことができます。例えば、短縮ダイヤル（AD）ボタンが押されると、コールアピアランス（発着信）が自動的に選択されます。そして、ユーザーが5秒以内にハンドセット（受話器）を持ち上げると、呼は自動的に発信されます。プレセレクションオプションは他の2つの優先オプションより優先されます。

---

## Multiple level precedence and preemption

Multiple level precedence and preemption（MLPP）は、オプションの機能グループです。これにより、Defense Switched Network（DSN）のインタフェースを介して、同ネットワーク内で操作する機能が得られます。DSNは、米国国防総省（DoD）の安全性の高い、標準の通信システムです。

 **注意：**

MLPPは現在、合衆国連邦、州、地方自治体の機関がDSNに接続する際に必要となるDoD GSCR要件にのみ合うよう設計されています。このため、現在のところ一般の企業環境向けには設計されていません。その他のネットワーク環境でこの機能を起動すると、予期せぬ不正な機能の動作を引き起こす場合があります。

MLPP は、危機的な状況の間、ユーザーが呼の優先処理をリクエストできる機能です。MLPP 機能には次の機能が含まれます。

- 「優先コーリングのアナウンスメント」
- 「二重ホーミング」
- 「エンドオフィス・アクセスラインハンティング」
- 「ライン負荷制御」
- 「優先コールウェイティング」
- 「優先コーリング」
- 「優先迂回」
- 「プリエンプション」
- 「国際ナンバリングおよびダイヤリングプラン」

---

## 優先コーリングのアナウンスメント

一定の状況では、リソースの不足または不正な使用のため、優先呼はブロックされます。このような事態が発生した場合、原因を特定するために録音アナウンスメントが使用されます。MLPP に使用されるアナウンスには次の種類があります。

- 優先呼がブロックされた
- 無許可の優先レベルが試された
- サービス中断により、完了呼が妨げられた
- 完全話中、割り込み型または優先コールウェイティングの装置がない
- 使用されていないコード

---

## 二重ホーミング

二重ホーミングにより、ユーザーは電話番号をダイヤルし、最初の迂回路が利用できない場合には、代替ファシリティを使用して宛先に呼を迂回できます。

---

## エンドオフィス・アクセスラインハンティング

エンドオフィス・アクセスラインハンティングは、呼の優先レベルに基づいて、エンドオフィスのアクセスライン上でアイドル状態のトランクを自動的にハントします。

---

## ライン負荷制御

ライン負荷制御は、緊急時や非常時に、あらかじめ設定された 1 組の電話機ユーザーからの発呼を制限する機能です。管理により、相対的な重要性に応じて、ユーザーはライン負荷制御レベルを割り当てられます。非常事態が発生すると、管理者は手動でこの機能を使用可にして、重要性が低いユーザーからの呼を制限します。非常事態が終わると、管理者は手動でこの機能を使用不可にします。

例えば、国防を脅かすような状況が発生すると、国防総省の電話機ユーザーからの発呼は制限されませんが、財務省など他の省内の電話機は制限されます。緊急事態が終わると、管理者はシステムを通常の動作に復帰できます。

---

## 優先コールウェイティング

優先呼が迂回されたときに、被呼者は他の呼ですでに話中である場合があります。優先コールウェイティングにより、発呼者は被呼者の回線に「キャンプオン」し、応答を待つことが可能です。発呼者には特別なリングバックトーン、被呼者にはコールウェイティングトーンが聞こえます。

使用している電話機の種類によっては、被呼者は現在の呼を保留して着信呼に応答できます。それができない場合、発呼者は現在の呼を切断して、着信呼に応答します。

---

## 優先コーリング

優先コーリングは、MLPP 機能の最重要機能です。優先コーリングにより、ユーザーは呼単位で、必要性和重要性（ランク）に基づいて各呼の優先レベルを選択できます。市内通話、国際通話にかかわらず、呼は優先して迂回されます。

発呼するとき、ユーザーは次の 5 つの優先レベルを使用できます。

- Flash Override（点滅オーバーライド [最高の優先レベル]
- Flash（点滅）
- Immediate（即時）
- Priority（優先）
- Routine（通常 [デフォルト、最低の優先レベル]

電話機の各ユーザーは、最大の優先レベルで設定します。ユーザーの重要性またはランクが高ければ高いほど、優先レベルが高くなります。ユーザーは、設定されている最大限のレベル以上の優先レベルで発呼できません。MLPP 以外の呼は、優先レベルが通常の呼として処理されます。

---

## 優先迂回

プライベートネットワーク内の優先呼の着信先が他の交換機である場合、呼の迂回に優先迂回機能が使用されます。優先迂回機能は、次の3つの主要な基準に基づいて呼を迂回します。

- 着信先の番号に基づく迂回
- 優先レベルに基づく迂回
- 時刻に基づく呼の迂回

これらの迂回基準は設定可能で、必要に応じて変更できます。2つの関連する機能は二重ホーミングとエンドオフィス・アクセスラインハンティングです。

---

## プリエンプション

プリエンプション機能は、優先迂回機能とともに動作して、MLPP 機能のコール・ルーティング機能をさらに拡張します。使用可能に設定されている場合、プリエンプション機能は、より重要な優先呼を完了するために、優先度の低い現在の呼を実際に取り除くことができます。MLPP 以外の呼でさえ、通常レベルの優先呼として処理され、優先される場合があります。

この場合、現在の呼の発呼者は、トーンによって呼が差し替えられようとしていることを通知されます。呼が自動的に切断されるまで、3秒間は通話が可能です。現在の呼が切断された後、新規の呼は割り込んだファシリティを使用して発呼されます。

---

## 国際ナンバリングおよびダイヤリングプラン

国際ナンバリングおよびダイヤリングプラン（WNDP）機能により、Communication Manager は、米国防衛通信局（DCA）が確立した標準番号システムに準拠します。WNDP は、優先ダイヤリングの独自の形式を定義します。この番号計画で動作する機能が、国防省電話交換網（DSN）に導入されたすべての新しい交換機に組み込まれている必要があります。

---

## ナイトサービス

ナイトサービスには次の5つの機能があります。

- ハントグループ・ナイトサービス。オペレーターまたはスプリットスーパーバイザーが、ハントグループまたはスプリットをナイトサービスモードに割り当てる機能です。ハントグループへのすべての呼は、ハントグループの指定されたナイトサービス内線に転送されます。ユーザーがハントグループ・ナイトサービスを起動すると、関連するボタンのランプが点灯します。

- 夜間中継台サービス。主中継台および昼間の中継台に対するすべての呼を夜間中継台にまわす機能です。ユーザーが夜間中継台サービスを起動すると、各オペレーターのナイトサービスボタンが点灯し、キューにあるオペレーター宛てのすべての呼（および待機中の呼）が、夜間中継台に転送されます。この機能を起動および起動停止にするには、通常、主中継台または指定されたコンソールのナイトボタンを押します。
- ナイトステーションサービス。オペレーターへの着信呼を指定された内線に転送する機能です。オペレーターは、稼働中の夜間中継台がない場合に、主中継台のナイトボタンを押してナイトステーションサービスを起動できます。ナイトステーションが話中の場合には呼（緊急中継台呼を含む）は話中音を受信します。こうした呼は中継台のキューには入りません。
- 夜間代理応答（TAAS）。オペレーターが非番の時に、他の電話機が呼に応答するように指定されていない場合、電話機ユーザーがオペレーターへのすべての着信呼に応答できる機能です。着信呼は、ゴング、ベルまたはチャイムを起動します。電話機のユーザーは特番をダイヤルして呼に応答します。
- トランクグループ・ナイトサービス。オペレーターまたは指定された電話機ユーザーが、個別にトランクグループを、またはすべてのトランクグループをナイトサービスモードに割り当てることができる機能です。個別にトランクグループ・ナイトサービスに割り当てられた特定のトランクグループは、個別トランク・ナイトサービスモードになります。このトランクグループに入ってくる呼は、指定されたナイトサービス内線に転送されます。他のトランクグループへの着信呼は通常どおりに処理されます。

---

## 拡張ナイトサービス

Communication Manager によって、ボイスメールシステム（VMS）にナイトサービス中であることが知られるので、ボイスメールシステムでは営業時間外に異なる対応、呼処理を行うことができます。例えば、営業時間外には録音されたメッセージを流すよう、ボイスメールシステムを設定することもできます。この機能拡張は、モードコード・ボイスメール・インタフェースを介して行われます。

---

## ライセンスモード

システムには、次の3つのライセンスモードがあります。

- 「[正常ライセンスモード](#)」
- 「[エラーライセンスモード](#)」
- 「[非ライセンスモード](#)」

---

## 正常ライセンスモード

正常ライセンスモードは、安定したシステムの運用に望ましいモードです。この運用モードの間は、ライセンスが正しくインストールされ、ライセンスにプロセッサと一致するシリアル番号が含まれています。ライセンスの有効期限も切れておらず、機能の使用も限界を超えていません。

---

## エラーライセンスモード

エラーライセンスモードは、警告モードです。このモードの間は、呼処理はサポートされ、システムがメジャーアラームを発します。また 6 日間カウントダウンタイマーを実行します。タイマーの期限が切れると、非ライセンスモードが呼び出されます。

エラーライセンスモードは、次のいずれかの状況の結果として生じます。

- 動作中プロセッサのシリアル番号がライセンスファイルと一致しない
- スタンバイのプロセッサと通信できないか、スタンバイプロセッサのシリアル番号がライセンスのシリアル番号と一致しない。
- ライセンスの期限が切れている。
- 機能の使用が限界を超えている。例えば、ライセンスのポート制限で許可された数を超えるポートが変換されている。
- WAN スペアプロセッサまたはサバイバルリモートプロセッサが、主なサービスを提供しているときに、エラーライセンスモードになる。
- ソフトウェアアップグレードの後に、新しいライセンスをインストールしないまま、交換機が初期化された。

エラーライセンスモードは、それを引き起こしたエラーを解決する、または交換機の構成に一致した有効なライセンスをインストールすることで解除されます。

---

## 非ライセンスモード

非ライセンスモードは、アラーム呼や設定された緊急番号への呼を除いて、すべての新しい発信が拒否される状態です。設定された番号への呼を除いて、すべての着信呼も拒否されます。

非ライセンスモードは、次のいずれかの原因の結果として生じます。

- システムにライセンスがインストールされていない。
- ライセンスエラータイマーの期限が切れている。

- サバイバルリモートプロセッサが、拡張インタフェース基板以外に、ポートネットワークにポート基板があることを検出した。
- `reset system 3 preserve-license` コマンドを実行し、トランスレーションのオファークテゴリがライセンスのカテゴリと一致しない。

Communication Manager リリース 2.1 より、非ライセンスモードは、呼処理のロスからユーザーを保護するだけでなく、ソフトウェアコピーの保護機能も提供するようになっています。非ライセンスモードになると、電話機のディスプレイにエラーメッセージが表示され、システム管理が阻止されます。

非ライセンスモードは、それを引き起こしたエラーを解決する、または交換機の構成と一致した有効なライセンスをインストールすることでクリアされます。

---

## パーソナルリングング

特定の電話機のユーザーが、本人への呼び出し音を一意に識別できる機能です。各ユーザーは、多数のリングングパターンから 1 つを選択することができます。8 つのリングングパターンは、3 つのトーンの異なる組合せから成るトーンのシーケンスです。同じエリア内で接近して働いているユーザーは、自分への呼を特定するために、各々異なるリングングパターンを指定することができます。

---

## メッセージ揭示

ほとんどの場合、電話が 2 ～ 3 回鳴った後、誰も応答しなければ、通常、発呼者は被呼者が不在なので、メッセージを残すように伝えるアナウンスメントを聞きます。この時点で、発呼者は、被呼者がいつ電話を返すかわかりません。

揭示メッセージ機能により、Communication Manager ユーザーは不在の理由を発呼者に知らせる機能を利用できます。ユーザーは「休暇中」、「昼食中」など、30 種類のメッセージから選択できます。30 のメッセージのうち、15 は固定されたシステムメッセージで、他の 15 は設定可能（カスタムメッセージ）です。ユーザーが 1 つのメッセージを選択して、機能を起動した後、メッセージは、端末ディスプレイを持つ発呼者にただちに送信されます。

この機能を起動／解除する方法は 2 つあります。1 つはボタンを押す方法、もう 1 つは機能特番を使用する方法です。ユーザーは、本人のディスプレイ電話機、他のユーザーの電話機／中継台、リモートアクセス・トランクから機能特番を使用できます。

---

## 優先電話

特有のシグナルを使って別の電話機を鳴らして、着信呼にただちに対応する必要があることを被呼者に知らせる機能です。被呼者はそれに従って呼を処理できます。優先電話を起動するには、優先電話特番をダイヤルするか機能ボタンを押した後、内線番号を入力します。必要なサービスクラスが電話機に設定されている場合にのみ、優先電話を使用できます。

---

## プルトランスファー

最初の被呼者**または**保留された呼の転送先のうち**どちらか**から転送を完了できる機能です。この機能は、呼処理に適した人に話者を接続するのに便利です。オペレーターの支援は必要なく、呼をリダイヤルする必要もありません。サテライトのワークステーションとは TGU/TGE トランクを介してインタフェースし、TGU/TGE トランクを使用する呼に常に使用できます。

---

## リコールシグナリング

リコールシグナリング機能により、アナログ電話機のユーザーは、呼を保留し、電話機を別の通話に使用して、また元の呼に戻ることができます。

---

## ディクテーションアクセス

リモートアクセスユーザーと着信専用線トランクユーザーを含む電話機ユーザーが、ディクテーション装置にアクセスできる機能です。ディクテーション装置には特番あるいは内線番号をダイヤルすることによりアクセスできます。スタート/ストップ機能は音声あるいはダイヤルでコントロールすることができます。初期起動や再生などの他の機能は追加ダイヤルコードによって制御できます。

---

## リセットシフトコール

ダイヤルした番号が完全話中でカバレッジがない場合、またはダイヤルした番号とカバレッジの両方が完全話中の場合、入力した最後の数字を置き換えることができます。これによって、受話器を下ろしてリダイヤルする代わりに、別の内線番号に発呼できます。リセットシフトコールは電話機間の（内線）呼、およびプライベートネットワーク呼のために起動する機能です。プライベートネットワークトランクは帯域外のシグナリングを使って話中信号を送らなければなりません。

---

## リングバック・キューイング

すべてのトランクが話中である時、呼を順番のあるキュー（ファースト・イン／ファースト・アウト）の中に入れます。発呼を行おうとしている電話機ユーザーは、トランクが利用できる状態になった時自動的にコールバックされ、その際に目安となる3回のバースト信号音を聞きます。

---

## リングカットオフ

デジタル電話機のユーザーが、可聴リングング信号のオン／オフを行うことができる機能です。可視警報は、この機能の影響を受けません。この機能が有効な場合に電話機で鳴るのは、優先（3バースト）リングング、転送通知、インターカムリングおよびマニュアル・シグナリングだけです。内線通話および外線通話は呼び出し音を発しません。

---

## リングング — 呼び出し音の設定

4種類の呼び出し音のうちのいずれかを、電話機の各コールアピアランスに手動または自動で割り当てる機能です。コールアピアランスに割り当てた処理は、自動的にそのブリッジコールアピアランスにそれぞれ割り当てられます。

---

## 呼び出し音オプション

デジタル電話機に別々のパターンの呼び出し音を設定できます。この機能で主に、オフ・フック状態の電話機にかかる呼、またはアイドル状態でアクティブな CALLMASTER 電話機にかかる呼、などの呼び出し音を設定します。

---

## 離席機能（Send All Calls）

割り当て済みのコールカバレッジ転送基準に関係なく、ユーザーが一時的にすべての着信呼をカバレッジに転送することができる機能です。カバーユーザーは、一時的に自分の電話機をカバレッジパスから外すことができます。この機能は、電話機上のボタンまたは特番を使用して起動および起動解除することができます。

---

## スペシャルダイヤルトーン

アナログ電話機が呼を受信できないときに、スペシャルダイヤルトーンを再生する機能を提供します。可変不在転送、話中／不応答転送、離席機能または着信拒否などの機能が電話機で起動しているとき、スペシャルダイヤルトーンは呼を受信できないことを知らせます。

---

## 話中転送（ステーションハンティング）

話中の内線にかかった呼を別の内線に迂回します。話中転送を使用するには、被呼内線が話中の場合に呼を迂回させる順番を制御する話中転送チェーンを作成します。チェーン内の各内線からリンクできるのはすぐ次の内線だけです。ただし、1つの内線には何台の内線からでもリンクできます。

---

## カバレッジ前のステーションハンティング

この機能は、話中転送（ステーションハンティング）をコールカバレッジより優先させます。カバレッジ前のステーションハンティングは、話中の内線への呼がカバレッジに行く前に話中転送プロセスを行うようにします。ハントグループのすべての内線が話中である場合には、呼はカバレッジパスに行きます。

---

## ステーションセルフディスプレイ

ユーザーがオフ・フックの状態では機能特番をダイヤルしたとき、またはオンフックの状態では **INSPECT** ボタンを押したときに、その使用している電話機の内線番号を表示します。ユーザーがダイヤルを始めると、ダイヤルした番号が表示されます。この機能は、工作中デスクを移動する人には便利です。メンテナンス管理者が、内線番号が正しく設定されていることを確認するためにも使用する機能です。

---

## アナログ内線共有

ユーザーは、複数、個別、内線共有の内線を 1 台の物理的な電話機に割り当てることができます。この物理的な電話機はアナログ式で、ローカル交換機に接続されている必要があります。各内線共有の番号について、着信呼の宛先である内線番号を特定できる独特の呼び出し音パターンを、システム管理者が設定できます。例えば大学の寮のルームメイト 3 人が共用している 1 台の電話機に、3 つの内線共有の番号をそれぞれ別々の呼び出し音パターンにして割り当てることができます。この機能は着信呼に対してのみ有効で、発信呼はすべて物理的な内線番号に対応します。

---

## Hewlett Packard DL380G2 サーバーのサポート

Communication Manager は、S8700 IP 接続のシステム構成（G600 Media Gateway 付き S8700 Media Server）の Hewlett Packard（HP）DL380G2 サーバーでサポートされます。

---

## 電話機ディスプレイ

デジタル電話機ユーザーに呼とメッセージに関する最新情報を提供します。この情報はディスプレイ付きの電話機に表示されます。表示される情報は、ユーザーが選択するディスプレイモードにより異なります。多くの呼で、応答するかどうかを判断する基準にできる情報が表示されます。

ユーザーは、英語（デフォルト）、フランス語、イタリア語、スペイン語の4か国語から、ディスプレイメッセージの言語を選ぶことができます。また、メッセージを5番目の言語で表示するようにシステム設定することも可能です。ディスプレイメッセージの言語は各ユーザーが選択します。

---

## 電話機個別機能設定

電話機個別機能設定は、使用する電話機の機能ボタンをユーザーがプログラムできる機能です。

---

## 一時的ブリッジ・アピアランス

同時着信音グループ（TEG）あるいは個人用局線グループ（PCOLG）のデジタル電話ユーザーが、既存のグループコールにブリッジすることができる機能です。呼がコールピックアップ機能を使用して応答された場合、最初の被呼者はその呼へブリッジできます。また、被呼者が応答可能となる前にカバレッジに転送された呼にも被呼者はブリッジできます。

---

## 同時着信音グループ

着呼があったときに、同時に最高4台の電話機のベル（可聴あるいは無音警報）を鳴らすことができます。グループ内のどのユーザーでも呼に答えることができます。どの電話機もグループメンバーとして設定することができます。ただし、ランプをもつ機能ボタンを割り当てることのできるのは、デジタル電話機だけです。

機能ボタンにより、発呼のためではなく、現在の呼への応答あるいはブリッジのためにユーザーは同時着信音グループコールアピアランス（発着信）を選択できます。例えば、大型店舗のある部門に3台の電話があるとします。課の中の誰でも呼に答えることができます。その呼に対応するのに最も適切な販売員が、その呼にブリッジすることができます。

---

## 時刻迂回機能

**ARS** および **AAR** 呼の最も経済的な迂回方法です。この迂回は、発呼の時刻と曜日に基づきます。各曜日につき 1 日最高 6 回まで変更できる、最高 8 つの TOD（時間別）迂回計画を設定できます。

これにより、特定の曜日および特定の時刻に安い電話料金を利用することができます。また、異なる時間帯に拠点がある会社は、時刻または曜日に応じて安い料金の場所を利用できます。この機能を利用して、オフィスが閉まっている間パターンを変更して不正な呼を低減あるいは排除することもできます。

---

## 発信トランクコールの時間超過自動切断

この機能により、設定された時間が経過した後、発信トランクコールは自動的に切断されます。トランクを切断する前に、呼の参加者全員に警告のトーンを発します。

トランクが切断されるまでの時間の長さは、2 分から 999 分の間に指定できます。タイマーのフィールドが空白（デフォルト値）の場合、機能は無効になり、トランクは自動的に切断されません。

時間超過の呼の切断は、指定された接続制限クラス（COR）に属する話者が発呼するすべての発信トランクコールに適用されます。

トランクを切断する前に、呼の参加者全員に警告のトーンを発します。呼の残り時間が 1 分になると、最初の警告のトーンが流れます。呼の残り時間が 30 秒になると、2 回目の警告のトーンが流れます。

---

## 転送

電話ユーザーがオペレーターを介さずに、外線通話あるいは内線通話をシステム内の他の電話に渡すことができる機能です。この機能は呼を処理するのに適した人に発呼者を接続するのに便利です。

---

## 転送の中止

ユーザーがアイドルでないラインアピランスを押すことによって、転送を中止できる機能です。転送中の呼は、転送タイプの保留から解除され、従来の保留にされます。交換機で「ハングアップによる転送」が起動されていない場合、受話器を下ろすと（オンフック状態になると）転送は中止されます。これはシステムレベルのオプション機能です。

---

## 転送 — 発信トランクから発信トランクへ

ユーザーまたはオペレーターが2つ以上の発信トランクコールを発呼し、次にそれらのトランクコールと一緒に転送することができる機能です。転送操作は最初のユーザーを接続から切り離し、発信トランクを会議させます。あるいは、制御している話者が発信トランクとの電話会議を設定してから会議から抜けて、発信トランクだけを会議に残すこともできます。これはトランク間転送のオプションの拡張方法であり、注意深く管理および使用することが必要です。DCS トランクターンアラウンド（トランクの発着信切替）の方が、この機能より安全な方法であると考えられます。

---

## 転送呼返し

応答されない転送呼を転送者に返します。転送呼返しは優先警告シグナルを使い、電話機のディスプレイは「rt」を表示して、転送先で応答されずに呼が返されたことを示します。

---

## ハングアップによる転送

転送ボタンを再び押すかわりに受話器を下ろす（ハングアップ）ことによって呼を転送する機能を提供します。転送ボタンを押し、転送先の電話番号をダイヤルし、受話器を下ろします。これはシステムレベルのオプション機能です。従来のように、転送ボタンをもう一度押して呼を転送することもできます。

---

## トランク間転送

オペレーターあるいは電話ユーザーが、着信トランクコールを発信トランクコールに接続できる機能です。この機能は、システム外の発呼者が、ユーザーあるいはオペレーターに電話をかけて、別の外部の番号へ転送を頼む場合に特に便利です。例えば、出張中の職員が外から電話をかけて、その呼を別の場所に転送してもらうことができます。切断監視が行われない局用交換機トランクからの着信呼が、発信トランクや切断監視が行われない他の局用交換機着信トランクへ転送されて呼の行方がわからなくなることがないように、システムが制御しています。

---

## トランク・フラッシュ

トランク・フラッシュを使うと、多機能電話機または中継台の機能ボタンをフラッシュボタンとして割り当てることができます。トランク（トランク・フラッシュの有効設定が前提条件）との接続中にこのボタンを押すと、システムは接続トランクを介してフラッシュ信号を送信します。

トランク・フラッシュ機能によって、**Communication Manager** を実行するシステムが接続されている局用交換機カスタムサービスに、多機能電話機からアクセスできます。これらのサービスは会議や転送などの電子的機能で、トランクコール通話中のシステム電話機から、一連のフラッシュ信号およびダイヤル信号によってアクセスします。

また、このトランク・フラッシュ機能によって、システムに接続されているトランク回線数を減らすことができます。イタリアおよび英国で使用されている「**Digit 1 as Flash**（1 をフラッシュとして使用）」は、このアプリケーションではフラッシュボタンとしては機能しません。

# 索引

## 数字

|                |     |
|----------------|-----|
| 2B チャンネル転送     | 73  |
| 2 回呼び、モーニングコール | 93  |
| 3 者会議          | 77  |
| 6 者会議          | 77  |
| 800 番サービストランク  | 148 |
| 802.1p/Q       | 157 |

## A

|                                                                |          |
|----------------------------------------------------------------|----------|
| AAR、「自動迂回機能 (AAR)」を参照                                          |          |
| AAR/ARS、「自動迂回機能 (AAR/ARS)」を参照                                  |          |
| AAS、「連続オートイン・スプリット (AAS)」を参照                                   |          |
| ACB、「内線キャンブオン (ACB)」を参照                                        |          |
| ACD、「自動着信分配 (ACD)」を参照                                          |          |
| ACTR、「電話機の自動移設 (ACTR)」を参照                                      |          |
| ACW、「後処理 (ACW)」を参照                                             |          |
| AD、「短縮ダイヤル (AD)」を参照                                            |          |
| Advanced Encryption Standard (AES)                             | 161, 195 |
| 暗号化アルゴリズム、ベアラチャネル用                                             | 195      |
| AE Services、「Application Enablement Services (AE Services)」を参照 |          |
| AEA、「Avaya Encryption Algorithm (AEA)」を参照                      |          |
| AES、「Advanced Encryption Standard (AES)」を参照                    |          |
| ALI、「自動位置情報 (ALI)」を参照                                          |          |
| ANI、「自動番号識別 (ANI)」を参照                                          |          |
| AOC、「課金情報通知 (AOC)」を参照                                          |          |
| API、「アプリケーション・プログラミング・インタフェース (API)」を参照                        |          |
| APLT、「アドバンスド・プライベートライン・ターミネーション (APLT)」を参照                     |          |
| Application Enablement Services (AE Services)                  | 37       |
| ソフトウェアのみのオプション                                                 | 37       |
| バンドルしたサーバーのオプション                                               | 38       |
| ARS、「自動迂回機能 (ARS)」を参照                                          |          |
| ASA、「平均応答時間 (ASA) ルーティング」を参照                                   |          |
| ASAI、「アジャクト／スイッチアプリケーションインタフェース (ASAI)」を参照                     |          |
| ASCII 文字セット                                                    | 94       |
| ASI、「アプリケーションサーバー・インタフェース (ASI)」を参照                            |          |
| ATM-CES、「非同期転送モード (ATM)」、「回線エミュレーションサービス (ATM-CES)」を参照         |          |
| ATM-PNC、「非同期転送モード (ATM)」、「ポートネットワーク接続 (PNC)」を参照                |          |

## AUDIX

|                                                                      |          |
|----------------------------------------------------------------------|----------|
| AUDIX のワンステップ録音                                                      | 110      |
| EMBEDDED                                                             | 106      |
| INTUITY                                                              | 108      |
| メールボックス                                                              | 106      |
| AUX トランク                                                             | 137      |
| Avaya Business Advocate                                              | 61       |
| VuStats                                                              | 76       |
| 拡張機能                                                                 |          |
| 稼働率割当                                                                | 62       |
| 最少実稼働エージェント (LOA)                                                    | 71       |
| 自動リザーブエージェント                                                         | 61       |
| スキルによるコール選択オーバーライド                                                   | 61       |
| ダイナミックな稼働率調整                                                         | 61       |
| ダイナミックなキューポジション                                                      | 61       |
| ダイナミックなしきい値調整                                                        | 61       |
| 待ち時間オーバーによるリザーブエージェント起動                                              | 62       |
| ログイン Advocate エージェントカウント                                             | 62       |
| Avaya Communication Manager                                          | 33       |
| Configuration Manager                                                | 222      |
| Fault/Performance Manager                                            | 222      |
| Octel と OSIG の統合                                                     | 169      |
| PC Console                                                           | 89       |
| 概要                                                                   | 33       |
| Avaya Directory Enabled Management (DEM)                             | 110, 224 |
| Avaya Encryption Algorithm (AEA)                                     | 161, 195 |
| Avaya IA770 INTUITY AUDIX メッセージングアプリケーション (INTUITY AUDIX LX - Linux) | 109      |
| Avaya Installation Wizard                                            | 34       |
| Avaya Integrated Management                                          | 222, 224 |
| Avaya Interactive Response (IR)                                      | 105      |
| Avaya IP Agent                                                       | 87       |
| Avaya IP Softphone                                                   | 87       |
| ポケットコンピュータ                                                           | 88       |
| Avaya Site Administration                                            | 223      |
| Avaya SoftConsole                                                    | 89       |
| Avaya Virtual Routing                                                | 63       |
| Avaya VoIP Monitoring Manager (VMON)                                 | 151, 223 |
| Avaya Wireless Telephone Solutions (AWTS)                            | 120      |
| Avaya コールセンター                                                        |          |
| Avaya G700 Media Gateway でサポートされる機能                                  | 62       |
| エリート                                                                 | 63       |
| 基本                                                                   | 62       |
| デラックス                                                                | 63       |
| Avaya コールマネージメントシステム (CMS)                                           | 63, 220  |
| ATM 測定                                                               | 68, 133  |
| CMS への二重リンク                                                          | 69       |
| リモートポートネットワークのための設置場所統計                                              | 76       |

## 索引

Avaya コンピュータテレフォニー . . . . . 53  
Avaya セルラー内線 . . . . . 120  
PBX 外部の電話機 (OPS) . . . . . 121  
Avaya 統合管理 . . . . . 223  
AWOH、「架空内線 (AWOH)」を参照  
AWTS、「Avaya Wireless Telephone Solutions (AWTS)」を参照

## B

BCD 符号化 . . . . . 94  
BCMS、「ベーシックコールマネジメントシステム (BCMS)」を参照  
Bellcore 方式発信者 ID . . . . . 97, 147, 229  
Blockage study report . . . . . 215  
BRI、「基本インタフェース (BRI)」を参照  
BRI エンドポイントへの課金情報通知 . . . . . 209  
BSR、「ベストサービス・ルーティング (BSR)」を参照

## C

CAC、「呼受け付け制御 (CAC)」を参照  
CAG、「カバレッジ・アンサーグループ (CAG)」を参照  
Cajun Rules . . . . . 158  
CAMA、「米国局用交換機課金システム (CAMA)」を参照  
Camp-on/Busy-out . . . . . 157  
CAS、「中央中継台 (CAS)」を参照  
CCMS、「制御チャネル・メッセージ・セット (CCMS)」を参照  
C-CRON、「コールカバレッジリモートオフネット (C-CRON)」を参照  
CCSA、「米国大型顧客向け専用線サービス (CCSA)」を参照  
CDR、「課金データ (CDR)」を参照  
CES、「回線エミュレーションサービス (CES)」を参照  
CESID、「緊急呼発信者 ID (CESID)」を参照  
CIDR、「クラスレスドメイン間ルーティング (CIDR)」を参照  
CINFO、「呼情報転送 (CINFO)」を参照  
CISC、「呼独立シグナリング接続 (CISC)」を参照  
CLAN、「Control LAN (CLAN)」を参照  
CMS、「コールマネジメントシステム (CMS)」を参照  
CMS への二重リンク . . . . . 69  
CO、「局用交換機 (CO)」を参照  
CODEC (変調復調プロトコル) . . . . . 158  
Control LAN (CLAN)  
負荷バランス調整 . . . . . 157  
複数ネットワークリジョン . . . . . 155, 192  
Conversant® . . . . . 105  
COR、「接続制限クラス (COR)」を参照  
COS、「サービスクラス (COS)」を参照  
Coverage points report . . . . . 215  
CPM、「接続保持移行 (CPM)」を参照  
CPN、「被呼者番号 (CPN)」を参照  
CSS、「センターステージ・スイッチ (CSS)」を参照  
CTI、「コンピュータテレフォニー統合 (CTI)」を参照

CVLAN . . . . . 38  
CWC、「コールワークコード (CWC)」を参照

## D

DAA、「ダイレクト・エージェント・アナウンスメント (DAA)」を参照  
DCS、「Distributed Communications System (分散通信システム) プロトコル」を参照  
DCS+、「Distributed Communications System plus (分散通信システムプラス) (DCS+)」を参照  
DDC、「シーケンシャル・ハンティング (DDC)」を参照  
Defense Switched Network (DSN) . . . . . 238  
DEFINITY LAN ゲートウェイ (DLG) . . . . . 40  
DEFINITY® ワイヤレスビジネスシステム (DWBS) . 120  
DEM、「Avaya Directory Enabled Management (DEM)」を参照  
DID、「ダイレクトインダイヤル (DID)」を参照  
DiffServ . . . . . 158  
サービスの種類の値 . . . . . 154  
DIOD、「PBX ダイアルイン (DIOD)」を参照  
Distributed Communications System (分散通信システム) プロトコル . . . . . 151, 167, 172, 234, 236  
ISDN-PRI D チャネルアクセス . . . . . 152  
イタリヤ . . . . . 98, 152  
再迂回機能付き . . . . . 152  
自動回路保証 . . . . . 151, 212  
中継台の機能 . . . . . 44, 151  
中継台間コール . . . . . 45  
直接トランクグループ捕捉 . . . . . 45, 151  
ディスプレイ . . . . . 49, 151  
トランクグループ制御 . . . . . 44  
Distributed Communications System plus (分散通信システムプラス) (DCS+) . . . . . 152  
DIVA、「データ・イン/音声応答 (DIVA)」を参照  
DLG、「DEFINITY LAN ゲートウェイ (DLG)」を参照  
DLG、「同時常駐 DEFINITY LAN ゲートウェイ (DLG)」を参照  
DNIS、「被呼先電話番号通知サービス (DNIS)」を参照  
DPE、「ダイヤルプラン拡張 (DPE)」を参照  
DS1、「デジタルサービス 1 (DS1)」を参照  
DSN、「Defense Switched Network (DSN)」を参照  
DWBS、「DEFINITY® ワイヤレスビジネスシステム (DWBS)」を参照

## E

E&M シグナリングー連続およびパルス式 . . . 100, 139  
E1 デジタルインタフェース . . . . . 134, 147  
E911 . . . . . 139, 206  
E911 ELIN、IP 配線接続された内線番号 . . . . . 121  
EAS、「エキスパート・エージェント・セクション (EAS)」を参照  
EC500、「Avaya セルラー内線」を参照  
ECS、「Enterprise Communication Server (ECS)」を参照  
ECT、「ETSI Explicit Call Transfer (ECT) シグナリング」を参照

EIW、「電子ブレインストレーション・ワークシート (EIW)」を参照  
 EMBEDDED AUDIX .....106  
 Emergency and journal reports .....215  
 Enterprise Communication Server (ECS) .....100  
 Enterprise Wide Licensing (EWL) .....235  
 EPN、「拡張ポートネットワーク (EPN)」を参照  
 EPSCS、「拡張専用線サービス (EPSCS)」を参照  
 ESLP、「拡張ソフトウェアライセンスプログラム (ESLP)」を参照  
 ESM、「拡張サービスモジュール (ESM)」を参照  
 ESMによるデータ会議 (T.120) .....83, 181  
 ESS、「エンタープライズサバイバルサーバー (ESS)」を参照  
 ETN、「電子タンデムネットワーク (ETN)」を参照  
 ETSI Explicit Call Transfer (ECT) シグナリング ..... 72  
 ETSI 機能 .....140  
 EU .....127  
 EWL、「Enterprise Wide Licensing (EWL)」を参照  
 EWT、「予想待ち時間 (EWT) ルーティング」を参照

## F

FAC、「機能特番 (FAC)」を参照  
 Fax Extended Dialing (FED) .....110  
 FAX、インターネットプロトコル (IP) 上の送受信 .....160  
 feature plus .....141  
 FED、「Fax Extended Dialing (FED)」を参照  
 FIFO、「ファースト・イン/ファースト・アウト (FIFO)」を参照  
 FX、「米国フォーリンエクスチェンジ (FX)」を参照

## G

Gateway Installation Wizard (GIW) ..... 36  
 GIW、「Gateway Installation Wizard (GIW)」を参照

## H

H.248 ゲートウェイの主サーバー自動フォールバック .....189  
 H.248 メディアゲートウェイ制御 .....129  
 H.248 メディアゲートウェイの接続保持フェイルオーバー/フェイルバック .....190  
 H.248 リンク暗号化 .....198  
 H.323 トランク .....135  
 HP DL380G2 サーバー、サポート .....248  
 Hunt group measurements report .....215

## I

ICC、「内線通話コントローラ (ICC)」を参照  
 ICLID、「発信者 ID (ICLID)」を参照  
 IGAR、「ゲートウェイ間迂回機能 (IGAR)」を参照  
 IGC、「ゲートウェイ間コール (IGC)」を参照

## INTUITY

AUDIX .....108  
 Conversant® .....105  
 コール・アカウンティング・システム .....111  
 ロジック .....111  
 コール・アカウンティング・システム .....112  
 INTUITY AUDIX 内蔵 S8100 Media Server .....109  
 IP Softphone と IP Agent  
 共有コントロールモード .....88, 226  
 テレコミュタモード .....88, 226  
 ロードウォリアーモード .....88, 225  
 IP 過負荷制御 .....158  
 IP 電話機構成ファイルのセキュリティ .....201  
 IP 電話機登録/H.323 シグナリングチャネルのセキュリティ .....201  
 IP 電話機の E911 デバイス位置 .....122  
 IP パケットモニター .....199  
 ISDN

ETSI 機能 .....140  
 feature plus .....141  
 TN556C の NT インタフェース .....143  
 基本インタフェース (ISDN-BRI) .....141  
 キューツーベスト ISDN サポート .....71  
 コールバイコール・サービス選択 .....140  
 自動端末終端点識別子 (TEI) .....140  
 トランク .....139  
 表示規制 .....143  
 ファシリティおよびノン・ファシリティ・アソシエイト・シグナリング .....141  
 複数加入者番号 (MSN) .....142  
 ワイドバンドスイッチング .....143

ISDN、「総合デジタルサービス網 (ISDN)」を参照

ISDN-BRI、「統合サービスデジタル網 (ISDN)」、  
 「基本インタフェース (ISDN-BRI)」を参照

ISO、「国際標準化機構 (ISO)」を参照

## J

JAVA テレフォニー・アプリケーション・プログラミング・インタフェース (JTAPI) .....40  
 JTAPI、「Java テレフォニー・アプリケーション・プログラミング・インタフェース (JTAPI)」を参照

## L

LAI、「ルックアヘッド・インターフロー (LAI)」を参照  
 LDAP、「Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)」を参照  
 LEC、「地域電話会社 (LEC)」を参照  
 Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) .....224  
 Linux プラットホーム  
 時刻同期 .....221  
 LOA、「最少実稼働エージェント (LOA)」を参照  
 LSP、「ローカルサバイバルプロセッサ (LSP)」を参照  
 LWC、「メッセージ機能 (LWC)」を参照

## M

|                                                           |     |
|-----------------------------------------------------------|-----|
| Message Sequence Tracer (MST)                             | 114 |
| MFP、「マルチ周波数パケット (MFP) シグナリング — ロシア」を参照                    |     |
| MLPP、「Multiple level precedence and preemption (MLPP)」を参照 |     |
| MMCH、「マルチメディア呼処理 (MMCH)」を参照                               |     |
| MMCX、「マルチメディア・コミュニケーション・エクスチェンジ (MMCX)」を参照                |     |
| MoIP、「モデムオーバー IP (MoIP)」を参照                               |     |
| MSI、「メーカー特有情報 (MSI)」を参照                                   |     |
| MSN、「複数加入者番号 (MSN)」を参照                                    |     |
| MST、「Message Sequence Tracer (MST)」を参照                    |     |
| Multiple level precedence and preemption (MLPP)           | 238 |
| アナウンスメント、優先コーリング                                          | 239 |
| エンドオフィス・アクセスラインハンティング                                     | 239 |
| 国際ナンバリングおよびダイヤリングプラン (W NDP)                              | 241 |
| 二重ホーミング                                                   | 239 |
| ブリエンプション                                                  | 241 |
| 優先迂回                                                      | 241 |
| 優先コーリング                                                   | 240 |
| 優先コールウェイティング                                              | 240 |
| ライン負荷制御                                                   | 240 |
| Multi-Tech ゲートウェイのサポート                                    | 36  |
| MWI、「メッセージ・ウェイティング・ランプ (MWI)」を参照                          |     |

## N

|                                         |        |
|-----------------------------------------|--------|
| NAPT、「ネットワークアドレスポート変換 (NAPT)」を参照        |        |
| NAT、「ネットワークアドレス変換 (NAT)」を参照             |        |
| NCR、「Network Call Redirection (NCR)」を参照 |        |
| Network Call Redirection (NCR)          | 53, 72 |
| 2B チャネル転送                               | 73     |
| Network Region Wizard (NRW)             | 130    |
| NRW、「Network Region Wizard (NRW)」を参照    |        |

## O

|                                   |          |
|-----------------------------------|----------|
| Octel の統合                         | 115, 169 |
| OPS、「PBX 外部の電話機 (OPS)」を参照         |          |
| OSI、「オープン・システム・インターコネクト (OSI)」を参照 |          |
| Overall Loudness Rating           | 135      |

## P

|                            |          |
|----------------------------|----------|
| Packet error history       | 215      |
| PASTE                      | 73       |
| PAT、「ポートアドレスヘンカン (PAT)」を参照 |          |
| PBX 外部の電話機 (OPS)           | 121      |
| PBX ダイアルイン (DIOD)          | 139, 149 |

PC Application Software Translation Exchange、「PASTE」を参照

PCOL、「個人用局線 (PCOL)」を参照

PMS、「プロパティ・マネージメント・システム (PMS)」を参照

PNA、「プライベート・ネットワーク・アクセス (PNA)」を参照

PNC、「ポートネットワーク接続 (PNC)」を参照

Port network and link usage report 215

PPM、「周期パルス計測 (PPM)」を参照

PPN、「プロセッサ・ポートネットワーク (PPN)」を参照

PRI、「一次群インタフェース (PRI)」を参照

Processor occupancy report 216

PSA、「パーソナル・ステーションアクセス (PSA)」を参照

PSTN、「公衆電話網 (PSTN)」を参照

PVP、「パーマネントバーチャルパス (PVP)」を参照

## Q

|                                         |          |
|-----------------------------------------|----------|
| QoS                                     | 154, 156 |
| 802.1p/Q                                | 157      |
| Cajun Rules によるインテグレーション                | 158      |
| CODEC (変調復調プロトコル)                       | 158      |
| DiffServ                                | 158      |
| RSVP                                    | 159      |
| VoIP の                                  | 159      |
| エンドポイントへの                               | 159      |
| 可変長 ping                                | 166      |
| 可変長サブネットマスク (VLSM)                      | 166      |
| 呼制御                                     | 159      |
| シャプリングとヘアピン接続                           | 162      |
| ダイナミックジッターバッファ                          | 158      |
| QSIG                                    | 140      |
| Avaya Communication Manager と Octel の統合 | 169      |
| VALU                                    | 171      |
| コールカバレッジ                                | 171      |
| コールカバレッジと CAS                           | 171      |
| 識別呼び出し                                  | 172      |
| 概要                                      | 166      |
| 可変不在転送 (迂回転送)                           | 167      |
| 完了呼                                     | 167      |
| 基本                                      | 166      |
| コールオファ                                  | 167      |
| 呼独立シグナリング接続 (CISC)                      | 167      |
| 個別動作パス再接続機能                             | 171      |
| サブリメンタリーサービスと再迂回機能                      | 171      |
| 接続制限クラス (COR)                           | 168      |
| 中央中継台 (CAS)                             | 168      |
| RLT エミュレーション、PRI                        | 169      |
| 中継台リターンコール                              | 168      |
| 優先キュー                                   | 168      |
| 転送                                      | 168      |
| 名前/電話番号識別                               | 170      |
| パス接続保持付きパス再接続機能                         | 170      |
| 被呼者名 ID                                 | 168      |
| ボイスメールに接続後のパス最適化                        | 170      |

|                                   |               |
|-----------------------------------|---------------|
| メーカー特有情報 (MSI) . . . . .          | 169           |
| メッセージ・ウェイティング・ランプ (MWI) . . . . . | 169           |
| メッセージ機能 (LWC) . . . . .           | 112           |
| ユニコードサポート . . . . .               | 90            |
| <b>QSIG/DCS</b>                   |               |
| ボイスメール接続 . . . . .                | 115, 152, 170 |
| メッセージ機能 (LWC) . . . . .           | 112           |

## R

|                                                |     |
|------------------------------------------------|-----|
| Recent change history report . . . . .         | 216 |
| RedSky Technologies、「IP 電話機の E911 デバイス位置」を参照   |     |
| Refresh route report . . . . .                 | 216 |
| Resource Reservation Protocol (RSVP) . . . . . | 159 |
| RLT、「リリースリンクトランク (RLT)」を参照                     |     |
| RSVP、「Resource Reservation Protocol (RSVP)」を参照 |     |

## S

|                                           |     |
|-------------------------------------------|-----|
| SBS、「ベアラとシグナリングの分離 (SBS)」を参照              |     |
| SIP、「セッション開始プロトコル (SIP)」を参照               |     |
| SMS、「System Management Service (SMS)」を参照  |     |
| SREPN、「サバイバルリモート拡張ポートネットワーク (SREPN)」を参照   |     |
| SSH/SFTP、「セキュアシェルとセキュア FTP (SSH/SFTP)」を参照 |     |
| Suite Check-In . . . . .                  | 95  |
| Summary report . . . . .                  | 216 |
| SVC、「スイッチドバーチャルサーキット (SVC)」を参照            |     |
| SVN、「セキュリティ違反通知 (SVN)」を参照                 |     |
| System Management Service (SMS) . . . . . | 39  |

## T

|                                                         |          |
|---------------------------------------------------------|----------|
| T.120 プロトコル . . . . .                                   | 83, 181  |
| T1 デジタルインタフェース . . . . .                                | 134, 148 |
| Tandem traffic report . . . . .                         | 216      |
| TDD、「聾啞者用通信機 (TDD)」,「TTY」を参照                            |          |
| TDM ステーションと TDM トランクの個別ライセンス                            | 134      |
| TEI、「自動端末終端点識別子 (TEI)」を参照                               |          |
| Telephony Service (TS) . . . . .                        | 38       |
| TN464GP/TN2464BP 汎用 DS-1 基板 . . . . .                   | 134      |
| TN787 . . . . .                                         | 83, 181  |
| TN556C 基板 . . . . .                                     | 143      |
| TN556C の NT インタフェース . . . . .                           | 143      |
| TOS、「Type-Of-Service (TOS)」を参照                          |          |
| Traffic report . . . . .                                | 216      |
| TransTalk 9000 デジタルワイヤレスシステム . . . . .                  | 124      |
| Tripwire セキュリティ . . . . .                               | 203      |
| TS、「Telephony Service (TS)」を参照                          |          |
| TSAPI、「テレフォニー・サービス・アプリケーション・プログラミング・インタフェース (TSAPI)」を参照 |          |
| TSC、「一時シグナリング接続 (TSC)」を参照                               |          |
| TTC Q931a 専用線プロトコルのサポートー 日本                             | 99, 143  |

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| TTI、「ターミナルトランスレーションの初期化 (TTI)」を参照   |     |
| TTTN、「タンデム専用線トランク・ネットワーク (TTTN)」を参照 |     |
| TTY . . . . .                       | 163 |
| Avaya IP トランク上 . . . . .            | 165 |
| アナログおよびデジタルトランク上 . . . . .          | 165 |
| 中継モード . . . . .                     | 165 |
| パススルーモード . . . . .                  | 165 |
| Type-Of-Service (TOS) . . . . .     | 158 |

## U

|                                |          |
|--------------------------------|----------|
| UCD、「サイクリック・ハンティング (UCD)」を参照   |          |
| UDP、「ユニフォーム・ダイヤルプラン (UDP)」を参照  |          |
| UDS1 基板、エコーキャンセル機能付き . . . . . | 134, 147 |
| UNIX プラットホーム                   |          |
| 時刻同期 . . . . .                 | 221      |
| User Service . . . . .         | 39       |
| UUCSSpp アドレス指定 . . . . .       | 28       |
| UII、「ユーザー間情報 (UII)」を参照         |          |

## V

|                                                     |          |
|-----------------------------------------------------|----------|
| VCO、「Voice Carry Over (VCO)」を参照                     |          |
| VDN、「ベクターディレクトリ番号 (VDN)」を参照                         |          |
| VIAS、「ビジュアリー・インペアド・アテンダント・サービス (VIAS)」を参照           |          |
| VIP モーニングコール . . . . .                              | 95       |
| VLSM、「可変長サブネットマスク (VLSM)」を参照                        |          |
| VMON、「Avaya VoIP Monitoring Manager (VMON)」を参照      |          |
| Voice Announcement over LAN (VAL) Manager . . . . . | 223      |
| Voice Carry Over (VCO) . . . . .                    | 164      |
| VoIP Monitoring Manager (VMON) . . . . .            | 151, 223 |
| VRI、「音声応答インテグレーション」を参照                              |          |
| VuStats . . . . .                                   | 76       |
| サービスレベル . . . . .                                   | 76       |
| ログイン ID . . . . .                                   | 76       |

## W

|                                       |          |
|---------------------------------------|----------|
| WAN スペアプロセッサ (WSP) . . . . .          | 128, 193 |
| マネージャー . . . . .                      | 127, 222 |
| WATS、「米国広域電信サービス (WATS)」を参照           |          |
| WNDP、「国際ナンバリングおよびダイヤリングプラン (WNDP)」を参照 |          |
| WSP、「WAN スペアプロセッサ (WSP)」を参照           |          |

## X

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| Xiox Call Accounting . . . . . | 96  |
| X-station mobility . . . . .   | 125 |
| XXXVSp アドレス指定 . . . . .        | 28  |

## あ

|                                               |         |
|-----------------------------------------------|---------|
| 相手方のミュート、「会議のミュート操作の選択」を参照                    |         |
| アクセス、中継台への～                                   | 43      |
| アクセス・セキュリティ・ゲートウェイ                            | 195     |
| アクティブダイヤリング                                   | 228     |
| アジャнкт／スイッチアプリケーションインタ<br>フェース (ASAI)         | 40      |
| 外部装置ルーティング、Network Call Redirection のサ<br>ポート | 53      |
| ダイレクト・エージェント・アナウンスメント<br>(DAA)                | 54      |
| 同時常駐 DEFINITY LAN ゲートウェイ (DLG)                | 54      |
| トランクグループ識別                                    | 55      |
| フレキシブルな課金                                     | 54      |
| 保留ワークモード変更                                    | 55      |
| ユーザー間情報 (UII)                                 | 55      |
| 後処理 (ACW)                                     | 68      |
| アドバンスド・プライベートライン・ターミネーション<br>(APLT)           | 137     |
| アドレス／位置指定                                     |         |
| 基板                                            | 28      |
| メディアモジュール                                     | 28      |
| アナウンスメント                                      | 208     |
| Voice Announcement over LAN (VAL) Manager     | 223     |
| 複数保留音源                                        | 219     |
| 優先コーリング                                       | 239     |
| アナウンスメント／音楽のローカル音源                            | 72      |
| アナログ                                          |         |
| CAMA - E911 Trunk Group (トランクグループ)            | 206     |
| TTY、アナログトランク上                                 | 165     |
| アナログ内線共有                                      | 248     |
| アバイアのサポートウェブサイト                               | 31      |
| アプリケーションサーバー・インタフェース<br>(ASI)                 | 82, 178 |
| アプリケーション・プログラミング・インタフェース<br>(API)             | 37      |
| ASAI (アジャнкт／スイッチアプリケーション<br>インタフェース)         | 40      |
| JTAPI                                         | 40      |
| TSAPI                                         | 41      |
| デバイスおよびメディア制御 API                             | 39      |
| 暗号化アルゴリズム、ベアラチャネル用                            | 195     |

## い

|                                                              |          |
|--------------------------------------------------------------|----------|
| イタリアの Distributed Communications System (分散通信<br>システム) プロトコル | 98, 152  |
| 一次群インタフェース (PRI)                                             | 133, 139 |
| 一時シグナリング接続 (TSC)                                             | 167      |
| 一時的ブリッジアピランス                                                 | 249      |
| 一般迂回機能                                                       | 185      |
| 一般会議呼 (GCC)                                                  | 83, 181  |

|                           |               |
|---------------------------|---------------|
| インターカム                    |               |
| オートマチックアンサー               | 84, 236       |
| 自動                        | 84            |
| ダイヤル (発信音)                | 85            |
| インターナル・オートマチック・アンサー       | 236           |
| インターネット上の T.38 FAX        | 161           |
| インターネットプロトコル (IP)         | 129, 135, 153 |
| Avaya Softphone           | 87, 226       |
| ポケットコンピュータ                | 88            |
| FAX 送受信                   | 160           |
| H.323 トランク                | 135           |
| TTY、Avaya IP トランク上        | 165           |
| TTY 中継モード                 | 165           |
| TTY パススルーモード              | 165           |
| インターネット上の T.38 FAX        | 161           |
| トランク                      | 135           |
| 非同期リンク                    | 177, 218      |
| ポートネットワーク接続 (PNC)         | 130           |
| レポート                      | 215           |
| ロググループ                    | 135           |
| インテグレーション、Cajun Rules による | 158           |
| インテリジェントネットワーク            | 151           |

## う

|                  |     |
|------------------|-----|
| ウィスパーパーページ       | 86  |
| ウェブサービス          | 38  |
| ウェブサイト、アバイアのサポート | 31  |
| 迂回機能             | 183 |
| 受け付け制御           | 159 |

## え

|                               |            |
|-------------------------------|------------|
| 英数字ダイヤリング                     | 91, 228    |
| エージェントのリモートログアウト              | 74         |
| エージェントログイン ID の複製             | 69         |
| エージェントログイン ID スキルペアの増加        | 70         |
| エキスパート・エージェント・セレクション<br>(EAS) | 54, 56, 70 |
| キューツベスト ISDN サポート             | 71         |
| スキルの追加と削除                     | 70         |
| スキルベース・ルーティング                 | 70         |
| エコークャンセル機能付き基板                | 134, 147   |
| エンタープライズサバイバルサーバー (ESS)       | 191        |
| エンドオフィス・アクセスラインハンティング         | 239        |
| エンドポイント、「電話機」を参照              |            |

## お

|              |     |
|--------------|-----|
| 応答検出         | 186 |
| オートイン・ワークモード | 58  |
| オートスタート      | 49  |
| オートマチックアンサー  |     |
| インターカム       | 236 |
| インターナル       | 236 |

|                                                 |               |
|-------------------------------------------------|---------------|
| オープン・システム・インターコネクト (OSI) . . .                  | 139           |
| オールタネイト・オペレーション・サポート・システム (AOS) のアラーム . . . . . | 196           |
| オールタネイト・ファシリティ制限レベル . . . . .                   | 183, 195, 207 |
| オプションソフトウェア . . . . .                           | 34            |
| オペレーター                                          |               |
| Distributed Communications System (分散通信システム)    |               |
| プロトコルを使用する機能 . . . . .                          | 44, 151       |
| 中継台間コール . . . . .                               | 45            |
| 直接トランクグループ捕捉 . . . . .                          | 45, 50, 151   |
| ディスプレイ . . . . .                                | 49, 151       |
| トランクグループ制御 . . . . .                            | 44            |
| QSIG 中央中継台 (CAS) . . . . .                      | 168           |
| オートスタート . . . . .                               | 49            |
| 会議 . . . . .                                    | 47            |
| コールウェイディング . . . . .                            | 46            |
| 呼処理 . . . . .                                   | 45            |
| 個人アクセス . . . . .                                | 43            |
| 時間超過通知 . . . . .                                | 48            |
| 自動 . . . . .                                    | 46            |
| 自動マニュアルスプリット . . . . .                          | 49            |
| シリアルコール . . . . .                               | 48            |
| スプリットスワップ . . . . .                             | 45            |
| 接続制限クラス (COR) の中継台ディスプレイ . . . . .              | 168           |
| ダイヤルアクセス . . . . .                              | 43            |
| 着信制限内線への中継台コール . . . . .                        | 47            |
| 中継台オーバーライド . . . . .                            | 47            |
| 直接内線選択 . . . . .                                | 50            |
| トランクグループ制御 . . . . .                            | 50            |
| トランクグループ話中／警告表示 . . . . .                       | 51            |
| トランク識別 . . . . .                                | 51            |
| バックアップ . . . . .                                | 44            |
| バックアップアラート . . . . .                            | 46            |
| パフォーマンスレポート . . . . .                           | 215           |
| ビジュアリー・インペアド・アテンダント・サービス (VIAS) . . . . .       | 52            |
| 非スプリット . . . . .                                | 49            |
| ベクタリング . . . . .                                | 46            |
| 優先キュー . . . . .                                 | 47            |
| リコール . . . . .                                  | 43            |
| リスト・ディレクトリ・ナンバー . . . . .                       | 47            |
| リターンコール . . . . .                               | 168           |
| リリースループ操作 . . . . .                             | 48            |
| ルームステータス . . . . .                              | 44, 91        |
| ロックアウト・プライバシー . . . . .                         | 45            |
| 割り込み . . . . .                                  | 45            |
| 緊急事態通報 . . . . .                                | 51            |
| オペレーターへのダイヤルアクセス . . . . .                      | 43            |
| 音声応答インテグレーション . . . . .                         | 76            |
| オンフック・プログラミング . . . . .                         | 227           |

## か

|                                          |                    |
|------------------------------------------|--------------------|
| 会議 . . . . .                             | 77, 233            |
| 3 者 . . . . .                            | 77                 |
| 6 者 . . . . .                            | 77                 |
| インターカムコールへの自動応答 . . . . .                | 84                 |
| ウィスパーパージ . . . . .                       | 86                 |
| オペレーター . . . . .                         | 47                 |
| 会議／転送表示プロンプト . . . . .                   | 78                 |
| 拡張ミートミー . . . . .                        | 79                 |
| グループ受話 . . . . .                         | 78                 |
| グループページング . . . . .                      | 84                 |
| コードコーリングアクセス . . . . .                   | 84                 |
| 参加者の選択表示、切断 . . . . .                    | 80                 |
| 自動インターカム . . . . .                       | 84                 |
| スピーカ・ページング・アクセス . . . . .                | 85                 |
| ダイヤルインターカム . . . . .                     | 85                 |
| ダイヤルトーンなしの～ . . . . .                    | 79                 |
| 転送－切り替え／スワップ . . . . .                   | 78                 |
| ハングアップによる会議中止 . . . . .                  | 77                 |
| 保留なしのカンファレンス . . . . .                   | 80                 |
| 保留／保留解除 . . . . .                        | 78                 |
| マニュアル・シグナリング . . . . .                   | 85                 |
| マルチメディア . . . . .                        | 83, 181            |
| ミートミー . . . . .                          | 79                 |
| ラインアピアランス選択による～ . . . . .                | 80                 |
| 会議／転送－切り替え／スワップ . . . . .                | 78                 |
| 会議／転送表示プロンプト . . . . .                   | 78                 |
| 会議のミュート操作の選択 . . . . .                   | 48, 81             |
| 会議保留／保留解除 . . . . .                      | 78                 |
| 解析機能、履歴レポート . . . . .                    | 217                |
| 回線エミュレーションサービス (CES) . . . . .           | 133                |
| 回線交換 . . . . .                           | 129, 133           |
| 回線ごとの CPN 制限 . . . . .                   | 204                |
| 外部装置アラーム . . . . .                       | 213                |
| 外部装置ルーティング . . . . .                     | 58                 |
| Network Call Redirection のサポート . . . . . | 53                 |
| 概要、Avaya Communication Manager . . . . . | 33                 |
| 課金情報通知 (AOC) . . . . .                   | 209                |
| 課金データ (CDR) . . . . .                    | 177, 179, 210, 82  |
| 表示、物理的な内線番号 . . . . .                    | 210                |
| 架空内線 (AWOH) . . . . .                    | 119, 123, 124, 207 |
| 拡張サービスモジュール (ESM) . . . . .              | 82, 83, 179, 181   |
| 拡張情報転送 . . . . .                         | 64                 |
| 拡張専用線サービス (EPSCS) . . . . .              | 137                |
| 拡張ソフトウェアライセンスプログラム (ESLP) . . . . .      | 235                |
| 拡張短縮ダイヤル . . . . .                       | 235                |
| 拡張電話機ディスプレイ . . . . .                    | 235                |
| 拡張トランクアクセス . . . . .                     | 174                |
| 拡張ナイトサービス . . . . .                      | 242                |
| 拡張ベクタールーティング . . . . .                   | 65                 |
| 拡張ポートネットワーク (EPN) . . . . .              | 127                |
| 拡張ミートミーカンファレンス機能 . . . . .               | 79                 |
| 仮想 LAN (VLAN) . . . . .                  | 157                |

## 索引

|                      |          |
|----------------------|----------|
| カタカナ文字               | 99       |
| 可聴音メッセージウェイティング      | 105      |
| 稼働率割当                | 62       |
| カバレッジ・アンサーグループ (CAG) | 230      |
| カバレッジコールバック          | 233      |
| カバレッジ着信呼識別           | 233      |
| カバレッジ前のステーションハンティング  | 248      |
| 可変カバレッジパス            | 230      |
| 可変長 ping             | 166, 221 |
| 可変長サブネットマスク (VLSM)   | 221, 166 |
| 可変不在転送               |          |
| 迂回転送                 | 167      |
| オーバーライド              | 231      |
| オールコール               | 231      |
| 話中／不応答               | 231      |
| 可変ロスプラン              | 97       |
| 管理                   |          |
| 呼                    | 60       |
| プロパティ                | 94       |
| 完了呼                  | 167      |

## き

|                               |               |
|-------------------------------|---------------|
| 機能特番 (FAC)                    | 167           |
| 基板コード                         | 28            |
| 基本インタフェース (BRI)               | 139           |
| キャビネット、定義                     | 28            |
| キューイング                        |               |
| 音声アナウンス付き                     | 83            |
| マルチスプリット                      | 72            |
| キュー状態表示                       | 60            |
| キューツーベスト ISDN サポート            | 71            |
| 局用交換機 (CO)                    | 137, 148      |
| サポート、G700 Media Gateway — ロシア | 99, 137       |
| 緊急呼発信者 ID (CESID)             | 139           |
| 緊急事態通報                        |               |
| 中継台への                         | 51, 205       |
| デジタル電話機への                     | 205           |
| デジタルポケットベルへの                  | 204           |
| 緊急時中継台アクセス                    | 206           |
| 緊急電話                          | 121, 139, 206 |

## く

|                         |          |
|-------------------------|----------|
| クラスレスドメイン間ルーティング (CIDR) | 155, 211 |
| グループコールピックアップ           | 232      |
| グループ受話                  | 78       |
| グループページング               | 84       |

## け

|                    |          |
|--------------------|----------|
| 掲示板機能              | 106, 209 |
| ゲートウェイ間迂回機能 (IGAR) | 129      |
| ゲートウェイ間コール (IGC)   | 165      |

## こ

|                            |               |
|----------------------------|---------------|
| アカウンティング                   | 111           |
| 迂回機能                       | 185           |
| 切断                         | 234           |
| 通話料金                       | 209           |
| 転送                         | 231           |
| 発信                         | 49            |
| モニタリング                     | 50            |
| 呼受け付け制御 (CAC) バンド幅管理       | 157           |
| 公衆電話網 (PSTN)               | 72            |
| 公衆網での優先電話                  | 102           |
| 公衆網ネットワークと接続               | 147           |
| ゴーストカバー機能                  | 235           |
| コードコーディングアクセス              | 84            |
| コールアカウンティング                |               |
| INTUITY                    | 111           |
| INTUITY ロジック               | 112           |
| Xiox                       | 96            |
| コールアピランスボタン優先指定            | 238           |
| コールウェイティング                 | 46            |
| コールオファー                    | 167           |
| コールオファー、「オペレーター」、「割り込み」を参照 |               |
| コールカバレッジ                   | 116, 171, 230 |
| 英数字のフィールド表示                | 230           |
| 可変カバレッジパス                  | 230           |
| 時刻                         | 231           |
| 転送の間隔                      | 231           |
| レポート                       | 215           |
| ～と CAS                     | 171           |
| コールカバレッジリモートオフネット (C-CRON) | 171           |
| コールクラシファイア基板               | 187           |
| コールセンター                    | 53            |
| メッセージング                    | 66            |
| リリースコントロール                 | 64            |
| コールパーク                     | 232           |
| コールバイコール・サービス選択            | 140           |
| コールピックアップ                  | 232           |
| グループコールピックアップ              | 232           |
| コールブロンプティング                | 64            |
| コールセンター・メッセージ              | 66            |
| データ・イン／音声応答 (DIVA)         | 64            |
| データコレクション                  | 64            |
| コールベクタリング                  | 65            |
| VDN 用接続制限クラス (COR)         | 67            |
| 拡張ベクタルーティング                | 65            |
| 平均応答時間 (ASA) ルーティング        | 65            |
| ホリデーベクタリング                 | 66            |
| 予想待ち時間 (EWT) ルーティング        | 66            |
| コールマネージメントシステム (CMS)       |               |
| ATM 測定                     | 68, 133       |
| コール・ルーティング                 | 183           |
| コールワークコード (CWC)            | 68            |

|                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 顧客設置のアラーム装置                 | 197, 212 |
| 国外のデジタル接続性                  | 140      |
| 国際ナンバリングおよびダイヤリングプラン (WNDP) | 241      |
| 国際標準化機構 (ISO)               | 166      |
| 呼ごとの CPN 制限                 | 204      |
| 呼情報転送 (CINFO)               | 68       |
| 呼処理                         | 45       |
| 個人用局線 (PCOL)                | 144      |
| 呼制御                         | 159      |
| 固定接続 (AC)                   | 175      |
| 呼転送の間隔                      | 231      |
| 呼独立シグナリング接続 (CISC)          | 167      |
| 呼の転送、マルチメディア・エンドポイント        | 83       |
| 呼のモニタリング                    | 50       |
| 個別オペレーターへのアクセス              | 43       |
| 個別機能設定された電話機                | 249      |
| 個別中継台へのアクセス                 | 43       |
| 個別動作パス再接続機能                 | 171      |
| 個別呼び出し音の設定                  | 234      |
| コレクトコール阻止                   | 98, 197  |
| コンサルト                       | 233      |
| コンソール                       |          |
| Avaya SoftConsole           | 89       |
| PC                          | 89       |
| コンピュータテレフォニー統合 (CTI)        | 53, 68   |

## さ

|                                |          |
|--------------------------------|----------|
| サービスクラス (COS)                  | 220, 211 |
| サイクリックステーションハントグループ            | 68, 233  |
| サイクリック・ハンティング (UCD)            | 230      |
| 最少実稼働エージェント (LOA)              | 71       |
| 最大 5 つの EPN、MCC1 Media Gateway | 214      |
| サテライトホップ                       | 153      |
| サブバイブルリモート拡張ポートネットワーク (SREPN)  | 193      |
| サブリメンタリーサービスと再迂回機能             | 171      |
| サポート、HP DL380G2 サーバー           | 248      |

## し

|                      |          |
|----------------------|----------|
| シーケンシャル・ハンティング (DDC) | 230      |
| 時間超過自動切断、発信トランクコール   | 144, 250 |
| 時間超過通知               | 48       |
| 識別呼び出し               | 172      |
| シグナリング暗号化、SIP トランク   | 202      |
| 時刻                   | 231      |
| 時刻迂回機能               | 185, 250 |
| 時刻同期                 |          |
| LAN 経由               | 220      |
| Linux プラットホーム        | 221      |
| UNIX プラットホーム         | 221      |
| システム                 |          |
| 定義                   | 28       |

|                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| システム管理                    | 207             |
| システムディレクトリ                | 223             |
| 自動位置情報 (ALI)              | 122             |
| 自動迂回機能 (AAR)              | 183             |
| 自動迂回機能 (AAR/ARS)          | 82, 183         |
| FAC のないダイヤリング             | 184             |
| オーバーラップ送信                 | 184             |
| パーティショニング                 | 184             |
| 自動迂回機能 (ARS)              | 184             |
| 自動応答 ICOM                 | 236             |
| 自動オペレーターサービス              | 46              |
| 自動回路保証                    | 151, 208, 212   |
| 自動選択、ダイレクトインダイヤル (DID) 番号 | 91              |
| 自動着信分配 (ACD)              | 58, 63, 56, 230 |
| 自動伝送測定システム                | 208             |
| 自動番号識別 (ANI)              | 55, 58          |
| 着信自動番号識別                  | 58              |
| 発信自動番号識別                  | 59              |
| 自動保留機能                    | 229             |
| 自動マニュアルスプリット              | 49              |
| 自動モーニングコール                | 91              |
| 自動リザーブエージェント              | 61              |
| 氏名登録                      | 94              |
| シャフリング                    | 162             |
| NAT デバイス                  | 163             |
| 周期パルス計測 (PPM)             | 209             |
| 条件付き自動迂回機能                | 153             |
| シリアルコール                   | 48              |
| 信頼性と存続性                   | 189             |

## す

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| スイッチ                  |          |
| CSS (直接接続)            | 127      |
| 非同期転送モード (ATM)        | 127, 133 |
| スイッチドバーチャルサーキット (SVC) | 128      |
| スキル                   | 70       |
| スキルによるコール選択オーバーライド    | 61       |
| スキルの追加と削除             | 70       |
| スキルベース・ルーティング         | 70       |
| スケジューリング              | 219      |
| ステーション、「電話機」を参照       |          |
| ステーションセルフディスプレイ       | 248      |
| スニッファ                 | 199      |
| スピーカ・ペー징ング・アクセス       | 85       |
| スピークツーマーによるメッセージ再生    | 114      |
| スペシャルダイヤルトーン          | 247      |

## せ

|                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 制御チャネル・メッセージ・セット (CCMS)     | 130           |
| 制限 — 制御                     | 200, 206, 219 |
| セキュアシェルとセキュア FTP (SSH/SFTP) | 201           |
| セキュリティ                      |               |
| 概要                          | 28            |

## 索引

|                                       |                             |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| セキュリティ違反通知 (SVN)                      | 202, 219                    |
| セキュリティ、プライバシー、安全対策                    | 195                         |
| エンドユーザー                               | 203                         |
| 回線ごとの CPN 制限                          | 204                         |
| 緊急時中継台アクセス                            | 206                         |
| 呼ごとの CPN 制限                           | 204                         |
| 制限 — 制御                               | 206                         |
| 中継台への緊急事態通報                           | 205                         |
| デジタル電話機への緊急事態通報                       | 205                         |
| デジタルポケットベルへの緊急事態通報                    | 204                         |
| 電話機ロック                                | 206                         |
| バックアップアラーティング                         | 203                         |
| バリアコード                                | 203                         |
| プライバシー、自動通話割り込み禁止                     | 206                         |
| プライバシー、通話割込禁止                         | 206                         |
| システム管理者                               | 195                         |
| H.248 リンク暗号化                          | 198                         |
| Tripwire セキュリティ                       | 203                         |
| アクセス・セキュリティ・ゲートウェイ                    | 195                         |
| 暗号化アルゴリズム、ベアラチャネル用                    | 195                         |
| オールタネイト・オペレーション・サポート・システム (AOS) のアラーム | 196                         |
| オールタネイト・ファシリティ制限レベル                   | 195                         |
| 顧客設置のアラーム装置                           | 197                         |
| シグナリング暗号化、SIP トランク                    | 202                         |
| 制限 — 制御                               | 200                         |
| セキュリティ違反通知 (SVN)                      | 202                         |
| 接続制限クラス (COR)                         | 197                         |
| データ制限                                 | 198                         |
| データプライバシー                             | 197                         |
| 内線セキュリティコード                           | 202                         |
| 発着信制限                                 | 197                         |
| ファシリティ制限レベルおよびトラベリン<br>グクラスマーク        | 198                         |
| プライバシー — 中継台ロックアウト                    | 196                         |
| マリシャス・コール・トレース (悪意呼<br>トレース)          | 198                         |
| メディア暗号化                               | 199                         |
| セッション開始プロトコル (SIP)                    | 136, 158, 121               |
| トランク                                  | 136                         |
| 接続制限クラス (COR)                         | 67, 144, 168, 197, 211, 250 |
| VDN 用                                 | 67                          |
| 中継台ディスプレイ                             | 168                         |
| 接続保持移行 (CPM)                          | 190                         |
| 設定                                    |                             |
| エージェントログイン ID の複製                     | 69                          |
| エージェントログイン ID スキルペアの増加                | 70                          |
| コールマネジメント                             | 60                          |
| 呼のモニタリング                              | 50                          |
| 自動迂回                                  | 183                         |
| 設置場所                                  | 223                         |
| プロパティ・マネージメント                         | 94                          |
| 変更通知                                  | 224                         |
| センターステージ・スイッチ (CSS)                   | 127, 129                    |
| 分離                                    | 129                         |

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 選択表示と切断、会議参加者の～ | 80  |
| 専用線トランク関連の～     | 144 |

## た

|                                              |          |
|----------------------------------------------|----------|
| ターミナルトランスレーションの初期化 (TTI)                     | 124, 220 |
| 対応通信デバイス                                     | 87       |
| 代替ゲートキーパー (Alternate Gatekeeper) と登録<br>アドレス | 154      |
| ダイナミックジッターバッファ                               | 158      |
| ダイナミックな稼働率調整                                 | 61       |
| ダイナミックなキューポジション                              | 61       |
| ダイナミックなしきい値調整                                | 61       |
| タイムアウト設定可能コールタイマー                            | 228      |
| タイムアウトによる疑似応答                                | 186      |
| ダイヤルトーンなしの会議操作                               | 79       |
| ダイヤルプラン拡張 (DPE)                              | 132, 172 |
| ダイレクトインダイヤル (DID)                            | 138, 148 |
| 自動番号選択                                       | 91       |
| ダイレクト・エージェント・アナウンスメント<br>(DAA)               | 54       |
| ダイレクト・エージェントコール                              | 69       |
| 短縮ダイヤル (AD)                                  | 227      |
| オンフック・プログラミング                                | 227      |
| ラベリング                                        | 227      |
| タンデム交換機                                      | 153      |
| タンデムスルー                                      | 153      |
| タンデム専用線トランク・ネットワーク (TTTN)                    | 153      |
| 端末終端点識別子 (TEI)、自動                            | 140      |

## ち

|                |              |
|----------------|--------------|
| 地域電話会社 (LEC)   | 97, 147, 229 |
| チェックイン／チェックアウト | 92           |
| 着信音声エンドポイント    | 82, 179      |
| 着信拒否 (ホテル)     | 93           |
| 着信制限内線への中継台コール | 47           |
| チャネル割り当て       | 140          |
| 中央中継台 (CAS)    | 49, 168      |
| 中継台オーバーライド     | 47           |
| 中継台間コール        | 45           |
| 中継台によるトランク識別   | 51           |
| 中継台へのダイヤルアクセス  | 43           |
| 中継台リコール        | 43           |
| 中止、転送          | 251          |
| 長時間保留警告        | 237          |
| 直接トランクグループ捕捉   | 45, 50, 151  |
| 直接内線選択         | 50           |

## つ

|        |     |
|--------|-----|
| 通話料金情報 | 209 |
|--------|-----|

## て

|                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| ディクテーションアクセス                    | 245              |
| ディスプレイ                          | 49, 151          |
| ARP レポート                        | 215              |
| Route-to DAC 呼における VDN          | 67               |
| 会議の切断                           | 80               |
| メッセージ確認                         | 113              |
| ディレクトリ                          | 223              |
| データ・イン／音声応答 (DIVA)              | 64               |
| データインタフェース                      | 175              |
| 固定接続 (AC)                       | 175              |
| データコールセットアップ                    | 175              |
| データ制限                           | 176              |
| データプライバシー                       | 176              |
| データホットライン                       | 175              |
| データモジュール                        | 175              |
| デフォルト・ダイヤリング                    | 176              |
| マルチメディア                         |                  |
| アプリケーションサーバー・インタフェース (ASI)      | 178              |
| コーディング                          | 179              |
| 呼の転送、マルチメディア・エンドポイント            | 181              |
| 複数ポートネットワーク                     | 181              |
| ベクターと電話機でのマルチメディア呼事前<br>応答      | 179              |
| 保留、会議、転送、切断 (ドロップ)              | 181              |
| マルチメディア呼処理 (MMCH)               | 180              |
| モデムプール                          | 177              |
| ワールドクラス BRI エンドポイントへの課金情報<br>通知 | 181              |
| データ会議                           | 82, 83, 179, 181 |
| データコール                          | 91               |
| データコールセットアップ                    | 175              |
| データコレクション                       | 64               |
| データ制限                           | 176, 198         |
| データプライバシー                       | 176, 197         |
| データホットライン                       | 175              |
| データモジュール                        | 175              |
| デジタルインタフェース                     | 140              |
| E1                              | 134, 147         |
| T1                              | 134, 148         |
| TTY、デジタルトランク上                   | 165              |
| デジタルサービス 1 (DS1) トランク           | 133, 147         |
| デジタルサービス 1 (DS1) トランク           | 147, 148, 133    |
| デジタル多重インタフェース                   | 138              |
| ビットオリエンテッド・シグナリング               | 138              |
| メッセージ対応シグナリング                   | 138              |
| デジタル通信プロトコル (DCP)               | 101              |
| デジタル電話機                         |                  |
| 2420 DCP                        |                  |
| ボイスメール再生ボタン                     | 115              |
| テナントパーティショニング                   | 219, 220         |
| デバイス位置の E911 SCCAN サポート         | 122              |
| デバイスおよびメディア制御 API               | 39               |

|                                            |          |
|--------------------------------------------|----------|
| デフォルト・ダイヤリング                               | 176      |
| デラックスページング                                 | 85       |
| テレコミュニケーションアクセス                            | 225      |
| テレコミュニケーションとリモートオフィス                       | 225      |
| テレフォニー                                     | 227      |
| 電子タンデムネットワーク (ETN)                         | 152      |
| 条件付き自動迂回機能                                 | 153      |
| トラベリングクラスマーク                               | 186      |
| トランクシグナリングとエラー回復                           | 153      |
| 内線番号ポータビリティ                                | 153      |
| 電子プレインストレーション・ワークシート (EIW)                 | 35       |
| 転送                                         | 168, 250 |
| 呼返し                                        | 251      |
| 中止                                         | 251      |
| トランク間                                      | 251      |
| 発信トランクから発信トランクへ                            | 251      |
| ハングアップによる                                  | 251      |
| 転送、呼                                       | 231      |
| 可変不在転送                                     | 231      |
| 可変不在転送オーバーライド                              | 231      |
| 可変不在転送話中／不応答                               | 231      |
| 呼転送の間隔                                     | 231      |
| 不応答                                        | 74       |
| 電話機                                        |          |
| アナウンスメント                                   | 208      |
| 個別機能設定                                     | 249      |
| デジタル                                       |          |
| 2420 DCP                                   | 115      |
| 用語の意味                                      | 26       |
| 電話機ディスプレイ                                  | 249      |
| 電話機の自動移設 (ACTR)                            | 119      |
| 電話機ロック                                     | 206      |
| 電話サービスアプリケーション・プログラミング・<br>インタフェース (TSAPI) | 41       |

## と

|                                      |          |
|--------------------------------------|----------|
| 同時常駐 DEFINITY LAN ゲートウェイ (DLG)       | 54       |
| 同時着信音グループ                            | 249      |
| トラベリングクラスマーク                         | 186      |
| トランク                                 |          |
| AUX                                  | 137      |
| アドバンスト・プライベートライン・ターミ<br>ネーション (APLT) | 137      |
| エコークャンセル機能                           | 134, 147 |
| H.323                                | 135      |
| ISDN                                 | 139      |
| PBX ダイアルイン (DIOD)                    | 139      |
| アナログ                                 |          |
| 発信者 ID (ICLID)                       | 147, 232 |
| インターネットプロトコル (IP)                    | 135      |
| グループ回路                               | 221      |
| 個人用局線 (PCOL)                         | 144      |
| 専用線                                  | 144      |
| ダイレクトインダイヤル (DID)                    | 138      |

## 索引

### トランク (続き)

|                     |          |
|---------------------|----------|
| タンデム                | 152      |
| デジタル                | 138      |
| 発信者 ID (ICLID)      | 147, 232 |
| デジタルサービス 1 (DS1)    | 133, 147 |
| 米国広域電信サービス (WATS)   | 145      |
| 米国フォーリンエクスチェンジ (FX) | 139      |
| リモートアクセス            | 226      |
| リリースリンクトランク (RLT)   | 168, 144 |
| ローカル局用              | 148      |
| 800 番サービス           | 148      |
| PBX ダイアルイン (DIOD)   | 149      |
| 局用交換機 (CO)          | 137, 148 |
| ダイレクトインダイヤル (DID)   | 148      |
| デジタルサービス 1 (DS1)    | 148      |
| 米国広域電信サービス (WATS)   | 149      |
| 米国フォーリンエクスチェンジ (FX) | 149      |
| トランク間転送             | 251      |
| トランクグループ            |          |
| 回路                  | 221      |
| 識別                  | 55       |
| 詳細測定レポート            | 216      |
| 中継台制御               | 50       |
| 中継台への話中／警告表示        | 51       |
| トランクグループ制御          | 44       |
| トランクコール切断           | 144, 250 |
| トランクシグナリングとエラー回復    | 153      |
| トランク接続              | 133      |
| トランク・フラッシュ          | 252      |

## な

|                  |          |
|------------------|----------|
| 内線延長 (構外)        | 226      |
| 内線キャンブオン (ACB)   | 228      |
| アナログ電話機          | 228      |
| 内線セキュリティコード      | 202, 220 |
| 内線通話コントローラ (ICC) | 35, 191  |
| 内線番号ポータビリティ      | 153      |
| ナイトサービス          | 241      |
| 拡張               | 242      |
| 名前／電話番号識別        | 170      |
| 名前によるダイヤリング      | 93       |
| 名前／番号固定表示        | 123      |

## に

|                            |          |
|----------------------------|----------|
| 二重化サーバーの接続保持アップグレード        | 190      |
| 二重化された DCPI チャネル           | 106      |
| 二重ホーミング                    | 239      |
| 日本 TTC Q931a 専用線プロトコルのサポート | 99, 143  |
| 認証 (オーソリゼーション) コード         | 196, 208 |

## ね

|                        |          |
|------------------------|----------|
| ネットワークアドレス変換 (NAT)     | 163      |
| シャフリング                 | 163      |
| ネットワークアドレスポート変換 (NAPT) | 163      |
| ネットワークからの応答監視          | 187      |
| ネットワークサービス             | 139      |
| ネットワークリージョン            | 156      |
| マルチロケーション対応            | 156, 186 |

## の

|         |     |
|---------|-----|
| ノード番号迂回 | 185 |
|---------|-----|

## は

|                            |          |
|----------------------------|----------|
| パーソナル・ステーションアクセス (PSA)     | 123      |
| 名前／番号固定表示                  | 123      |
| パーソナルリングング                 | 244      |
| パーマネントバーチャルパス (PVP)        | 128      |
| ハウスキーピングステータス              | 93       |
| パス接続保持付きパス再接続機能            | 170      |
| バックアップアラートティング             | 46, 203  |
| 発呼                         | 49       |
| 発呼者番号／課金番号                 | 210      |
| 発信者 ID (ICLID)             |          |
| アナログトランクからの                | 147, 232 |
| デジタルトランクからの                | 147, 232 |
| 発着信制限                      | 197, 210 |
| バリアコード                     | 203, 208 |
| ハングアップによる会議中止              | 77       |
| ハントグループ                    | 56       |
| サイクリックステーション               | 68       |
| サイクリックステーションハンティング         | 233      |
| バンド幅上限を使った呼受け付け制御 (CAC-BL) | 130      |

## ひ

|                                 |         |
|---------------------------------|---------|
| 被呼先電話番号通知サービス (DNIS)            | 69      |
| 被呼者番号 (CPN)                     | 55, 204 |
| 回線ごとの制限                         | 204     |
| 呼ごとの制限                          | 204     |
| 被呼者名 ID                         | 168     |
| ビジュアリー・インペアド・アテンダント・サービス (VIAS) | 52      |
| 非常切替                            | 192     |
| ヒストリカルレポート                      | 60      |
| 非スプリット                          | 49      |
| ビデオ                             | 179     |

|                                         |          |
|-----------------------------------------|----------|
| 非同期転送モード (ATM) . . . . .                | 133, 127 |
| WAN スペアプロセッサ (WSP) . . . . .            | 128, 193 |
| WAN スペアプロセッサ (WSP) マネー<br>ジャー . . . . . | 127, 222 |
| 回線エミュレーションサービス (ATM-CES) . . . . .      | 133      |
| ポートネットワーク接続 (ATM-PNC) . . . . .         | 127      |
| WAN による . . . . .                       | 128      |
| 非同期リンク . . . . .                        | 177, 218 |
| 非特定 IP エンドポイントからの緊急電話 . . . . .         | 234      |
| 一桁ダイヤリングと混合桁ダイヤリング . . . . .            | 95       |
| 表示規制 . . . . .                          | 143      |
| 表示言語の設定変更 . . . . .                     | 97       |

## ふ

|                                                |          |
|------------------------------------------------|----------|
| ファースト・イン／ファースト・アウト (FIFO) . . . . .            | 63       |
| ファームウェアのダウンロード . . . . .                       | 214      |
| ファシリティおよびノ・ファシリティ・アソシエ<br>テッド・シグナリング . . . . . | 141      |
| ファシリティ制限レベルおよびトラベリングクラス<br>マーク . . . . .       | 198, 213 |
| ファシリティテストコール . . . . .                         | 213      |
| 不応答呼の切断 . . . . .                              | 234      |
| 不応答理由コード . . . . .                             | 123      |
| 付加サービス、定義 . . . . .                            | 166      |
| 複数加入者番号 (MSN) . . . . .                        | 142      |
| 複数呼処理機能 (強制) . . . . .                         | 71       |
| 複数スプリットキューイング . . . . .                        | 73       |
| 複数ネットワークリージョン、CLAN ごと . . . . .                | 155, 192 |
| 複数保留音源 . . . . .                               | 71, 219  |
| 複数ユーザーの同時使用 . . . . .                          | 212      |
| プライバシー . . . . .                               |          |
| 自動通話割り込み禁止 . . . . .                           | 206      |
| 中継台ロックアウト . . . . .                            | 45, 196  |
| 通話割込禁止 . . . . .                               | 206      |
| プライベート・ネットワーク・アクセス (PNA) . . . . .             | 152      |
| プリエンブション . . . . .                             | 241      |
| ブリッジコールアピランス . . . . .                         |          |
| アナログ電話機 . . . . .                              | 230      |
| デジタル電話機 . . . . .                              | 229      |
| ブルトランスファー . . . . .                            | 245      |
| フレキシブルな課金 . . . . .                            | 54, 148  |
| プロセッサ・ポートネットワーク (PPN) . . . . .                | 127      |
| プロパティ・マネージメント・システム (PMS) . . . . .             | 92, 177  |
| インタフェース . . . . .                              | 94       |
| 付加番号の挿入／削除 . . . . .                           | 94       |

## へ

|                                  |               |
|----------------------------------|---------------|
| ヘアピン接続 . . . . .                 | 162           |
| ベアラとシグナリングの分離 (SBS) . . . . .    | 132           |
| 平均応答時間 (ASA) ルーティング . . . . .    | 65            |
| 米国大型顧客向け専用線サービス (CCSA) . . . . . | 137           |
| 米国局用交換機課金システム (CAMA) . . . . .   | 139, 206      |
| 米国広域電信サービス (WATS) . . . . .      | 184, 145, 149 |

|                                                              |            |
|--------------------------------------------------------------|------------|
| 米国フォーリンエクスチェンジ (FX) . . . . .                                | 139, 149   |
| ベーシックコールマネージメントシステム (BCMS) . . . . .                         | 60         |
| レポート . . . . .                                               | 60         |
| ページング・アクセス . . . . .                                         |            |
| スピーカ . . . . .                                               | 85         |
| ベクター起動型モニタリング . . . . .                                      | 75         |
| ベクターコマンド . . . . .                                           | 65         |
| ベクターディレクトリ番号 (VDN) . . . . .                                 | 66, 70, 74 |
| Route-to DAC 呼における VDN の表示 . . . . .                         | 67         |
| エージェント応答モニタ . . . . .                                        | 75         |
| オーバーライド、ASAI (アジャクト/スイッチア<br>プリケーションインタフェース) メッセージ . . . . . | 55         |
| オリジナルアナウンスの . . . . .                                        | 67         |
| カバレッジパスの . . . . .                                           | 67         |
| 返送先 . . . . .                                                | 67         |
| ベクタリング . . . . .                                             | 65         |
| オペレーター . . . . .                                             | 46         |
| ホリデー . . . . .                                               | 66         |
| ベストサービス・ルーティング (BSR) . . . . .                               | 65         |
| ベアラチャネル不要の IP ベースの . . . . .                                 | 65         |
| 部屋番号ダイヤリングプラン . . . . .                                      | 95         |
| ヘルプライン電話番号 . . . . .                                         | 31         |

## ほ

|                                 |          |
|---------------------------------|----------|
| ボイスターミナル、「電話機」を参照 . . . . .     |          |
| ボイスメール再生ボタン . . . . .           | 115      |
| ボイスメールシステム (VMS) . . . . .      | 242      |
| ボイスメール接続 . . . . .              | 170      |
| QSIG/DCS . . . . .              | 115, 152 |
| ボイスメール統合 . . . . .              | 82       |
| ボイスメールに接続後のパス最適化 . . . . .      | 170      |
| ボイスメッセージ再生 . . . . .            | 116      |
| ボイスメッセージングおよびコールカバレッジ . . . . . | 116      |
| 放棄呼 . . . . .                   | 57       |
| 放棄呼サーチ . . . . .                | 57       |
| ポートアドレス変換 (PAT) . . . . .       | 163      |
| ポートネットワーク接続 (PNC) . . . . .     |          |
| インターネットプロトコル (IP) . . . . .     | 130      |
| 非同期転送モード (ATM) . . . . .        | 127      |
| WAN による . . . . .               | 128      |
| ポートネットワークとゲートウェイ接続 . . . . .    | 127      |
| ホットラインサービス . . . . .            | 237      |
| ホテル . . . . .                   | 91       |
| ホリデーベクタリング . . . . .            | 66       |
| 保留 . . . . .                    | 236      |
| 保留音 . . . . .                   | 218      |
| 保留、会議、転送、切断 (ドロップ) . . . . .    | 83       |
| 保留なしのカンファレンス . . . . .          | 80       |
| 保留ワークモード変更 . . . . .            | 55       |
| 本書について . . . . .                | 25       |
| 表記法 . . . . .                   | 25       |

## ま

|                                                                              |                  |
|------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 毎朝のモーニングコール                                                                  | 92               |
| 待ち時間オーバーによるリザーブエージェント起動                                                      | 62               |
| マニュアル・オリジネーティング・ラインサービス                                                      | 237              |
| マニュアル・シグナリング                                                                 | 85               |
| マニュアル・メッセージ・ウェイティング                                                          | 113              |
| マリシャス・コール・トレース（悪意呼<br>トレース）                                                  | 198, 218         |
| ETSI PRI の<br>ロギング                                                           | 198, 218         |
| マルチ周波数パケット（MFP）シグナリングー<br>ロシア                                                | 99, 143          |
| マルチスプリットキューイング                                                               | 72               |
| マルチナショナルロケーション<br>課金データ（CDR）記録のロケーション ID                                     | 101              |
| トランクグループごとのマルチ周波数シグナ<br>リング                                                  | 102              |
| ロケーションごとの DCP 電話機／基板の圧縮                                                      | 101              |
| ロケーションごとのアナログライン基板パラ<br>メータ                                                  | 101              |
| ロケーションごとのトーン生成                                                               | 102              |
| ロケーションごとのロスプラン                                                               | 101              |
| マルチメディア、「マルチメディア・コーリング」を参照<br>マルチメディア・コーリング<br>アプリケーションサーバー・インタフェース<br>（ASI） | 82, 178          |
| 音声アナウンスメント付きキューイング                                                           | 83               |
| 音声とビデオ                                                                       | 82               |
| 拡張サービスマジュール（ESM）                                                             | 82, 83, 179, 181 |
| 呼の転送、マルチメディア・エンドポイント                                                         | 83, 181          |
| データ会議                                                                        | 82               |
| ESM による（T.120）                                                               | 83, 181          |
| 複数ポートネットワーク                                                                  | 181              |
| ベクターと電話機でのマルチメディア呼事前<br>応答                                                   | 82, 179          |
| 保留、会議、転送、切断（ドロップ）                                                            | 83, 181          |
| マルチメディア呼処理（MMCH）                                                             | 83, 180          |
| マルチメディア・コミュニケーション・エクスチェンジ<br>（MMCX）                                          | 82               |
| マルチロケーション対応                                                                  | 186              |
| ネットワークリージョンごと                                                                | 156, 186         |
| マルチロケーション・ダイヤルプラン                                                            | 172              |

## み

|                |     |
|----------------|-----|
| ミートミーカンファレンス機能 | 79  |
| ミスオペレーション処理機能  | 237 |

## め

|               |         |
|---------------|---------|
| メーカー特有情報（MSI） | 71, 169 |
| メールボックス、AUDIX | 106     |

|                        |          |
|------------------------|----------|
| メッセージ                  |          |
| 確認                     | 113      |
| 可聴音メッセージウェイティング        | 105      |
| デマンドプリント               | 113      |
| マニュアル・メッセージ・ウェイティング    | 113      |
| メッセージ・ウェイティング・ランプ（MWI） | 169      |
| メッセージ機能（LWC）           | 112, 169 |
| QSIG/DCS               | 112      |
| メッセージ揭示                | 244      |
| メッセージ再生                |          |
| スピークツーマー               | 114      |
| ディスプレイ上での～             | 113      |
| メッセージ統合                | 105      |
| メディア暗号化                | 199      |

## も

|                      |     |
|----------------------|-----|
| モードコード               |     |
| インタフェース              | 114 |
| 集中化ボイスメール統合          | 105 |
| モードコード接続による集中化ボイスメール | 105 |
| モーニングコール             |     |
| 2 回呼び                | 93  |
| VIP                  | 95  |
| 確認トーンによる起動           | 95  |
| 自動                   | 91  |
| 毎朝                   | 92  |
| モデムオーバー IP（MoIP）     | 160 |
| モデムプール               | 177 |
| モニタ機能                | 74  |
| COR による              | 75  |
| VDN の                | 75  |
| ベクター起動型              | 75  |
| リモート                 | 75  |
| モバイル対応               | 119 |

## ゆ

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| ユーザーが選択可能な VIP DID 番号 | 92      |
| ユーザー間情報（UUI）          |         |
| 公衆網上の                 | 76      |
| 伝達                    | 55      |
| ユーザーによる電話機起動（CTA）     | 212     |
| 優先迂回                  | 241     |
| 優先キュー                 | 47, 168 |
| 優先コーリング               | 240     |
| 優先コールウェイティング          | 240     |
| 優先電話                  | 245     |
| ユニコードのサポート            | 89      |
| QSIG                  | 90      |
| ユニフォーム・ダイヤルプラン（UDP）   | 172     |

## よ

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 容量                  | 34  |
| 予想待ち時間 (EWT) ルーティング | 66  |
| 呼び出し音               |     |
| オプション               | 247 |
| 個別                  | 234 |
| 設定                  | 246 |
| パーソナル               | 244 |

## ら

|                 |     |
|-----------------|-----|
| ライセンスモード        | 242 |
| エラーライセンスモード     | 243 |
| 正常ライセンスモード      | 243 |
| 非ライセンスモード       | 243 |
| ラインアピランス選択による会議 | 80  |
| ライン負荷制御         | 240 |

## り

|                         |          |
|-------------------------|----------|
| リアルタイムレポート              | 60       |
| リコール                    | 43       |
| リコールシグナリング              | 245      |
| リスト・ディレクトリ・ナンバー         | 47       |
| 離席機能 (Send All Calls)   | 247      |
| リセットシフトコール              | 246      |
| リダイヤル                   | 236      |
| リモートアクセストラंक            | 226      |
| リモートポートネットワークのための設置場所統計 | 76       |
| 理由コード                   | 74       |
| 料金概算、呼                  | 209      |
| 料金不正使用                  | 28       |
| リリースリンクトラंक (RLT)       | 168, 144 |
| エミュレーション、PRI            | 169      |
| リリースループ操作               | 48       |
| 履歴レポート                  |          |
| 解析機能                    | 217      |
| リングカットオフ                | 246      |
| リングバック・キューイング           | 246      |
| リンク復旧                   | 130      |

## る

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| ルームステータス              | 44, 91   |
| ルックアヘッド・インターフロー (LAI) | 63, 140  |
| 拡張情報転送                | 64       |
| ルックアヘッド迂回機能           | 140, 185 |

## れ

|                     |     |
|---------------------|-----|
| レポート                | 215 |
| ARP 表示              | 215 |
| インターネットプロトコル (IP)   | 215 |
| オペレーターパフォーマンス       | 215 |
| カバレッジポイント           | 215 |
| 管理                  | 60  |
| 緊急とジャーナル            | 215 |
| コールカバレッジ            | 215 |
| 最新変更記録              | 216 |
| サマリー                | 216 |
| タンデムトラフィック          | 216 |
| トラフィック              | 216 |
| トラंकグループ詳細測定        | 216 |
| パケットエラー履歴           | 215 |
| ハントグループ測定           | 215 |
| ヒストリカル              | 60  |
| 解析機能                | 217 |
| プロセッサ占有             | 216 |
| ブロッケージスタディ          | 215 |
| ポートネットワークとリンク使用     | 215 |
| リアルタイム              | 60  |
| リフレッシュルート           | 216 |
| 連続オートイン・スプリット (AAS) | 58  |

## ろ

|                                    |          |
|------------------------------------|----------|
| 聾啞者用通信機 (TDD)                      | 163      |
| ローカライゼーション                         | 97       |
| ローカル局用交換機トラंक                      | 148      |
| 800 番サービス                          | 148      |
| PBX ダイヤルイン (DIOD)                  | 149      |
| 局用交換機 (CO)                         | 137, 148 |
| ダイレクトインダイヤル (DID)                  | 148      |
| デジタルサービス 1 (DS1)                   | 148      |
| 米国広域電信サービス (WATS)                  | 149      |
| 米国フォーリンエクスチェンジ (FX)                | 149      |
| ローカル呼タイマー・オートマチックスタート／ストップ         | 237      |
| ローカルサバイバルプロセッサ (LSP)               | 35, 191  |
| サーバー／LSP ソフトウェアとライセンスの自動アップグレードツール | 192      |
| ローカルフィードバック、キュー待ち ACD 呼            | 59       |
| ローカル保留音                            | 218      |
| ログイン Advocate エージェントカウント           | 62       |
| ロシアの CO サポート、G700 Media Gateway    | 99, 137  |
| ロシアのマルチ周波数パケット (MFP) シグナリング        | 99, 143  |
| ロスグループ、IP                          | 135      |

### わ

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| ワールドクラス BRI エンドポイントへの課金情報 |     |
| 通知                        | 181 |
| ワールドクラストーン検出              | 103 |
| ワイドバンドスイッチング              | 143 |
| ワイヤレス                     |     |
| X-station mobility        | 125 |
| 話中音切断                     | 98  |
| 話中確認 — 電話機／トランク           | 209 |
| 話中転送（ステーションハンティング）        | 247 |
| 話中表示                      | 213 |
| 割り込み                      | 45  |